佐賀市文化財調査報告書第40集

# 阿高遺跡

# 寺裏遺跡

# 梅屋敷遺跡

平成４年３月

佐賀市教育委員会

# 発刊にあたって

北川副地区の農業基盤整備事業は昭和61年度に開始されました。同地区は市域南部に位置し、遺跡の密度が低い所です。しかし、昭和63年度、平成元年度に遺跡が発見されたので、平成元年度、平成２年度に発掘調査を実施してきました。本書は平成２年度に発掘調査を実施した、阿高遺跡（Ｃ地区）、寺裏遺跡、梅屋敷遺跡の埋蔵文化財発掘調査報告書です。

阿高遺跡では古墳時代の井戸、溝、土壙、掘立柱建物を、寺裏遺跡では中世の土壙、近世の墓を、梅屋敷遺跡では中世の掘立柱建物をそれぞれ検出しました。出土遺物には土師器（甕・杯・高杯・壷・小型丸底坩・手捏）、須恵器（杯・高杯・提瓶）、瓦器（碗）、磁器（碗・皿・）、陶器（甕・皿・碗）などがあります。

なかでも、阿高遺跡から出土した古墳時代の土師器には山陰地方の影響が濃いものもあり、当時の文化の交流を研究する上で重要な資料となります。また、梅屋敷の名は地元に残っていた地名を遺跡名としたものですが、地元の伝承のとおり館跡を検出しました。発掘調査を実施するにあたっては、地区に残る伝承も充分考慮しなければならないという教訓を与えてくれました。

今回の調査で得られた貴重な資料を市民のみなさんの歴史学習や考古学の研究資料として有効に活用していく所存です。

最後になりましたが、調査に御指導・御協力いただきました、佐賀県教育委員会、九州農政局　筑後川下流農政水利事務所、佐賀県農林部、佐賀市土改良課、北川副土地改良区や地元のみなさんに深く感謝するしだいです。

平成４年３月

佐賀市教育委員会

教育長　山　田　清　人

# 例　　言

1．本書は干拓地等農地整備事業及び国営幹線排水路　徳永線建設に伴い、平成２年度に実施した阿高遺跡（Ｃ地区）、寺裏遺跡、梅屋敷遺跡の発掘調査報告書である。

2．調査は国庫補助金、佐賀県委託金、九州農政局負担金を受けて佐賀市教育委員会が実施した。

3．調査地の所在及び規模などは以下のとおり。

阿高遺跡

| | | | |
|---|---|---|---|
| 遺跡登録番号 | 2018・3111・4033・5113 | 遺跡略号 | ＡＤＫ－Ｃ |
| 調査地 | 佐賀市北川副町大字光法字阿高 | 開発面積 | 333,000㎡ |
| 調査対象面積 | 3057㎡ | 調査実施面積 | 3057㎡ |
| 遺跡調査番号 | 0208 | 調査期間 | 平成2年7月19日～平成2年9月20日 |

寺裏遺跡

| | | | |
|---|---|---|---|
| 遺跡登録番号 | 5115 | 遺跡略号 | ＴＥＲ |
| 調査地 | 佐賀市北川副町大字光法字角町 | 開発面積 | (333,000㎡) |
| 調査対象面積 | 755㎡ | 調査実施面積 | 755㎡ |
| 遺跡調査番号 | 0209 | 調査期間 | 平成2年9月21日～平成2年10月11日 |

梅屋敷遺跡

| | | | |
|---|---|---|---|
| 遺跡登録番号 | 5116 | 遺跡略号 | ＵＹＳ |
| 調査地 | 佐賀市北川副町大字光法字増田 | 開発面積 | (333,000㎡) |
| 調査対象面積 | 1662㎡ | 調査実施面積 | 1662㎡ |
| 遺跡調査番号 | 0210 | 調査期間 | 平成2年10月15日～平成2年11月14日 |

4．発掘作業・整理作業・報告書作成の分担は次のとおり。

表土除去　　有限会社　松尾工建

空中写真　　有限会社　空中写真企画

遺構実測　　朝日測量設計有限会社

　　福田義彦・式町幸子・新郷クニ子・横尾ます代・種浦加代子

遺構写真　　福田義彦

遺物写真　　福田義彦

遺物復元　　新郷クニ子・山口美枝子

遺物実測　　式町幸子・新郷クニ子・横尾ます代・種浦加代子

製図　　式町幸子・新郷クニ子・横尾ます代

5．調査記録及び出土遺物は、佐賀市文化財資料館（本庄町大字本庄１１２１番地）で一括保管している。巻末の収蔵品目録を参照されたい。

6．本書の執筆・編集は福田がこれにあたった。

# 目　　次


Ⅰ．序　　説 …… 1
　1．調査に至経過 …… 1
　2．調査の組織 …… 1

Ⅱ．遺跡の位置と環境 …… 1
　1．遺跡の位置 …… 1
　2．歴史的環境 …… 3

Ⅲ．調査の概要 …… 4
　1．阿高遺跡（c地区） …… 4
　2．寺裏遺跡 …… 4
　3．梅屋敷遺跡 …… 6

Ⅳ．阿高遺跡の記録 …… 6
　1．古墳時代の遺物と遺構 …… 6
　　(1) 井戸と出土遺物 …… 6
　　(2) 土壙と出土遺物 …… 12
　　(3) 不明遺構と出土遺物 …… 38
　　(4) 掘立柱建物 …… 38
　　(5) 溝と出土遺物 …… 41
　2．奈良時代の遺物と遺構 …… 44
　　(1) 井戸と出土遺物 …… 44
　3．近世の遺構と遺物 …… 45
　　(1) 井戸と出土遺物 …… 45
　　(2) 土壙と出土遺物 …… 54
　　(3) 溝と出土遺物 …… 59
　4．小　　結 …… 62

Ⅴ．寺裏遺跡の遺跡 …… 64
　1．古墳時代の遺物と遺構 …… 64
　　(1) 土壙と出土遺物 …… 67
　2．中世の遺物と遺構 …… 67
　　(1) 井戸と出土遺物 …… 67
　　(2) 土壙と出土遺物 …… 72
　　(3) 溝と出土遺物 …… 78
　3．近世の遺構と遺物 …… 79
　4．小　　結 …… 83

Ⅵ．梅屋敷遺跡の記録 …… 85
　(1) 井戸と出土遺物 …… 85
　(2) 土壙と出土遺物 …… 87
　(3) 掘立柱建物と出土遺物 …… 92
　(4) 溝と出土遺物 …… 95
　(5) その他の遺構と出土遺物 …… 97
　(6) 小　　結 …… 100

# 挿　図　目　次


| | | |
|---|---|---|
| Fig. 1 | 遺跡分布図（S＝1／25,000） | 2 |
| Fig. 2 | 遺跡周辺見取り図（S＝1／5,000） | 5 |
| Fig. 3 | SE016井戸実測図（S＝1／40） | 7 |
| Fig. 4 | SE016井戸出土遺物実測図（S＝1／4） | 7 |
| Fig. 5 | SE030井戸実測図（S＝1／40） | 8 |
| Fig. 6 | SE030井戸出土遺物実測図（S＝1／4） | 8 |
| Fig. 7 | SE071井戸実測図（S＝1／40） | 9 |
| Fig. 8 | SE071井戸出土遺物実測図（S＝1／4） | 9 |
| Fig. 9 | SE079井戸実測図（S＝1／40） | 9 |
| Fig. 10 | SE079井戸出土遺物実測図（S＝1／4） | 10 |
| Fig. 11 | SE103井戸実測図（S＝1／40） | 10 |
| Fig. 12 | SE103井戸出土遺物実測図（S＝1／4） | 11 |
| Fig. 13 | SE131井戸実測図（S＝1／40） | 11 |
| Fig. 14 | SE131井戸出土遺物実測図（S＝1／4） | 11 |
| Fig. 15 | SE141井戸実測図（S＝1／40） | 12 |
| Fig. 16 | SE141井戸出土遺物実測図（S＝1／4） | 12 |
| Fig. 17 | SK012土壙実測図（S＝1／40） | 12 |
| Fig. 18 | SK12土壙出土遺物実測図 | 13 |
| Fig. 19 | SK021土壙実測図（S＝1／40） | 13 |
| Fig. 20 | SK021土壙出土遺物実測図（S＝1／4） | 14 |
| Fig. 21 | SK023土壙実測図（S＝1／40） | 14 |
| Fig. 22 | SK023土壙出土遺物実測図（S＝1／4） | 14 |
| Fig. 23 | SK055土壙実測図（S＝1／40） | 15 |
| Fig. 24 | SK023土壙出土遺物実測図（S＝1／4） | 15 |
| Fig. 25 | SK055土壙実測図（S＝1／40） | 16 |
| Fig. 26 | SK059土壙出土遺物実測図 (1)（S＝1／4） | 17 |
| Fig. 27 | SK059土壙出土遺物実測図 (2)（S＝1／4） | 18 |
| Fig. 28 | SK060土壙実測図（S＝1／40） | 18 |
| Fig. 29 | SK060土壙出土遺物実測図（S＝1／4） | 18 |
| Fig. 30 | SK061土壙実測図（S＝1／40） | 19 |

Fig.３１　ＳＫ０６１土壙出土遺物実測図 (2)（Ｓ＝１／４）…… １９
Fig.３２　ＳＫ０８４土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ２０
Fig.３３　ＳＫ０８４土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ２０
Fig.３４　ＳＫ０８８土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ２０
Fig.３５　ＳＫ０８８土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ２１
Fig.３６　ＳＫ０８８土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ２２
Fig.３７　ＳＫ０９０土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ２３
Fig.３８　ＳＫ０９０土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ２３
Fig.３９　ＳＫ０９６土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ２４
Fig.４０　ＳＫ０９６土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ２４
Fig.４１　ＳＫ０９７土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ２４
Fig.４２　ＳＫ０９７土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ２５
Fig.４３　ＳＫ０９８土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ２６
Fig.４４　ＳＫ０９８土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ２７
Fig.４５　ＳＫ０９９土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ２８
Fig.４６　ＳＫ０９９土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ２８
Fig.４７　ＳＫ１０６土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ２９
Fig.４８　ＳＫ１０６土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ３０
Fig.４９　ＳＫ１０６土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ３０
Fig.５０　ＳＫ１０８土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ３０
Fig.５１　ＳＫ１０８土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ３０
Fig.５２　ＳＫ１１０・１１１土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ３２
Fig.５３　ＳＫ１１０・１１１土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ３３
Fig.５４　ＳＸ０８１実測図（Ｓ＝１／４０）…… ３４
Fig.５５　ＳＸ０８１出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ３５
Fig.５６　ＳＸ０８１出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ３６
Fig.５７　ＳＸ０８１出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ３７
Fig.５８　ＳＢ０９４掘立柱建物実測図（Ｓ＝１／６０）…… ３９
Fig.５９　ＳＢ０９４掘立柱建物出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ４０
Fig.６０　ＳＢ０９５掘立柱建物実測図（Ｓ＝１／６０）…… ４０
Fig.６１　ＳＢ０９５掘立柱建物出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ４０
Fig.６２　ＳＤ００３・０２２溝出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ４１
Fig.６３　ＳＤ１２１溝出土遺物実測図 (1)（Ｓ＝１／４）…… ４２

Fig.64　ＳＤ１２１溝出土遺物実測図 (2)（Ｓ＝１／４）…… ４３
Fig.65　ＳＥ１３４井戸実測図（Ｓ＝１／４０）…… ４４
Fig.66　ＳＥ１３４井戸出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ４４
Fig.67　ＳＥ００５井戸実測図（Ｓ＝１／４０）…… ４５
Fig.68　ＳＥ００５井戸出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ４６
Fig.69　ＳＥ００７井戸実測図（Ｓ＝１／４０）…… ４６
Fig.70　ＳＥ００７井戸出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ４６
Fig.71　ＳＥ００９井戸実測図（Ｓ＝１／４０）…… ４７
Fig.72　ＳＥ００９井戸出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ４７
Fig.73　ＳＥ０１８井戸実測図（Ｓ＝１／４０）…… ４８
Fig.74　ＳＥ０１８井戸出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ４８
Fig.75　ＳＥ０２４井戸実測図（Ｓ＝１／４０）…… ４８
Fig.76　ＳＥ０２４井戸出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ４９
Fig.77　ＳＥ０２６井戸実測図（Ｓ＝１／４０）…… ４９
Fig.78　ＳＥ０２６井戸出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ４９
Fig.79　ＳＥ０２７井戸実測図（Ｓ＝１／４０）…… ５０
Fig.80　ＳＥ０２７井戸出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ５０
Fig.81　ＳＥ０２９井戸実測図（Ｓ＝１／４０）…… ５０
Fig.82　ＳＥ０２９井戸出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ５１
Fig.83　ＳＥ０４５井戸実測図（Ｓ＝１／４０）…… ５１
Fig.84　ＳＥ０４５井戸出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ５１
Fig.85　ＳＥ０６４井戸実測図（Ｓ＝１／４０）…… ５２
Fig.86　ＳＥ０６４井戸出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ５２
Fig.87　ＳＥ０７２井戸実測図（Ｓ＝１／４０）…… ５３
Fig.88　ＳＥ０７２井戸出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ５３
Fig.89　ＳＥ０７４井戸実測図（Ｓ＝１／４０）…… ５３
Fig.90　ＳＥ０７４井戸出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ５３
Fig.91　ＳＫ０１９土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ５４
Fig.92　ＳＫ０１９土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ５４
Fig.93　ＳＫ０２０土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ５５
Fig.94　ＳＫ０２０土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ５５
Fig.95　ＳＫ０３４土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ５５
Fig.96　ＳＫ０３４土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ５５

Fig.９７　ＳＫ０４０・０４１土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ５５
Fig.９８　ＳＫ０４０・０４１土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ５６
Fig.９９　ＳＫ０４２土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ５６
Fig.１００　ＳＫ０４２土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ５６
Fig.１０１　ＳＫ０４５土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ５７
Fig.１０２　ＳＫ０４５土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ５７
Fig.１０３　ＳＫ０７３土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ５８
Fig.１０４　ＳＫ０７３土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ５８
Fig.１０５　ＳＫ０９３土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ５８
Fig.１０６　ＳＫ０９３土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ５８
Fig.１０７　ＳＫ１０７土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ５９
Fig.１０８　ＳＫ１０７土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ５９
Fig.１０９　ＳＤ００１・００２溝出土遺物（Ｓ＝１／４）…… ６０
Fig.１１０　ＳＤ０５８溝出土遺物（Ｓ＝１／４）…… ６１
Fig.１１１　ＳＤ０６２溝出土遺物（Ｓ＝１／４）…… ６２
Fig.１１２　ＳＫ０１８土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ６４
Fig.１１３　ＳＫ０１８土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ６４
Fig.１１４　ＳＫ０３０土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ６４
Fig.１１５　ＳＫ０３０土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ６５
Fig.１１６　ＳＫ０４１土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ６６
Fig.１１７　ＳＫ０４１土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ６６
Fig.１１８　ＳＸ０３６実測図（Ｓ＝１／４０）…… ６６
Fig.１１９　ＳＥ０１２井戸実測図（Ｓ＝１／４０）…… ６７
Fig.１２０　ＳＥ０１２井戸出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ６７
Fig.１２１　ＳＥ０２０井戸実測図（Ｓ＝１／４０）…… ６８
Fig.１２２　ＳＥ０２０井戸出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ６８
Fig.１２３　ＳＥ０２１井戸実測図（Ｓ＝１／４０）…… ６８
Fig.１２４　ＳＥ０２１井戸出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ６８
Fig.１２５　ＳＥ０２５井戸実測図（Ｓ＝１／４０）…… ６９
Fig.１２６　ＳＥ０２５井戸出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ６９
Fig.１２７　ＳＥ０２９井戸実測図（Ｓ＝１／４０）…… ７０
Fig.１２８　ＳＥ０２９井戸出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ７０
Fig.１２９　ＳＥ０３５井戸実測図（Ｓ＝１／４０）…… ７０

Fig.１３０　ＳＥ０３５井戸出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ７１
Fig.１３１　ＳＥ０４０井戸実測図（Ｓ＝１／４０）…… ７１
Fig.１３２　ＳＥ０４０井戸出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ７１
Fig.１３３　ＳＥ０４５井戸実測図（Ｓ＝１／４０）…… ７１
Fig.１３４　ＳＥ０４５井戸出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ７１
Fig.１３５　ＳＥ０４６井戸実測図（Ｓ＝１／４０）…… ７２
Fig.１３６　ＳＥ０４６井戸出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ７２
Fig.１３７　ＳＫ０４６土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ７２
Fig.１３８　ＳＫ０４６土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ７２
Fig.１３９　ＳＫ００６土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ７３
Fig.１４０　ＳＫ００６土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ７３
Fig.１４１　ＳＫ００７土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ７４
Fig.１４２　ＳＫ００７土壙出土遺物実測図　（Ｓ＝１／４）…… ７５
Fig.１４３　ＳＫ００７土壙出土遺物実測図　（Ｓ＝１／４）…… ７６
Fig.１４４　ＳＫ００７土壙出土遺物実測図　（Ｓ＝１／４）…… ７７
Fig.１４５　ＳＫ０３８土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ７８
Fig.１４６　ＳＫ０４２土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ７８
Fig.１４７　ＳＫ０４２土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ７８
Fig.１４８　ＳＤ０１３・０４８溝出土遺物（Ｓ＝１／４）…… ７９
Fig.１４９　ＳＪ０５８火葬墓・ＳＰ０６９土壙墓実測図（Ｓ＝１／４０）…… ８０
Fig.１５０　ＳＪ０５８火葬墓出土遺物実測図（Ｓ＝１／４・１／８）…… ８０
Fig.１５１　ＳＪ０５９火葬墓実測図（Ｓ＝１／４０）…… ８０
Fig.１５２　ＳＪ０５９火葬墓出土遺物実測図（Ｓ＝１／４・１／８）…… ８１
Fig.１５３　ＳＪ０５９火葬墓ＳＰ０７０木棺墓・ＳＫ０５７土壙実測図（Ｓ＝１／４０）
…… ８１
Fig.１５４　ＳＪ０６８火葬墓出土遺物実測図（Ｓ＝１／８）…… ８２
Fig.１５５　ＳＰ０６２木棺墓実測図（Ｓ＝１／４０）…… ８２
Fig.１５６　ＳＰ０６８木棺墓出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ８２
Fig.１５７　ＳＥ００９井戸実測図（Ｓ＝１／４０）…… ８５
Fig.１５８　ＳＥ００９井戸出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ８５
Fig.１５９　ＳＥ０１４井戸実測図（Ｓ＝１／４０）…… ８６
Fig.１６０　ＳＥ０１４井戸出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ８６
Fig.１６１　ＳＫ００１土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ８７

Fig.１６２　ＳＫ００１土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ８７
Fig.１６３　ＳＫ００１土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ８８
Fig.１６４　ＳＫ００１土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ８８
Fig.１６５　ＳＫ００６土壙実測図（Ｓ＝１／４０　）…… ８８
Fig.１６６　ＳＫ００６土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ８８
Fig.１６７　ＳＫ００７土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ８９
Fig.１６８　ＳＫ００７土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ８９
Fig.１６９　ＳＫ０２５土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ８９
Fig.１７０　ＳＫ０２５土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ８９
Fig.１７１　ＳＫ０２９土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ９０
Fig.１７２　ＳＫ０２９土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ９０
Fig.１７３　ＳＫ０３５土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ９０
Fig.１７４　ＳＫ０３５土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ９０
Fig.１７５　ＳＫ０３４土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ９１
Fig.１７６　ＳＫ０３４土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ９１
Fig.１７７　ＳＫ０４１・０４２土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ９１
Fig.１７８　ＳＫ０４１・０４２土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ９１
Fig.１７９　ＳＫ０４５土壙実測図（Ｓ＝１／４０）…… ９２
Fig.１８０　ＳＫ０４５土壙出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ９２
Fig.１８１　ＳＢ０１８掘立柱建物実測図（Ｓ＝１／６０）…… ９３
Fig.１８２　ＳＢ０１８掘立柱建物出土遺物実測図（Ｓ＝１／４）…… ９２
Fig.１８３　ＳＢ０２８掘立柱建物実測図（Ｓ＝１／６０）…… ９４
Fig.１８４　ＳＤ０１５・０２０・０２３・０２４溝出土遺物（Ｓ＝１／４）…… ９６
Fig.１８５　ＳＤ００５・０１１溝出土遺物（Ｓ＝１／４）…… ９６
Fig.１８６　ＳＤ０１２・０１３・０２２溝出土遺物（Ｓ＝１／４）…… ９７
Fig.１８７　ＳＸ０３６出土遺物 (1)（Ｓ＝１／４）…… ９８
Fig.１８８　ＳＸ０３６出土遺物 (2)（Ｓ＝１／４）…… ９９
Fig.１８９　阿高遺跡（Ｃ地区）遺構配置図 …… １０１
Fig.１９０　寺裏遺跡遺構配置図 …… １０４
Fig.１９１　梅屋敷遺跡遺構配置図 …… １０７

# 凡　　例

1．遺構については略記号を用いる。調査遺跡毎に重複しない連番号をつけ、番号の前に遺構分類記号をつけた。分類は以下のとおり。

| | | | |
|---|---|---|---|
| ＳＢ：掘立柱建物 | ＳＤ：溝 | ＳＥ：井戸 | ＳＫ：土壙 |
| ＳＰ：土壙墓 | ＳＪ：甕棺墓 | ＳＸ：不明遺構 | Ｐ：小穴 |

2．原則として、遺構の測定値はｍ単位、遺物のそれは㎠単位とした。

3．表示した方位は、すべて座標北（Ｇ．Ｎ．）である。

4．土器類の実測図のうち、断面白ヌキのものは土師器、瓦器、陶磁器，黒ヌキのものは須恵器としている。

5．出土遺物の保存状況の表現は、「完存」を破損の認められないものとし、「完形」を破片の復元によって完形状態となるものとした。

6．原則として、遺物の実測図は縮尺1／4としている。

# Ⅰ．序　　説

## 1．調査にいたる経過

平成2年度の北川副地区における農業基盤整備事業は33.3haという広範囲で施工計画がなされた。これに先立ち、平成元年11月に当該地区の埋蔵文化財の確認調査を実施した。調査は掘削計画にある水路予定地を中心に行なった。試掘坑は基本的には掘削機で設定し、掘削機搬入不可箇所は人力によった。この調査の結果5,474㎡の範囲で遺跡を検出した。この調査を基に九州農政局　筑後川下流農政水利事務所、佐賀県農林部、佐賀県文化課（現文化財課）、佐賀市土地改良課、佐賀市教育委員会の５者で埋蔵文化財の保護に関する協議を実施した。その結果、遺跡検出部分が水路と舗装道路計画であったので5,474㎡すべてについて発掘調査を実施することになった。

遺跡は３箇所に分かれ、東から阿高遺跡（Ｃ地区）、寺裏遺跡、梅屋敷遺跡となっている。発掘調査は平成2年7月19日から開始し11月14日に終了した。出土遺物の整理作業及び発掘調査報告書は佐賀市文化財資料館で行った。

## 2．調査の組織

調査主体　　佐賀市教育委員会

| ［平成元・２年度］ | | ［平成３年度］ | |
|---|---|---|---|
| 事務局　教育委員会 | 社会教育課 | 事務局　教育委員会 | 文化課 |
| 社会教育課長 | 古川靖邦 | 文化課長 | 中野和彦 |
| 課長補佐兼文化係長 | 中野和彦 | 文化係長 | 野口義通(庶務担当) |
| 事務吏員 | 甲木亮一(庶務担当) | 事務吏員 | 甲木亮一(庶務担当) |
| | 福田義彦(試掘・調査担当) | 文化財係長 | 福田義彦(報告書担当) |

発掘作業員　　江口ヒロコ、新郷寿美枝、横尾ます代、木下芳子、緒方春子、小林スミ子、渡瀬カズ子、志岐文子、種浦加代子、内田清子、緒方久枝、横尾ミツヨ、角田純子、西村トシ子、坂井初代、坂井佐津美、中島淑江、園田日出子、江下和子、宮地富士子、山田久子、大宝美津子、園田麗子、酒見節子、千住照代、藤崎美津子、式町幸子、中島美佐子、新郷クニ子、

調査協力　　佐賀県教育委員会、佐賀県農林部、九州農政局筑後川下流事務所、佐賀市土地改良課、北川副土地改良区、地元各位

# Ⅱ. 遺跡の位置と環境

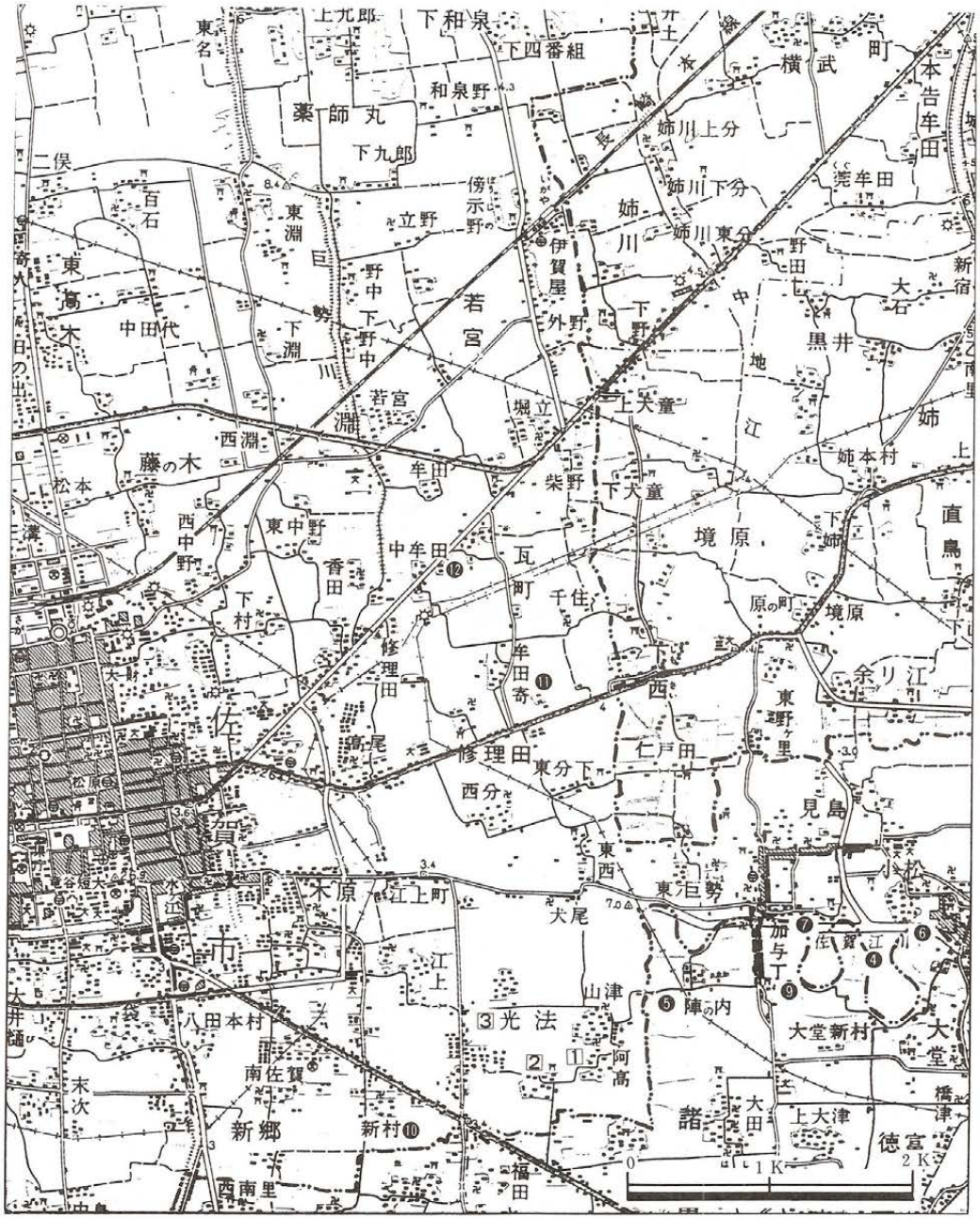



Fig. 1　遺跡分布図

## 1．遺跡の位置

佐賀市は佐賀県の東南部に位置し、東は神埼・千代田・諸富町、西は大和町と接している。市の北部には脊振山系が連なっており、その南麓には舌状丘陵が形成され、それより南は沖積平野が広がり、有明海に至る。以下に記述する阿高遺跡、寺裏遺跡、梅屋敷遺跡は、前述沖積平野の南部にあって平均標高2.5mを測る水田下に所在する。

遺跡の北方約2.5mには佐賀市域の排水河川である佐賀江がある。この江湖は潮汐の影響をうけ、ほとんど高低さの無い平地を西から東へ流れ筑後川に注いでいる。また、周辺には佐賀平野特有のクリークが縦横に走っている。遺跡はこのような平野の中に点在する集落を中心に島状に広がっている。

## 2．歴史的環境

佐賀市域の遺跡は佐賀県遺跡分布図では北部山麓の金立・久保泉町にその大半が集中し市域南部には遺跡があまり存在しないものとされている。しかし、昭和59年度以来、新発見の遺跡が相次いでいる。本書収録の遺跡以外では[注1]蓮池上天神遺跡(蓮池町、昭和59年度発見)、[注2]瓦町遺跡(兵庫町、平成元年度発見)、[注3]忠兵衛屋敷遺跡(兵庫町、平成３年度発見)がある。これらの遺跡は弥生時代の所産、弥生時代～中世の所産、中世のみの所産と様々な内容であるが、各時代の生活圏を検討する上で重要な資料となっている。このように市域南部では新遺跡の発見が増加しているといっても、全体的に見れば遺跡の密度は低い地域である。しかし、同町に接する佐賀郡諸富町では、周知されている遺跡も多く、発掘された遺跡としては唐人廟遺跡、土師本村遺跡、太田本村遺跡、畑田遺跡、加与丁野村遺跡、村中角遺跡、三重櫟ノ木遺跡、徳富権現堂遺跡等が報告されている。このような諸富町の遺跡分布状況から考えると、同町に接している市域南部でも今後新たな遺跡が発見されるものと考える。

〔 注 〕

注１．佐賀江川激甚災害対策特別緊急工事に係る埋蔵文化財発掘調査報告書

注２．佐賀市文化財調査報告書第41集

注３．農業基盤整備事業に伴う確認調査で発見。調査は平成５年度に計画

# Ⅲ. 調査の概要

## 1．阿高遺跡（C地区）

発掘調査は調査区北端から機械力による表土除去に着手した。この地区の基盤は南高北低となっており、遺構密度もそれに従う。土層は北部と南部ではその堆積状況に差異が認められる。北部（SD058以北）では15～20cmの耕作土下に50～60cmの淡褐色を基調とする土層があり、その下に淡茶灰色粘質土が存在する。この土層面で遺構を明確に検出したが元来の掘り込み面は10～15cm程度上面と考える。この地域以北は平成元年度の確認調査により遺跡が存在しないことが明確となっているので、今回の調査区北端が阿高遺跡の広がりの北西端になるものと判断する。調査区南部域では10～15cmの耕作土下に５～10cm程度の黒褐色土があり、それを除去すると遺構検出面に至る。遺構検出面は淡黄褐色粘質土であった。

表土除去後調査区前面に5m方眼測量杭を国土座標第Ⅱ系を基準として設定し、人力による掘削及び記録作業に着手した。これらの工程は後述する寺裏遺跡、梅屋敷遺跡も同様である。

遺構埋土はSD058が黒褐色、それ以外のものが黒色又は黒褐色を呈し表土掘削時点での掘り込みラインは比較的明瞭であったが、市域南部に普遍的に広がる粘土質土壌は、夏期の乾燥により全体が同一色と化し、遺構検出が難航した。

遺構・遺物は古墳時代・奈良～平安時代・中世のもに大別される。古墳時代の遺構としては土壙・井戸・溝・掘立柱建物等がある。出土遺物には土師器・須恵器がある。同地区ではこの時代の遺物の出土量が最も多い。これらの遺物は上記の遺構からその大半が出土しているが、遺構掘り込みラインがほとんど検出できず、土師器（手捏・高杯・小型丸底坩・甕）を多数検出した部分もある。これらの遺物の性格から考えて浅い掘り込み又はレンズ状の窪み内で何らかの祭祀行為があり、その部分が後世の撹乱によって不明瞭になっているものと考える。奈良～平安時代の遺構として井戸がある。出土遺物には須恵器（長頸壷）がある。この時期の遺物・遺構が最も少ない。中世の遺物・遺構に井戸・溝・土壙がある。これらの遺構はその大半が前述のSD058溝以南に所在する。中世に営まれた環濠集落の可能性を有するが、溝の調査が一部分であったため確定できない。出土遺物には土師器・瓦器・磁器（輸入磁器）を検出した。

## 2．寺裏遺跡

発掘調査は調査区東端から機械力による表土除去に着手した。この地区の基盤は概ね地表下30～50cmにあり、淡黄褐色砂混じりの土壌を基調とするものである。埋土は耕作土下に黒褐色を基調とする土壌があり、西に行くに従い淡黒褐色化し砂粒も増す。遺構密度は東半部が高く西端は遺物包含層のみであった。遺構はT字形を呈する調査区の東半が古墳時代から中世、南部が近世の所産であった。遺構埋土は古墳時代のものが黒色、中世のものが黒褐色又は淡黒褐色、近世のものが淡茶褐色を基調するものである。

Fig. 2　遺跡周辺見取図

遺構の種類には古墳時代のものとして土壙・溝、中世のものとして井戸・土壙・溝・小穴、近世のものとして墓がある。出土遺物は土師器・瓦器・陶器・磁器・キセル・銅銭などがある。

この遺跡は北川副町大字光法字角町を中心に広がる遺跡と考えられ、今次調査区はその北端に位置する。検出遺構の中で古墳時代・中世のものは阿高遺跡でも検出している。阿高遺跡では古墳時代にものが多く、当遺跡では中世を主体としている。これか両遺跡の間に所在する南北方向のクリークや、寺裏遺跡に接する西の宮社の創建と何らかの関わりがあるものと考える。

### 3．梅屋敷遺跡

本遺跡は四方をクリークで囲まれ、島状になっている部分にある。この地のほぼ中央に東西方向の水路が計画されたのでその部分のみの調査であったが、島状地全体が中世～近世にかけて営まれた館跡と考える。調査は掘削機により西方から表土除去に着手した。基本土層は15～20cmを測る耕作土下に30～35cmを測る淡黒褐色土があり淡黄褐色の遺構検出面に至る。中央部分の土層識別がかなり困難であったが、その部分は埋め立てたと地元から聴取した。島状のこの地の北辺が南部に湾曲しているのがその名残であろう。遺構検出面の土壌は粘土質であったが、阿高遺跡のそれよりもはるかに作業の容易な土質であった。遺構埋土の色調は黒色又は淡黒褐色を基調とするものであった。

検出遺構には溝・土壙・掘立柱建物・小穴等がある。溝は5条検出したが調査区が限られておりその性格は不明。ただし、調査区中央部に検出した上面幅5～6mを測るものは前述の埋め立てられた溝である。土壙は不定形のものでその性格は明らかにできなかった。掘立柱建物はこの溝の東西に確実なものとしては各1棟検出した。

# Ⅳ．阿高遺跡の記録

### 1．古墳時代の遺構と遺物

#### (1) 井戸と出土遺物

調査区南半に集中している。上面の平面形は円形を基調とし、素掘の一段掘りのものである。埋土上層は黒色を呈するものが大半を占める。後述する土壙と見紛うものもあるが、深さや堆積状況、断面の形態などを考慮し分類した。

**ＳＥ０１６井戸**　(Fig. 3)

Ｂ－22グリッドの南部にあって、上面の平面形は円形を基調とする。西側の突出は他の遺構と切れ合っているものと考える。掘り込み面で東西径1.24m、深さは中央部で1.56mを測る。底面は船底状を呈し、壁は角度をもって立ち上がる。埋土は上層が黒色、下層が黒褐色を呈す。

主な出土遺物には土師器(長頸壷・手捏・甕)、須恵器(杯・提瓶)などがある。

**ＳＥ０１６井戸出土遺物**（Fig. 4）

1・2は須恵器杯。復元口径11.9・12.8cm。器面の内外に残る調整はヨコナデ。3は手捏。口径3.4cm、器高2cm。調整はナデと指頭圧による。4は長頸壷。残存高14.2cm。頸部内面から外面にかけてヘラミガキがほどこされている。

**ＳＥ０３０井戸**（Fig. 5）

D～E-17グリッドの中央にあって、上面の平面形は円形を基調とする。東西径1.17m深さ1.3mを測る。埋土は3層に大別される。上層から黒褐色、黒色、黒褐色(粘土ブロック)の順。主な出土遺物は土師器杯、甕等とともに土製鏡、土製勾玉、土製円盤等祭祀に関連するものが多い。井戸を埋めるための祭祀が行なわれたのであろう。

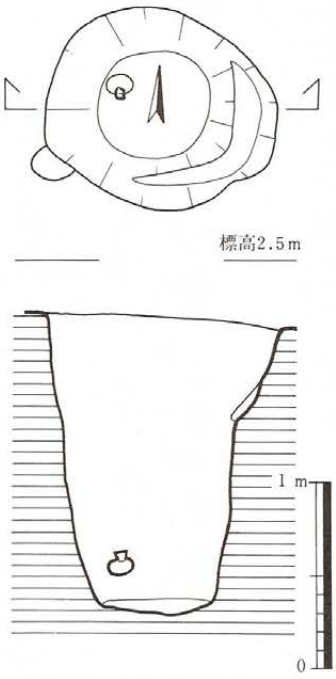


Fig.3 SE016井戸実測図(S＝1／40)

**ＳＥ０３０井戸出土遺物**(Fig. 6)

5は須恵器杯。口径11.1cm、器高3.6cm、外面底部に回転ヘラケズリを有する。6は土師器杯。口径14.5cm、器高4.6cm。内外面共ナデ及びヨコナデ。7・8は土師器杯蓋。口径14.1・14.0。7は内外面共にヘラミガキを基調とし8は内面ヘラミガキ、外面ナデとヘラケズリを施している。9は須恵器甕。口径19.0cm、外面肩部にタタキが残っている。10は土師器甕。口径12.8cm、調整は口縁部内外面回転ヨコナデ、胴部外面ハケ目、内面ヘラケズリによる。外面全体にススが不着している。16•17•18は土製勾玉。16•17は子持ち勾玉。長さ4.9・5.4・4.4cm、幅1.5・2.45・0.8cm。19•20は土製円盤。幅5.5・4.5cm、厚さ1.2・1.35cm。21は土製鏡。長さ3.1cm、幅3.3cm、厚さ1.3cm。つまみあげによって鈕を作り上げている。

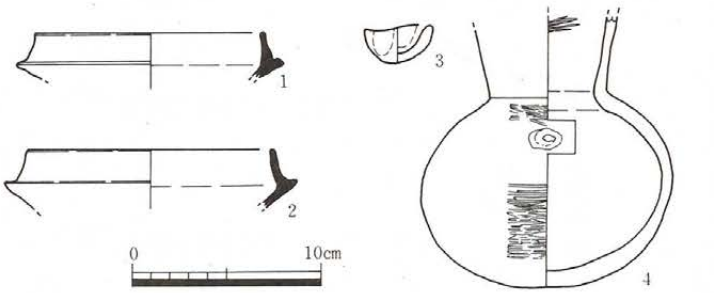


Fig. 4　SE016井戸出土遺物実測図（S=1／4）

**ＳＥ０７１井戸**（Fig. 7）

D～E－23グリッドの東南にあって、上面の平面形は円形を基調とする。東西径1.5m深さ1.3mを測る。底部にはわずかな起伏があり、壁は比較的角度をもって立ち上がる。埋土

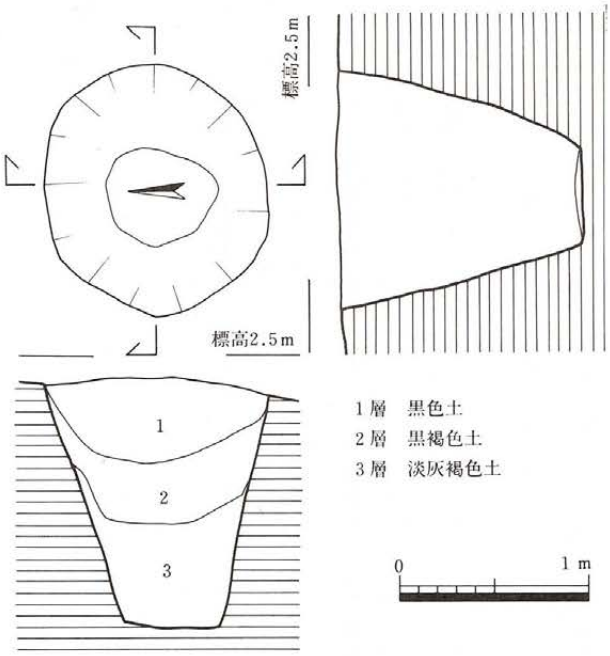



Fig. 5　SE030井戸実測図(S＝1／40)

は黒色土、黒褐色土からなる。主な出土遺物には土師器(杯・甕・壷)などがある。

**ＳＥ０７１井戸出土遺物**　(Fig. 8)

22は黒色土器の杯。口径12.3cm、残存器高3.2cm。調整は器面の剥離が進んでいるので明確ではないが、口縁部内外面は回転ヨコナデによる。23は土師器杯。口径13.35cm、残存器高3.3cm。24は須恵器杯。口径14cm、器高4.4cm。外面下部の調整は回転ヘラケズリによる。25は土師器壷。口径11.4cm、器高13cm。頸部はわずかに縊れ、口縁部は短く、角度をもって立ち上がる。調整は口縁部内外面共にヨコナデ、胴部外

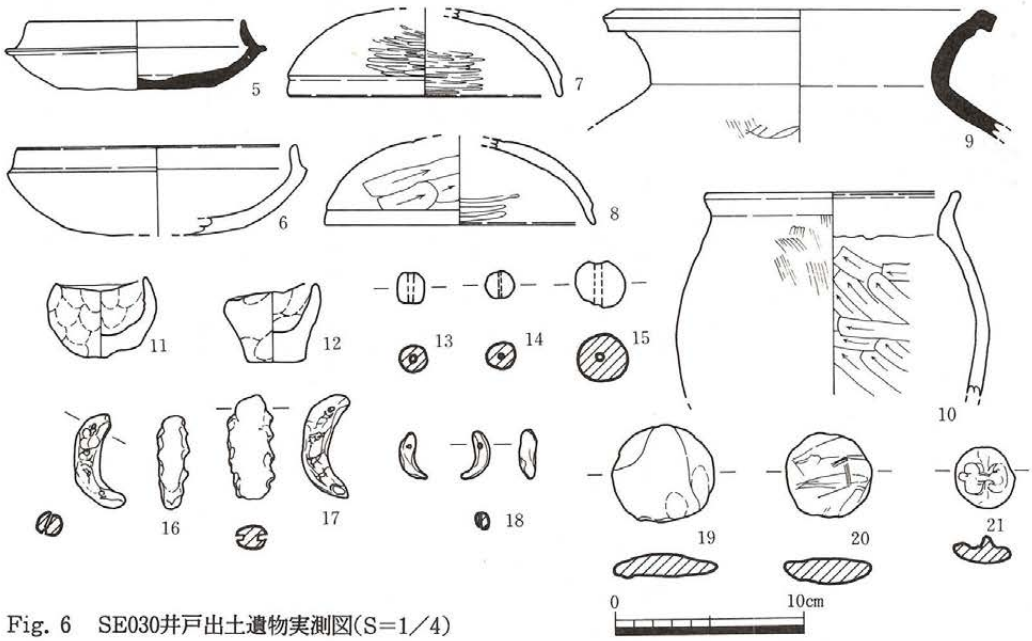



Fig. 6　SE030井戸出土遺物実測図(S＝1／4)

面が工具によるナデ、内面が指頭又は工具によるナデによっている。

**ＳＥ０７９井戸**　(Fig. 9)

Ｅ－19グリッドの北東部にあって、上面の平面形は南北に長い楕円形を呈する。南北長1.5m，東西長1.1m深さ1.3mを測る。西辺の切り合い関係は当遺構が新。埋土は黒色、黒褐

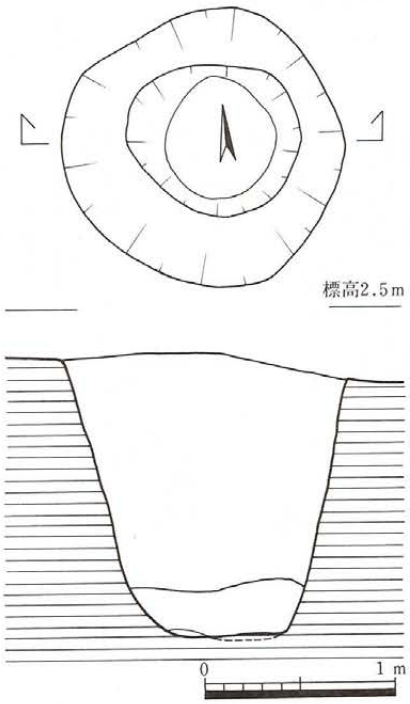



Fig. 7　SE071井戸実測図(S＝1／40)

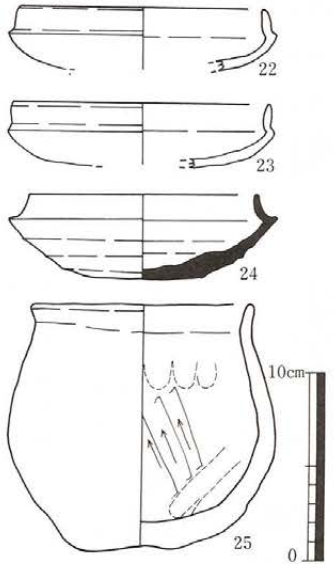



Fig. 8　SE071井戸出土遺物実測図
(S=1／4)

色、淡黒褐色土から成る。主な出土遺物には土師器(杯・高坏・甕)がある。

**ＳＥ０７９井戸出土遺物**(Fig. 10)

26•27は須恵器杯蓋。口径12.8•14cm、器高4.5cm•3.2cm。調整は回転ヨコナデ、ナデ、及び天部部外面の回転ヘラケズリによる。28は須恵器杯身。口径12.6cm、器高4.9cm。29は土師器甕。口径14.9cm、残存高21.4cm。体部は楕円形を呈し口縁部は短く外反する。調整は外面がナデと荒いクシ目、ヨコナデ、内面がヘラケズリとヨコナデによる。内面に炭化物、外面に煤が付着している。30は須恵器の壷の脚部か。脚径12cm、残存高5.1cm。31は土製支脚。長さ30cm、幅6.3cm、厚さ5.2cm。一部に煤が付着している。

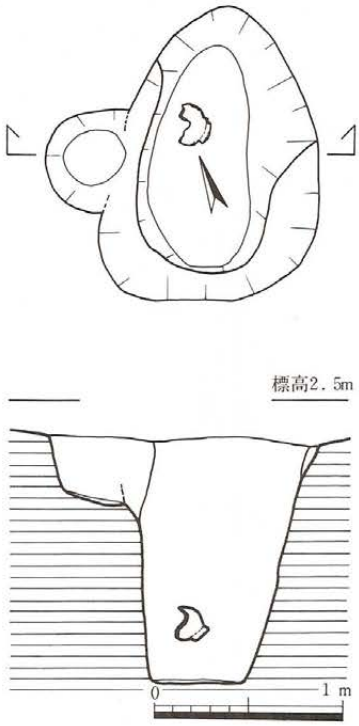



Fig. 9　SE079井戸実測図(S＝1／40)

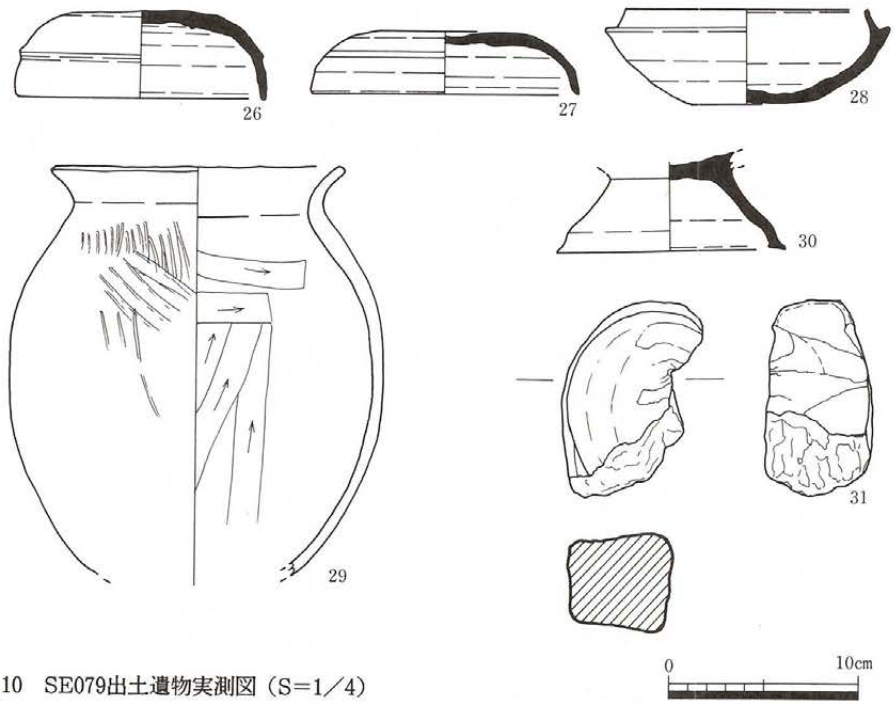



Fig. 10　SE079出土遺物実測図（S＝1／4）

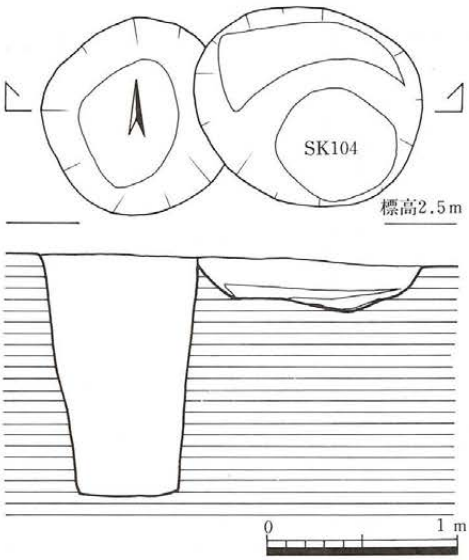



Fig. 11　SE103井戸実測図（S＝1／40）

**ＳＥ１０３井戸**　(Fig. 11)

ｃ－9グリッドにあって、ＳＫ104に切られている。面の平面形は円形を基調する。南北径1.05m、深さ1.3ｍを測る。埋土は黒色、黒褐色を基調とする。主な出土遺物には土師器（小型丸底坩・甕・手捏・土製鏡・高杯）がある。

**ＳＥ１０３井戸**　出土遺物(Fig. 12)

32•33は小型丸底坩。口径8.35•9.2cm、器高9.4•10.3cm。主な調整はハラケズリ、ヨコナデ、ハケ目。34は甕。口径24.5cm、残存高11.5cm。胴部外面にはハケ目が残る。35は手捏。口径８cm、器高4.4cm、底径3.3cm。外面は工具によるナデが施されている。36は土製鏡。残存長3.2cm。37•38は高杯の脚部。脚径11.9•12.4cm。裾部にハケ目が残る。

**ＳＥ１３１井戸**　(Fig. 13)

Ｅ－８グリッドにあって、ＳＤ121と切りあっている。南北径1.05cm、検出深さ0.8cm。埋土は黒色土、淡褐色土から成る。主な出土遺物には須恵器(杯)、土師器(高杯・甕)等がある。

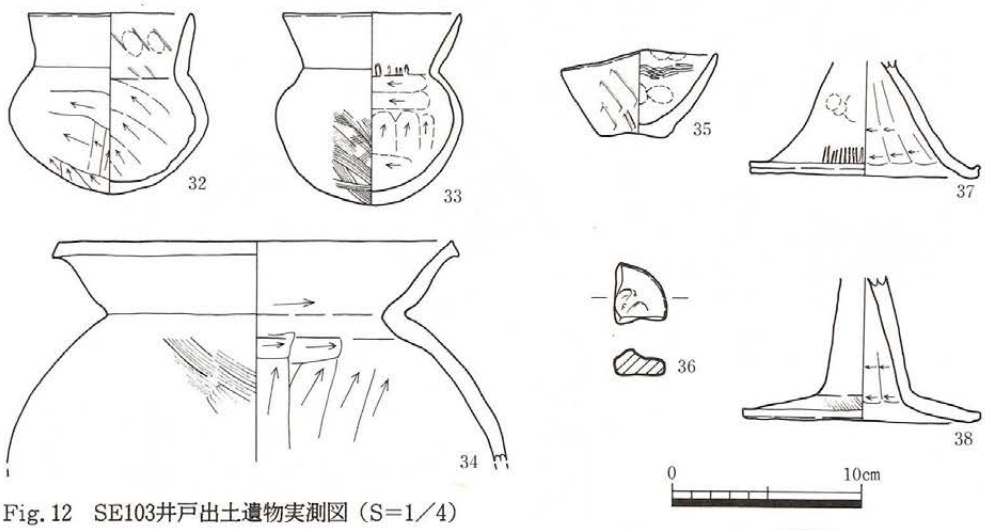



Fig. 12　SE103井戸出土遺物実測図（S＝1／4）

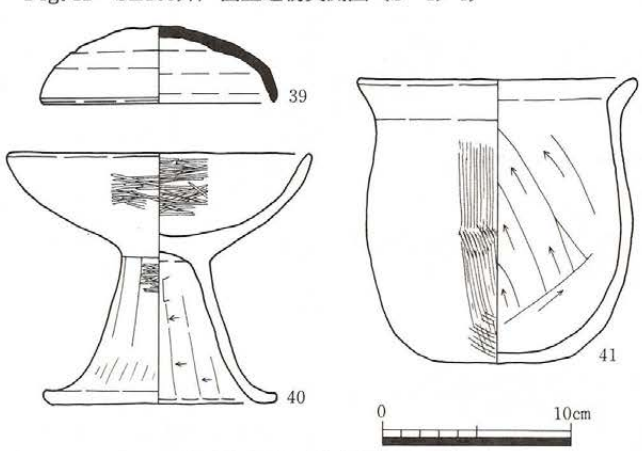



Fig. 14　SE131井戸出土遺物実測図(S＝1／4)

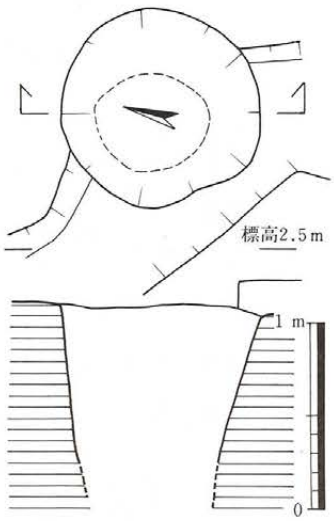



Fig. 13　SE131井戸(S＝1／40)

**ＳＥ１３１井戸**　出土遺物(Fig. 14)

39は須恵器杯。口径12cm、器高４cm。天井部外面には回転ヘラケズリが施されている。40は土師器高杯。杯部径15.6cm、器高11.2cm、脚部径11cm。杯部は内外面共にヘラミガキが、脚部はヘラケズリ、ヘラによるナデが施されている。41は土師器甕。口径14.3cm、器高15cm。主な調整は外面、ナデ、ハケ目，内面ヘラケズリ、ヨコナデによる。

**ＳＥ１４１井戸**　(Fig. 15)

C•D-18-19グリッドにあって、ＳＸ142、２個の小穴と切りあっている。上面の平面形は楕円形を呈するが、元来円形を基調としたものであろう。中心部で南北1.35m、深さ1.73mを測る。埋土は黒色土、淡褐色土から成る。遺物は土師器を小量検出した。図化できたのは１点のみであった。

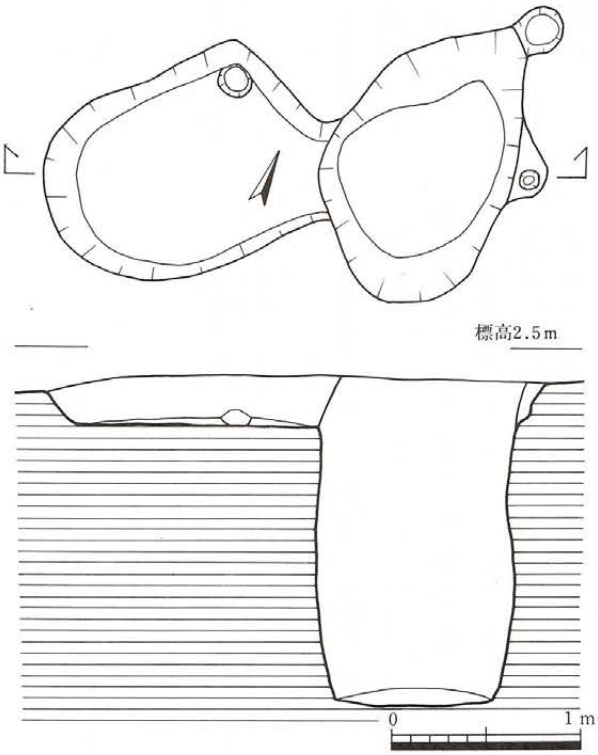



Fig. 15　SE141井戸実測図(S＝1／40)

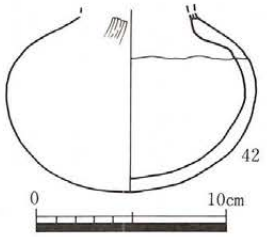



Fig. 16 SE141
井戸出土遺物実測図(S＝1／4)

**ＳＥ１４１井戸**　出土遺物(Fig. 16)

42は土師器壷。残存高9.4cm。内面には輪積痕が残る。調整はナデとハケ目による。

### (2)　土壙と出土遺物

調査区南半に集中する。規格性を有するものはない。ほとんどのものが不定型を呈する。出土遺物の中には、手捏、小型丸底坩などがあり、明らかに何らかの祭祀行為があったとおもわれるものがある。

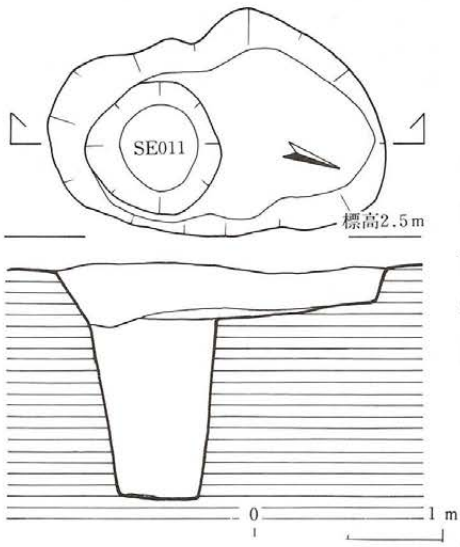



Fig. 17　SK012土壙実測図(S＝1／40)

**ＳＫ０１２土壙**　(Fig. 17)

E－12グリッドの南東部にあり、SE011井戸と切り合っている。切り合い関係は明らかにできなかったが、両者共あまり時代を隔てないじ時期に掘削されている。上面の平面形は南北に長い楕円形を呈し、南北長1.76m、深さ0.28mを測る。埋土は黒色土、淡褐色土から成る。主な出土遺物には土師器（二重口縁壷・甕）などがある。

**ＳＫ０１２土壙出土遺物**　(Fig. 18)

43•44•45は土師器甕。口径15.8•15.6•15.5cmを測る。基本的には同一器形を呈するが、43の口唇部のつまみあげが特徴的である。主な調整は体部内面のヘラケズリ、外面のハケ目などがある。46は土師器

二重口縁壷。口径18.8cm、残存器高22.5cm。主な調整はナデによる。体部内面に輪積跡が観察できる。

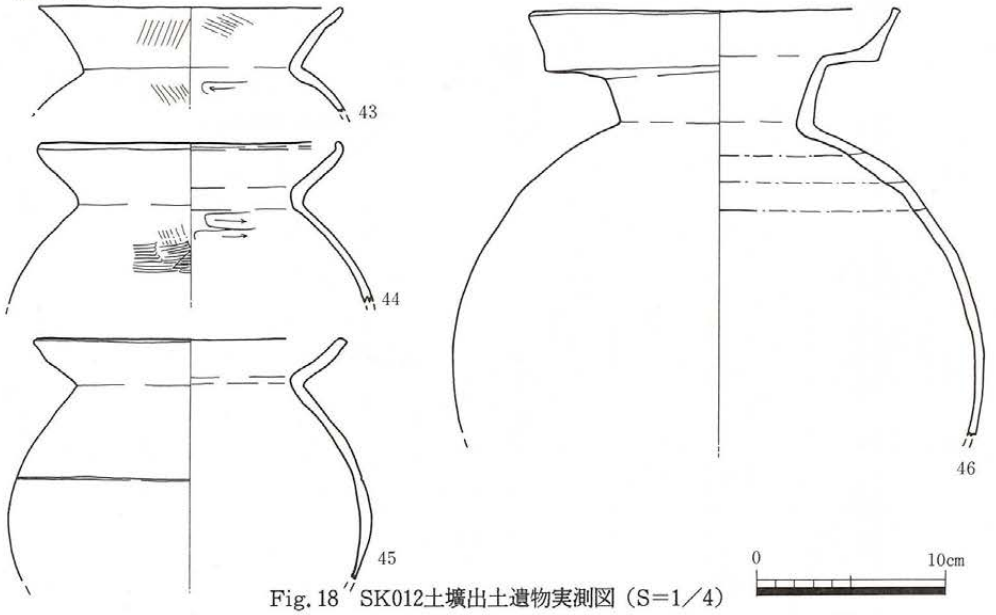



Fig. 18 SK012土壙出土遺物実測図（S＝1／4）

**ＳＫ０２１土壙**（Fig. 19）

Ｃ－20グリッドの北にあって、上面の平面形は円形を基調とする。東西径0.95m、深さ0.7mを測る。埋土は黒色土、淡褐色土から成る。主な出土遺物には土師器（杯）、須恵器（杯・甕・提瓶）などがある。

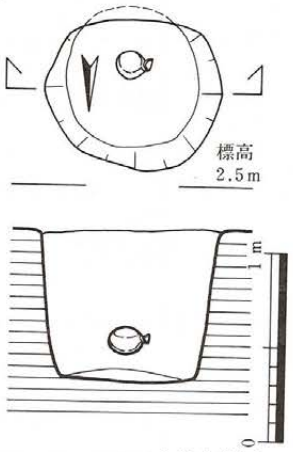



Fig. 19 SK021土壙実測図（S＝1／40）

**ＳＫ０２１土壙出土遺物**（Fig. 20）

47は土師器杯。口径11.9cm、残存高3.2cm。色調は淡黄褐色48は須恵器杯。口径13cm、器高4.2cm．色調は黒褐色。48・49は須恵器甕。口径23.1・22.8、残存高4.5・5.5・5cm。51は須恵器提瓶。残存高15cm。色調は赤褐色を呈する。体部内外面にはカキ目を有する。

**ＳＫ０２３土壙**（Fig. 21）

Ｃ－19グリッドの東にあって、上面の平面形は、方形を基調とするが東半部が削平されている。中心部で、南北長1.6m、深さ0.38mを測る。底面にはわずかな起伏がある。埋土は黒褐色を基調とする。おもな出土遺物には、土師器（甕・壷・杯蓋・杯身・高杯・土製鏡）などがある。

**ＳＫ０２３土壙出土遺物**（Fig. 22）

52～55はすべて土師器。52は甕。口径13.8cm、残存器高6.5cm。後援部内面にはわずかに

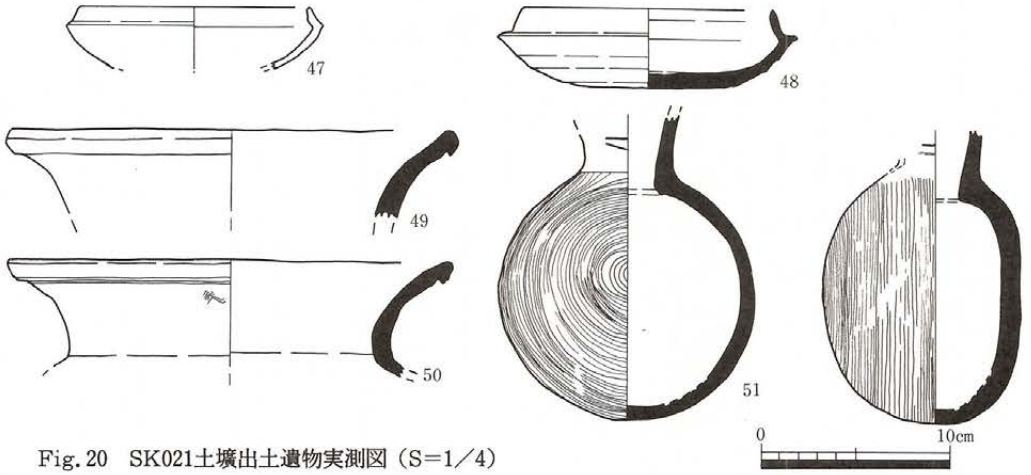



Fig. 20　SK021土壙出土遺物実測図（S＝1／4）

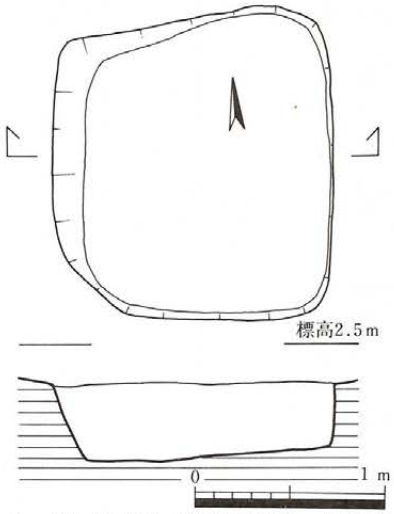



Fig. 21　SK023土壙実測図（S＝1／40）

ハケ目が残る。53は甕。口径15cm、残存器高11.9cm。52に比して薄い器壁をもつ。54も甕。口径17.6cm、残存器高3.1cm。口唇部にはつまみあげの痕跡がわずかに残る。55高杯の脚部。残存高8.8cm。外面の調整は主としてハケ目。56は土製鏡。一部を欠く。最大長3.8cm、厚さ1.25cm。摘み出しによる鈕を有する。

**ＳＫ０５５土壙**　（Fig. 23）

Ｂ－18グリッドの北部にある。上面の平面形は南北に長い楕円形を呈する。南北長1.59m東西長1.18m、中心部の深さ0.2mを測る。底面には緩やかな起伏があり、径0.15～0.2mの小穴が３個所在する。この遺構にともなうものと考える。埋土は黒色を基調とする。出土遺物には土師器（甕・手捏・壷・土製鏡）などがある。

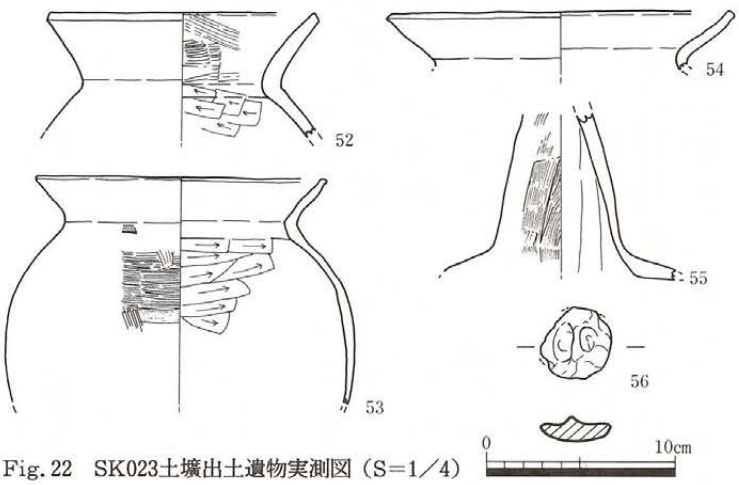



Fig. 22　SK023土壙出土遺物実測図（S＝1／4）

**ＳＫ０５５土壙**　出土遺物　（Fig. 24）

57は土師器甕。口径48.4cm、残存器高12.6cm。器壁は厚く、口縁部は短く、角度をもって立ち上がる。口縁下部外面に工具による刺突文を有する。58は土製鏡。長さ3.6cm、幅3.2cm、厚さ1.7cm。つまみあげにより鈕を造り出し、焼成前の穿口を有する。

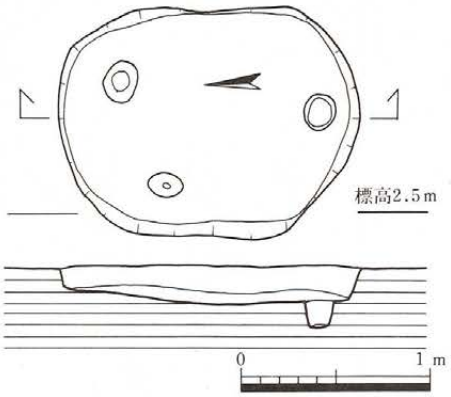



Fig. 23　SK055土壙実測図（S＝1／40）

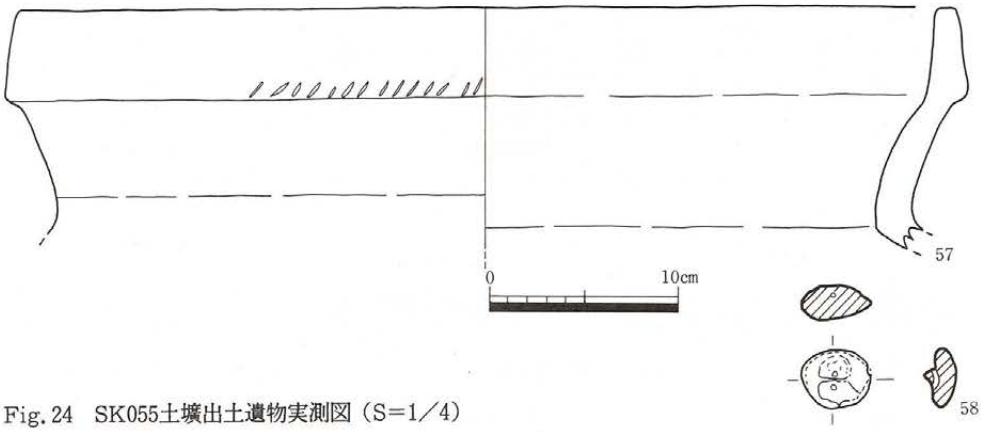



Fig. 24　SK055土壙出土遺物実測図（S＝1／4）

**ＳＫ０５９土壙**　（Fig. 25）

Ｃ－16グリッドの北東部にある。上面の平面形は東西に長い楕円形を呈するものと考える。西側への0.6m程度の突出は他遺構との切り合いか。本遺構本体の東西径2.22m．南北径1.83m。深さは東寄りで1.13m、西寄りで0.72mを測る。壁は四方ともほぼ垂直に立ち上がる。埋土は黒色・黒褐色・淡褐色土を基調とする。出土遺物は埋土下層から多く出土した。主な出土遺物には土師器（杯蓋・杯身・甕・高杯・長頸壷・壷）などがある。遺構図に表記しているのは、残存状況が良好なもので一括遺物と考えられるものである。これらはほぼ同一レベルで検出している。断面見通し図に表現できなかったのは壁面の崩落による。この遺構の性格としては出土遺物の種類からみて、何らかの祭祀を行ったものと考える。

**ＳＫ０５９土壙出土遺物**　（Fig. 26）

59は黒色土器の杯蓋。口径15.3cm、器高3.9cm。体部外面にヘラミガキが残る。60は土師器杯身。口径12cm、器高4.8cm。調整は摩耗が進んでいるため回転ヨコナデが観察できる程度である。61は黒色土器の杯。口径12cm器高5.5cm。調整は内外共にヘラミガキによる。62

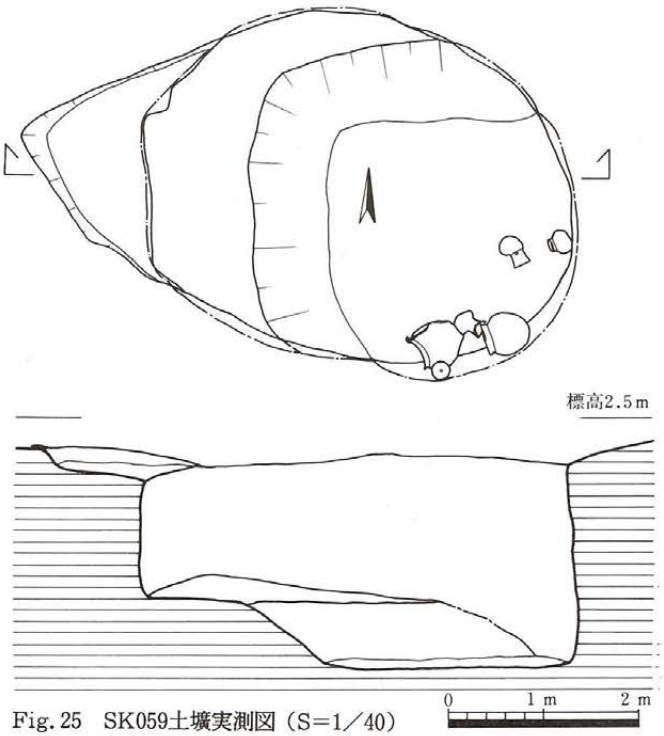


Fig. 25　SK059土壙実測図（S=1／40）

は土師器杯。口唇部を欠損。疑似口縁径12.3cm、残存高4.4cm。調整は外面にヘラミガキ、内面にヘラ状工具によるナデが認められる。63は土師器杯。口径11.7cm、器高4cm。調整は口縁部内外面にヨコナデが観察できるのみで、全体的に摩耗が進んでいる。64は須恵器杯身。口径12cm、残存器高4cm。調整は回転ヨコナデしか観察できない。色調は黒灰色。65・66・67は土師器高杯の脚部。脚径9.9・12・18.6cm、残存器高4.1・8・13.2cm。調整は外面が板状工具にとる面取り、内面がヘラケズリナデを主体としている。67は赤色顔料が残存する。68は手捏の高杯か。受部径3.2cm、残存高3.35cm。調整は主として指頭圧による。69は手捏。口径5.6cm、器高4cm、底径4cm。調整はナデと指頭圧による。70は滑石製紡錘車。約6割を欠失する。復元径4cm、厚さ1.9cm、重さ15g。外面に工具による沈線がある。71～75は甕。71・72で口径18・17・3cm、残存器高5.9・7.3cm。口縁部は短く外反する。調整は外面がヨコナデ、ハケ目、内面がヘラケズリ、ハケ目による。73は完存する甕。口径15.8cm、器高21.4cm。口縁部は短く外反し、口唇部は体部の器壁に対して薄くなっている。主な調整は外面がヨコナデ、ハケ目、内面がヘラケズリとヨコナデによる。74・75も甕。同一個体ではない。74で口径18.8cm、残存器高25.3cm。調整は他の甕と同一。体部に黒斑在り。75の外面にも黒斑部分がある。

**ＳＫ０５９土壙出土遺物**　（Fig. 27）

76・77は土師器長頸壷。76で口径9.2cm、器高17.4cm。頸部は直立気味に立ち上がり、口縁部はわずかに外反する。頸部下部に穿孔を有する。焼成後に穿たれている。調整は外面がヘラミガキ、内面がナデを主体としている。摩耗で不鮮明ではあるが、外面に赤色顔料が塗布されていた痕跡が観察できる。7割方残存する。77土師器長頸壷。ほぼ完存する。口径9.6cm、器高17.4cm。胴部はソロバン球状を呈し、頸部は直線的に立ち上がり口縁部へと至る。調整は外面が丁寧なヘラケズリ、内面がナデとヨコナデによっている。外面胴下半部に

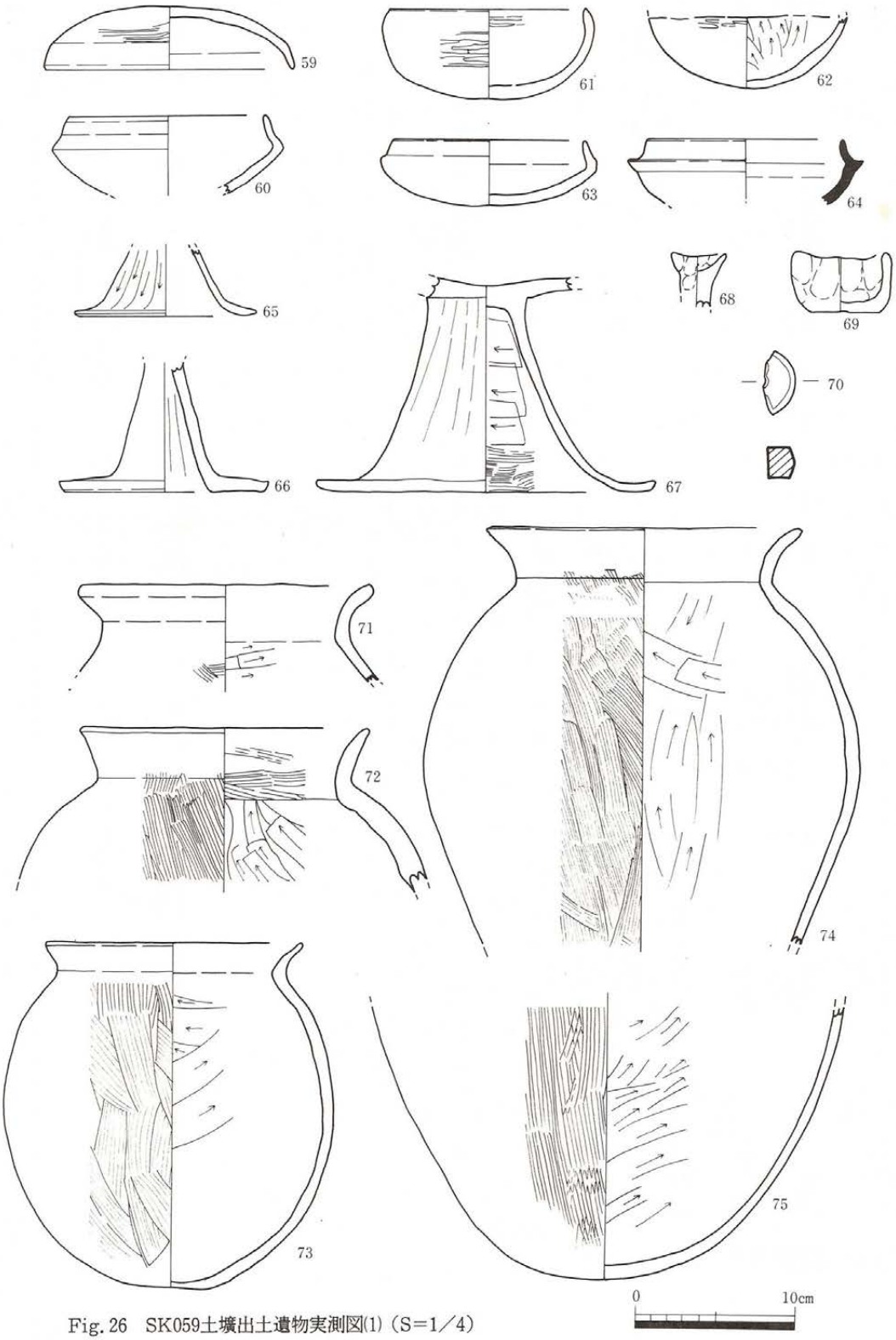



Fig. 26　SK059土壙出土遺物実測図(1)（S＝1／4）

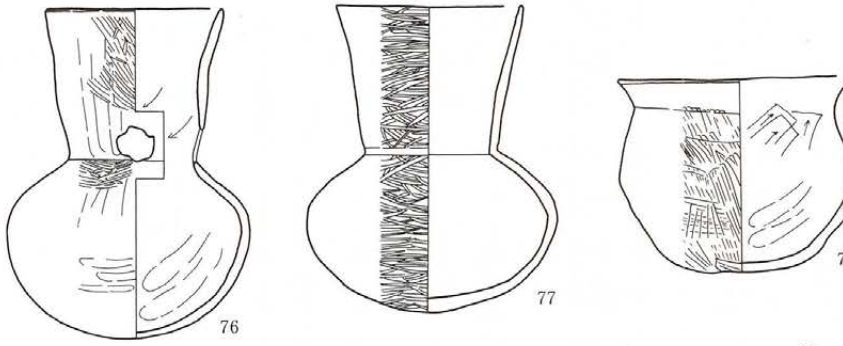



Fig. 27　SK059土壙出土遺物実測図(2)（S＝1／4）

黒斑を有する。器外面全体に赤色顔料が塗布されている。78は土師器壷。口径12.7㎝、器高10.3㎝。体部はいびつで、手捏の様相を呈する。口縁部は短く外反し、口唇部は強いヨコナデのため先鋭化する。調整は外面がヨコナデ、ハケ目、内面がヨコナデとヘラケズリを主体としている。色調は黄赤褐色。

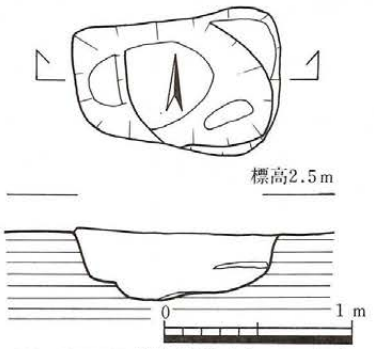



Fig. 28　SK060土壙実測図（S＝1／40）

**ＳＫ０６０土壙**　（Fig. 28）

Ｂ－１６グリッドの南西部にある。上面の平面形は東西方向に主軸をもつ長方形を基調とする。中心部で東西1.07m、南北0.65m、深さ0.35ｍを測る。３ヵ所にフロアーをもち、他遺構との切り合いがあるように見受けられるが、同一遺構と考える。埋土は黒色、黒褐色を基調とする。主な出土遺物には土師器（杯・甕）などがある。

**ＳＫ０６０土壙出土遺物**　（Fig. 29）

79は土師器杯。口径10.8㎝、器高4.3㎝。調整は外面がヨコナデ、不定方向のナデ、内面がヨコナデ、ハケ目となっている。80は土師器甕。口縁部と底部を欠損する。内外面ともに、ハケ目がある。

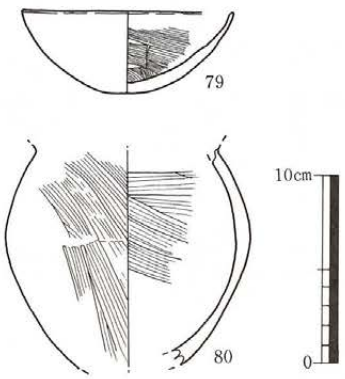



Fig. 29　SK060土壙出土遺物実測図
（S＝1／4）

**ＳＫ０６１土壙**　（Fig. 30）

Ｃ－15グリッドの北東部にあって、ＳＤ０５７溝と切り合い関係を持つ。上面の平面形は円形を基調とするが、やや東西にふくらんでいる。中心部で東西径0.96m、深さ0.87ｍを測る。底面は平坦であり、壁は角度をもって立ち上がる。埋土は黒色土、黒褐色土を基調とする。出土遺物には須恵器（杯身・杯蓋）、土師器（杯・甕・壷・甑・高杯）などがある。

## ＳＫ０６１土壙出土遺物　(Fig. 31)

81は黒色土器の杯蓋。口径16cm、残存器高3.6cm。外面天井部にヘラミガキが観察できる。82は須恵器杯蓋。口径13.7cm、器高3.9cm。調整は天井部内外面にナデが観察できる。天井部外面にはヘラ記号を有する。83は土師器杯蓋。口径12.2cm、残存器高4.5cm。主な調整は口縁部内外面のヨコナデ、天井部内外面のヘラミガキ。84は土師器鉢。口径14cm、残存器高5.75cm。主な調整は外面がナデ、ハケ目、内面がナデによる。85は須恵器杯身。口径11.3cm、残存器高3.9cm。調整は回転ヨコナデが観察できる。色調は黒灰色を基調とする。86は土師器甕。口径19.6cm、残存器高５cm。外面頸部にハケ目調整が観察できる。87は土師器壷。口唇部を欠く。残存器高13.4

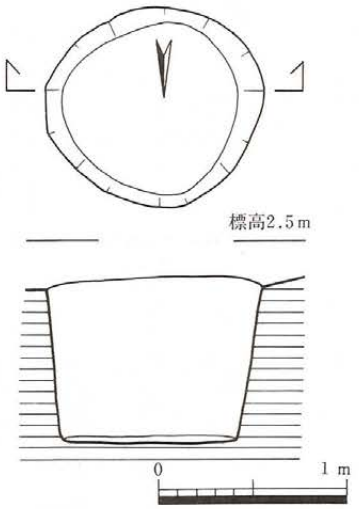



Fig. 30　SK061土壙実測図(S=1／40)

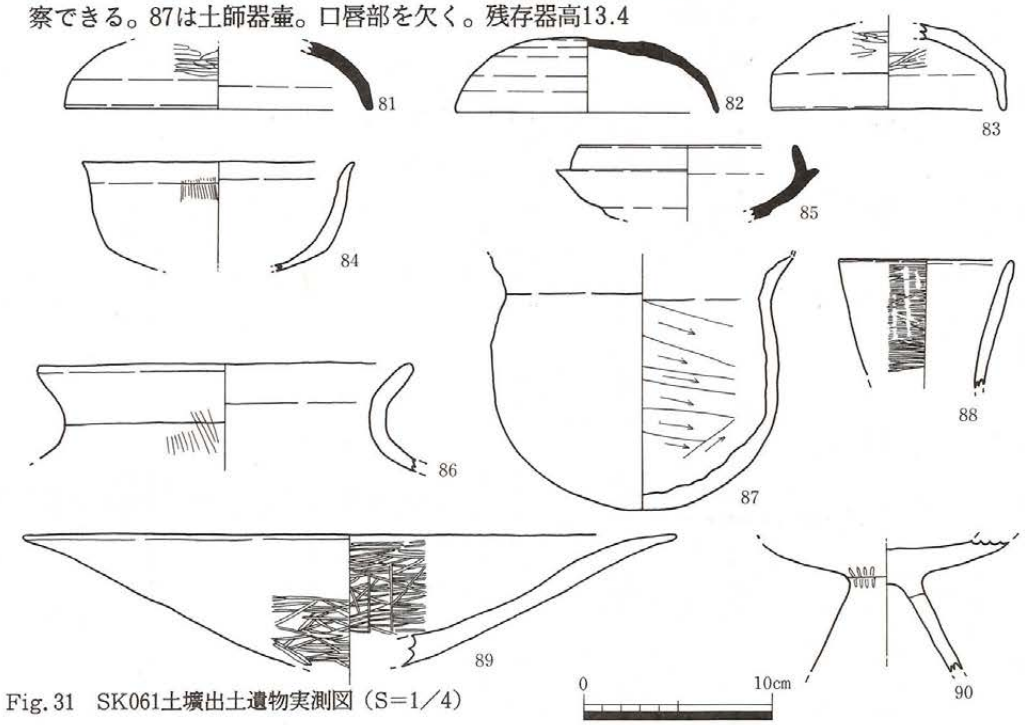



Fig. 31　SK061土壙出土遺物実測図（S=1／4）

cm。外面の調整は剥離が著しく、観察できない。内面はヘラケズリによっている。色調は淡黄褐色。88は土師器長頸壷の口縁部。口径９cm。89は土師器高杯の杯部。口径34cm残存器高７cm。主な調整は内外面に不定方向のハケ目が見られる。内外面ともに赤色顔料が認められる。90は高杯残存器高6.8cm。

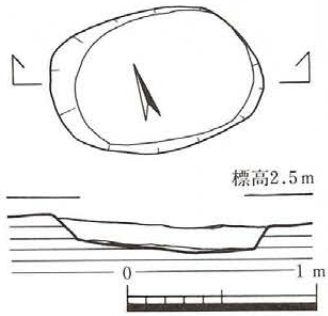



Fig. 32　SK084土壙実測図（S=1／4）

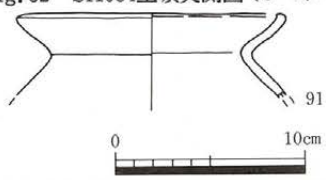



Fig. 33　SK084土壙出土遺物実測図（S=1／4）

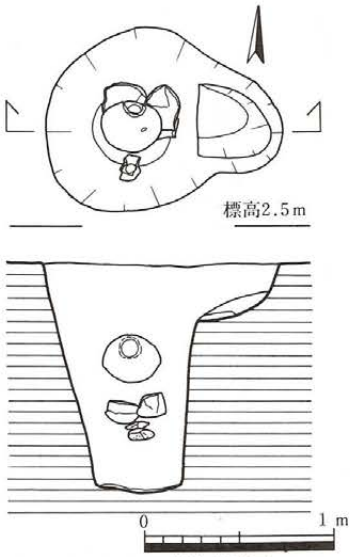



Fig. 34　SK088土壙実測図（S=1／4）

**ＳＫ０８４土壙**　（Fig. 32）

Ｄ－19グリッドのほぼ中央にある。ＳＸＯ８１と切り合い関係を持つ。上面の平面形は東西に長い楕円形を呈する。東西径1.26m南北径0.78m、深さ0.12ｍを測る。底面には緩やかな起伏があり、壁はゆるやかに立ち上がる。埋土は黒褐色土を基調とする。出土遺物は土師器片を検出した。図化できるのは１点のみ。

**ＳＫ０８４土壙出土遺物**　（Fig. 33）

91は土師器甕。口径13.2cm、残存器高4.4cm。口縁部はわずかに内傾しながら立ち上がる。調整はヨコナデが観察できる。

**ＳＫ０８８土壙**　（Fig. 34）

Ｅ－19・20グリッドの中央部にある。上面の平面形は円形を基調とするものと考える。東側に突出している部分は他遺構と考えるが、切り合い関係は不明。南北径0.97m、深さ1.2mを測る。断面形から見ると井戸の様相を呈するが埋土の状況を見ると、人為的に埋め立てられた観があったので土壙として取り扱った。埋土の状況は上層部が黒色土、中層が淡黒褐色粘土ブロック混じり、下層が淡褐色粘土ブロック混じりとなっている。出土遺物は最下層で幅15程度の自然石を検出したのをはじめ、土師器（鉢・壷・甕）等を検出した。遺物の残存状況は良好であった。

**ＳＫ０８８土壙出土遺物(1)**　（Fig. 35）

92・93は土師器鉢。92で口径12cm、器高4.8cm。主な調整はナデとヨコナデによる。93で口径15.7cm、器高6.9cm。内外面にヘラミガキが残る。色調は淡橙褐色を呈し残存状況も良好である。94～97は土師器壷。94で口径11.6cm、残存器高11.4cm。色調は淡黄橙色を呈する。主な調整は外面ハケ目、内面ハケ目とヘラケズリによる。95で口径16.8cm、残存器高8.3cm。調整は94同様。96は口縁部を欠く。残存高30.6cm。体部はほぼ完存する。胴部上半部には焼成後の穿孔を有する。調整は外面がハケ目、ヘラケズリ、ハケ目、内面がハケ目、指頭圧による押さえ、ナデ、ハケ目を施している。97は口径14.6cm、残存器高14.4cm。口縁部は「く」の字状を呈し、直線的にのびる。調整は外面がヨコナデとハケ目、内面がヘラケズリ、ハケ目、ナデによる。色調は淡黄褐色を基調とする。98

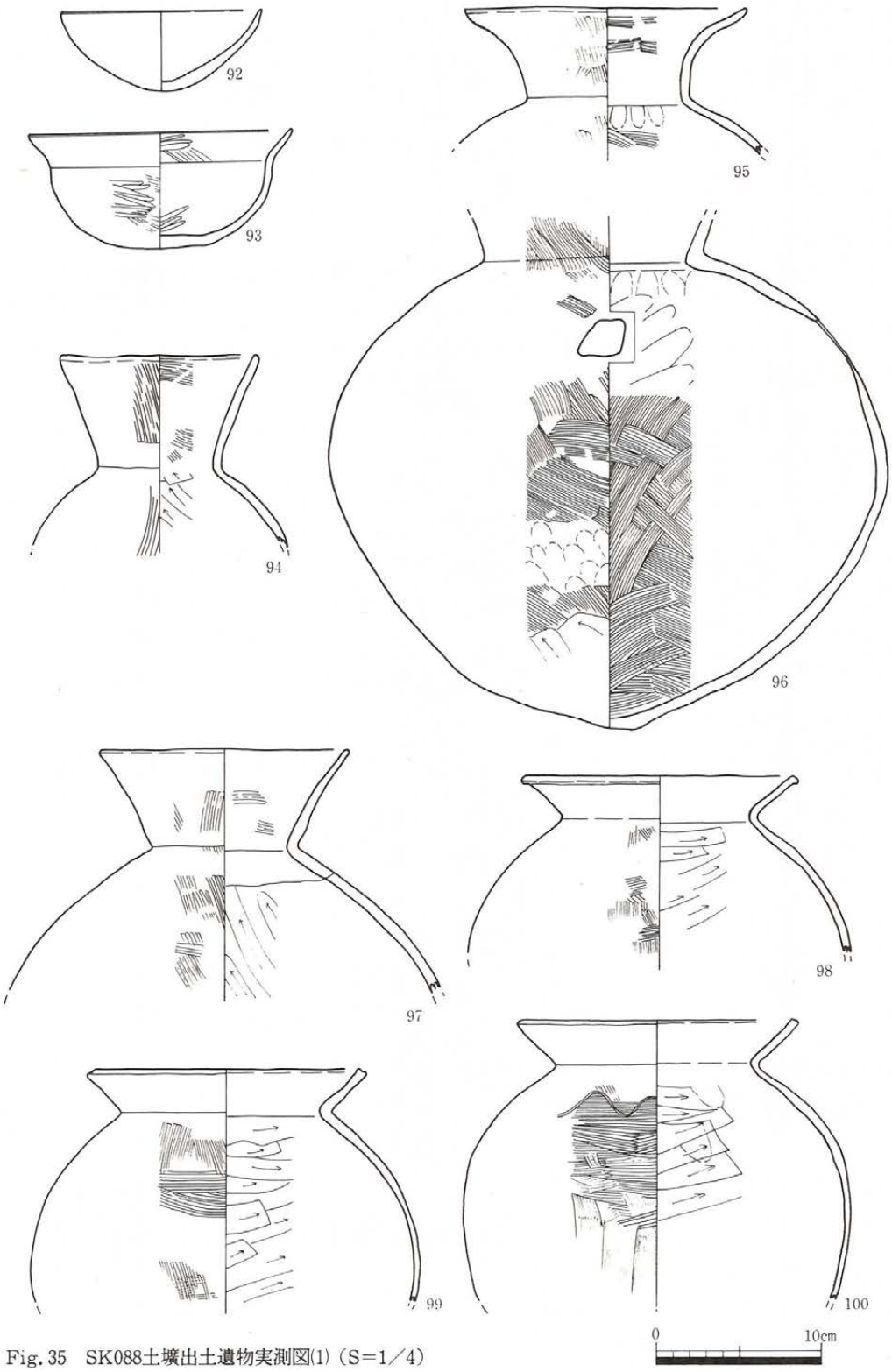



Fig. 35　SK088土壙出土遺物実測図(1)（S＝1／4）

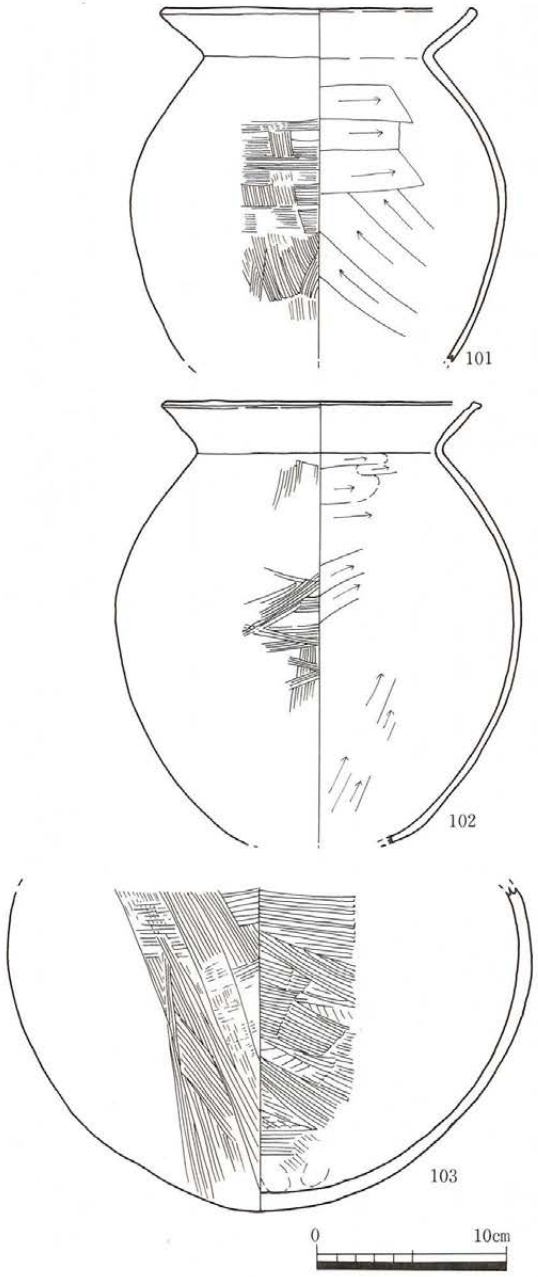



Fig. 36　SK088土壙出土遺物実測図(2)（S＝1／4）

～100は土師器甕。口径15.9・15.8・16、残存器高10.7・13.9・16.8cm。調整は概ね外面がヨコナデ、ハケ目、内面がヨコナデ、ヘラケズリによる。99・100の外面胴部には煤が付着している。100の頸部付近にはヘラ状工具による波状紋がある。

**ＳＫ０８８土壙出土遺物(2)**　(Fig. 36)

101～103は土師器甕。101で口径16cm、残存器高18.5cm、102で口径16.1cm、残存器高23.2cm。調整は両者とも、外面がヨコナデ、ハケ目、内面がヨコナデ、ヘラケズリを主体としている。口唇部にはつまみあげによる痕跡が残る。外面胴部には煤が付着している。103は胴下半部のみ、残存器高16.8cm。調整は内外面共に、ハケ目が施されている。外面底部には黒斑が、胴部には煤が付着している。

**ＳＫ０９０土壙**　(Fig. 37)

Ｅ－18グリッドの南東部にある。上面の平面形は長方形を基調とすると考えるが、北西部と南東部が崩落によって突出したかたちになっている。中心部で南北１ｍ、東西0.65ｍ、深さ0.78ｍを測る。底面には緩やかな起伏があり、壁は比較的角度をもって立ち上がる。東辺の一部は撹乱を受けている。埋土は黒色土、黒褐色土を基調とする。主な出土遺物には土師器（甕・鉢・壷・高坏・台杯碗・手捏・長頸壷）などがある。

**ＳＫ０９０土壙出土遺物**　(Fig. 38)

104は高坏の脚部。脚径13.9cm、残存器高8.5cm。主な調整はハケ目、ナデによる。105は鉢。口径13.4cm、残存器高9.2cm。口縁部は短くほぼ垂直に立ち上がる。調整は外面がヘラミガキ、ハケ目、ナデ、内面がナデによっている。色調は黄褐色を基調とし淡橙色がかる。

106は壷。口径15.5cm、残存器高11.1cm。口縁部は「く」の字状を呈し緩やかに外反する。調整は外面がヨコナデ、ハケ目、内面がヨコナデ、ナデ、ヘラケズリによる。107～110は甕。107で口径18cm、残存器高13.6cm。口縁部は「く」の字状を呈しわずかに外反する。調整は外面がヨコナデ、ハケ目、タタキ、内面がヘラケズリ、ハケ目による。108は口縁部を欠く。残存高25.15cm。調整は外面がハケ目、タタキ、内面がハケ目、指頭圧による押さえ、ハケ目、ヘラケズリによる。外面タタキは底部には及んでいない。109は口

Fig. 37　SK090土壙実測図（S=1／40）

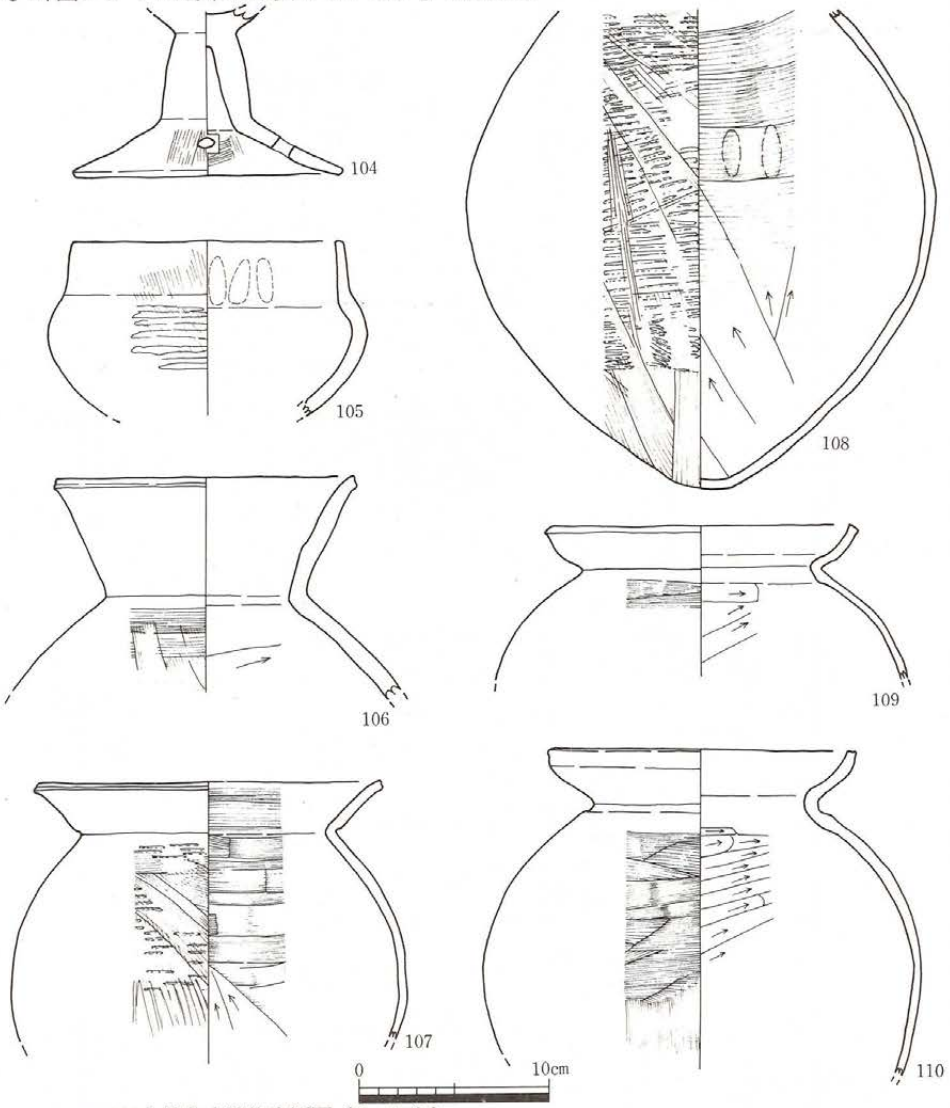



Fig. 38　SK090土壙出土遺物実測図（S=1／4）

径15.5cm、残存器高８cm。調整は外面がヨコナデ、ハケ目、内面がヨコナデ、ヘラケズリによる。外面の一部に煤が付着している。110は口径15.5cm、残存器高16.9cm。調整は109に同じ。

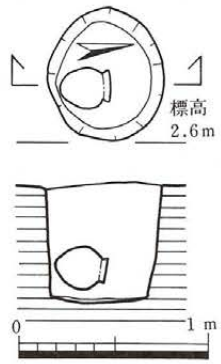



Fig. 39　SK096
土壙実測図(S＝1／40)

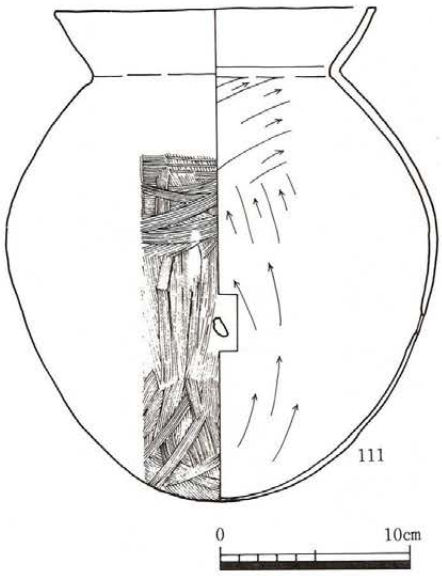



Fig. 40　SK096
土壙出土遺物実測図(S＝1／4)

**ＳＫ０９６土壙**

（Fig. 39）

Ｂ－９グリッドの北東部にある。上面の平面形は東西に長い楕円形を呈する。中心部で南北0.62ｍ、東西0.７ｍ、深さ0.62ｍを測る。底面は船底状を呈し、壁は垂直に近い角度で立ち上がる。埋土は黒色土、淡黒褐色土からなる。出土遺物は図化している１点のみ。遺物はほぼ完存し、埋納したものと考える。

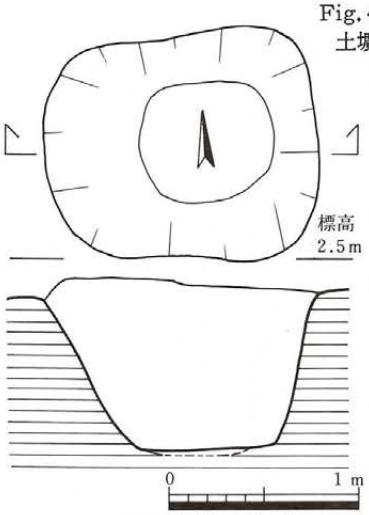



Fig. 41　SK097土壙実測図(S＝1／40)

**ＳＫ０９６土壙出土遺物**　（Fig. 40）

111は土師器甕。口径16.65cm、器高25.8cm。口縁部は僅かに内傾する。調整は外面がヨコナデ、ハケ目、内面がヨコナデ、ヘラケズリによる。胴部に焼成後の穿孔を有する。色調は暗黄灰色を基調とする。

**ＳＫ０９７土壙**　（Fig. 41）

Ｂ－13グリッドの北部にある。上面の平面形は東西に長い隅丸長方形を呈する。中心部で東西1.45ｍ、南北1.15ｍ、深さ0.9ｍを測る。底面には僅かな起伏があり、壁は比較的角度をもって立ち上がる。埋土は３層に分かれ、上層黒褐色土、中層淡褐色土下層淡黄褐色土からなり、遺物は上層・中層から検出した。主な出土遺物には須恵器（提瓶）、土師器（甕・杯・甑・手捏）などがある。

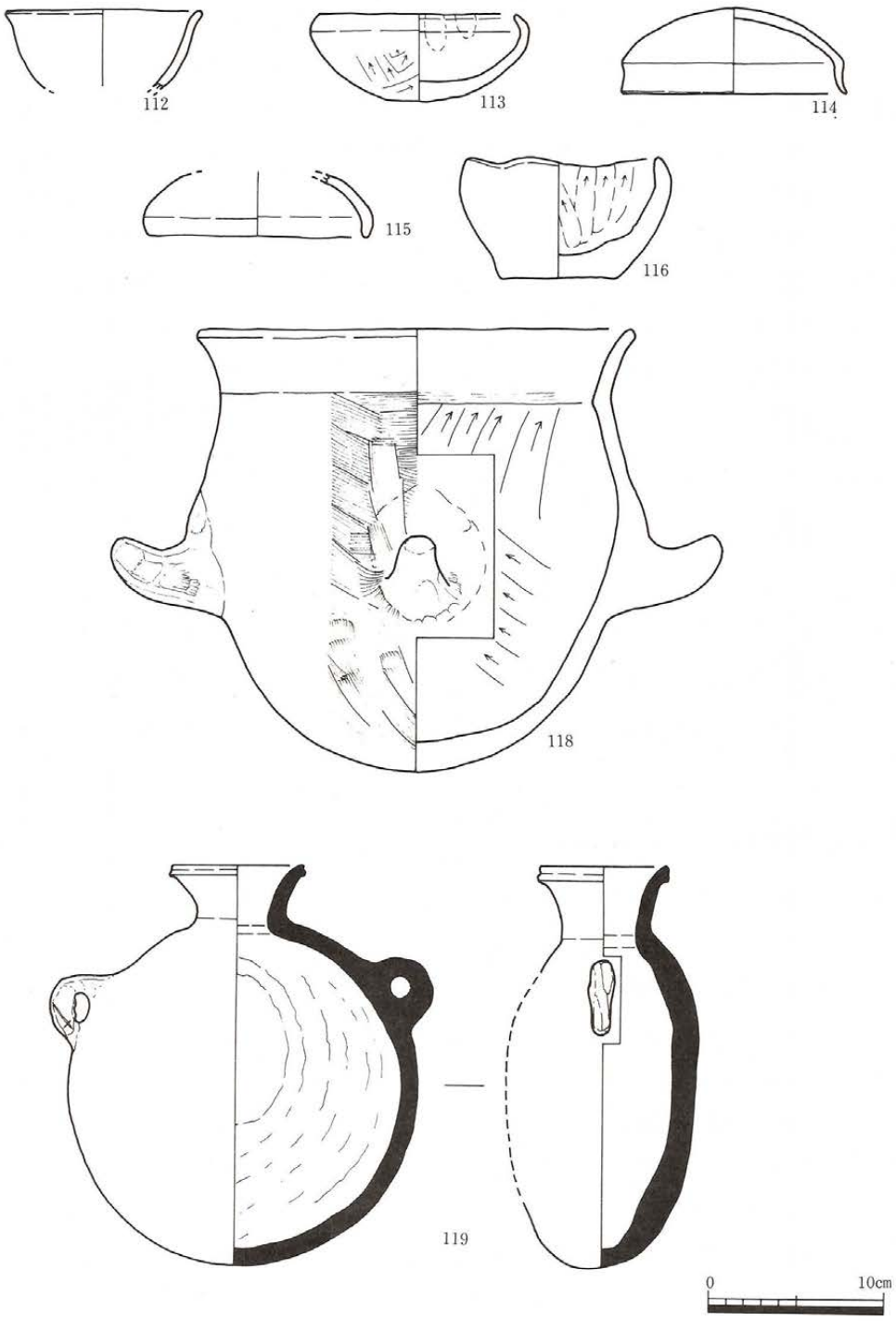



Fig. 42　SK097土壙出土遺物実測図（S＝1／4）

**ＳＫ０９７土壙出土遺物**　(Fig. 42)

112～118は土師器。112は鉢。口径10.9cm、残存器高4.4cm。口縁部から体部にかけて黒斑部あり。113は杯。口径11cm、器高4.9cm。完存する。調整はヨコナデ、ナデによる。114は杯蓋。口径12.6cm、器高4.8cm。調整は口縁部内外面ヨコナデ、天井部内外面不定方向のナデ。115も杯蓋。口径12.2cm、残存器高3.5cm。116は鉢。口径10.8cm、器高6.5cm、底径6.9cm。調整は主としてナデ。体部外面に黒色部分有り。117は甕。口径17cm、器高24.4cm、器高27.4cm。口縁部は内湾しながら立ち上がり、口唇部で短く外反する。調整は外面がヨコナデ、ハケ目、内面がヨコナデ、ヘラケズリによる。色調は暗褐色を基調とし、外面の一部に黒色部分あり。118は甑。口径24.4cm、器高25.1cm。調整は体部外面がヨコナデ、ハケ目、内面がヨコナデ、ヘラケズリによる。把手部分はナデ、指頭圧によるおさえ。119は須恵器の提瓶。口径7.4cm、器高22.7cm。色調は灰黒色を基調とする。

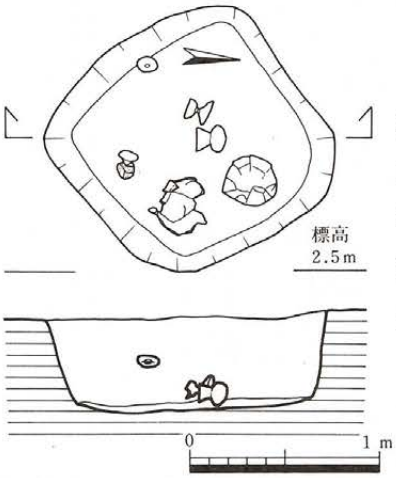


Fig. 43　SK098土壙実測図(S=1／40)

**ＳＫ０９８土壙**　(Fig. 43)

Ｃ－８グリッドの南部にある。上面の平面形は隅丸長方形を基調としている。南北1.53３ｍ、深さ0.5ｍ。底面には僅かな起伏があり、壁は角度をもって立ち上がる。埋土は２層に大別できる。上層が淡黒褐色土、下層が淡黄灰色粘土である。出土遺物の大半は下層からの出土であった。この遺構は遺物の種類や一括しての出土状況から見て、何らかの祭祀行為を行ったものと考えられる。

**ＳＫ０９８土壙出土遺物**　(Fig. 44)

120～130はすべて土師器。120は鉢。口径15.4cm、器高7.1cm。口縁部は僅かに外反する。主な調整は外面がヨコナデ、ヘラミガキ、内面がヨコナデ、ナデ、ヘラミガキによる。121～125は台付き碗（杯）121で脚径10.5cm、残存器高6.9cm。122で口径13.4cm、残存器高8.6cm。調整はナデとハケ目が残る。123・124は脚部に穿孔を有する。口径12.1cm、器高9.25・10.4cm、脚径11.8・17.4cm。調整は外面が、ヨコナデ、ハケ目、内面がヘラミガキ、ナデ、ハケ目による。125は口径14.1cm、器高7.25cm、脚径8.9cm。調整はナデとハケ目による。126は壷。残存器高24.2cm。調整は外面がハケ目、ナデ、内面がヘラミガキによる。外面胴部に黒斑部分有り。127は長頸壷。口径12cm、器高16.9cm。ほぼ完存する。調整は口縁部がヨコナデ、胴部がハケ目、ナデとなっている。128～130は甕。128で口径18cm、器高26.3cm。調整は口縁部内外面ヨコナデ、胴部外面ハケ目、内面ヘラケズリによる。胴部外面に黒斑部分有り。129・130で口径15.9・15cm、残存器高14.6・15.4cm。調整は128に同じ。130の外面に煤が付着している。

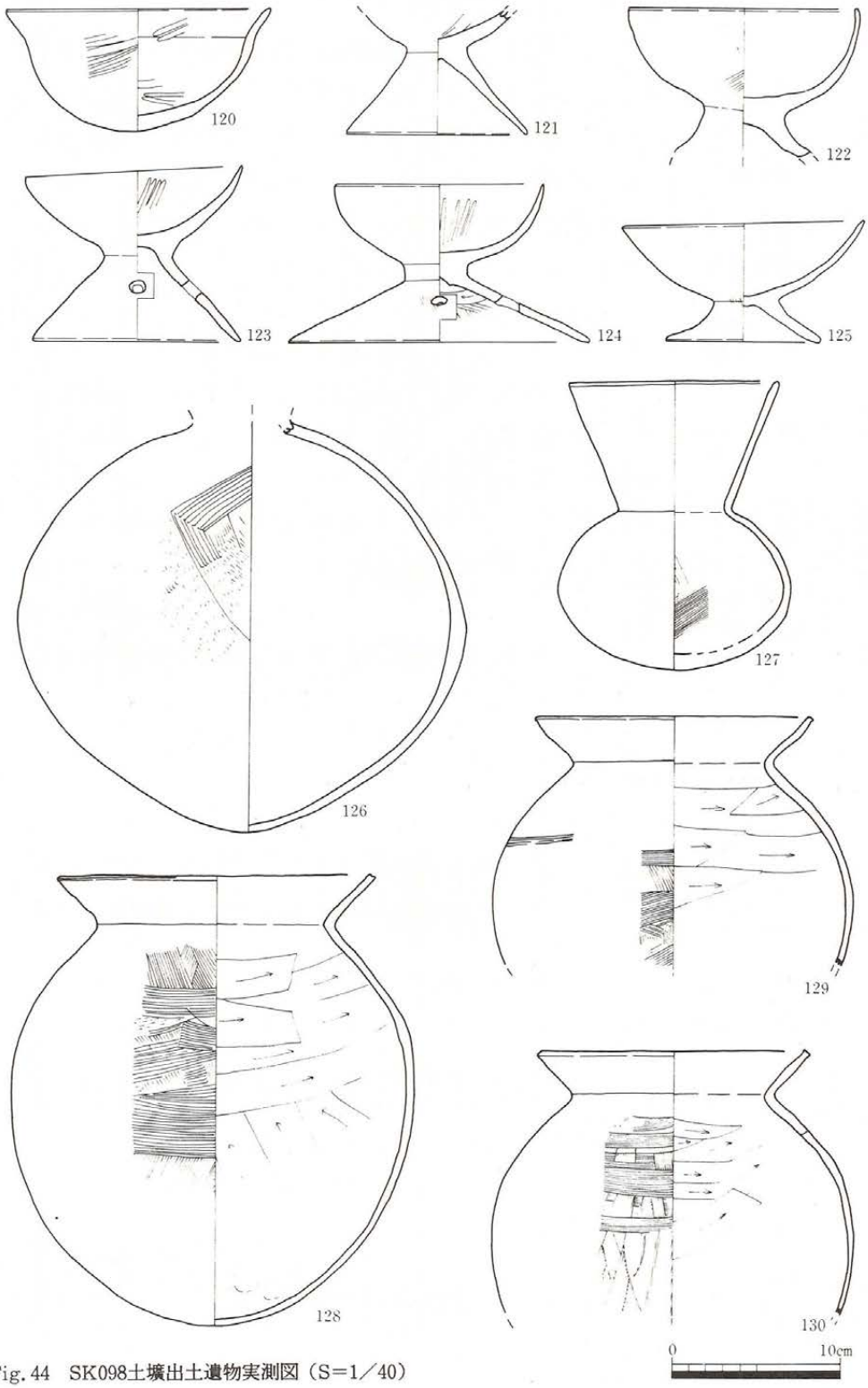



Fig. 44　SK098土壙出土遺物実測図（S＝1／40）

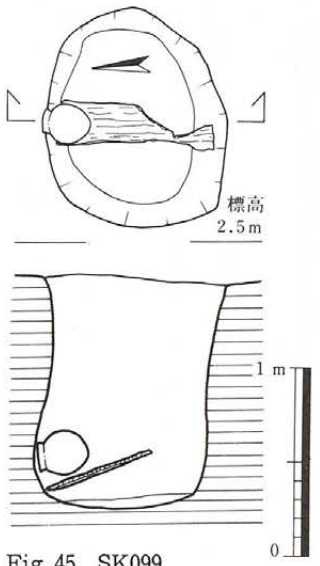



Fig. 45　SK099
土壙実測図(S=1／40)

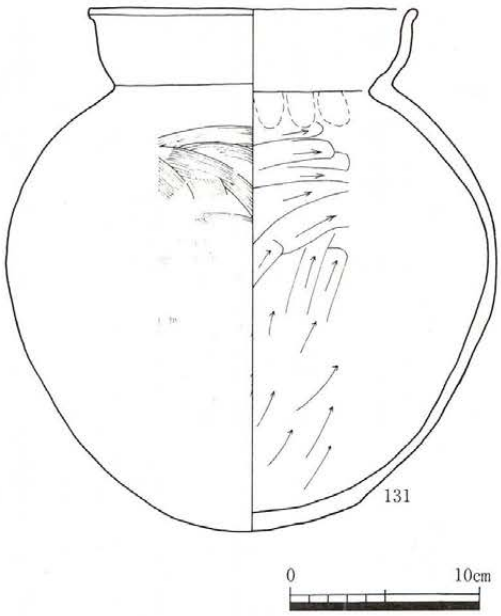



Fig. 46　SK099土壙出土遺物実測図(S=1／4)

**ＳＫ０９９土壙**　(Fig. 45)

Ｅ－14グリッドの南東部にある。上面の平面形は東西に長い楕円形を呈する。東西径1.16ｍ、中心部で深さ1.24ｍを測る。遺構はほぼ垂直に掘られているが、底部付近は一部崩落がある。埋土は４層に分かれ、黒褐色土、灰黒色土、灰黒色土（藁灰混じり）、灰褐色土からなる。出土遺物は４層からの出土。遺構実測図中の甕下部にあるのは板。残存状況が悪く、取り上げは不能。

**ＳＫ０９９土壙出土遺物**　(Fig. 46)

131は甕。口径17㎝、器高27.4㎝。完存する。口縁部は内湾気味に立ち上がり、口唇部で僅かに外反する。調整は口縁部内外面ヨコナデ、胴部は外面がハケ目、内面がヘラケズリによる。口縁部から胴部中央にかけて煤が付着している。色調は暗褐色を基調とする。

**ＳＫ１０６土壙**　(Fig. 47)

Ｄ－12グリッドにありＳＫ１０６と切り合っている。上面の平面形は不定形を呈するが、元来円形を基調とするものか。内部は浅い２段掘りになっており２段目の平面形は隅丸長方形を呈する。上面で東西1.77ｍ中心部で深さ0.18ｍを測る。埋土は黒褐色土を基調とする。主な出土遺物には土師器（甕・壷・台付き椀・鉢）などがある。

**ＳＫ１０６土壙出土遺物(1)**　(Fig. 48)

132～139は土師器。132は高杯。脚部径10.6㎝、残存器高6.7㎝。調整は主としてナデによる。色調は明橙色を基調とする。133は高杯の杯部。口径11.8㎝、残存器高4.7㎝。主たる調

整はナデ。134は小型丸底坩。口径8.2cm、器高8cm。調整は口縁部から胴下半部までナデ、低部付近には強いヘラケズリがある。色調は赤褐色を基調とする。135〜139は甕。口唇部にはつまみあげの形跡が残る。口径18.4・17.1・17.8・15.7cm、器高26.5・25.5・24.8・24.7cmを測る。調整は外面がヨコナデ、ハケ目、内面がヨコナデ、ナデ、ヘラケズリを基調とする。135〜136の器面の一部には煤又は黒斑を有する。

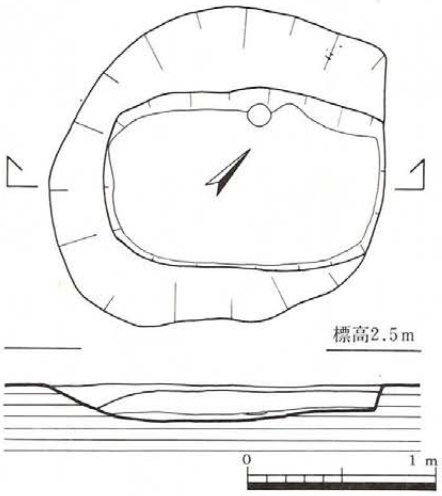


Fig.47　SK106土壙実測図(S=1/40)

**SK106土壙出土遺物(2)**　(Fig. 49)

140は土師器壷。口径16.4cm、器高37.2cm。口縁部はわずかに外反しながら4cm、器高37.2cm。口縁部はわずかに外反しながら立ち上がる。調整は外面口縁部付近がハケ目とヨコナデ、胴部がハケ目、内面口縁部付近がハケ目、胴部がヘラケズリ、指頭圧によるおさえによっている。色調は淡灰褐色を基調とする。器面全体に摩耗している。

**SK108土壙**　(Fig. 50)

D−12・13グリッドの中央付近にある。上面の平面形は円形を基調とする。中深部で東西0.9m．深さ0.7mを測る。底面は平坦で壁は比較的角度をもって立ち上がる。東部掘り込み付近にある小穴は他遺構か。埋土は黒褐色を基調とし、主な出土遺物には須恵器（杯）、土師器（甕）などがある。

**SK108土壙出土遺物**　(Fig. 51)

141・142は須恵器の杯、蓋。141で口径12.5cm、器高3.6cm。天井部外面には回転ヘラケズリが観察できる。142で口径11.6cm、残存器高2.4cm。143は土師器甕。口径11.2cm、残存器高9.6cm。調整は外面が口縁部付近ヨコナデ、胴部ハケ目、内面が口縁部付近ヨコナデ、胴部ヘラケズリによる。

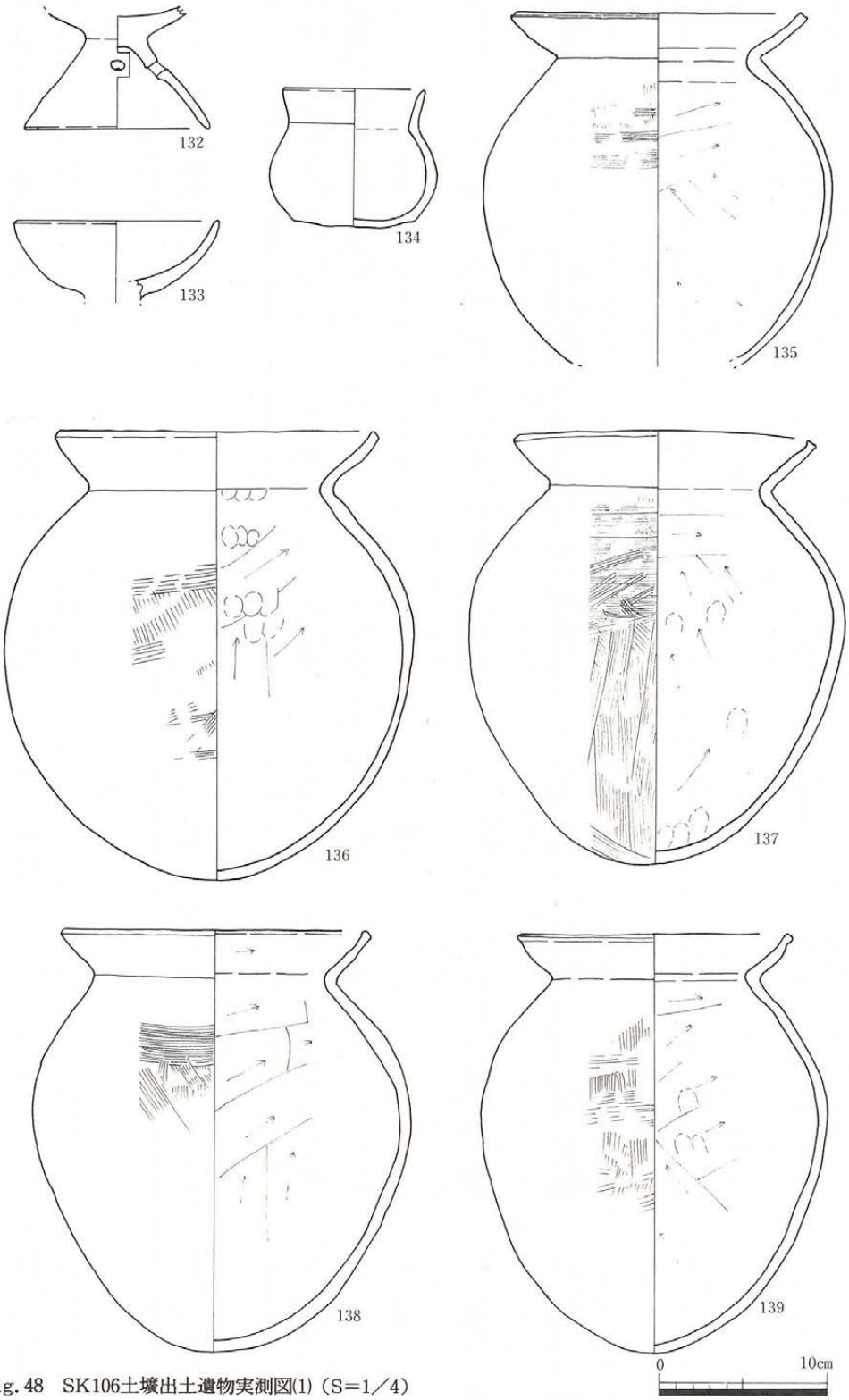



Fig. 48　SK106土壙出土遺物実測図(1)（S＝1／4）

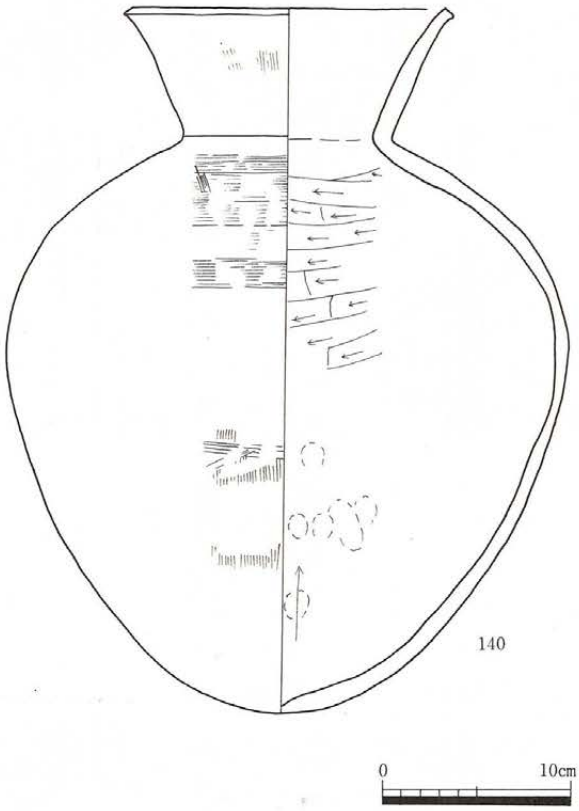



Fig. 49　SK106土壙出土遺物実測図(2)（S＝1／4）

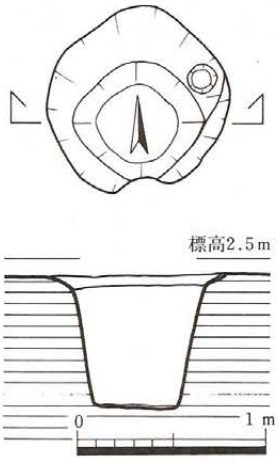



Fig. 50　SK108土壙実測図
（S＝1／40）

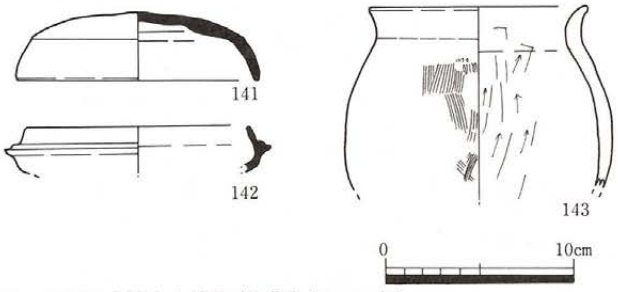



Fig. 51　SK108土壙出土遺物実測図（S＝1／4）

**ＳＫ１１０・１１１土壙**　（Fig. 52）

Ｅ－10グリッドにある。ＳＫ１１１はＳＫ１１０・ＳＤ０６２を切っている。ＳＯ１１０とＳＤ０６２の切り合い関係は不明。

ＳＫ１１０は上面の平面形が不定型を呈するが、他遺構との切り合いでこのような様相を呈しているのもと考える。計測値は長さ2.3m、幅1.6m、深さ0.05～0.1mを測る。底面には僅かな起伏があり、壁は比較的角度をもって立ち上がる。出土遺物には土師器がある。

ＳＫ１１１は上面平面形が東西に長い楕円形を呈する。中心部で東西1.32m、南北1.08m、

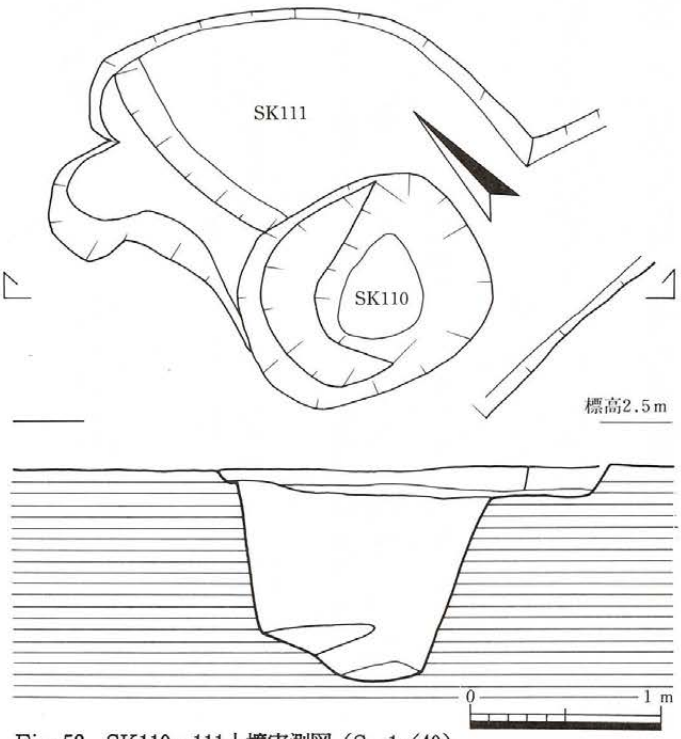



Fig.52　SK110・111土壙実測図（S＝1／40）

深さ1.05mを測る。底面は狭くほぼ中央に位置し、西壁寄りにはそこから20cmていど上部三ケ月型の平坦部がある。壁は比較的角度をもって立ち上がる。出土遺物には土師器がある。埋土はＳＫ１１０・１１１共に黒褐色を基調とし、掘り込み上面での切り合い関係の識別はできなかった。

**ＳＫ１１０・１１１土壙出土遺物**　（Fig. 53）

144～146はＳＫ１１０出土遺物、147・148はＳＫ１１１出土遺物。144は土師器小型丸底坩。口径9.1cm、残存器高6.5cm。主たる調整はナデとハケ目。色調は淡黄赤色。145は土師器高杯の杯部。口径19.6cm、残存器高4.8cm。主たる調整はナデとハケ目による。口縁部外面の一部に煤が付着している。146は土師器甕。口径17.3cm、残存器高24.2cm。調整は外面がヨコナデ・ハケ目、内面がヨコナデ・ヘラケズリによる。外面の胴部上方に１条の沈線があり一周する。色調は暗黄褐色。147は須恵器高杯。口径12cm、器高14.5cm、脚径10.8cm。主たる調整はロクロナデとナデによる。脚部外面にカキ目を有する。色調は灰黒色。148は土師器甕。口径17.2cm、器高27.2cm。主たる調整は147に同じ。外面胴部下部は摩耗が進んでいる。口唇部はつまみあげにより断面三角形を呈する。色調は淡黄褐色。

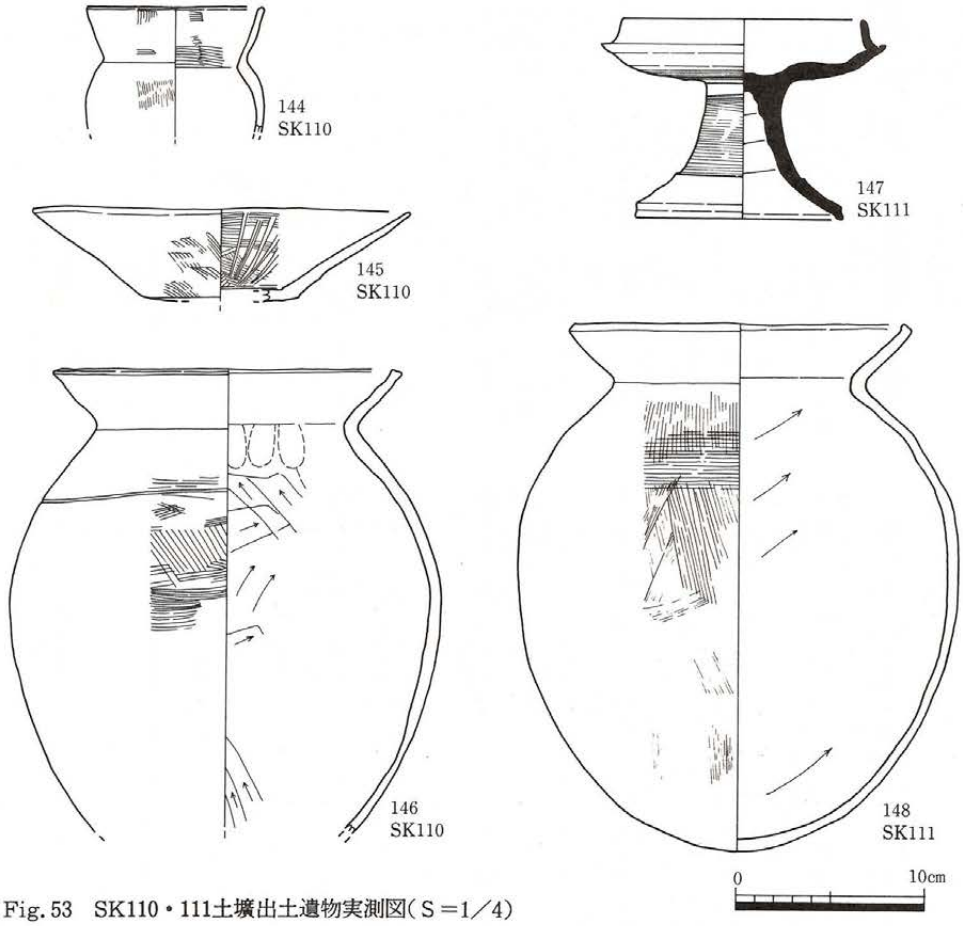



Fig. 53　SK110・111土壙出土遺物実測図(S＝1／4)

### (4)　ＳＸ０８１遺構

型体的に見て溝ともつかぬ、土壙ともつかぬ様相を呈していたので「ＳＸ」の文字をもちいた。今回の調査で祭祀遺構の様相を呈する土壙を多数検出しているが、同種の性格を帯びているものと考える

**ＳＸ０８１遺構**　(Fig. 54)

Ｅ－20グリッドにある。ＳＥ０８２・０８３・ＳＫ０８４に切られている。上面の平面形は南北に長い、蛇行した溝状を呈する。北端をＳＥ０８２に切られているので全長は不明であるが、南北５ｍ、東西平均幅約５ｍ、深さ0.2～0.45ｍを測る。底面には大きな起伏があり南端部が最も深い。埋土は黒色土、淡黒褐色土に大別される。出土遺物は下層である淡褐色土中から出土した。遺物はこの遺構の埋没過程で投棄されたのではなく、溝掘りあげ後埋納・埋置されたものと考える。当初この遺構の性格が判断しがたかったので、ＳＸ不明遺構としていたが、出土状況や出土遺物の種類から祭祀遺構と判断した。出土遺物の注記はＳＸ

としているが、遺構番号は連番としているので検索は容易である。

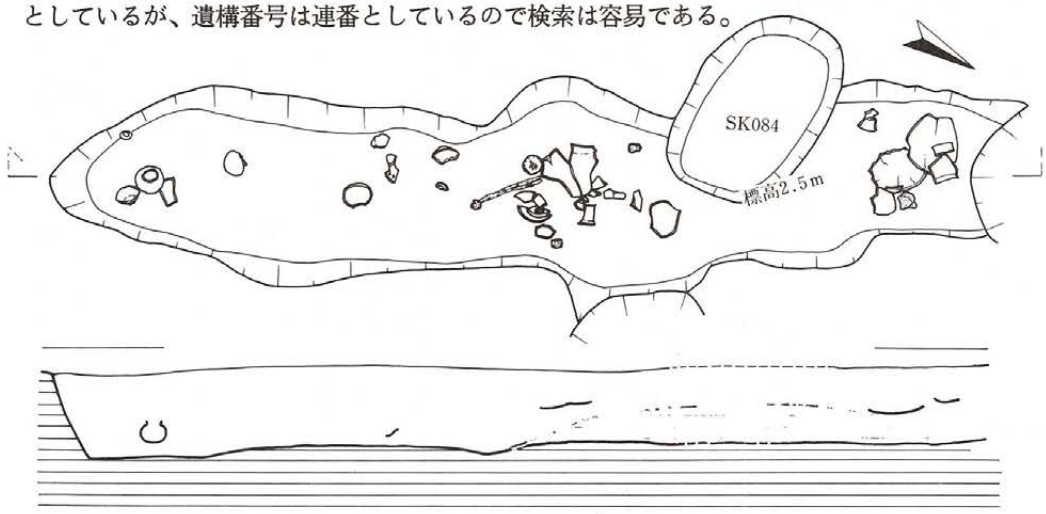



Fig.54　SR081遺構実測図（S=1／40）

出土遺物は良好な残存状況で多数出土した。出土遺物はすべて土師器である。器種には手捏土器・壷・甕・鉢・高杯・甕等バラエティに富んでいる。一括遺物と捉えられる。

**ＳＸ０８１祭祀遺構出土遺物(1)**　（Fig. 55）

149～153は手捏土器。149で口径5.75cm、器高2.45cm。ほぼ完存する。色調は淡黄褐色。150は口径6.7cm、器高3.4cm。ほぼ完存する。色調は淡黄褐色。灰褐色。151は口径5.5cm、器高3.2cm。色調は黒褐色。152は口径6.4cm、器高3.8cm。色調は淡黄褐色。153は口径6.4cm、器高５cm、底径4.4cm。色調は黒褐色。これら手捏土器の主たる調整はナデ、指頭圧によるおさえによる。154は杯。口径10.1cm、器高4.2cm。主な調整はナデ。色調は灰黄色。完存する。155は杯。口径11.9cm、器高5.05cm。色調は淡黄褐色・灰褐色。ほぼ完存する。156は鉢。口径10.2cm、器高4.5cm、底径４cm。調整はナデ・ヨコナデ・工具による押さえによる。体部内外面の一部に黒斑有り。完存する。157は鉢。口径10.1cm、器高5.6cm。調整は外面がヨコナデナデ、内面がヨコナデ・ナデ・ヘラ状工具による押さえ。色調は灰黒色。完存する。158も鉢。口径11.8cm、器高約7.1cm。調整は主としてナデによる。色調は淡黄褐色・淡橙褐色。159は鉢。口径16cm、残存器高7.3cm。器壁は薄く、口縁部は内湾しながら立ち上がる。調整はナデとハケ目と外面底部付近のヘラ状工具によるナデ。色調は淡黄褐色。外面体部には黒斑部分がある。160は鉢型を呈するが、底部の穿孔から考えると、甑か。口径17cm、器高10.8cm。調整は外面がナデ、内面がナデ・ヘラケズリによる。色調は淡黄褐色。161・162は台付き杯の様相を呈する高杯。161で口径9.7cm、器高12.8cm、脚径8.9cm。主たる調整はナデ・ハケ目による。脚部に焼成前の穿孔を有する。色調は淡黄褐色。162は口径13.1cm、残存器高5.5cm。調整は内面がヨコナデ・ナデ、外面がヨコナデ・ハケ目による。色調は淡黄褐色・淡橙褐色。163は台付き杯。口径13.2cm、器高6.15cm、脚径4.9cm。主たる調整はナデ。

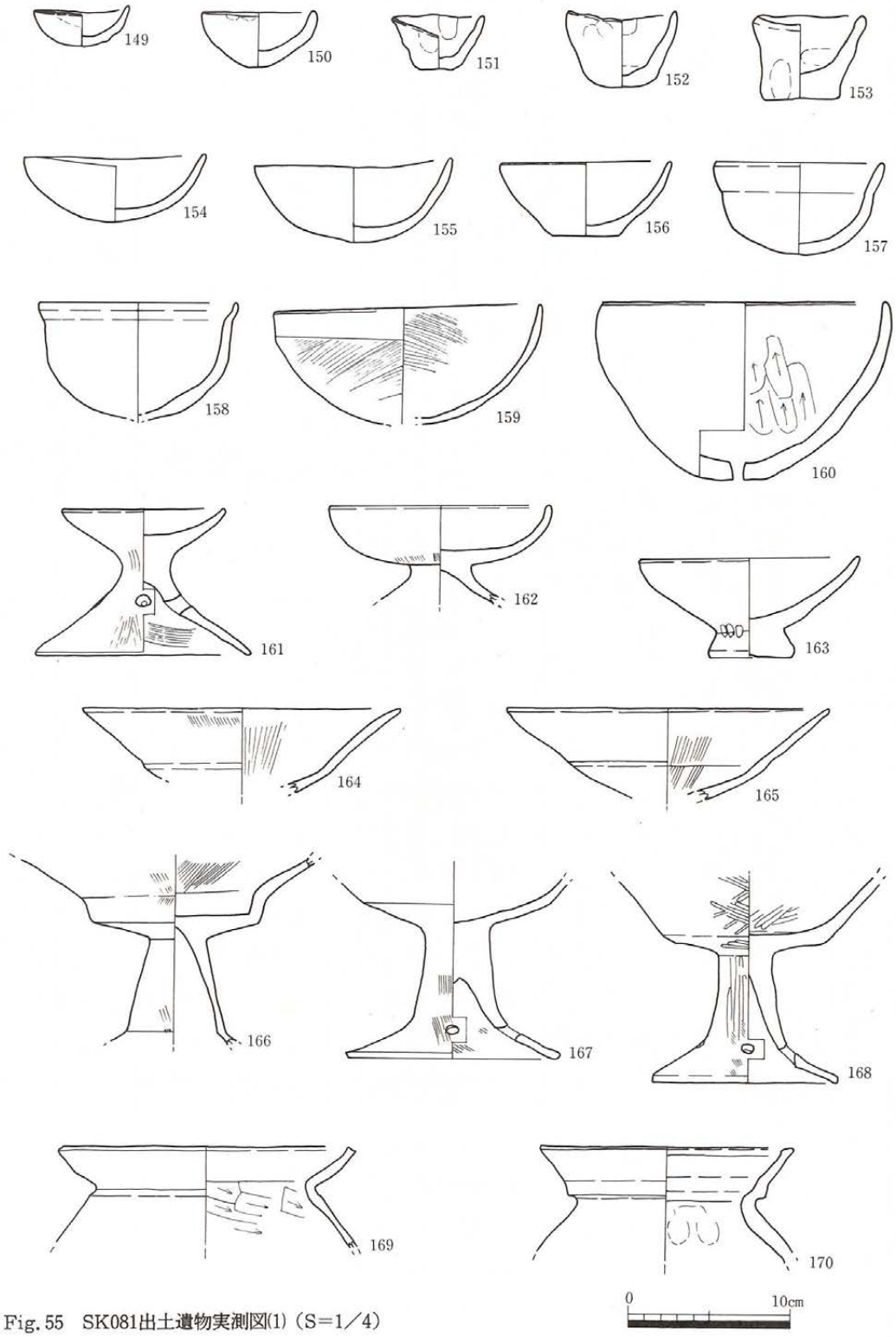



Fig. 55　SK081出土遺物実測図(1)（S＝1／4）

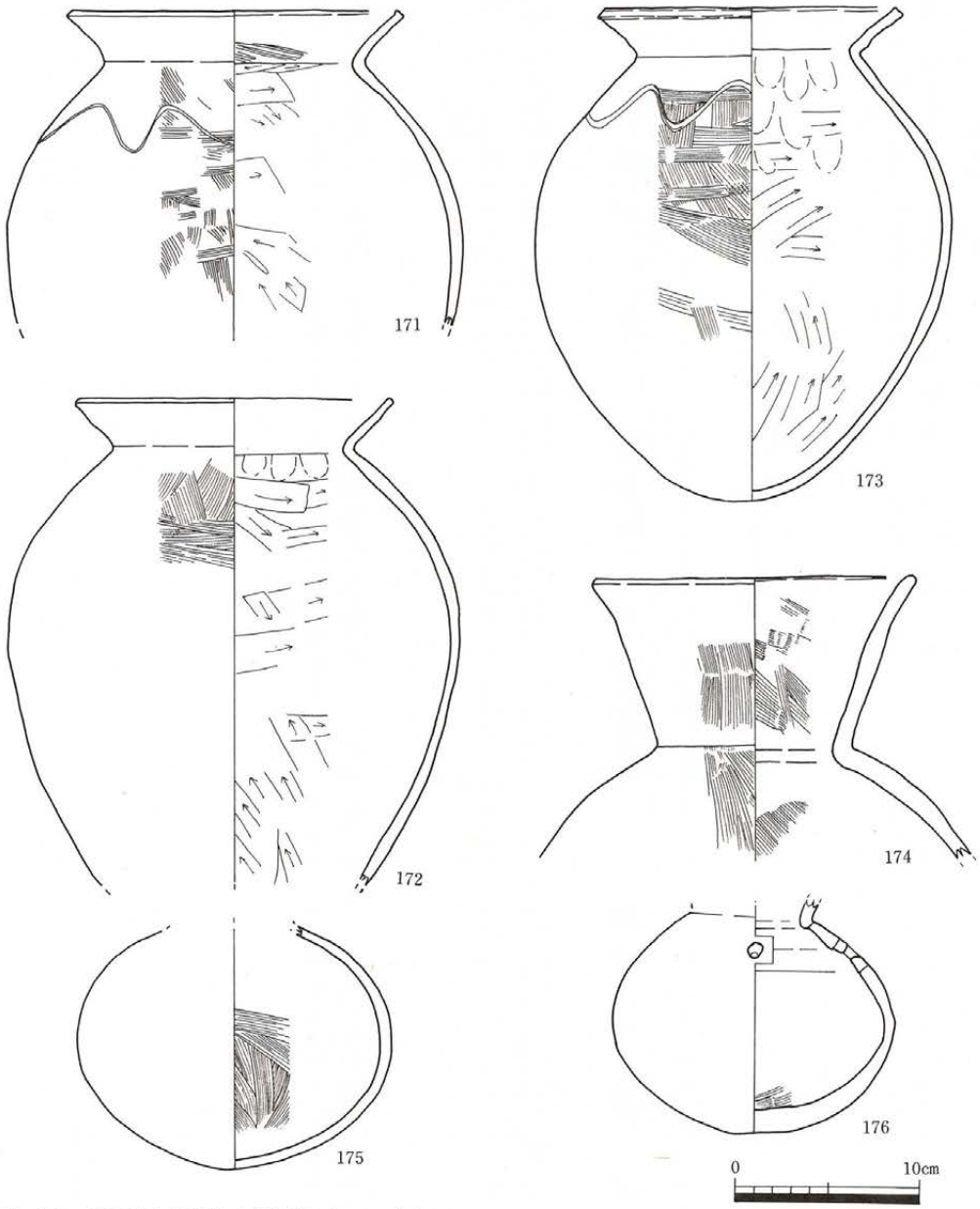



Fig. 56　SX081出土遺物実測図(2)（S＝1／4）

色調は淡橙色。ほぼ完存する。164～168は高杯。164・165は杯部のみ。口径18.6・19.4cm。調整は外面がヨコナデ。ハケ目、内面がヨコナデ・ヘラミガキによる。2個体とも口縁部外面に黒斑部あり。166は杯部上半と脚部下半を欠く。残存器高11.6cm。杯部内面はほぼ平坦で口縁部はそこから一度短く、ほぼ垂直に立ち上がりまた、角度をもって直線的にのびる。167は杯部上半を欠く。残存器高10.9cm、脚径12.4cm。杯部の反りは緩やかにわずかに内湾気味にのびる。調整はナデとハケ目による。色調は淡橙色。168も杯部上半を欠く。残存器

高12.2cm、脚径11.2cm。全体的に見て器壁が厚い。口縁部は直線的にのびる。調整は外面杯部が横方向を基調としたヘラミガキ、脚部が縦方向のヘラミガキ・ハケ目、内面杯部がヘラミガキ、脚部がヘラ状工具によるエグリ・ナデによる。

169・170は甕。169で口径17.2、残存器高6.3cm。口縁部は内湾する。調整は外面がヨコナデ・ナデ、内面が口縁部付近のヨコナデ、体部のヘラケズリによる。色調は淡黄褐色。170は2重口縁状を呈する。口径15.2cm、残存器高6.5cm。調整は外面がヨコナデ・ナデ、内面がヨコナデ・ヘラケズリ・指頭圧による押さえによる。色調は淡黄褐色。

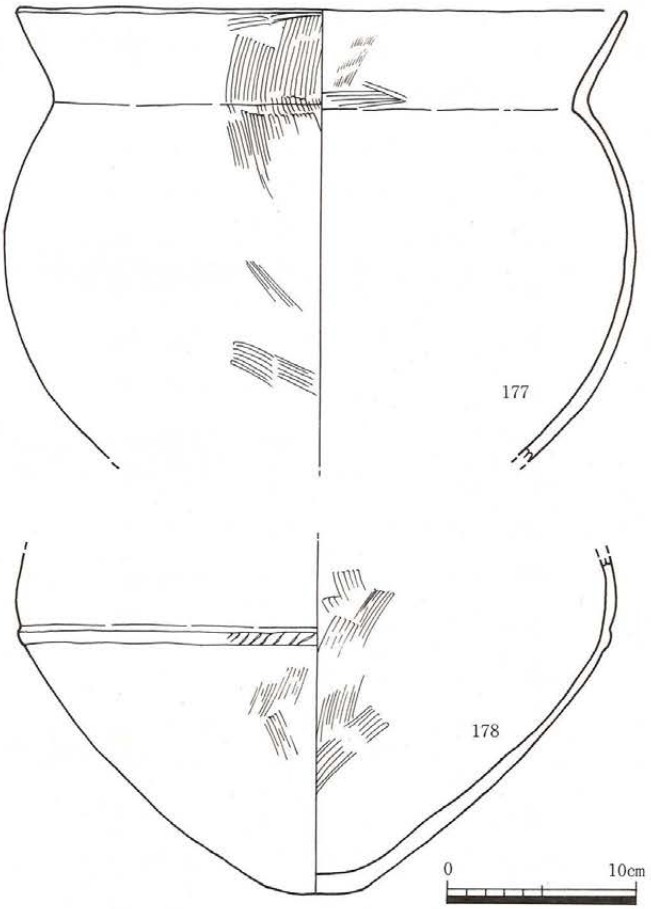



Fig.57　SX081出土遺物実測図(3)（S=1／4）

**ＳＸ０８１祭祀遺構出土遺物(2)**　(Fig. 56)

171～173は甕。171は口径17.3cm、残存器高16.9cm。口唇部には摘み上げの形跡が僅かに認められる。外面上半部には波状の沈線があり、一周する。色調は淡黄褐色。胴部外面に黒斑部有り。172は口径16.4cm、残存器高26.2cm。口縁部は僅かに内湾し、口唇部は丸味を帯びる。色調は淡黄褐色。173は口径15.6cm、器高26.4cm。171同様口唇部には摘み上げの手法が観察できる。胴部上半には2条の沈線があり、一周する。色調は暗黄褐色。調整は171・172・173共ほぼ同じであり、外面口縁部のヨコナデ、胴部のハケ目、内面口縁部のヨコナデ、胴部のヘラケズリを基調としている。174は壷。口径17cm、残存器高15cm。口縁部は僅かに外反する。調整は口縁部上半のよこなで、それより下部はハケ目。色調は外面が淡橙色、内面が灰黄褐色。175・176は壷の胴部。残存器高12.9・12.4cm。調整は175で外面がヘラミガキ、内面がナデ・ハケ目、176で外面がナデ、内面がナデ・ハケ目によっている。176の底部

付近には黒斑がある。

**ＳＸ０８１祭祀遺構出土遺物(3)**　(Fig. 57)

177と178は甕。別個体であるが、同器種か。177で口径31.6cm、残存器高23.6cm。口縁部は僅かに内湾気味。調整は外面がはけめ・ナデ、内面がナデを主体にしている。色調は淡黄赤褐色。178は残存器高17.9cm。底面は僅かに平底状を呈する。胴部のほぼ中央には断面台形の突帯があり、ヘラ状工具による沈線が縦方向にある。色調は淡黄褐色。

**(5)　掘立柱建物**

調査区中央で3棟検出した。その内の2棟を以下に記す。柱穴の埋土は黒褐色を基調とする土壌であったので検出は比較的容易であった。この時代の井戸や土壙の数から考えると絶対数が少ないので、他地域に所在するとすれば、調査区東側に広がる圃場か。

**ＳＢ０９４掘立柱建物**　(Fig. 58)

Ｃ－11グリッド付近に所在する。主軸を東西方向にもつ2間×3間の総柱の建物である。桁行4.66～4.79m、梁行4～4.14mを測る。柱間の数値は挿図中に記している。柱穴の規模は上面の計測値で径0.6～1.0m程度、深さ0.65～0.9mを測る。上面の平面形は円形を基調とするもの、検出時点では不定形のものが多い。柱の径は概ね10cm程度と推定する。出土遺物はＰ－１・10・11埋土中から土師器・須恵器を検出した。ＳＢ０９５に切られている。

**ＳＢ０９４掘立柱建物出土遺物**　(Fig. 59)

179は土師器甕。口径13.6cm、残存器高11.65cm。口縁部は短く外反する。調整は口縁部内外面ヨコナデ、胴部外面ハケ目、内面ヘラケズリによる。色調は暗橙色。180は須恵器杯蓋。口径14.6cm、器高4.6cm。天井部外面には回転ヘラケズリ。色調は茶褐色。ほぼ完形。181は土製鏡。長さ3.1cm、幅2.2cm、厚さ1.35cm。鏡面に黒斑有り。調整は指頭によるナデ。色調は茶褐色。

**ＳＢ０９５掘立柱建物**　(Fig. 60)

Ｃ－11グリッド付近に所在する。主軸を東西方向にもつ1間×2間の建物である。ＳＢ０１４を切っている。桁行2.64～2.73m、梁行1.94～1.95m、を測る。柱間の数値は挿図中に記している。柱穴の規模は径0.35～0.6mm、深さ0.6～0.65mを測る。柱径は0.9～0.1mm程度。埋土は柱痕跡部分を除き3～4層に分類できる。基本的層位は上層が黒褐色土、下層になるにつれて黄色味を増す。出土遺物は須恵器が1点のみ。

**ＳＢ０９５掘立柱建物出土遺物**　(Fig. 61)

182は須恵器。いわゆる赤焼きの須恵器か。口径16.2cm、器高4cm。天井部外面には回転ヘラケズリを有する。色調は暗赤灰色。

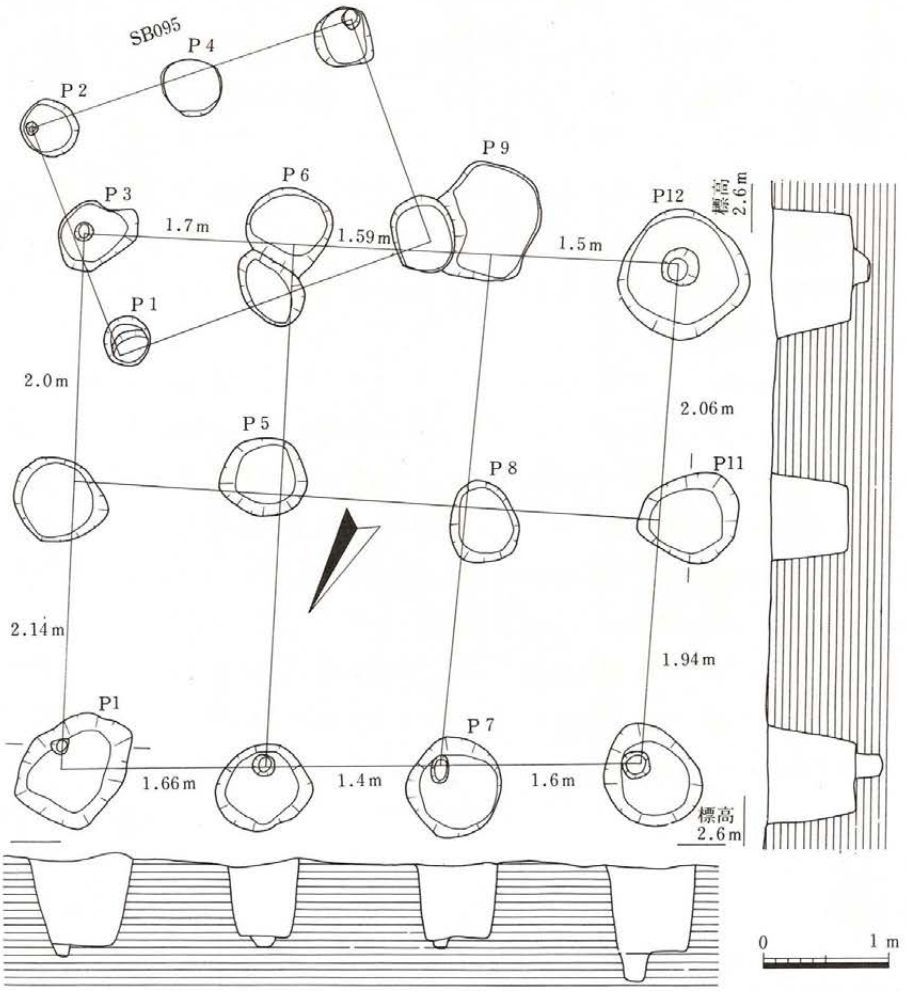



Fig. 58　SB094掘立柱建物実測図（S＝1／60）

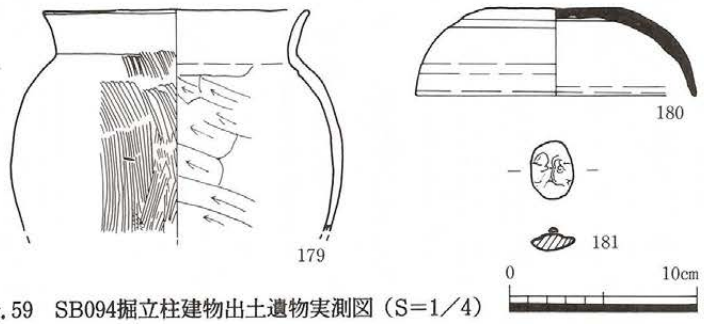



Fig. 59　SB094掘立柱建物出土遺物実測図（S=1／4）

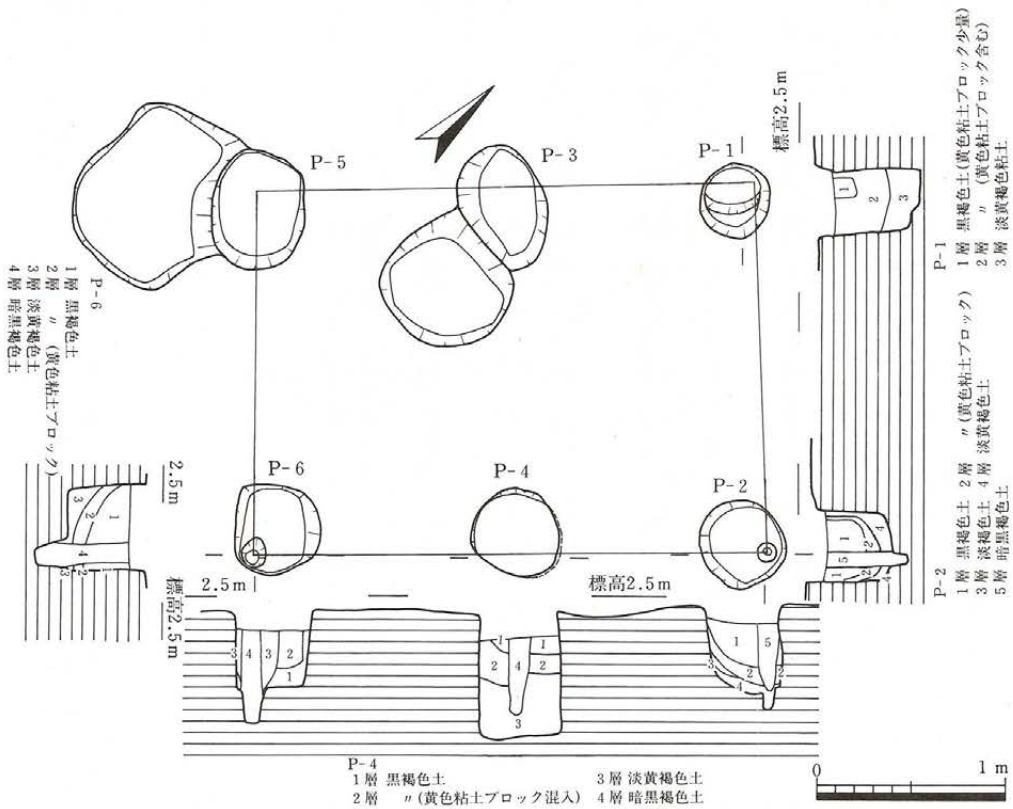



Fig. 60　SB095掘立柱建物実測図（S=1／40）

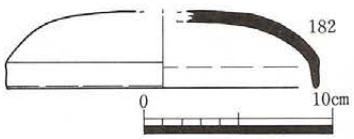



Fig. 61　SB095掘立柱建物出土遺物
実測図（S=1／4）

### (6) 溝と出土遺物

古墳時代の所産として明確なものは3条検出した。3条共他遺構との切り合いがありまた、調査区外にのびているものもあり、その全容を把握するには至らなかった。深さは0.2〜0.4m程度を測る。埋土は黒色土・黒褐色土を基調とし、出土遺物には溝中祭祀を思わせるものが多い。検出位置はＳＤ００３がＢ−21グリッド、ＳＤ０２２がＣ・Ｄ−20グリッド、ＳＤ１２１がＤ〜Ｅ−９〜８グリッドである遺構配置図参照。

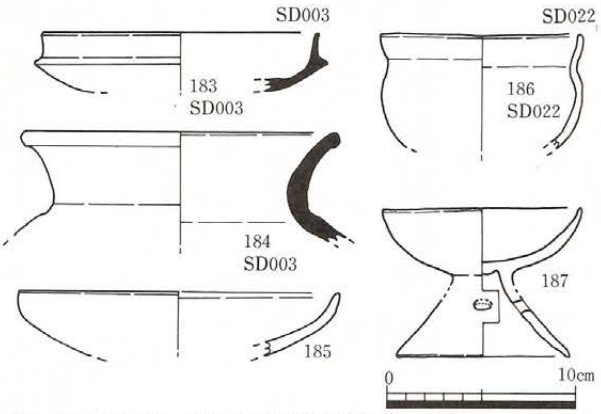


Fig. 62　SD003・022出土遺物実測図（S=1／4）

**ＳＤ００３・０２２溝出土遺物**　(Fig. 62)

183〜185はＳＤ００３出土遺物。183は須恵器杯。口径14.6cm、残存器高3.5cm。色調は暗灰色。184はいわゆる赤焼きの須恵器。口径16.3cm、残存器高5.7cm。主たる調整は回転ヨコナデとナデによる。185は土師器杯。口径16.8cm、残存器高2.3cm。主たる調整はナデ。色調は淡黄褐色。186・187はＳＤ０２２出土遺物。186は小型丸底坩。口径10.3cm、残存器高６cm。調整は摩耗のため不明。色調は灰褐色。187は台付き杯。口径10.3cm、器高7.7cm、脚径8.8cm。主たる調整はナデ。脚部に穿孔有り。色調は淡黄褐色。

**ＳＤ１２１溝出土遺物(1)**　(Fig. 63)

188〜190は土師器長頸壷。頸部・口縁部を欠く。胴部高は10〜11cm程度。調整は188で外面摩耗のため不明、内面ヘラケズリ、189で外面ヘラミガキ、内面ナデ・ハケ目、190で外面ナデ、内面ハケ目による。３個体共外面に黒斑部有り。191は土師器高杯。口径19.8cm、残存器高10.9cm。調整は摩耗が全体的に進んでいるので不明。色調は外面が淡橙褐色、内面が淡褐色。192は２重口縁の壷。口径20cm、残存器高11.9cm。胴部は球状を呈し、頸部は角度をもって立ち上がる。口縁部は大きく開き、直線的にのびる。調整は外面が口縁上部ハケ目、そこより下部にはヘラミガキ、頸部はヨコナデ、胴部はヘラミガキ。内面は口縁部から頸部にかけてヘラミガキ、ナデによる。内面には輪積痕が観察できる。色調は淡灰橙色。193も２重口縁の壷。口径27.4cm、残存器高44.5cm。調整は口縁部から頸部の内外面がヨコナデ、胴部が外面ハケ目、内面上半ハケ目、下半ヘラケズリ。色調は淡橙褐色。

**ＳＤ１２１溝出土遺物(2)**　(Fig. 64)

194は手捏土器の支脚か。長さ3.5cm、幅1.9cm、厚さ1.9cm。195〜197は土師器鉢。195で口径17.5cm、器高5.7cm。底部は平坦な部分があり、平底状を呈する。調整は外面がハケ目、内面がヨコナデ・ナデによる。色調は橙褐色。196は口径13.1cm、器高約９cm。口縁部は内

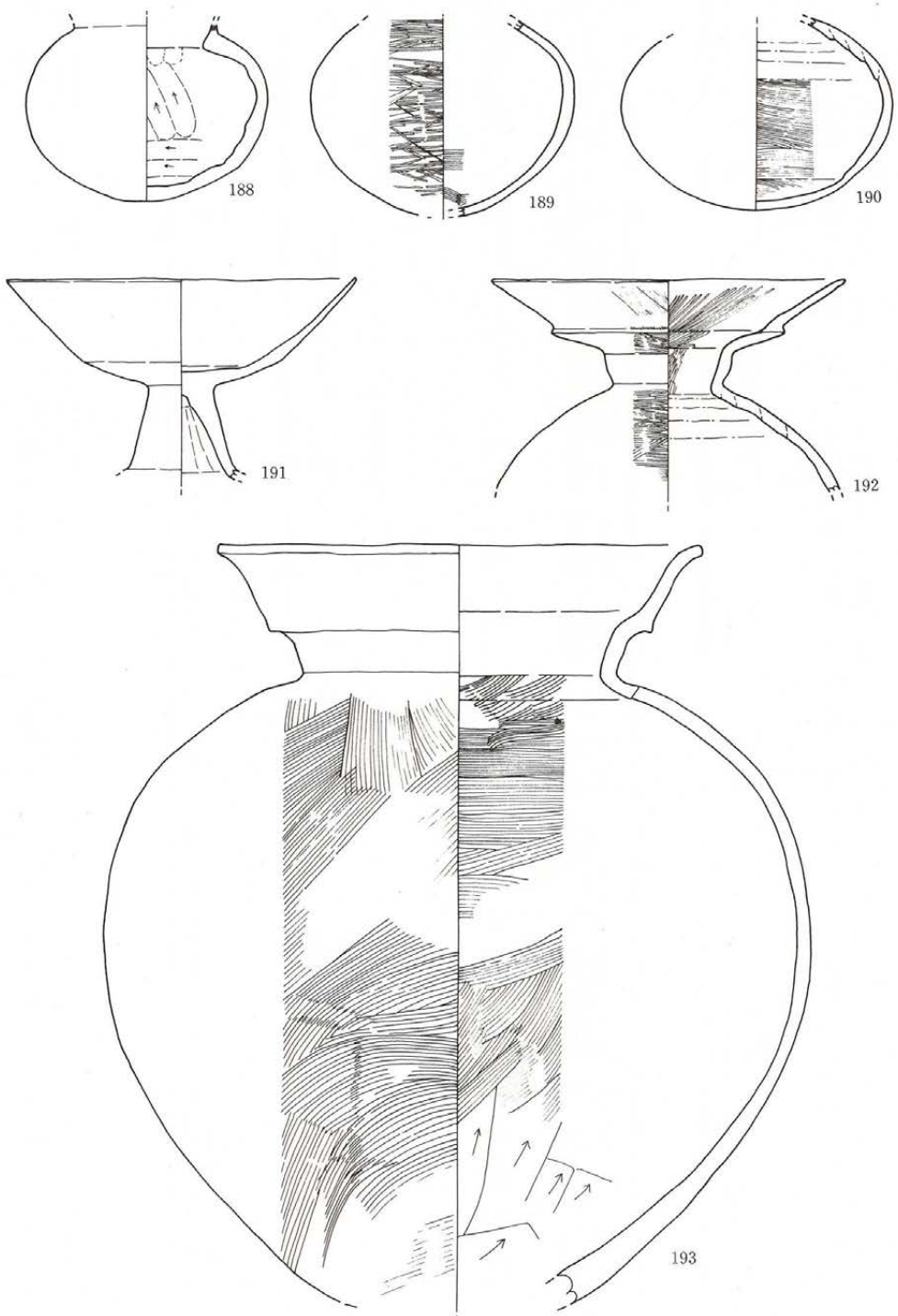



Fig. 63　SD121溝出土遺物実測図(1)（S＝1／4）

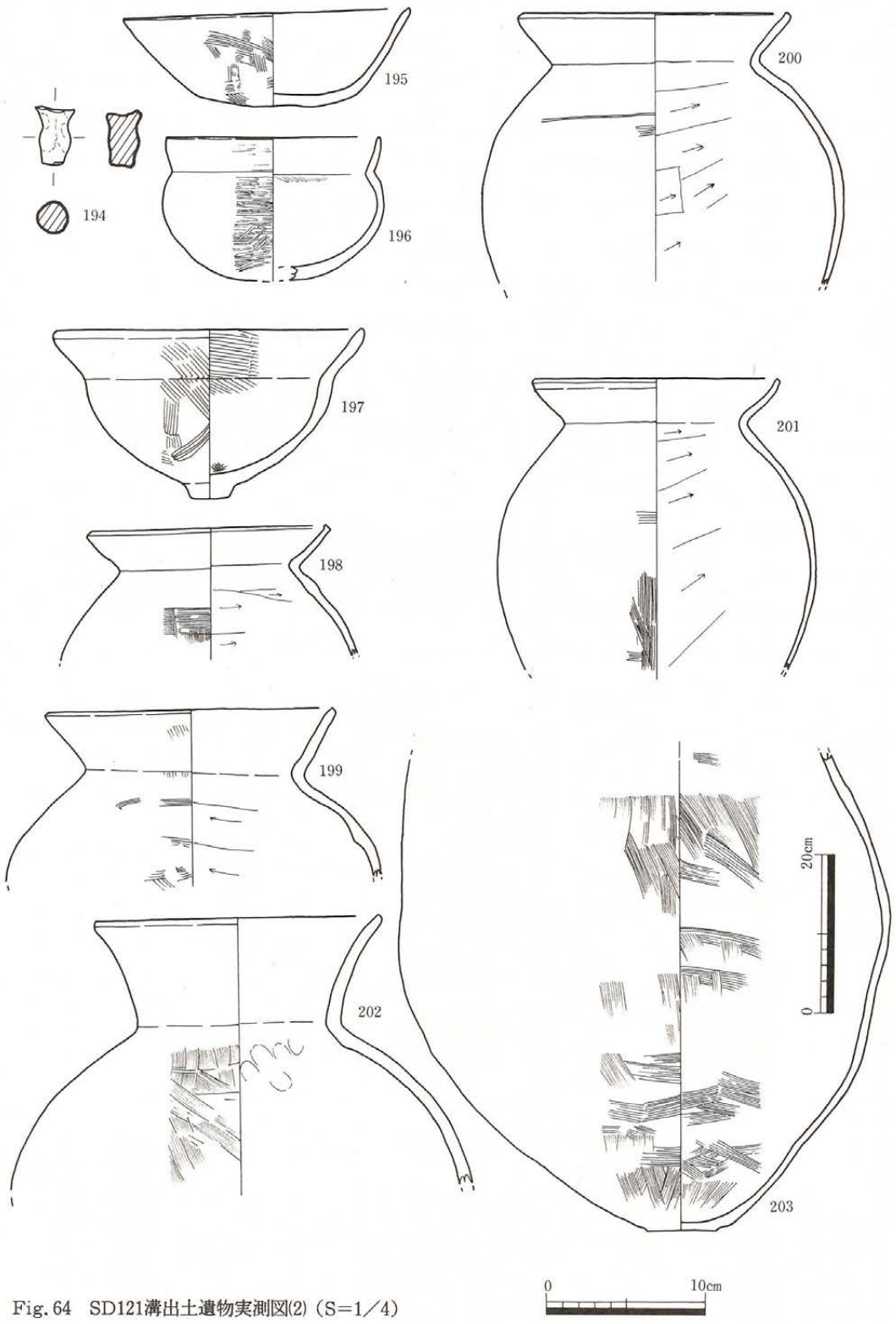



Fig. 64　SD121溝出土遺物実測図(2)（S＝1／4）

湾気味に立ち上がる。調整は口縁部内外面がヨコナデ、胴部が外面ヘラケズリ、内面ナデ。色調は橙褐色。197は口径18.9cm、器高10.5cm、底径2.3cm。主たる調整はハケ目とナデ。外面に黒斑部有り。198～201は土師器甕。口径14.4・17.5・16.3・15cm、残存器高８・19.5・17・18. 2cm。198・200は口唇部に摘み上げの手法が観察できる。主たる調整は外面がナデ・ヨコナデ・ハケ目、内面が口縁部のヨコナデ胴部のヘラケズリ。200は胴部上半に一条の沈線が走る。色調は淡黄褐色・淡灰色を基調とする。202は壷。口径17.6cm、残存器高16.8cm。口縁部は大きく外半し、口唇部は丸味を帯びる。調整は口縁部内外面ヨコナデ、胴部外面ハケ目、内面指頭によるおさえ、ヘラケズリ。色調は外面が灰黄褐色、内面が灰褐色。203は壷の胴部か。残存器高59.6cm、底径8.6cm。主たる調整はハケ目であるが、全体的に摩耗が進んでおり不鮮明。色調は淡黄褐色。

## 2．奈良時代の遺物と遺構

奈良時代の所産は以下に記する井戸のみ。隣接する寺裏遺跡や平成元年度調査のＡ・Ｂ地点でも同時代の遺物・遺構は少ない。この時代の土地利用は狭隘な地区に限られていたものか。

井戸と出土遺物

**ＳＥ１３４井戸**　(Fig. 65)

Ｃ－３グリッドの南東部にある。上面の平面形は円形を基調とし径１ｍ、最深部で1.42ｍを測る。底面は舟底状を呈し、壁は急角度に立ち上がる。埋土は黒褐色土・淡灰黒色土に大別される。出土遺物は挿図中の須恵器１点のみ。

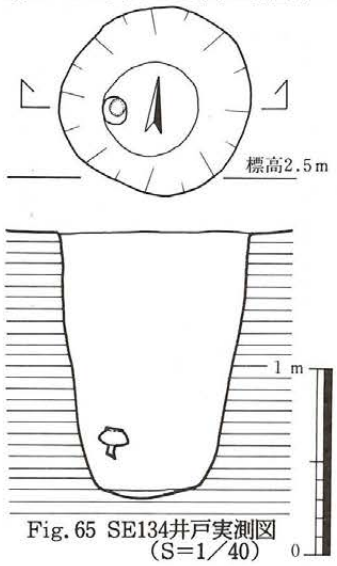


Fig. 65 SE134井戸実測図
(S=1／40)

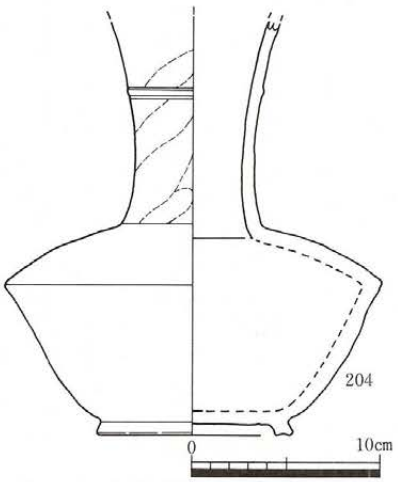


Fig. 66　SE134井戸出土遺物実測図
(S=1／4)

**ＳＥ１３４井戸**
(Fig. 66)

204は須恵器長頸壷。残存器高21.6cm、高台径10.05cm。主たる調整は回転ヨコナデによるが、外面頸部に指腹による螺旋状のナデも観察できる。色調は淡灰色。

### 3．中世の遺物と遺構

調査区の南半部に集中し、古墳時代の遺構と混在する。量的には古墳時代のものが多い。検出した遺構のには井戸・溝・土壙などがある。建物は検出しなかった。古墳時代の土壙と溝のように、中世の同遺構にも識別が困難なものもある。埋土や遺構断面で種別を決定し、主観的な要素を含むことを付しておきたい。

#### (1) 井戸と出土遺物

調査区南半に点在する。すべて素掘り1段掘りのものである。井戸の埋土にはここ数年来の発掘調査で検出している藁灰状のものが含まれていた。井戸の廃棄の際に行われた祭祀行為の痕跡か。古墳時代の土壙・井戸と同様、その区別は困難な部分もあるが、埋土・断面形・深さなどを勘案し決定した。

**ＳＥ００５井戸**　(Fig. 67)

Ｃ－22. 23グリッドの中央部にある。上面の平面形は東西に長い楕円形を呈し、東部と北西部を他遺構に切られている。底面は船底状を呈し、壁はほぼ垂直に立ち上がる。土層分類は挿図中に記している。出土遺物には土師器・瓦器・磁器がある。

**ＳＥ００５溝出土遺物**
(Fig. 68)

205・206は土師器皿。口径8.9・8.15cm、器高1.4・1・7cm、底径7.5・6.9cm。底面には糸きり、板目。207～210は土師器杯。口径14.2・13.2・13.7・15.4cm、器高3.3・3.4・2.9・3cm、底径9.6・9.5・11.2・11.6cm。底面は糸きり、209と210には板目有り。211・212は青磁碗。211で残存器高3.4cm、高台径5.2cm。畳付き部と高台内面は露胎。色調は暗緑色。212で口径16.6cm、残存器高5.5cm。色調は暗緑色。

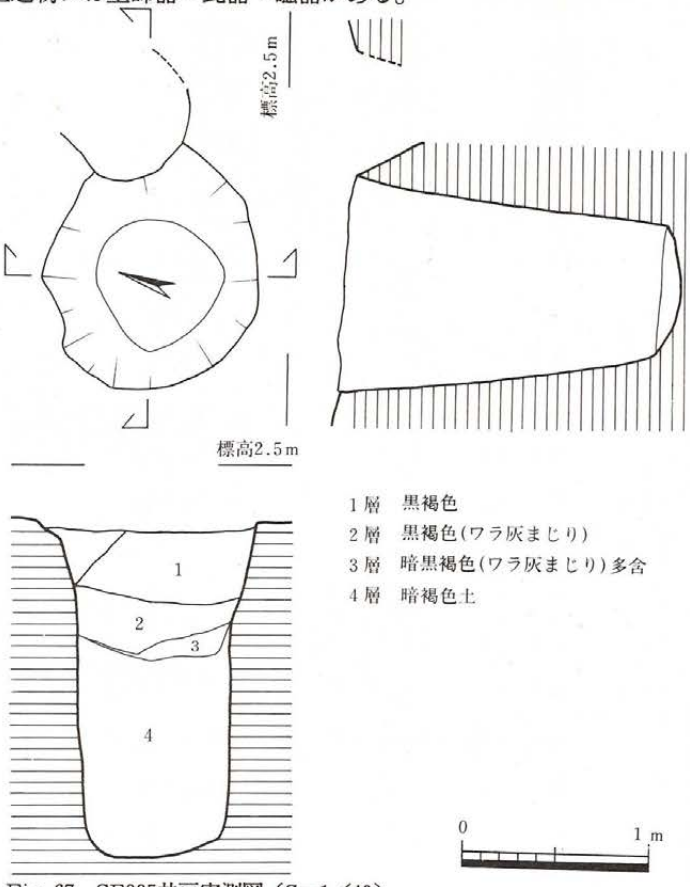



Fig. 67　SE005井戸実測図（S=1／40）

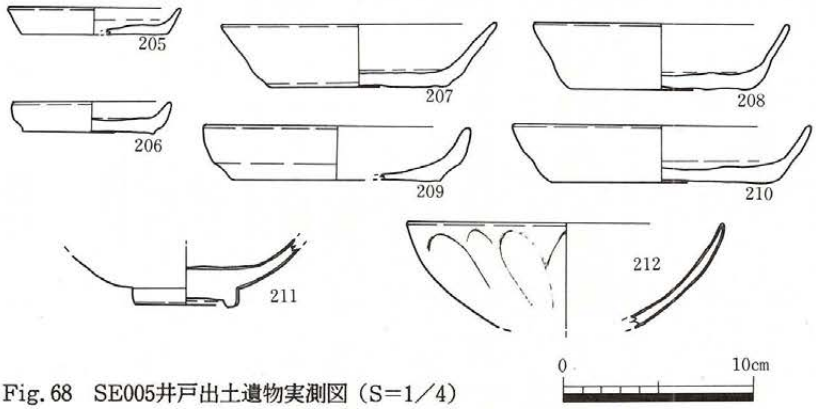
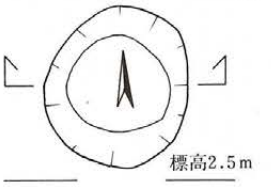



Fig. 68　SE005井戸出土遺物実測図（S＝1／4）



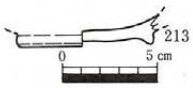




Fig. 70　SE007
井戸出土遺物実測図
（S＝1／4）

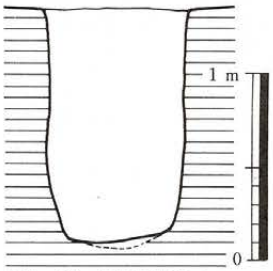



Fig. 69　SE007井戸
実測図（S＝1／40）

**ＳＥ００７井戸**　（Fig. 69）

Ｃ－23グリッドの南東部にある。上面の平面形は南北にやや長い楕円形を呈する。中心部で南北0.86m、東西0.77m、深さ1.24mを測る。底面には起伏があり、壁はほぼ垂直に立ち上がる。出土遺物は少なく、図化できるのは瓦器1点のみ。埋土は暗褐色土を基調とし下層になるに従い、黄色粘土ブロックを多く含む。出土遺物には土師器・瓦器がある。

**ＳＥ００７溝出土遺物**　（Fig. 70）

213は瓦器碗。残存器高1.5cm、高台径6.85cm。内面にはヘラミガキが施されている。色調は暗褐色。

**ＳＥ００９井戸**　（Fig. 71）

Ｃ－23グリッドの北東部にあり、ＳＫ０１３を切っている。上面の平面形は円形を基調とするものと考えるが、崩落により変形している。底面にはわずかな起伏があり、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋土は5層に分類できる。黒褐色土を基調とする。出土遺物には土師器・瓦器石製品がある。

**ＳＥ００９井戸出土遺物**　（Fig. 72）

214～217は土師器皿。口径8.2・8.2・8.4・8.8cm、器高1.2・1.2・1.9・8.8cm、底径6.6・6.2・5.8・6.9cm。底面は糸きり、217は板目有り。色調は暗黄褐色を基調とする。218は土師器杯。口径14.3cm、器高2.75cm、底径10cm。内面底部には強いナデ。底部外面は糸きり。色調は暗黄褐色。220は滑石製品の錘か。長さ3cm、幅3.2cm、厚さ3.3cm。上部をカットした角錘形を呈し、上面及び側面から1箇所づつ穿孔を行っている。2箇所の孔はつながってお

り、紐を通していた可能性が高いが、紐ずれの痕跡は確認できなかった。全面に比較的粗い加工痕を残し、側面の2箇所はうすく抉りが、また底面には長楕円形の深い抉りが施されている。

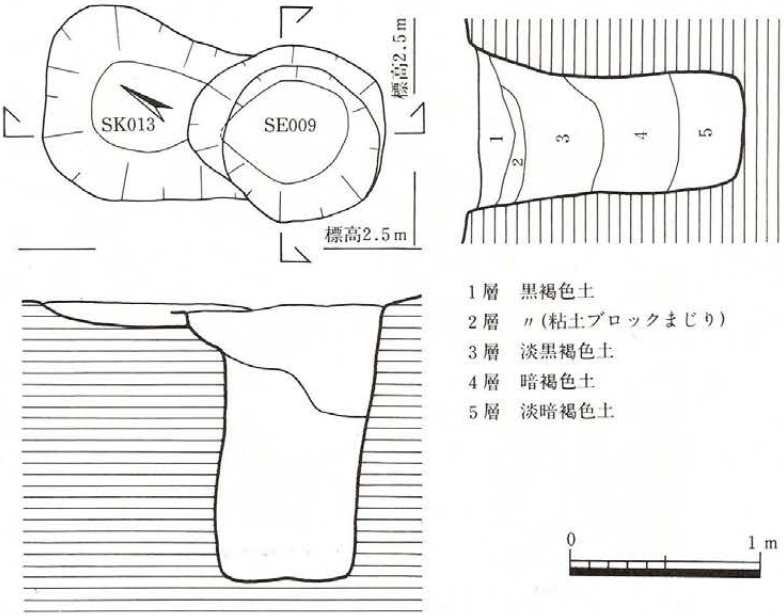



Fig. 71　SE009井戸実測図（S=1／40）

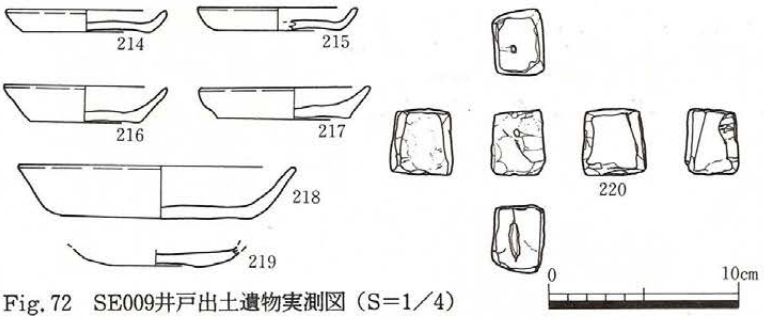



Fig. 72　SE009井戸出土遺物実測図（S=1／4）

**ＳＥ０１８井戸**　（Fig. 73）

Ｃ－21グリッドの北部に位置する。上面の平面形は東西に長い楕円形を呈する。掘り込み下部に稜を有するが、これは崩落のためか。底面は概ね平坦、壁は角度をもって立ち上がる。埋土は4層に分類できる。出土遺物には土師器・瓦器・須恵器がある。須恵器は流れこみによるもの。

**ＳＥ０１８井戸出土遺物**　（Fig. 74）

221は土師器皿。口径9.2cm、器高1.6cm、底径7cm。底面外部は糸きり。色調は黒黄褐色。222は土師器台付き皿。口径10cm、器高2.45cm、高台径6.2cm。底面は糸きり。色調は淡黄褐色。

**ＳＥ０２４井戸**　（Fig. 75）

Ｃ－19グリッドの北西部に位置する。上面の平面形は円形を基調とするが、掘り込み面の崩落によりやや東西に長い楕円形を呈する。中心部で東西1.03m、南北0.95m深さ1.63mを

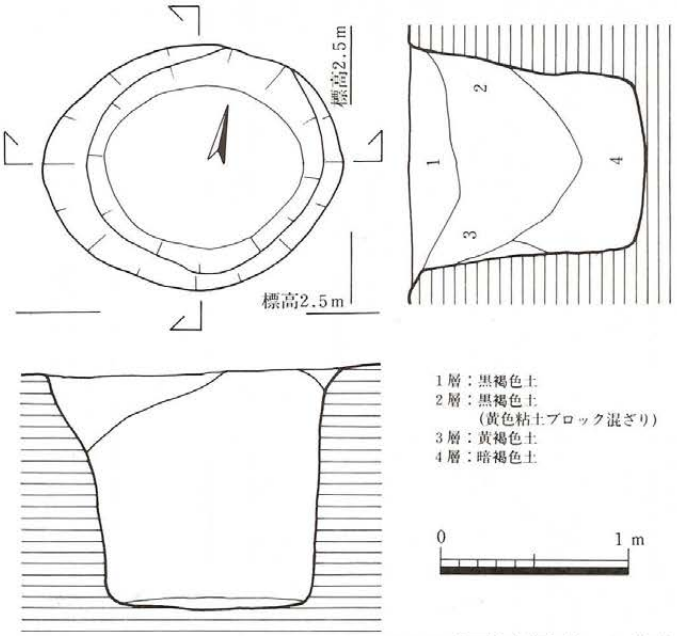



Fig. 73　SE018井戸実測図（S=1／40）

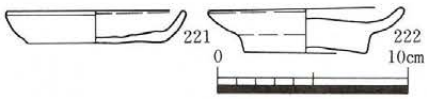



Fig. 74　SE018井戸出土遺物実測図(S=1／4)

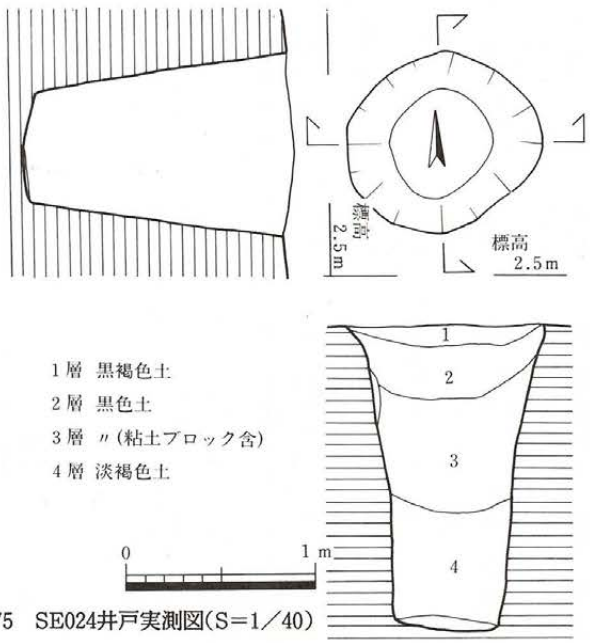



Fig. 75　SE024井戸実測図(S=1／40)

測る。底面は船底状を呈し、壁は角度をもって立ち上がる。埋土は4層に大別できる。出土遺物には土師器・磁器がある。

**ＳＥ０２４井戸出土遺物**（Fig. 76）

223・224は土師器皿。口径8.4・10.3cm、器高1.5・1.2cm、底径5.8・8.4cm。底面は223が板目、224が糸きり。色調は淡黄褐色。225・226は土師器杯。口径15.6・15.9器高3.15・2.95cm、底径11.3・10.9cm。底面には板目を有する。色調は淡黄褐色。

**ＳＥ０２６井戸**（Fig. 77）

Ｃ－18グリッドの西方に位置する。素掘りの井戸である。上面の平面形は不定型を呈する。掘り込み下0.3m付近の壁に稜を有するがこれは崩落のためか。底面には僅かな起伏があるが、概ね平坦。壁は比較的角度をもって立ち上がるが、直線的ではない。埋土は6層に細分できる。黒褐色を基調とするが、粘土粒子・灰などを含む。出土遺物には土師器・瓦器・磁器がある。

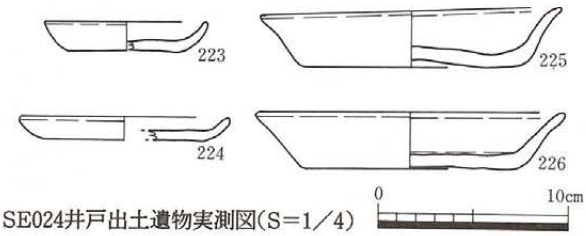



Fig. 76　SE024井戸出土遺物実測図(S=1／4)

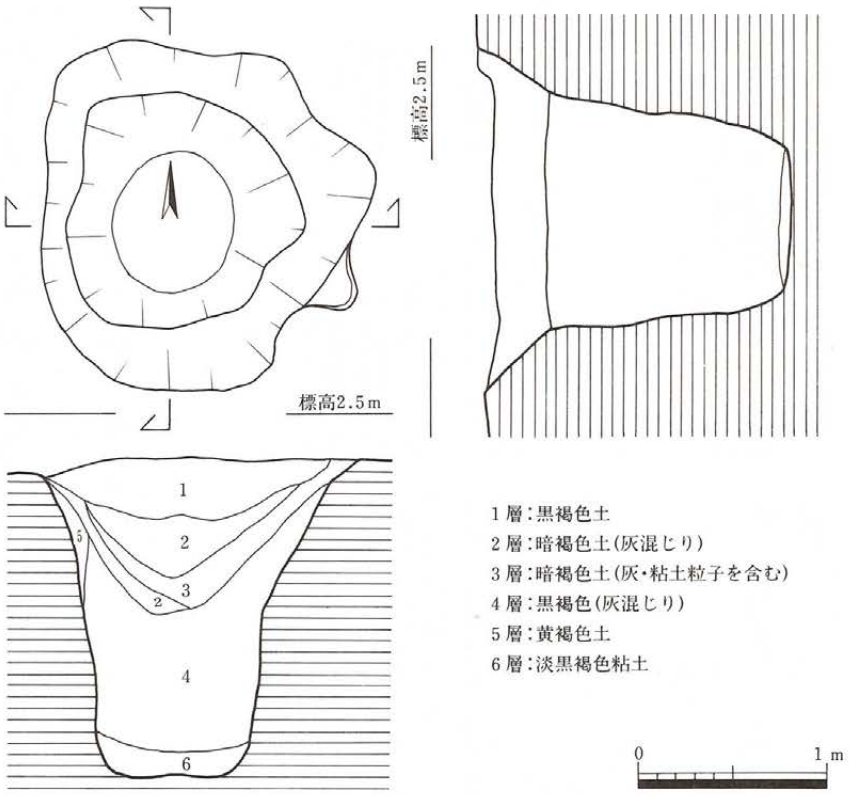



Fig. 77　SE026井戸実測図（S=1／40）

**ＳＥ０２６井戸出土遺物**

（Fig. 78）

227・228は土師器皿。口径8.9・8.8cm、器高1.1・1.5cm、底径7.5・7.1cm。底面には糸きり。227は板目有り。229は土師器杯。口径14cm、器高2.5cm、底径10cm。内面底部は一定方向のナデ、外面底部は糸きり。色調は淡橙褐色。230は瓦器碗。残存器高2.6cm、高台径7.2cm。調整は内面がナデ、外面がヘラミガキによる。色調は内面が暗灰黒色、外面が灰黄褐色。

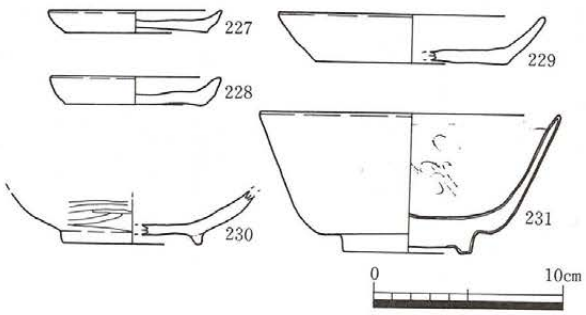



Fig. 78　SE026井戸出土遺物実測図（S=1／4）

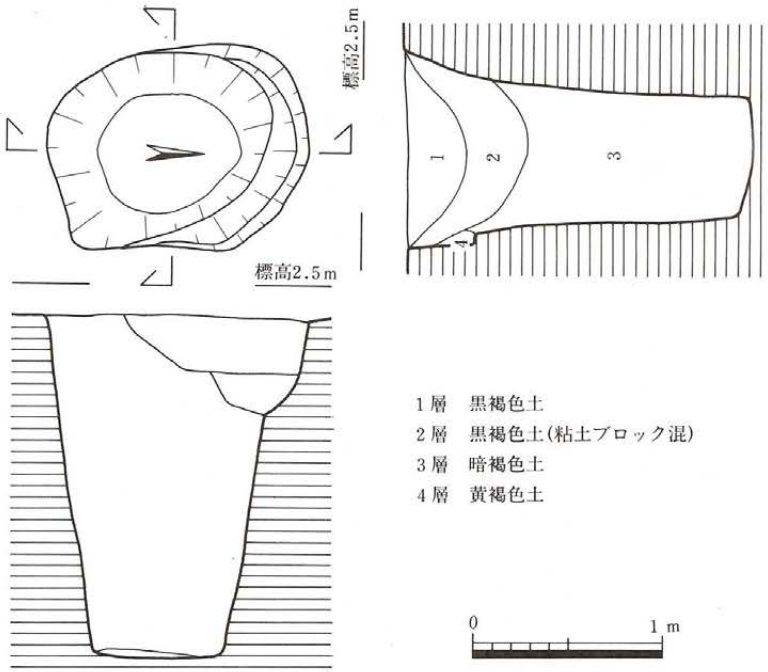



Fig. 79　SE027井戸実測図実測図（S=1／40）

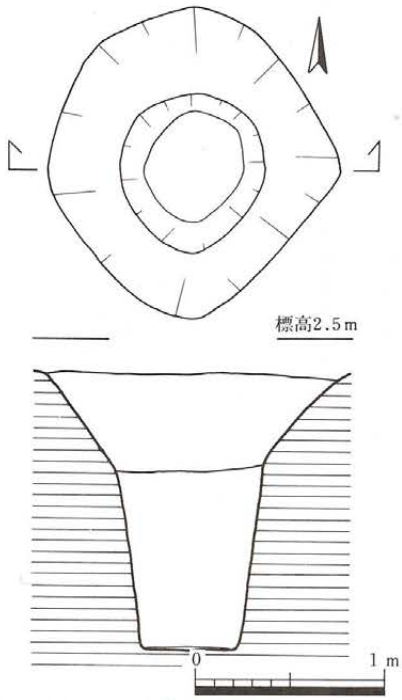



Fig. 81　SE029井戸実測図(S=1／40)

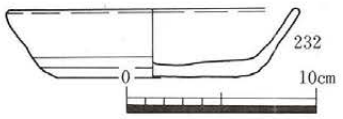



Fig. 80　SE027
井戸出土遺物実測図(S=1／4)

231は青磁碗。口径15.6cm、器高7.3cm、高台径6.8cm。高台内面は露胎。色調は釉が緑褐色、胎土が黄色灰色。

**ＳＥ０２７井戸**　（Fig. 79）

Ｄ－18グリッドの西部にある。素掘り、１段掘りの井戸である。上面の平面形は不定型を呈するが、他遺構との切り合いがあったものと考える。中心部で東西1.05m、南北1.37m、深さ1.83m。底面は舟底状を呈し、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋土は４層に細分できる。出土遺物には土師器・石製品・陶器があるが、細片が大半。

**ＳＥ０２７井戸出土遺物**　(Fig. 80)

232は土師器杯。口径15cm、器高3.65cm、底径9.7cm。調整はヨコナデ・ナデによる。底面には糸きり痕を有する。色調は淡黄褐色。

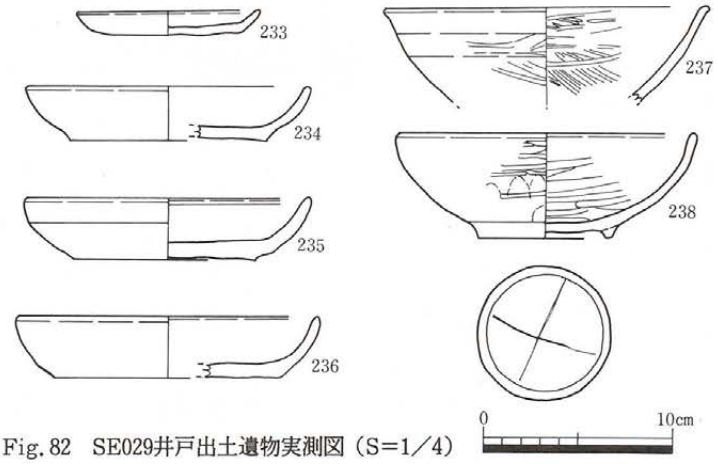



Fig. 82　SE029井戸出土遺物実測図（S=1／4）

**ＳＥ０２９井戸**　(Fig. 81)

D・E－18グリッドの中央部に位置する。上面の平面形は南北にやや長い楕円形を基調とする。素掘りの井戸で２段掘りの様相を呈するが、２段目に平坦部はない。底面はほぼ平坦で壁は比較的角度をもって立ち上がり、掘り込み下0.5m付近で角度を変え上面に至る。埋土は黒褐色土・暗褐色土を基調とし、出土遺物には須恵器・土師器・瓦器・磁器・滑石製品がある。

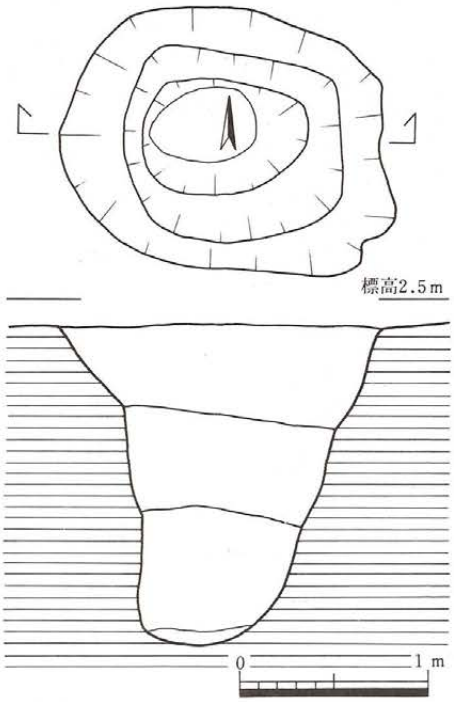



Fig. 83　SE048井戸実測図（S=1／40）

**ＳＥ０２９井戸出土遺物**　(Fig. 82)

233は土師器皿。口径9.4cm、器高1.35cm、底径7.8cm。底面外部には板目有り。234～236は土師器杯。口径14.7・14.5・15.7cm、器高2.8・3.2・3.2cm、底径10.2・9.1・11.8cm。内面底部には強いナデ、外面底部には糸きり、235には板目あり。色調は淡橙褐色・淡黄褐色。237は黒色土器（内黒）碗。口径16.8cm、残存器高4.9cm。主たる調整は回転ヨコナデ・ヘラミガキによる。238は瓦器碗。口径15.4cm、器高5.5cm、高台

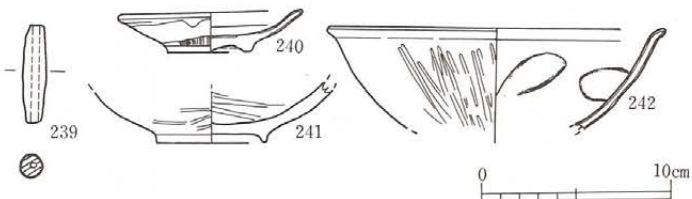



Fig. 84　SE048井戸出土遺物実測図（S=1／4）

径７cm。主たる調整は内外面のヨコナデ、外面の指頭圧によるおさえ。高台内面にヘラ記号有り。色調は灰色を基調とする。

**ＳＥ０４８井戸**　(Fig. 83)

Ｄ－16グリッドの北部に位置する。上面の平面形は不定型を呈する。東西幅1.7ｍ、南北幅1.39ｍ深さ1.7ｍを測る。素掘りの井戸であるが壁面に２状の稜を有し３段掘りの様相を呈するするが各段に平坦面はない。底面は舟底状を呈し、壁は多少カーブを描きながら角度をもって立ち上がる。埋土は黒褐色土・暗褐色土を基調とし、出土遺物には土師器・瓦器・磁器がある。土師器の中には古墳時代の所産も含まれているが、これは流れこみ又は他遺構と切り合いがあったものであろう。

**ＳＥ０４８井戸出土遺物**　(Fig. 84)

239は土錘。長さ5.1cm、幅1.2cm、厚さ1.15cm。240は青磁皿。口径9.5cm、器高2.15cm、高台径4.4cm。内面全体と口縁下部まで釉がかかる。色調は淡緑色。241は瓦器碗。残存器高3.15cm、高台径5.7cm。主たる調整はヘラミガキ。242は青磁碗。口径17.8cm、残存器高5.2cm。全面施釉。色調は淡緑色。

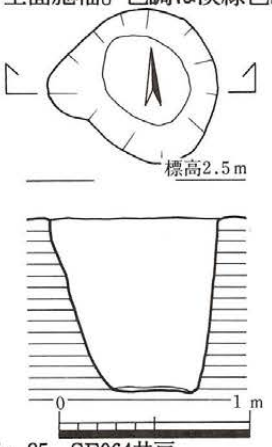



Fig. 85　SE064井戸
実測図(S=1／40)

**ＳＥ０６４井戸**　(Fig. 85)

Ｅ－23グリッドの北東部に位置する。上面の平面形は円形を基調とする。西側掘り込みは小穴と切り合っている。素掘りの井戸である。中心部で東西0.9ｍ、南北0.8ｍ、深さ0.92ｍを測る。底面には緩やかな起伏があり、壁は比較的角度をもって立ち上がる。埋土は黒褐色土・淡褐色土を基調とする。出土遺物は土師器・石製品を少量検出した。

**ＳＥ０６４井戸出土遺物**　(Fig. 86)

243・244は土師器杯。口径13.7・13.8cm、器高3.1・3.0cm、底径10.4・19.3cm。主たる調整はナデ、ヨコナデによる。底面外部には糸きり、243には板目有り。色調は淡黄褐色。245は土師器皿。口径9.6cm、器高１cm、底径8.2cm。底面には糸きり、板目有り。色調は橙褐色。246は砥石。長さ5.9cm、幅2.6cm、厚さ0.9cm。４面を使用している。石質は砂岩系か。

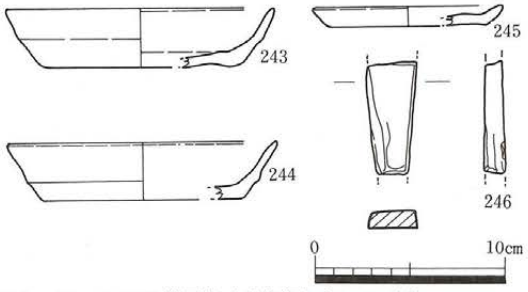



Fig. 86　SE064井戸出土実測図（S=1／4）

### ＳＥ０７２井戸　(Fig. 87)

Ｄ－22・23グリッドの中央部に位置する。上面の平面形は南北にやや長い楕円形を呈する。１段掘り素掘りの井戸である。中心部で東西1.02m、南北1.13m、深さ1.62ｍを測る。底面幅は狭く径0.4m程度で、僅かな起伏がある。壁は角度をもって立ち上がるが、下半部の膨らみは壁面の崩落によるものである。埋土は黒褐色土・淡褐色土を基調とする。出土遺物には土師器がある。量的には少ない。

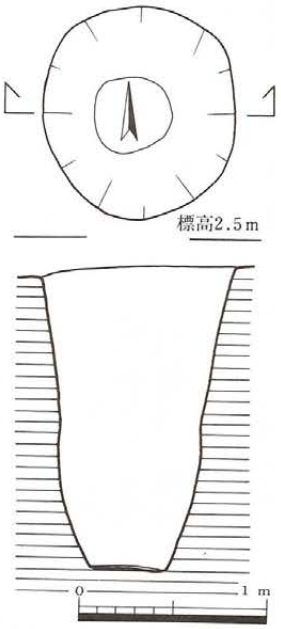



Fig. 87　SE072井戸実測図(S=1／40)

### ＳＥ０７２井戸出土遺物　(Fig. 88)

247は土師器皿。口径8.8cm、器高1.45cm、底径7.3cm。底面は糸きり。248は土師器杯。口径13.3cm、器高2.6cm、底径10.2cm。調整は口縁部内外面ヨコナデ、内面底部のナデ。外面底部は糸きり。色調は淡黄褐色。

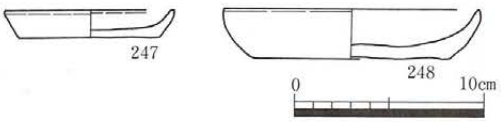



Fig. 88　SE072井戸出土遺物実測図(S=1／4)

### ＳＥ０７４井戸　(Fig. 89)

Ｅ－21グリッドの南東部に位置する。上面の平面形は南北にやや長い楕円形を呈する。１段掘り、素掘りの井戸である。南で小穴と接し、これを切っている。中心部で東西0.87m、南北0.95ｍ、深さ1.65ｍを測る。底面は舟底状を呈し、壁は角度をもって直線的に立ち上がる。埋土は黒褐色土・淡黒褐色土を基調とする。出土遺物には瓦器・磁器・滑石製品がある。量的には少なくいずれも細片。

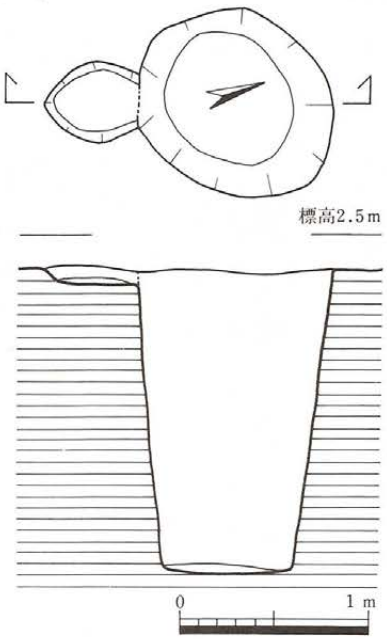



Fig. 89　SE074井戸実測図(S=1／40)

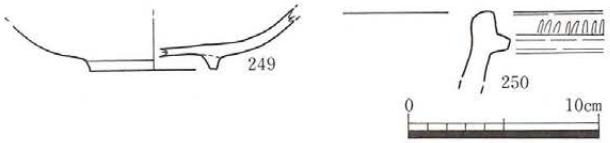



Fig. 90　SE074井戸出土遺物実測図(S=1／4)

### ＳＥ０７４井戸出土遺物　(Fig. 90)

249は瓦器碗。残存器高3.15cm、高台径6.6cm。調整は内面ヘラミガキ、外面ナデによる。色調は内面

黒色、外面淡橙褐色。250は滑石製の鍋。残存部が小さいので口径の復元は不能。残存高3.7cm。口縁部外面にはケズリ痕が観察できる。

### (2) 土壙と出土遺物

調査区南半に点在する。上面の平面形は楕円形を基調としたものが多い。深さは0.5～1m程度のものが多い。埋土は黒褐色土を基調とし下部に向かうにつれて黄色味を増す。遺構の性格については不明なものが多い。

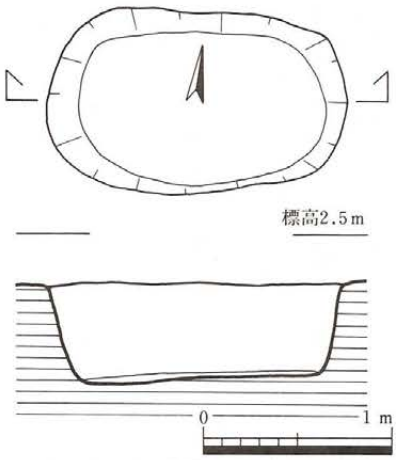


Fig. 91　SK019土壙実測図(S=1／40)

**ＳＫ０１９土壙**　(Fig. 91)

C－21グリッドの北東部に位置する。上面の平面形は東西に長い楕円形を呈する。中心部で東西1.57m、南北0.96m、深さ0.5mを測る。底面は概ね平坦。壁は四方とも角度をもって立ち上がる。埋土は黒褐色土を基調とする。出土遺物には土師器・須恵器・瓦器・磁器がある。遺物出土量としては比較的多い遺構の部類に入るが、細片が多い。

**ＳＫ０１９土壙出土遺物**　(Fig. 92)

251～253は土師器杯。口径13.6・13.6・13.4cm、器高3.2・3.4・3.5cm、底径9.4・10・8.65cm。調整は口縁部回転ヨコナデ、内面底部ナデ。底面外部には糸切り痕有り。色調は淡黄褐色・明橙褐色・淡黄褐色。254は瓦器碗。残存器高1.7cm、高台径7cm。内面にヘラミガキが観察できる。色調は黒灰色。

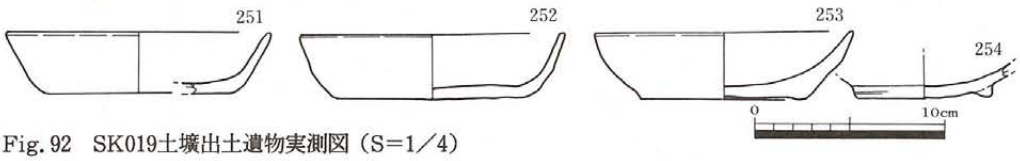


Fig. 92　SK019土壙出土遺物実測図 (S=1／4)

**ＳＫ０２０土壙**　(Fig. 93)

C・D－20グリッドに位置する。上面の平面形は隅丸長方形を基調とするが、北東部掘り込み付近が内側にやや突出している。中心部で東西1.25m、南北1.01m、深さ0.32mを測る・底面は概ね平坦であるが、やや南壁寄りが深くなっている。埋土は2層に分層できる。上層が淡黒褐色土、下層が淡黒褐色土（黄色粘土混じり）となっている。出土遺物には土師器・瓦器があるがいずれも細片。

**ＳＫ０２０土壙出土遺物**　(Fig. 94)

255は土師器皿。口径8.8cm、器高1.2cm、底径6.8cm。底面は糸きり。256は瓦器碗。残存器高3.3cm、高台径6.2cm。内面にはヘラケズリがある。色調は暗灰色。

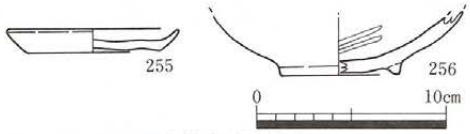



Fig. 94　SK020土壙出土遺物(S=1／4)

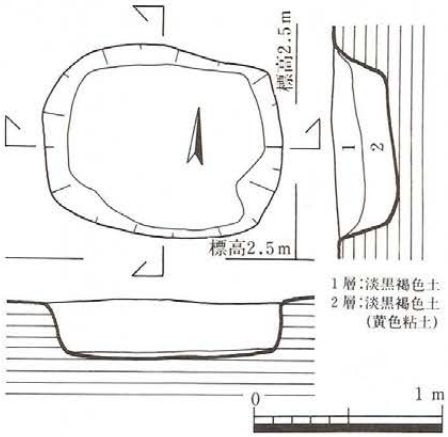



Fig. 93　SK020土壙実測図(S=1／40)

**ＳＫ０３４土壙**　(Fig. 95)

Ｃ－17グリッドの南東部にある。上面の平面形は円形を基調とするが西側掘り込み部分がやや外側に突出する。底面はわずかに舟底状を呈し、壁は角度をもって立ち上がる。中心部で径0.64m、深さ0.5mを測る。埋土は淡黒褐色土。出土遺物には土師器・瓦器がある。瓦器は遺構底面直上で検出した。埋納された様相を呈する。この種の遺構で土師器皿・杯が埋納された状況で検出する例は多いが瓦器はあまり例を見ない。

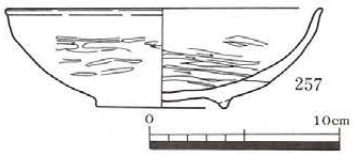



Fig. 96　SK034土壙出土遺物
実測図(S=1／4)

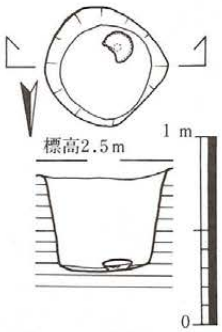



Fig. 95　SK034土壙
実測図(S=1／40)

**ＳＫ０３４土壙出土遺物**　(Fig. 96)

257は瓦器碗。口径16.4cm、器高5.3cm、高台径6.8cm。器面下半部内外面にはヘラミガキが観察できる。高台内部には板目がある。色調は口縁部内外面黒色、他の部分は灰色。ほぼ完形品。

**ＳＫ０４０・０４１土壙**　(Fig. 97)

Ｅ－17グリッドの北東部に位置する。ＳＫ０４０はＳＫ０４１を切っている。ＳＫ０４０は東西に長い隅丸長方形を基調とし、中心部で東西1.09m、南北約0.85m、深さ0.36mを測る。底面には起伏がある。壁は比較的急角度で立ち上がる。埋土は黒褐色土を基調とする。出土遺物には土師器・須恵器・瓦器・磁器がある。細片が多く、流れこみによると思われるものも多い。

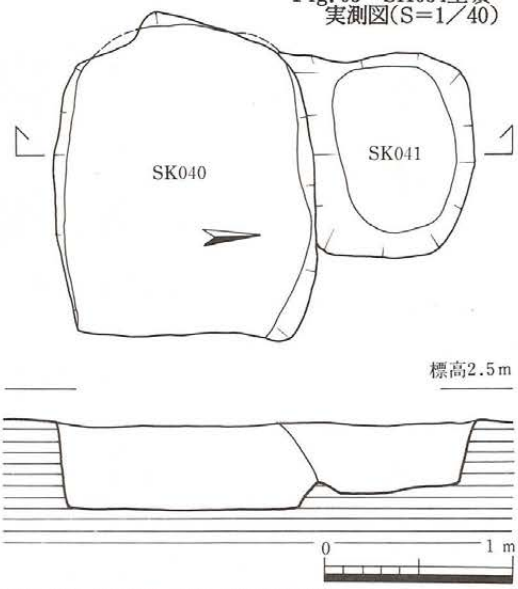



Fig. 97　SK040・041土壙実測図(S=1／40)

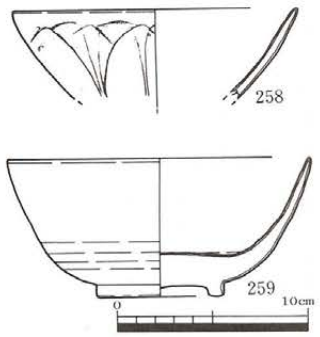



Fig. 98　SK040・041出土遺物
実測図(S=1/4)

ＳＫ０４１は上面の平面形が隅丸長方形を呈するものと考えるが、東側掘り込み部を撹乱されている。中心部で東西検出長1.64m、南北幅1.4m深さ0.44mを測る。底面はほぼ平坦である。壁は比較的角度をもって立ち上がるが、部分的にはオーバーハングしている箇所もある。埋土はＳＫ０４０同様。出土遺物には磁器・瓦器・須恵器・滑石製品がある。いずれも細片であったため図下していない。

**ＳＫ０４０土壙出土遺物**　(Fig. 98)

258は青磁碗。口径14.7cm、残存器高4.8cm。全面施釉。色調は釉が淡緑灰色。259も磁器碗。口径15.6cm、器高7.2cm、高台径6.6cm。畳付き部から高台内面は露胎。施釉部分には貫入が全面にある。色調は釉が緑褐色、胎土が灰褐色。

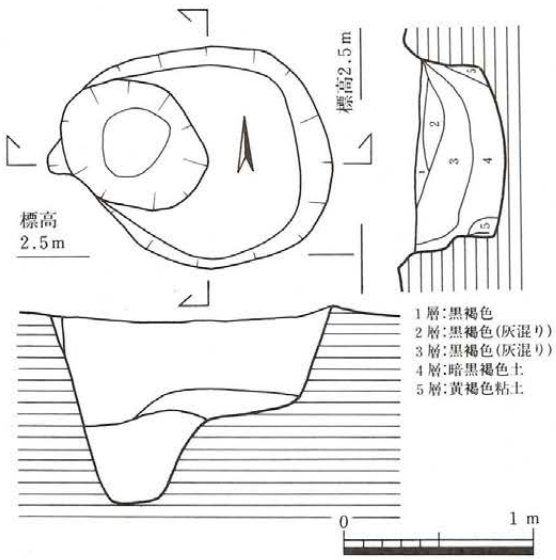



Fig. 99　SK042土壙実測図(S=1/40)

**ＳＫ０４２土壙**　(Fig. 99)

Ｅ－16グリッドの南にある。上面の平面形は不定型を呈するが、元来楕円形を基調としたものか。中心部で東西幅1.5m、1.18m、深さ0.53m、最深部0.96mを測る。遺構は２段掘りで、２段目は西壁に寄っている。平面図から見ると、２遺構の切り合いのように見えるが、土層から見ると確実に同一遺構である。底面は２段目は狭隘、１段目は大きな起伏がある。埋土は５層に細分できる。黒褐色土を基調とし、２・３層には藁灰が混在している。出土遺物には土師器。磁器があるが、量的には少なく大半が細片。

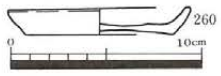



Fig. 100　SK042土壙
出土遺物実測図(S=1/4)

**ＳＫ０４２土壙出土遺物**　(Fig. 100)

260は土師器皿。口径9.3cm、器高1.5cm、底径7.6cm。調整は口縁部内外面ヨコナデ、内面底部ナデ、外面底部糸きり・板目。色調は淡黄褐色。

**ＳＫ０４５土壙**　(Fig. 101)

Ｄ－16グリッドの東にある。上面の平面形は隅丸長方形を呈する。中心部で東西幅1.26m、南北幅1.05m、深さ0.6mを測る。底面には起伏があり、壁は比較的角度をもって立ち上がる。埋土は黒色土・黒褐色土を基調とし、４層に細分できる。出土遺物には土師器・陶器・

磁器があるが細片が多い。

**ＳＫ０４５土壙出土遺物**

（Fig. 102）

261は土師器皿。口径8.6cm、器高1.95cm、底径6.9cm。底面は糸きり。262は残存器高4.3cm、高台径6.2cm。調整は内外面共にヘラミガキ。内外面の一部に黒斑有り。高台部内面にはヘラ記号有り。色調は灰黒色。263は白磁碗。残存器高３cm、高台径5.8cm。外面底部付近は露胎。色調は釉が灰黄色、胎土が淡黄灰色。264は陶器四耳壷。口径10cm、残存器高11cm。口縁部は短くわずかに内湾傾向にある。把手付近には３状の沈線がある。全面施釉。色調は釉が暗緑褐色、胎土が褐色。

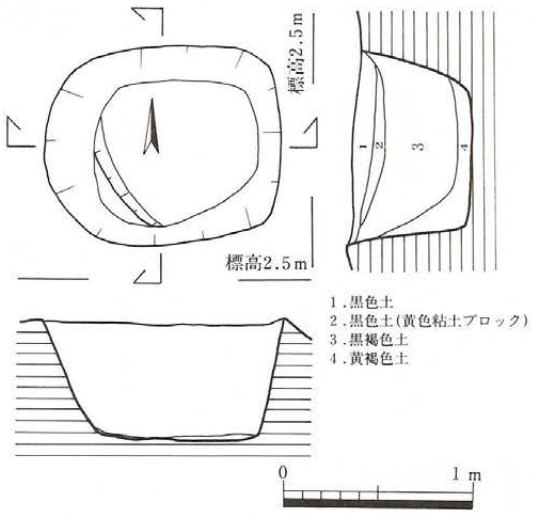



Fig. 101　SK045土壙実測図（Ｓ＝1／40）

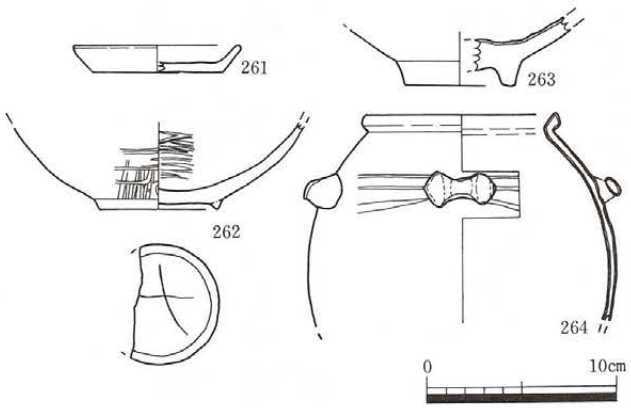



Fig. 102　SK045土壙出土遺物実測図（S=1／4）

**ＳＫ０７３土壙**

（Fig. 103）

Ｅ－22グリッドの南東部にある。上面の平面形は楕円形を呈するように見受けられるが、東側掘り込み部分の大半を撹乱により削平されているためである。元来隅丸長方形を呈していたものではなかろうか。中心部で東西幅2.63m、南北幅1.2m、深さ0.55mを測る。南側掘り込み下部には三コ月状の平坦部があり、そこから緩やかに下って底面に至る。底面 は部分的な起伏はあるものの概ね平坦。壁は比較的角度をもって立ち上がる。埋土は黒色土・黒褐色土を基調とし、出土遺物には土師器・陶器・磁器・滑石製品がありこの種の遺構からの出土量としては比較的多いが大半が細片であった。

**ＳＫ０７３土壙出土遺物**　（Fig. 104）

265は土師器皿。口径8.3cm、器高1.3cm、底径６cm。口縁部内外面はヨコナデ、内面底部はナデ、外面底部は糸きり。色調は淡黄褐色。ほぼ完存する。266は青磁碗。口径は算出できない。全面施釉。色調は釉が淡灰緑色、胎土が淡灰色。

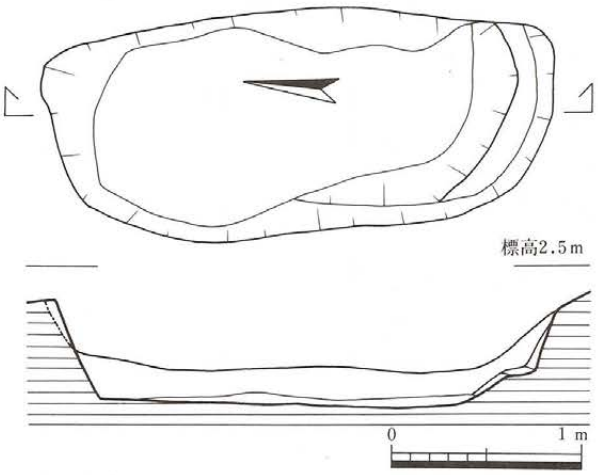



Fig. 103　SK073土壙実測図（S=1／40）

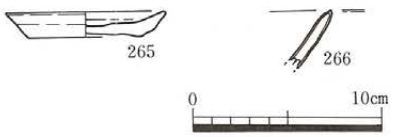



Fig. 104　SK073土壙出土遺物（S=1／4）

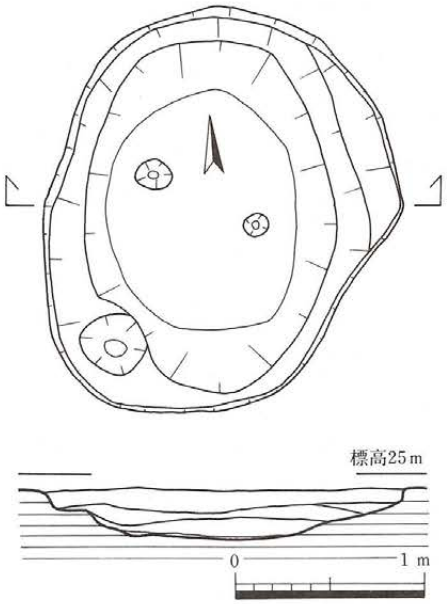



Fig. 105　SK093土壙実測図(S=1／40)

**ＳＫ０９３土壙**　（Fig. 105）

Ｄ－13グリッドの北西部に位置する。上面の平面形は南北にやや長い楕円形を基調とするものの、掘り込み北東部が外側にやや突出しているので不定型をていする。中心部で南北2.15m、東西1.88m、深さ0.25mを測る。遺構内には３個の小穴を検出しているが、この遺構に伴わないものと考える。底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。埋土は黒色土・黒褐色土を基調とし、出土遺物には土師器・磁器があるがいずれも細片。

**ＳＫ０９３土壙出土遺物**　（Fig. 106）

267は土師器皿。口径9.6cm、器高1.3cm、底径8.3cm。主たる調整はヨコナデ・ナデ。底面には糸切り痕有り。色調は暗灰色。ほぼ完存する。

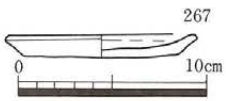



Fig. 106　SK093
出土遺物実測図(S=1／4)

**ＳＫ１００土壙**　（Fig. 107）

Ｅ－12グリッドの南東部に位置する。上面の平面形は隅丸長方形を呈する。南北の掘り込み部分に他遺構との切り合い関係をもつ。中心部で南北検出長1.16m、東西1.55m．深さ0.42mを測る。底面はほぼ平坦、壁は比較的角度をもって立ち上がる。埋土は黒褐色土を基調とし、出土遺物に

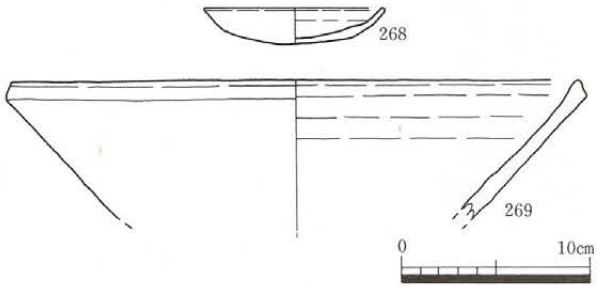



Fig. 108　SK100土壙出土遺物実測図（S＝1／4）

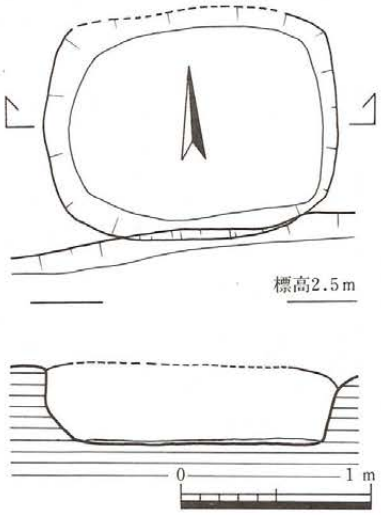



Fig. 107 SK100土壙実測図(S=1／40)

は瓦器・須恵質土器がある。

**ＳＫ１００土壙出土遺物**　（Fig. 108）

268は瓦器皿。口径9.2cm、器高1.9cm、底径7.4cm。底部は丸底様を呈する。主たる調整はナデ・ヨコナデによる。色調は黒褐色。269は須恵質土器の鉢。口径29.6cm、残存器高7.3cm。調整は口縁部内外面がヨコナデ、その他がナデによる。色調は暗灰色。

**(3)　溝と出土遺物**

中世の溝は調査区の南半に散在する。確実にこの時代の所産といえるものは７条ある。しかし、調査範囲が限定されているのでその全容を検出できたものはない。また、その性格についてもＳＤ０５８が集落を囲む溝であろうことや、その他の溝がなんらかの区画を表示するものであろうという想定しかできない。みぞの規模は幅0.6～５m、深さ0.3～１m程度を測り、埋土はＳＤ０５８のものが淡茶褐色土を基調としているほかは黒褐色土・淡褐色土を主体としていた。また。ＳＤ００２の埋土中には藁灰が混在しており、溝中祭祀を思わせる。

出土遺物には土師器・磁器・瓦器などがある。ＳＤ０５８の出土遺物については古墳時代の遺構を多数切っていることから、同時代の多くの出土遺物があったが、これらは佐賀市出土遺物等整理要項に基づきＩ種ｂに位置づけ巻末の目録に計測値等を記載している。

**ＳＤ００１・００２溝出土遺物**　（Fig. 109）

270・287～289はＳＤ００１出土遺物、271～286はＳＤ００２出土遺物。270～276は土師器皿。口径8.6・8.7・8.9・９・9.1・9.2・8.6cm、器高1.4・1.45・1.4・1.1・1.8・1.5・1.45cm、底径6.7・7.1・7.55・6.7・６・7.1・6.4cm。主たる調整は口縁部内外面のヨコナデ、内面底部のナデ。底面外部には糸きり。色調は淡黄褐色。270・274は完存する。277～281は土師器杯。口径13.2・12.8・13・14・14.5cm、器高3.45・3.2・2.9・3.3・2.7cm、底径9.45・8.1・9.6・9.6・10.5cm主たる調整は口縁部内外面ヨコナデ、内面底面ナデ指頭によるおさえ。底面外部は糸きり痕を有する。280・281の外部底面には板目有り。281は外面底部の一部に黒斑有り。277・278・280は完存する。色調は淡黄褐色を基調とする。282～284は瓦器碗。口

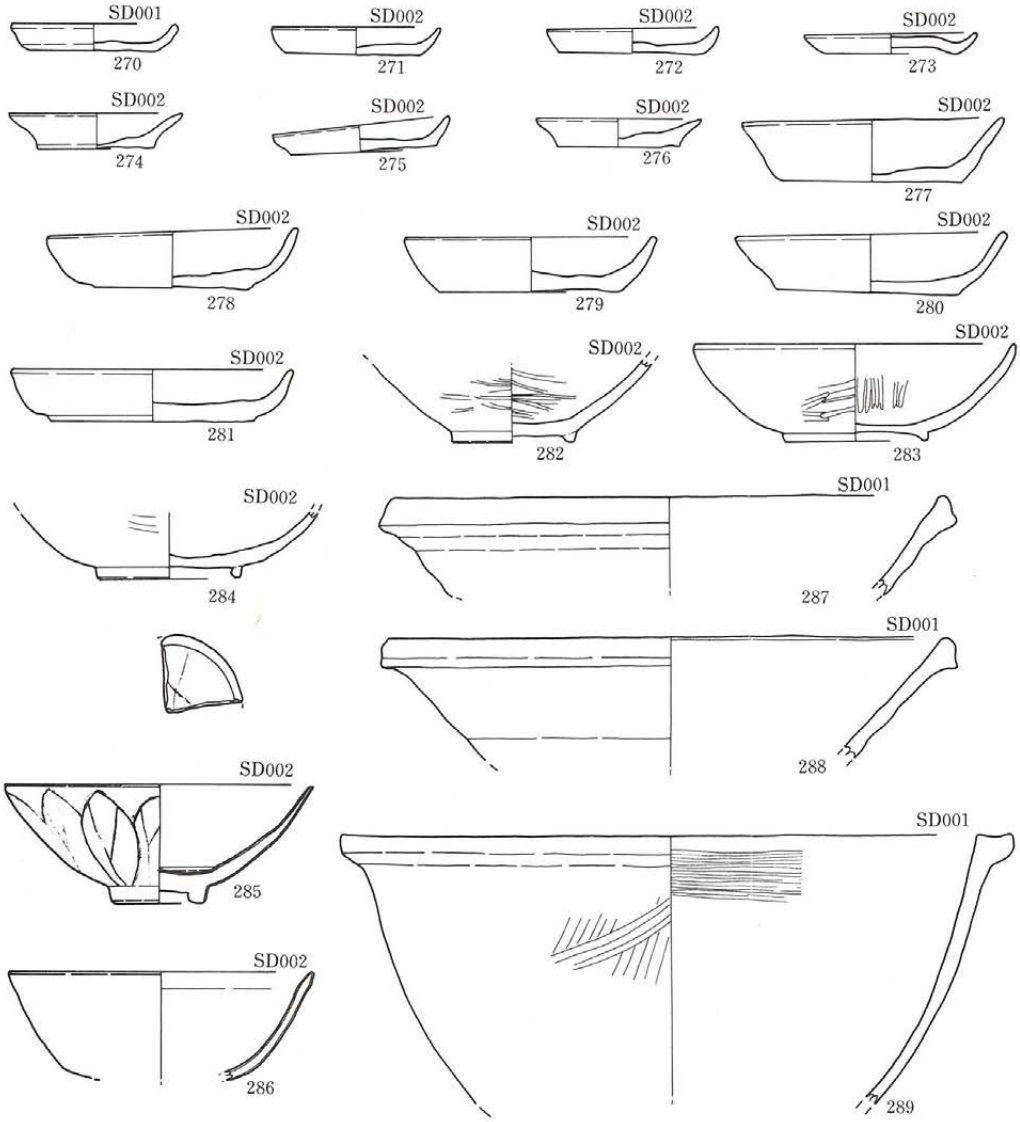



Fig. 109　SD001・002溝出土遺物実測図（S=1／4）

径・器高は283で16.2cm、5cm。高台径はそれぞれ6.05・7.3・7.6cm。主たる調整は口縁部内外面のヨコナデ、体部のヘラミガキ。色調は暗灰色を基調とする。284の高台内面にはヘラ記号がある。285は青磁碗。口径15.9cm、器高6.2cm、高台径4.4cm。内面全体から高台部外面まで施釉。色調は灰緑色。286は白磁碗。口径15.9cm、残存器高5.5cm。全面施釉。色調は暗灰色。287・288は須恵質土器の鉢。口径28.8・29.6cm、残存器高5.2・6.4cm。主たる調整は口縁部内外面のヨコナデ、内面体部の不定方向へのナデによる。色調は灰色を基調とする。289は土師質土器の鍋。口径35.4cm、残存器高14.2cm。口唇部上面には縄目状の圧痕を有す

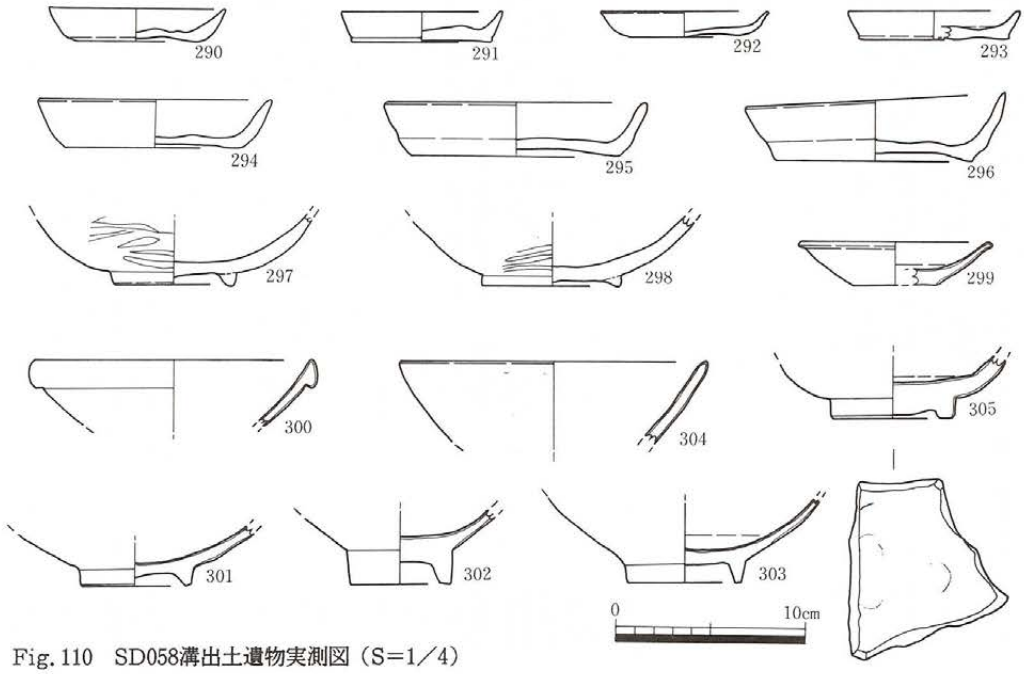



Fig. 110　SD058溝出土遺物実測図（S=1／4）

る。主たる調整はハケ目であるが、内面が細かく、外面が荒いハケ目を施している。色調は灰褐色。

**ＳＤ０５８溝出土遺物**　（Fig. 110）

290～293は土師器皿。口径9.1・8.3・8.6・8.9cm、器高1.7・1.6・1.35・1.5cm、底径6.3・7.2・6.4・7.9cm。主たる調整は口縁部内外面のヨコナデ、内部底面のナデ。外面底部は糸きり。色調は淡黄褐色を基調とする。294～296は土師器杯。口径12.1cm。13.6・13.4cm、器高2.5・2.8・3.6cm、底径9.3・10.9・10.4cm。調整は皿に同じ。色調は淡黄褐色を基調とする。297・298は瓦器碗。残存器高3.4cm、高台径６・7.2cm。調整は体部外面がヘラミガキ、内面がナデ。色調は灰黒色・黒色。299は青磁皿。口径9.9cm、器高2.3cm、底径4.3cm。底部外面は露胎。色調は釉が灰褐色、胎土が灰黄褐色。300～303は白磁碗。300で口径14.6cm、残存器高3.4cm。全面施釉。色調は釉が灰褐色、胎土が灰白色。301～303の高台径はそれぞれ5.4・5.3・６cm。高台部付近は露胎。304は青磁碗。口径16cm。残存器高4.25cm。全面施釉。色調は釉が暗緑色、胎土が灰緑色。306も青磁碗。残存器高３cm、高台径6.2cm。高台部付近は露胎。色調は305に同じ。

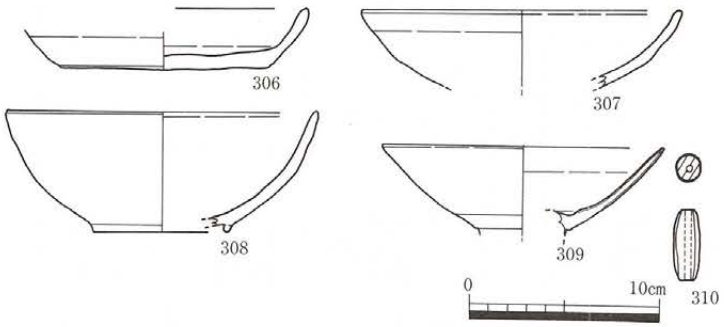



Fig. 111　SD062溝出土遺物実測図（S＝1／4）

**ＳＤ０６２溝出土遺物**　（Fig. 111）

306は土師器杯。口径15cm、器高3.25cm。底径10.9cm。口縁部内外面ヨコナデ、内面ナデ、底部外面糸きり。色調は淡黄褐色。308は瓦器碗。口径16cm、器高6.3cm、高台径7.1cm。口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ヘラケズリ。色調は暗灰色。309は白磁碗口径14.7cm、残存器高4.7cm。口縁部付近は露胎。色調は灰緑色。310は土錘。長さ3.6cm、幅1.3cm。

## 4．小　結

阿高遺跡は現在の阿高集落を中心に広がる、弥生時代から中世に営まれた集落遺跡である。この地区は周知の埋蔵文化財以外の土地であったが、昭和63年度に集落の南東部に遺構を検出し、平成元年度にはその広がりが集落全域に及ぶことが明らかになった。平成元年度の調査は2,600㎡を対象とし、古墳時代の井戸・土壙、奈良時代の土壙、鎌倉時代の井戸・土壙・溝・掘立柱建物跡等を検出した。これらの遺構の中で奈良時代のものからは墨書土器を検出した。佐賀市域では数少ない文字資料を得ることができた。このことについては、平成２年３月発行の佐賀市文化財調査報告書第28集・30集に掲載している。

今回報告するのは、平成２年度に発掘調査を実施した3,057㎡分である。この地区は平成元年度に調査を実施したＢ地区に隣接している。この調査部分は、国営幹線排水路　徳永線建設予定地であり、前年度調査区に比べてやや幅広いものとなったが、やはり線的な調査に止まり、集落の全容を把握するには至らなかった。以下に各時代毎の特徴を記す。

### (1)　古墳時代

調査区の南半部に集中する。検出遺構には井戸・土壙・溝・掘立建物跡などがある。井戸は素掘、１段掘り・２段掘りのものであった。大半の井戸から土師器を検出した。中には井戸の廃棄の際に埋納されたと考えられる出土状況を呈するものもあった。土壙は不定形のものが大半を占め、土師器（高杯・長頸壺・小型丸底坩・甕）が埋納された状況で出土している。何らかの祭祀行為があったものと考えられる。溝は、明確に古墳時代の所産と認定できるものが３条ある。しかし、調査以外に及んでおりその全容が明確でないため正確は不明。溝中祭祀を思わせる出土状況を呈する土師器の一群もあった。掘立柱建物跡は３棟検出した。

これらの建物の周辺には多数の小穴が所在しているのでさらに建物は存在したものと考えられるが、小穴間の連続性を見いだせなかった。建物の性格については特定できる資料を得ていないが、検出位置、検出数から見て倉庫的なものか。

(2) 奈良時代

調査区北端に検出したＳＥ１３４井戸のみである。周辺には他時代の遺構も少なく、集落としても北端に位置するものと考えられる。同時代の遺構は、前年度調査区に点在することから、この時代の中心は現在の阿高集落を中心とした広がりに限定できる。

(3) 中　世

古墳時代の遺構とはほぼ同じ地域に集中している。検出遺構には井戸・土壙・溝などがある。井戸は素掘の１段掘り・２段掘りのものがある。井戸の埋土にはここ数年の調査で検出している藁灰状のものが混在する土層があり、井戸を廃棄する際に行なわれた、火を使用した祭祀の痕跡か。土壙には隅丸長方形のものと不定形のものがある。遺構の性格については不明であるが、隅丸長方形を呈するものからが遺存状況の良好な遺物がより多く出土している。溝は、確実に中世の所産と言えるものが７条ある。性格については、その全容を検出していないので特定できないが、ＳＤ０５８溝は集落または屋敷地を囲むいわゆる環濠の可能性がある。中世の溝については、佐賀市北部の調査では屋敷地を方形に巡るものが検出されている。南部域ではまだ発見されていないが、今後の発掘調査で同様なものが検出されるものと予測する。

(4) 遺跡の広がり

昭和63年度・平成元年度の埋蔵文化財確認調査結果から判断すると次のようになる。遺跡の北限は今年度調査区の北端と阿高集落の北東端を結んだ線、南限は阿高集落の南東端と今年度調査区の南端を結んだ線となる。東限は阿高集落の東。西方への広がりは隣接する寺裏遺跡の検出遺構と阿高遺跡のそれらと同時期のものもあるので、本来同遺跡と捉えることができるので、寺裏遺跡の西限と阿高遺跡の西限は重複する。

阿高遺跡の農業基盤整備事業に伴う発掘調査としては、平成２年度が最終年度となる。遺跡の全容を把握しないまま発掘調査事業を終了したのは心残りであるが、遺跡の大半は水田下や現集落下に残っている。この遺跡は佐賀市南部域の古代遺跡の代表的な遺跡と位置づけられるので、今後の開発と文化財の保護については慎重に対応したい。

# V. 寺裏遺跡の記録

## 1. 古墳時代の遺物と遺構

### (1) 土壙と出土遺物

遺構の数としては後述する中世のものが多いが、調査区東端からは古墳時代の土師器を多数検出した。これらの中には明確な遺構に伴わないものもあったが残存状況も良好なものもあったので掲載した。この地区は阿高遺跡に隣接しているので同遺跡の遺跡の広がりが及んでいたものと考えられる。

**ＳＫ０１８土壙**　(Fig. 112)

Ｂ－20グリッドの南西部にある。上面の平面形は円形を基調とする。中心部で東西径0.48ｍ、深さ0.51ｍを測る。底面はほぼ平坦であり、壁は比較的角度をもって立ち上がる。埋土は２層に大別でき、上層黒色土、下層淡黒色土から成る。出土遺物は図化している土師器高杯のみ。

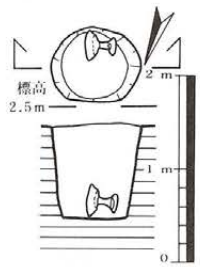



Fig. 112 SK018土壙実測図(S=1／40)

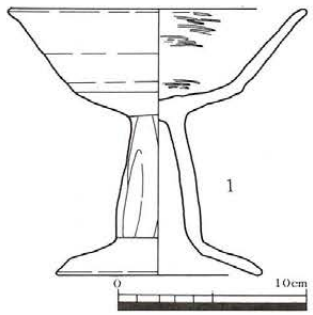



Fig. 113　SK018土壙出土遺物(S=1／4)

**ＳＫ０１８土壙出土遺物**(Fig. 113)

１は土師器高杯。ほぼ完形。口径15.35cm、器高14cm、脚径10.5cm。口縁部は直線的にのびる。調整は、ヘラミガキのあとナデを施しているのが観察できる。色調は淡黄褐色を基調とする。

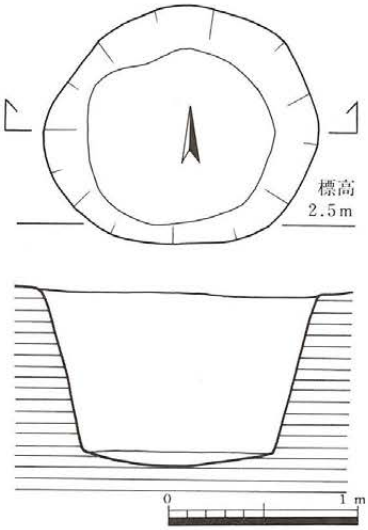



Fig. 114　SK030土壙(S=1／40)

**ＳＫ０３０土壙**　(Fig. 114)

Ｂ－14グリッドのほぼ中心部に位置している。上面に平面形は東西にやや長い楕円形を呈する。中心部で東西1.46ｍ、深さ0.94ｍを測る。底面は船底状を呈し壁は比較的角度をもって立ち上がる。埋土は黒色土、黒褐色土を基調とする。出土遺物には須恵器（杯・瑞）、土師器（甕・壷）などがある。

**ＳＫ０３０土壙出土遺物**　(Fig. 115)

２は須恵器瑞か。残存器高14.6cm。外面頸部から胴部にかけてカキ目がある。最大径を有する部分の外面にはヘラ状工具による指突文がある。３・４は須恵器の杯身と蓋。３で口径13.1cm、残存器高3.7

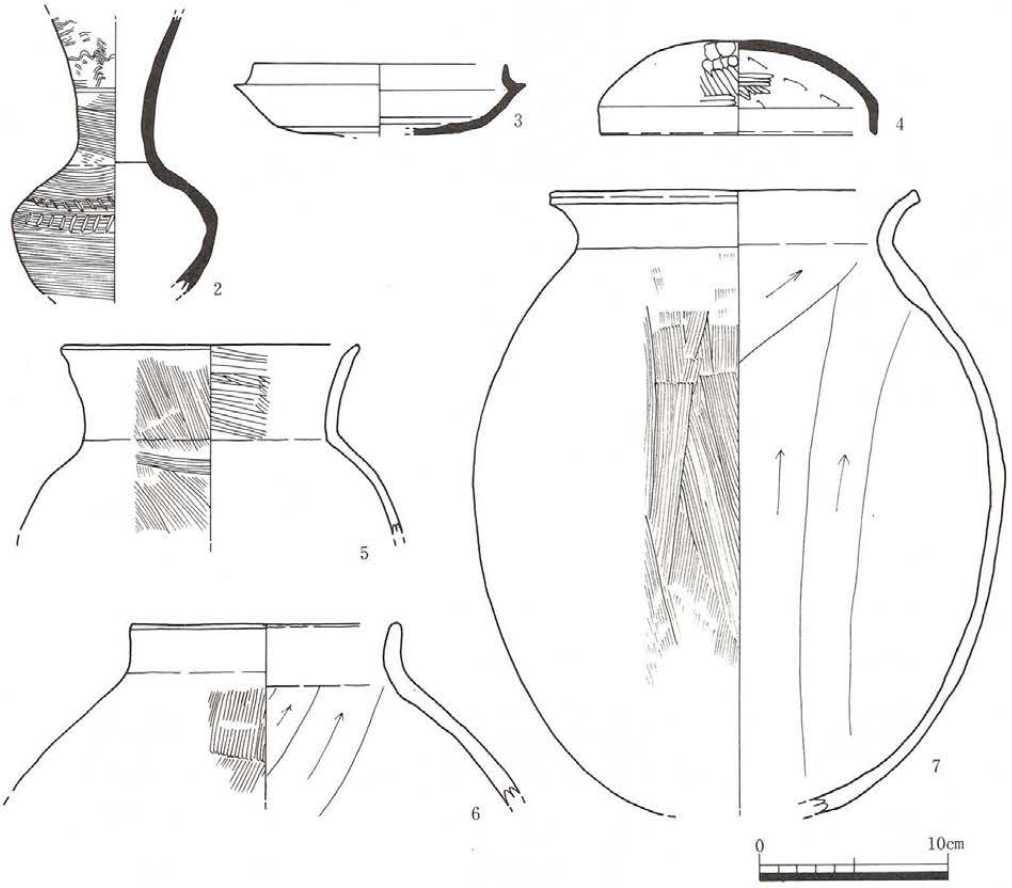



Fig. 115　SK030土壙出土遺物実測図（S=1／4）

cm。4で口径14.3cm、器高4.9cm。4の内外面にはヘラミガキがある。5・6は土師器壷。口径15.4・13.6cm、残存器高9.9・9.6cm。主な調整は5でハケ目とナデ、6でヨコナデ、ハケ目、ヘラケズリ。色調は共に淡黄褐色を基調とする。7は土師器甕。口径18.7cm、残存器高32.6cm・口縁部は短く外反する。調整は6にほぼ同じ。色調は淡黄褐色。

**ＳＫ０４１土壙**　（Fig. 116）

Ａ－24グリッドの北西部にある。ＳＥ０４０・ＳＥ０４２に切られている。上面の平面形は東西に長い隅丸長方形を基調とする。中心部で東西1.89m、南北1.57m、深さ1.3mを測る。断面を観察すると2段掘りの様相を呈す。底面は狭く壁はそこから緩やかに立ち上がり、狭隘な平坦面を経て急角度をもって立ち上がる。埋土は黒褐色土を基調とする。出土遺物は少なく、図化しているもののみ。

**ＳＫ０４１土壙出土遺物**　（Fig. 117）

8は須恵器杯蓋。口径17.8cm、器高3.3cm。かえりは短く、天井部は低い。調整はナデ、ヨコナデを基調とし、天井部外面にはカキ目がある。色調は灰色を基調とする。

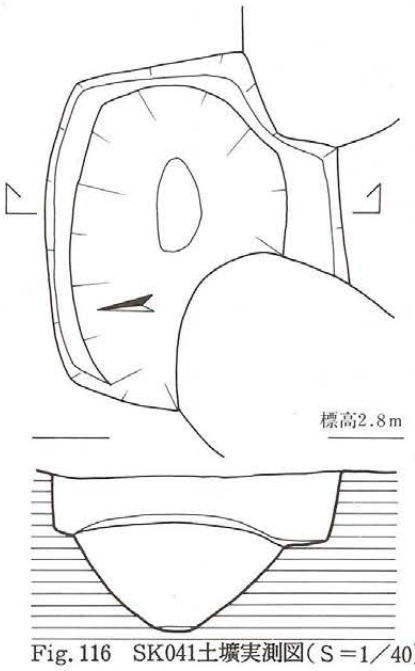



Fig. 116　SK041土壙実測図（S＝1／40）

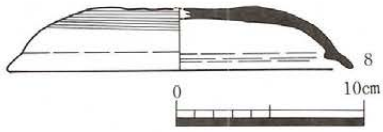



Fig. 117　SK041土壙出土遺物

**ＳＸ０３６出土遺物**　（Fig. 118）

調査区の東部にあって上面の平面形は不定形を呈する。多数の遺構と切り合い関係があり、掘り方は明確に捉えきれなかったので図を掲載していない。しかし、以下に掲載しているような出土遺物が多数あったのでその中から代表的なものを抽出し、記述する。

9～17は土師器。9は杯。口径14cm、残存器高5.2cm。調整は摩耗が進んでいるため不明。色調は暗橙褐色を基調とし、外面底部付近には黒斑部分有り。10は小型丸底坩。口径8.1cm、器高9.5cm。風化のためか器壁が非常に脆い。調整は主としてナデによる。胴部外面に黒斑部分有り。11は甕。口径14cm、残存器高13.4cm。12は手捏。口径6.8cm、器高3.8cm。色調は

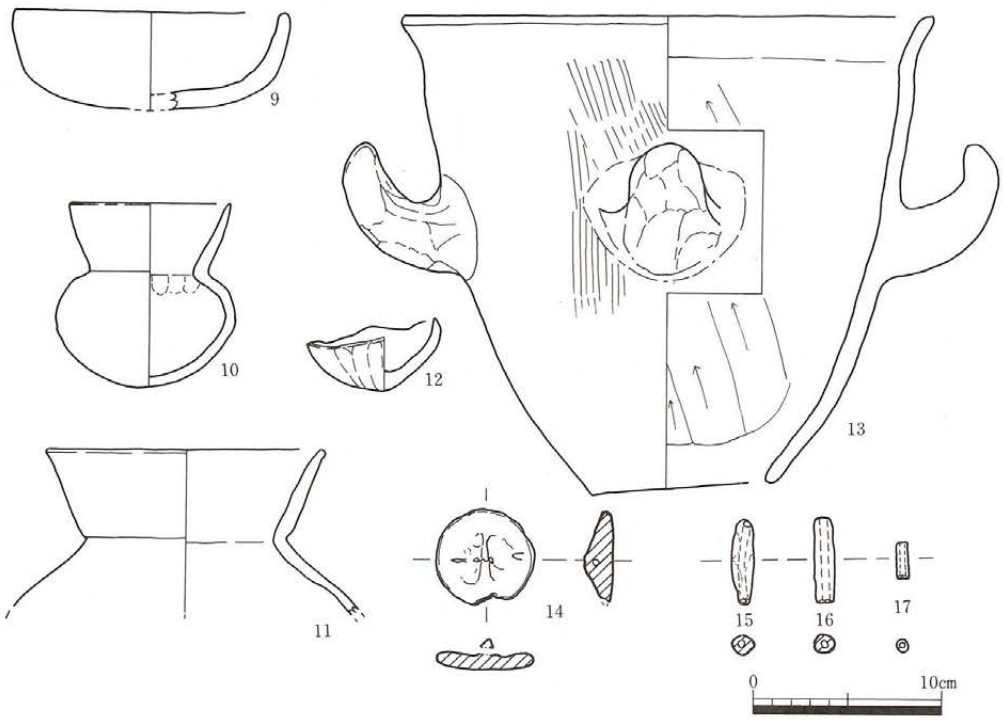



Fig. 118　SX036出土遺物実測図（S＝1／4）

淡黄褐色を基調とする。完存する。13は甑。口径27.6cm、器高24.4cm、底部孔径9.6cm。口縁部は僅かに外反する。調整は外面がナデ、ハケ目、指頭圧、内面がヘラケズリによる。外面の口縁部の一部に煤が付着している。14は土製鏡。長さ4.9cm、幅5.1cm、厚さ1cm。ほぼ完存する。15・16は土錘。長さ4.4cm、幅1.2・1cm、厚さ1cm。17は管玉。碧玉製か。長さ1.8cm、幅0.55cm、厚さ0.6cm。色調は濃緑色を呈する。

## 2．中世の遺物と遺構

### (1) 井戸と出土遺物

中世の井戸は調査区の東半部に集中する。上面の平面形は円形を基調とし、素掘りのものである。掘り方は1段掘りのものと2段掘りのものとがある。

**ＳＥ０１２井戸**　(Fig. 119)

Ａ－20グリッドの中央部にある。上面の平面形は円形を基調とするが、掘り込み北端部が調査区外にかかる。中心部で東西1.1m、深さ1.37mを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋土は黒色土、黒褐色土を基調とする。出土遺物には土師器（皿）、磁器（碗）等がある。

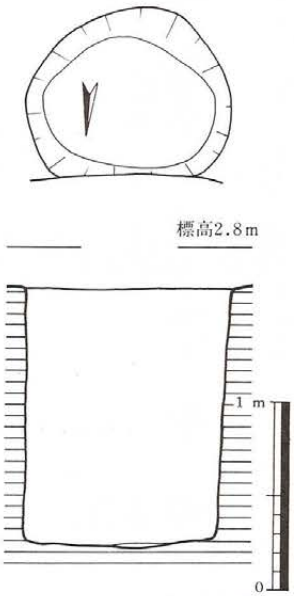


Fig. 119　SE012井戸実測図 (S=1／40)

**ＳＥ０１２井戸出土遺物**　(Fig. 120)

18は土師器皿。口径8.4cm、器高1.15cm、底径6.4cm。底面には糸きり痕が残る。19は白磁碗。残存器高4.2cm、底径6.2cm。高台部は露胎。

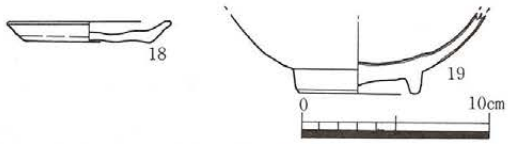


Fig. 120　SE012井戸出土遺物実測図 (S=1／4)

**ＳＥ０２０井戸**　(Fig. 121)

Ｂ－19グリッドの北西部に位置する。上面の平面形は円形を基調とするが、東部がやや突出し楕円状を呈する。中心部で東西1.26m、深さ1.37mを測る。底面は平坦で壁は比較的角度をもって立ち上がる。埋土は黒褐色土、淡黒褐色土から成る。出土遺物には瓦器がある。

**ＳＥ０２０井戸出土遺物**　(Fig. 122)

20は瓦器碗。口径16cm、器高5.7cm、底径6cm。高台部は貼りつけ。体部は緩やかに内傾しながら立ち上がり、口唇部に至と僅かに外反する。調整は体部内外面のヘラミガキ、高台部のヨコナデ。色調は淡白灰色褐色を基調とする。

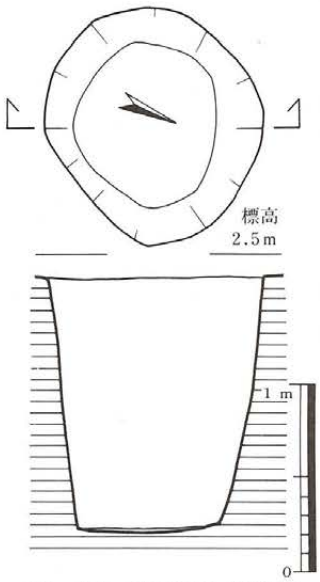



Fig. 121　SE020井戸実測図
（S=1／40）

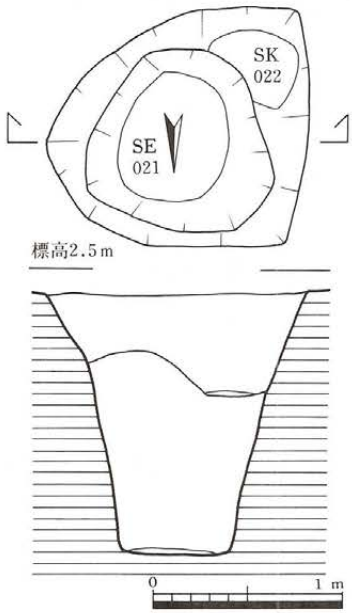



Fig. 123　SE021井戸実測図
（S=1／40）

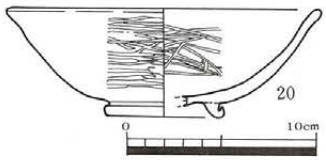



Fig. 122　SE020
井戸出土遺物実測図(S=1／4)

**ＳＥ０２１井戸**　（Fig. 123）

Ｂ－18グリッドの北東部に位置する。上面の平面形は円形を基調とするものと考えるが、掘り込み面の崩落やＳＫ０２２との切り合で平面形がイビツになっている。中心部で東西1.4m、深さ1.4mを測る。２段掘り、素掘

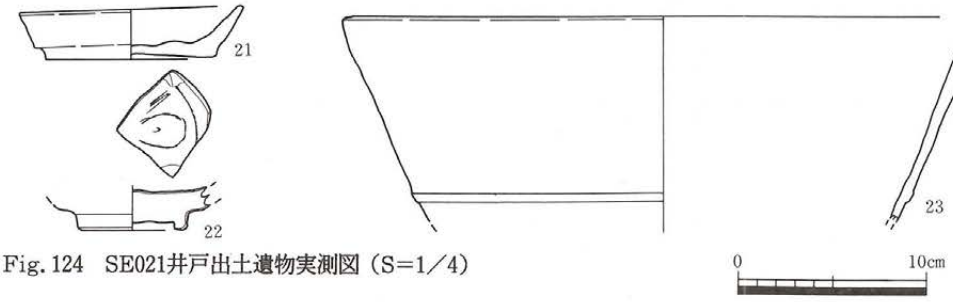



Fig. 124　SE021井戸出土遺物実測図（S=1／4）

りの井戸である。埋土は黒色土、黒褐色土、淡黒褐色土を基調とする。出土遺物には青磁、土師器、鉄鐸などがある。

**ＳＥ０２１井戸出土遺物**　（Fig. 124）

21は土師器皿。口径11.4cm、器高2.8cm、底径8.85cm。底部には糸切り痕がある。22は磁器碗。残存高2.2cm、高台径5.2cm。高台内面は露胎。23は土師器鉢。口径32.2cm、残存器高10.8cm。調整はナデとヨコナデによる。外面の一部に煤が付着している。

**ＳＥ０２５井戸**　(Fig. 125)

Ｂ－18グリッドの北西部に位置する。ＳＫ０２６土壙を切る。上面の平面形は円形を基調とする。１段掘り素掘りの井戸である。中心部で東西0.92m、深さ1.08m。埋土は黒色土、淡黒褐色土を基調とする。出土遺物は土師器が小量出土している。

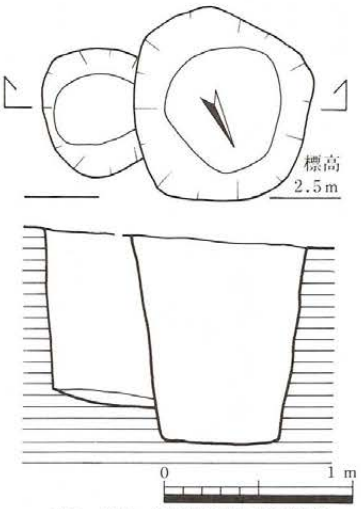


Fig. 125　SE025井戸実測図
(S=1／40)

**ＳＥ０２５井戸出土遺物**　(Fig. 126)

24は土師器鉢。口径42.5cm、残存器高9.3cm。調整は口縁部内外面ヨコナデ、体部に細かいハケ目。外面に煤が付着している。25は瓦器羽釜。口径13.2cm、残存器高8.7cm。体部外面肩部にはスタンプを有する。調整は外面口縁部付近に縦方向のハケ目のあとヨコナデ、体部にナデ、内面口縁部付近には横方向のハケ目、体部は指頭圧によるおさえ、ナデとなっている。26は土師器羽釜。口径14.8cm、残存器高8.7cm。主な調整はヨコナデ、ナデ、指頭圧によるおさえ、ナデによる。色調は外面が暗灰色、内面が赤褐色を基調とする。

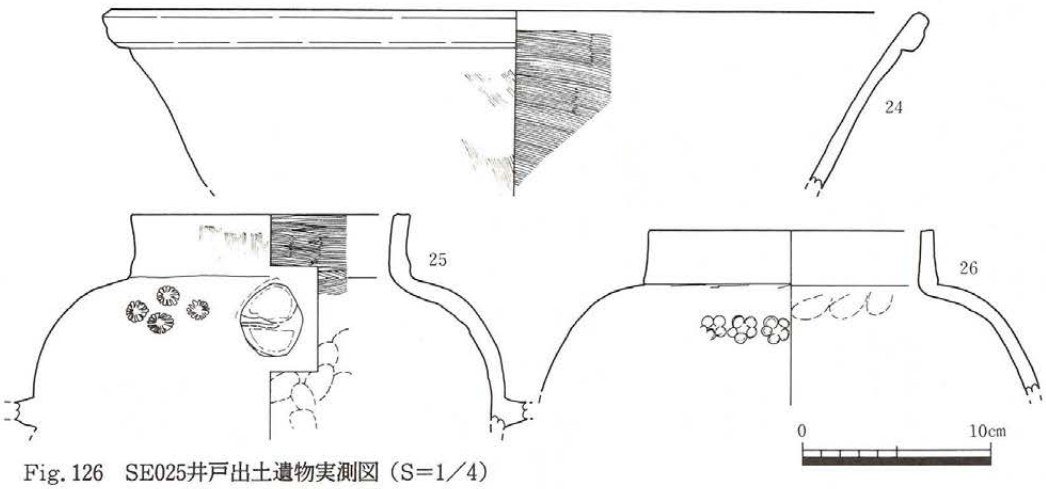


Fig. 126　SE025井戸出土遺物実測図（S=1／4）

**ＳＥ０２９井戸**　(Fig. 127)

Ｂ－15グリッドの北西部に位置する。１段掘り、素掘りの井戸である。上面の平面形は東西に長い楕円形を呈する。東西径1.13m、南北径0.95m、深さ1.35m。埋土は黒褐色土、淡褐色土を基調とする。出土遺物は埋土中から瓦器、石製品、磁器などを検出した。

**ＳＥ０２９井戸出土遺物**　(Fig. 128)

27は瓦器碗。口径16.35cm、器高5.9cm、高台径6.6cm。高台は低く体部は内傾しながら立ち

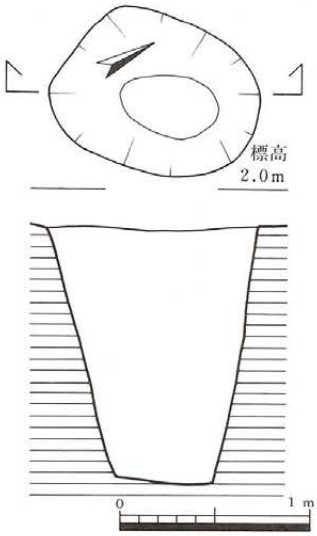



Fig. 127　SE029井戸実測図
（S＝1／40）

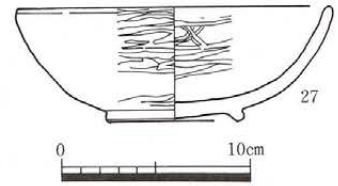



Fig. 128　SE029井戸出土遺物
（S＝1／4）

上がる。調整は口縁部と高台部のヨコナデ、胴部のヘラミガキとなっている。色調は灰褐色を基調とする。

**ＳＥ０３５井戸**　（Fig. 129）

Ｃ－14グリッドの中央部に位置する。２段掘り、素掘りの井戸である。上面の平面形は円形を基調とするが、東部掘り込みの崩落のため変形している。中心部で南北1.73m、検出深度1.28m。埋土は黒色土、黒褐色土、淡褐色土を基調とする。主な出土遺物には土師器、須恵器、石製品、磁器などがある。

**ＳＥ０３５井戸出土遺物**　（Fig. 130）

28～31は土師器皿。口径９・8.9・10・9.2cm、器高1.6・1.7・1.4・1.3cm、底径8.1・6.4・8.2・7.9cm。底部には糸切り痕を有する。32～34は土師器杯。口径12.8・13・13cm、器高3.6・3.2・3.6cm、底径8.7・9.6・9.5cm。調整はナデとヨコナデ。底部は糸切り離し。32の外面には鉄鐸が付着している。35は土師器摺鉢。口径26.2cm、残存器高7.8cm。36は青磁碗。残存器高3.3cm、高台径4.8cm。内面見込みに草花文有り。

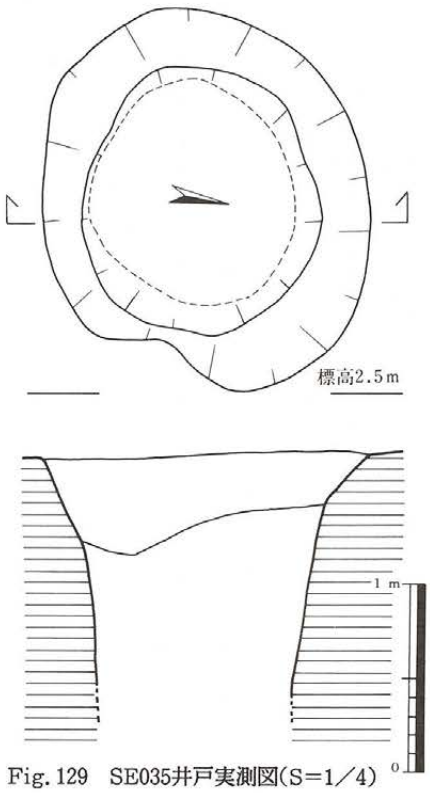



Fig. 129　SE035井戸実測図（S＝1／4）

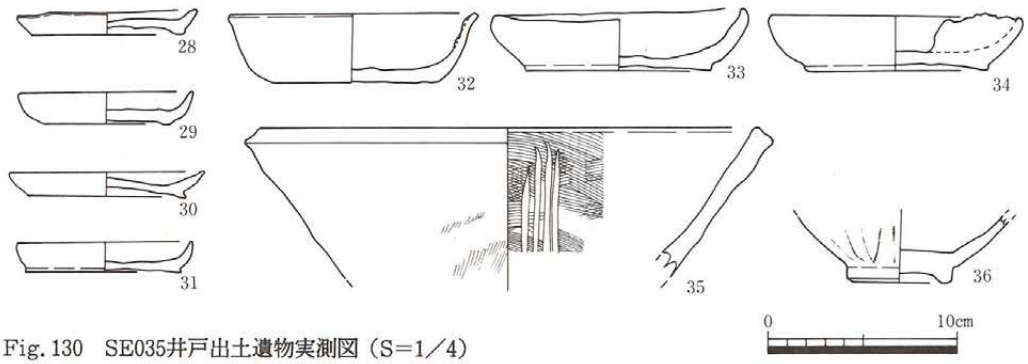



Fig. 130　SE035井戸出土遺物実測図（S＝1／4）

**ＳＥ０４０井戸**

（Fig. 131）

Ｂ－23グリッドの北東隅にありＳＫ０４１を切っている。２段掘り、素掘りの井戸である。上面の平面形は南北にやや長い楕円形を呈する。南北径1.28m、中心部で深さ1.74mを測る。埋土は黒色土、黒褐色土、淡褐色土に大別できる。出土遺物には磁器、陶器、土師器、滑石製品等がある。ほとんどが細片である。

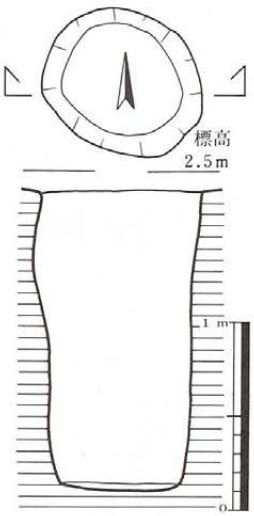



Fig. 133 SE045井戸
実測図(S＝1／40)

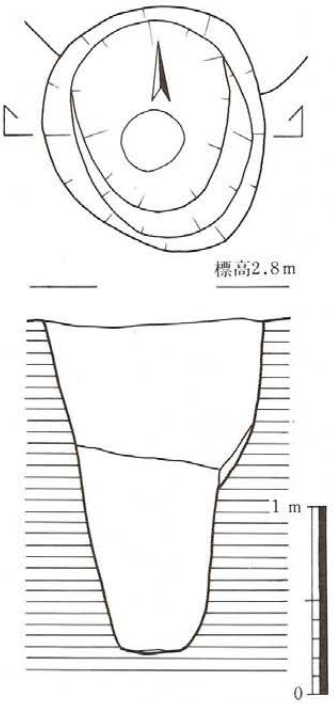



Fig. 131　SE040井戸実測図
（S＝1／40）

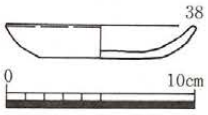



Fig. 134　SE045
井戸出土遺物実測図
（S＝1／4）

**ＳＥ０４０井戸出土遺物**

（Fig. 132）

37は白磁皿。口径10.85cm、器高2.85cm、底径4.7cm。高台畳付き部とその内側は露胎。色調は灰白色。

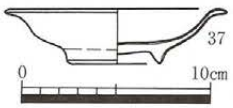



Fig. 132　SE040
井戸出土遺物(S＝1／4)

**ＳＥ０４５井戸**　（Fig. 133）

Ａ－23. 24グリッドにある。１段掘り、素掘りの井戸である。上面の平面形は東西にやや長い楕円形を呈する。東西径9.86m、中心部で深さ1.6mを測る。出土遺物は土師器がある。量的には少なく図化できたのは１点のみ。

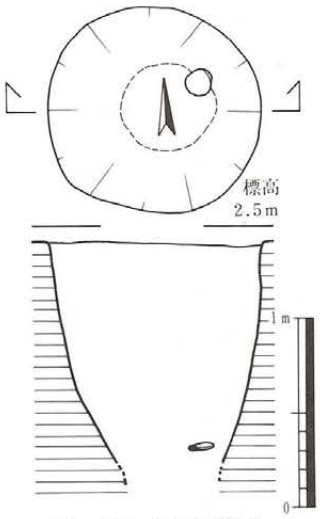



Fig. 135　SE046井戸
実測図(S=1／40)

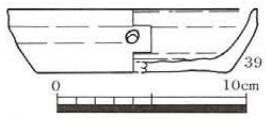



Fig. 136　SE046
井戸出土遺物(S=1／4)

**ＳＥ０４５井戸出土遺物**（Fig. 134）

38は瓦器皿。口径9.6cm、器高1.7cm、底径6.6cm。底部外面には板目が残る。

**ＳＥ０４６井戸**　（Fig. 135）

Ａ－23グリッドの中央部にあり、ＳＫ００１と切あっている。上面の平面形は円形を基調とするが、東西方向がやや長くなっている。東西径1.13m、南北径1.09m、検出深度1.21mを測る。埋土は淡黒褐色土、褐色土に大別できる。出土遺物には土師器、木製品などがある。

**ＳＥ０４６井戸出土遺物**　（Fig. 136）

39は土師器杯。口径12.8cm、器高3.3cm、底径10cm。底部外面には糸切り痕がある。色調は淡黄褐色。胴部に穿孔を有する。

**(2)　土壙と出土遺物**

調査区の東半部に集中し、古墳時代の遺構を切っているものもある。この遺跡の中世の土壙の特徴的なものとしては、ＳＫ００１・００６・００７等のような上面の平面形が隅丸長方形を呈し、その掘り方に何らかの規格性をもつものもある。

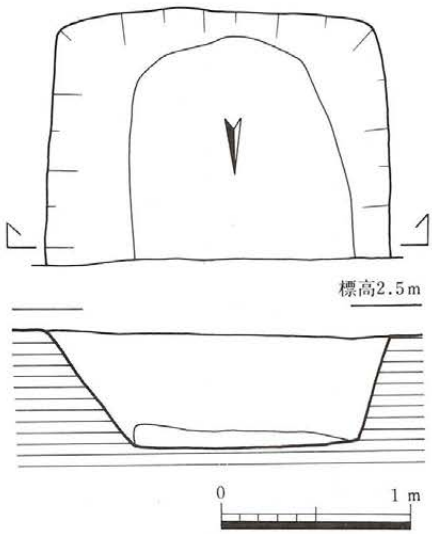



Fig. 137　SK001土壙実測図(S=1／40)

**ＳＫ００１土壙**　（Fig. 137）

Ａ－23グリッドの中央部にありＳＥ０４６井戸と切あっている。上面の平面形は隅丸長方形を基調とするものと考えるが、北半部は調査区外に及んでおり全体像は不明。北端の中心部で東西1.18m、深さ0.6mを測る。底面にはわずかな起伏があり、壁は後述するＳＫ００６・００７に比較すると緩やかな角度で立ち上がる。埋土は２層に大別でき、上層黒褐色土、下層淡褐色土となっている。出土遺物には土師器がある。大半が下層からの出土である。また、埋土中には黄色粘土ブロックが観察できた。

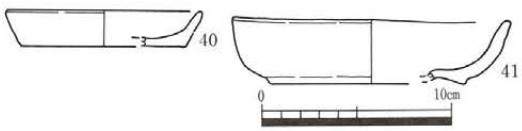



Fig. 138　SK001土壙出土遺物実測図（S=1／4）

**ＳＫ００１土壙出土遺物**（Fig. 138）

40は土師器皿。口径10cm、器高1.9cm、底径8.6cm。底部外面には糸切り痕がある。41は土師

器杯。口径14.4cm、器高3.5cm、底径10.2cm。底部にはヘラ切り離し痕がある。体部外面には煤が付着している。

**ＳＫ００６土壙**　(Fig. 139)

Ｂ－21・22グリッド付近にある。ＳＥ０１０井戸と切あっている。上面の平面形は南北に長い隅丸長方形を呈する。南西部がやや脹らんでいるのは崩落のためか。中心部で東西1.69m、南北2.36m、深さ0.82mを測る。底面は緩やかな起伏をもつが概ね平坦。壁は垂直に近い角度で立ち上がる。埋土は２層に大別でき、上層が黒褐色土、下層が淡褐色土となっている。出土遺物には土師器がある。

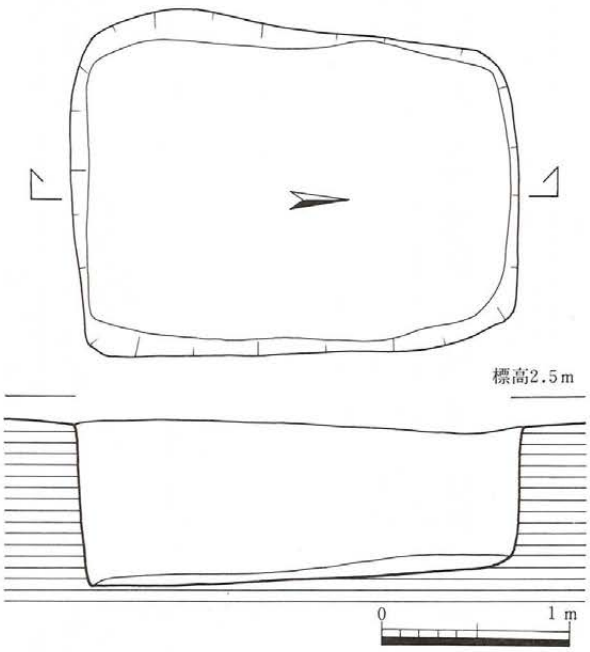



Fig. 139　SK006土壙実測図（S＝1／40）

**ＳＫ００６土壙出土遺物**

(Fig. 140)

42～44は土師器皿。42で口径７cm、器高2.2cm、底径４cm。色調は淡橙色。43・45は口径8.5・８cm、器高1.7・1.6cm、底径7.8・7.2cm。底面には糸切り痕がある。45～47は土師器杯。口径12.1・12.6・12.2cm、器高2.8・2.6・2.7cm。底部には糸切り痕がある。47はほぼ完存する。色調は淡黄褐色。

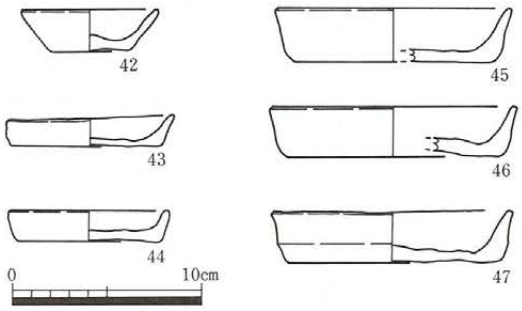



Fig. 140　SK006土壙出土遺物（S＝1／4）

**ＳＫ００７土壙**　(Fig. 141)

Ａ－22グリッドの北西部にある。ＳＫ０１４と切あっている。北辺の掘り込み部分の一部が調査区外にかかっているが、上面の平面形は南北にやや長い長方形を呈するものと考える。中心部で東西2.08m、南北2.13m、深さ0.87mを測る。底面にはわずかな起伏があるが概ね平坦。底面中央部に深さ５程度の小穴がある。壁は垂直に近い角度で立ち上がる。埋土は２層に大別できる。上層が黒褐色土、下層が淡褐色土となっており、出土遺物は下層上半部に集中していた。この遺構が掘られてからある程度の時間が経過してから投棄されたものか。

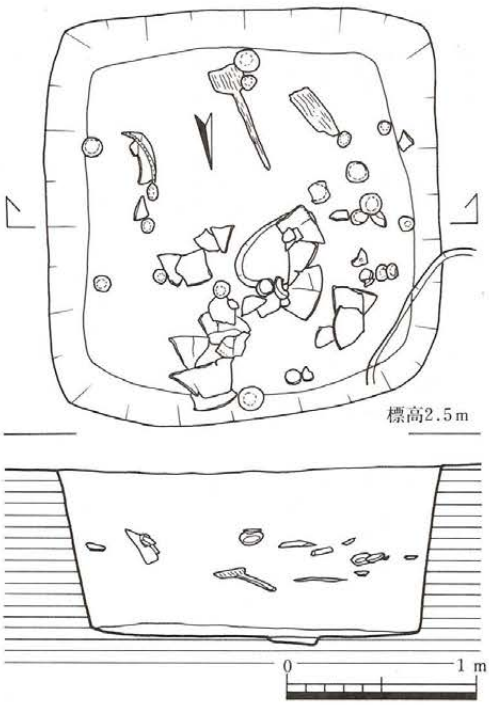



Fig. 141　SK007土壙実測図（S＝1／40）

埋土下層からはわずかながらカーボンを検出した。出土遺物には土師器、磁器、木製品なぢがある。木製品は取り上げにはいたらなかったが、長さ0.6m程度の大形のシャモジとでも形容すべきか。形態から考えて農具ではなく、調理の際の撹拌具の様相を呈していた。

**ＳＫ００７土壙出土遺物(1)**　（Fig. 142）

完形もしくは完存するものも多い。一括資料と考えるので、極力図化し掲載した。48～65は土師器皿。48で口径8.9cm、器高1.65cm、底径7.6cm。49で口径9.25cm、器高1.9cm、底径８cm。50で口径９cm、器高２cm、底径7.8cm。51で口径9.2cm、器高２cm、底径8.3cm。52で口径9.25cm、器高２cm、底径８cm。53で口径8.45cm、器高1.7cm、底径7.1cm。54で口径8.75cm、器高1.9cm、底径7.6cm。55で口径9.3cm、器高２cm、底径7.5cm。56で口径9.45cm、器高1.95cm、底径7.5cm。57で口径9.2cm、器高２cm、底径7.75cm。58で口径8.85cm、器高1.7cm、底径7.3cm。59で口径8.7cm、器高２cm、底径８cm。60で口径9.1cm、器高1.7cm、底径7.4cm。61で口径9.7cm、器高1.8cm、底径7.9cm。62で口径8.6cm、器高1.9cm、底径6.7cm。63で口径8.85cm、器高２cm、底径7.6cm。64で口径９cm、器高1.8cm、底径８cm。65で口径9.1cm、器高2.1cm、底径7.6cm。66～80は土師器杯。66で口径14cm、器高３cm、底径11cm。67で口径13.4cm、器高2.8cm、底径10.8cm。68で口径12.65cm、器高3.1cm、底径10.85cm。69で口径12.4cm、器高3.1cm、底径9.6cm。70で口径12.8cm、器高2.8cm、底径10.8cm。71で口径12.9cm、器高3.3cm、底径10.2cm。72で口径12.8cm、器高３cm、底径10.4cm。73で口径13.1cm、器高3.1cm、底径11.05cm。74で口径13.05cm、器高3.2cm、底径10.9cm。75で口径13.2cm、器高3.1cm、底径10.3cm。76で口径13.1cm、器高2.9cm、底径11.2cm。77で口径13.05cm、器高2.75cm、底径10.45cm。78で口径13.3cm、器高３cm、底径11cm。79で口径13.4cm、器高3.3cm、底径10.9cm。80で口径15.4cm、器高3.3cm、底径12cm。皿・杯共に底面には糸切り痕がある。81は磁器碗。残存器高5.5cm、高台径3.2cm。内面から畳付き部まで釉がかかる。色調は暗緑色を呈する。

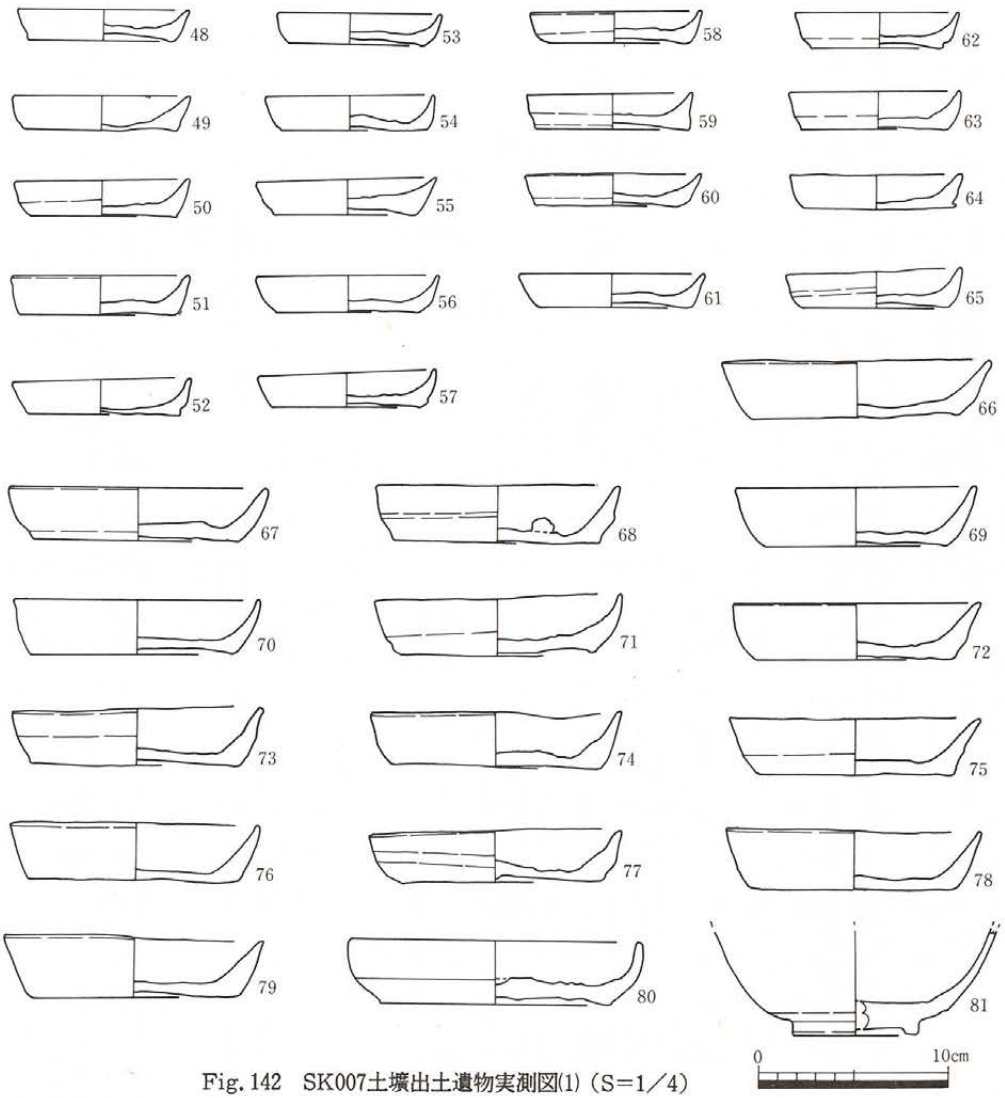



Fig. 142　SK007土壙出土遺物実測図(1)（S＝1／4）

**ＳＫ００７土壙出土遺物(2)**　（Fig. 143）

82～84は土師質土器土鍋。82で口径32.8cm、器高14.6cm。83で口径33.3cm、残存器高15.2cm。84で口径37.8cm、器高19.2cm。口縁部外面に粘土帯を貼りつけ肥厚させている。調整は外面がハケ目、のあとヨコナデ、ナデ、内面がハケ目を主体としている。内外面共に煤が付着している。色調は暗黄褐色を基調とする。

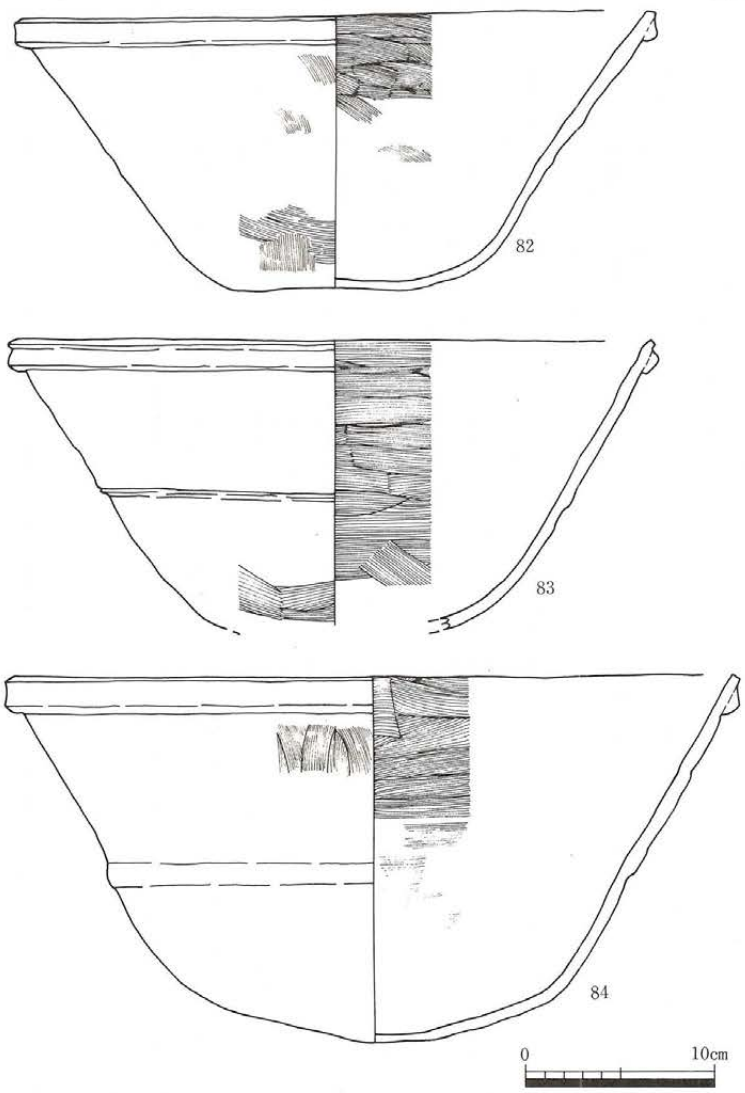



Fig. 143　SK007土壙出土遺物実測図(2)（S＝1／4）

**ＳＫ００７土壙出土遺物(3)**　（Fig. 144）

85～87も土師質土器土鍋。85で口径39.2cm、器高18.8cm。86で口径41cm、器高17.6cm。87で口径41.5cm、器高18cm。調整や型体は82～87はほぼ同じ。口縁部外面の粘土帯貼りつけはすべてに共通して存在するが、その取り付けの際のナデの強弱により様相に若干の差異がある。

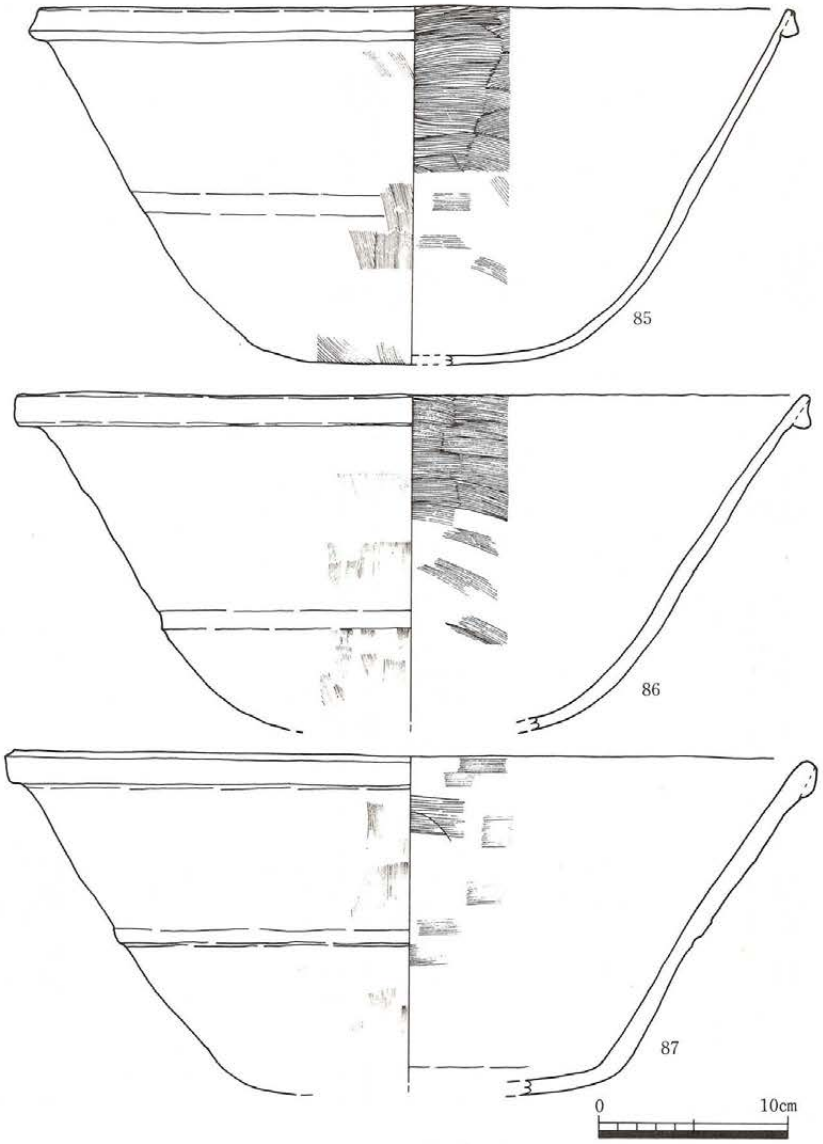



Fig. 144　SK007土壙出土遺物実測図(3)

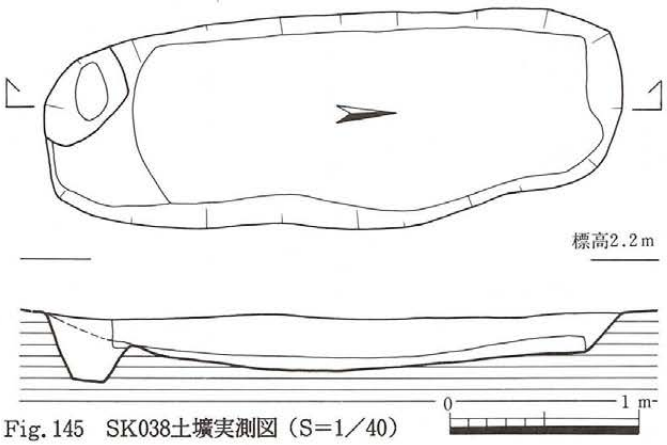



Fig. 145　SK038土壙実測図（S＝1／40）

**ＳＫ０３８土壙**

（Fig. 145）

Ｂ－10グリッドからＣ－10グリッドの間に位置する。上面の平面形は南北に細長い楕円形を呈する。北東端の掘り込み付近を小穴に切られている。中心部で南北長3.1ｍ、東西長1.14ｍ、深さ0.27ｍを測る。断面形は船底状を呈し、壁は緩やかに立ち上がる。埋土は褐色土を基調とする。出土遺物は非常に少なく、滑石製品の破片が１点のみ。

**ＳＫ０４２土壙**　（Fig. 146）

Ｂ－24グリッド中央部にある。南部はＳＸ０４３に切られ、南端掘り込みは調査区外に及んでいる。上面の平面形は隅丸長方形を基調とするものか。検出した部分の中心部で東西1.96ｍ、深さ0.67ｍを測る。２段掘りの様相を呈するが、確実なフロアーがなく、崩落によるものか。

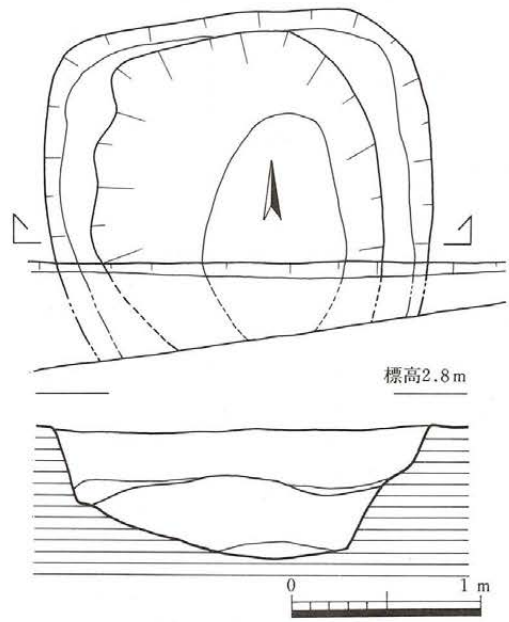



Fig. 146　SK042土壙実測図（S＝1／40）

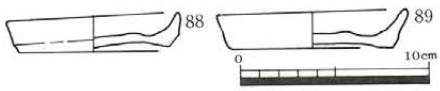



Fig. 147　SK042土壙出土遺物実測図(S＝1／4)

**ＳＫ０４２土壙出土遺物**　（Fig. 147）

88・89は土師器皿。88で口径8.9㎝、器高1.75㎝、底径7.9㎝。底面は糸きり。完存する。89で口径9.7㎝、器高２㎝、底径8.3㎝。底面は糸きり。

**(3)　溝と出土遺物**

調査区内で６条検出した。調査区が支線水路予定地であり狭隘なために、その全長、性格は不詳。

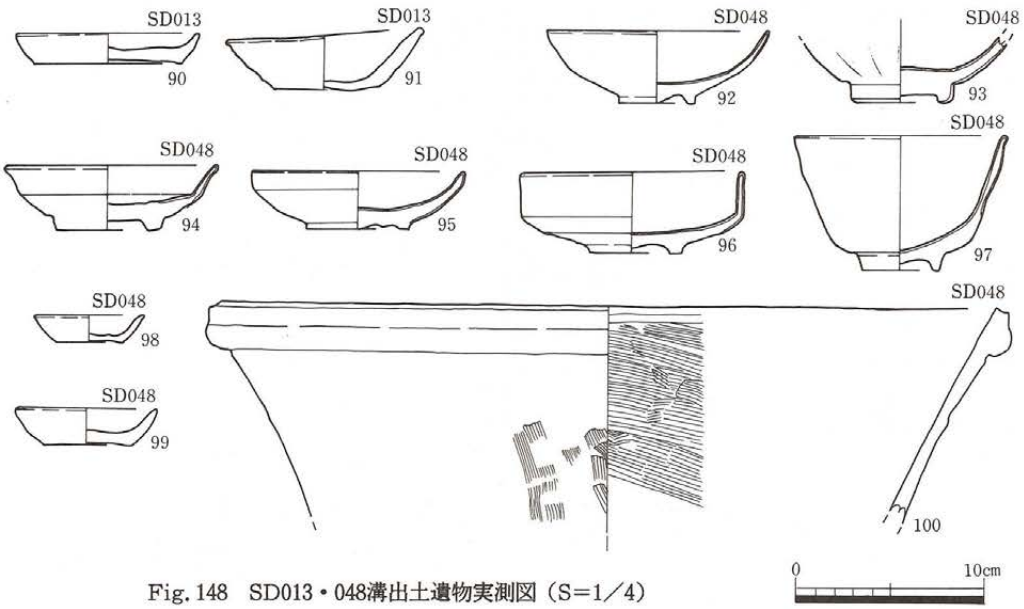



Fig. 148　SD013・048溝出土遺物実測図（S＝1／4）

90と91はＳＤ０２３出土遺物。90は土師器皿。口径9.8cm、器高1.6cm、底径7.1cm。底面は糸きり。91も土師器皿。口径10cm、器高3.35cm、底径5.05cm。92から100はＳＤ０４８出土遺物92は磁器皿。口径11.4cm、器高3.8cm、底径3.8cm口縁部部外面から内面全体にかけて釉がかかる。胎土は赤褐色、釉は灰褐色。93は白磁皿。口径10.9cm、器高3.4cm、底径4.2cm。内面見込みと外面下半部は露胎。胎土色調は淡橙色、釉は淡黒色。94は陶器皿。口径11cm、器高３cm、底径5.3cm。底部外面は露胎。色調は薄茶色。95は陶器小鉢。口径11.4cm、器高4.4cm、底径3.85cm。外面下半部から高台部は露胎。色調は釉が淡灰色、胎土が茶褐色。ほぼ完存する。96は青磁椀。残存器高3.15cm、底径4.5cm。色調は暗緑色。97は陶器椀。口径11cm、器高7.1cm、底径４cm。外面下半部から高台部にかけて露胎。色調は釉が黒緑色、胎土が赤褐色。98・99は土師器皿。口径5.5・7.2cm、器高1.4・1.9cm、底径3.4・4.5cm。底面外部には糸切り痕あり。

### 3．近世の遺物と遺構

確実に近世と言えるものに墓がある。これらの墓は東西方向にのびる調査地区のほぼ中央から南に計画されている舗装道路予定地の南域で検出した。この遺跡は未周知地区での新発見の遺跡であり、遺跡名を冠するにあたって、地元に土地の呼称を聴取した。その時に聞いた「テラウラ」を遺跡名としたが、これらの墓を検出したことにより、「テラウラ」はやはり「寺裏」であった。墓の上部構造はこの地が水田であったため、全く残存していなかった。これらの墓群はその検出状況からしてさらに東方へと延びるものと考える。墓の種類には火葬墓と土葬墓がある。遺骨は陶器甕に納められ、遺体は明確ではなかったが棺桶に納められていたものと判断した。遺構の記述は基本的には遺構番号の若い順に行うが、切り合っているものもあるので２遺構まとめて説明する部分もある。

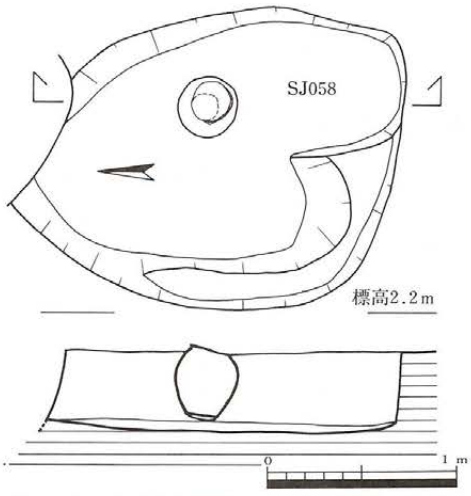



Fig. 149　SJ058火葬墓・SP069土壙墓実測図
（S＝1／40）

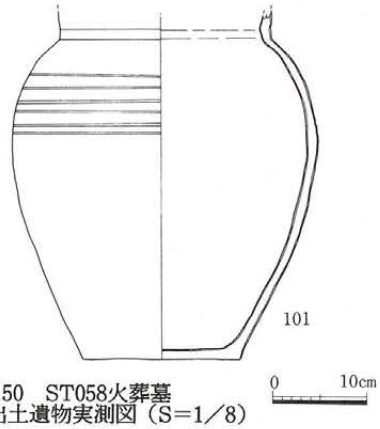



Fig. 150　ST058火葬墓
出土遺物実測図（S＝1／8）

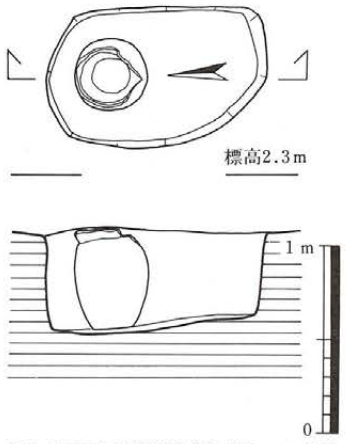



Fig. 151 SJ059火葬墓実測図(S＝1／40)

**ＳＪ０５８甕棺墓・ＳＰ０６９土壙墓**

（Fig. 149）

この２遺構はＭ－７グリッドの北部にあって双方切り合っているがその新旧関係は不明。ＳＪ０５８の掘り込みの上面の平面形は南北に長い楕円形を呈する。南北の長さ約1.76m、東西幅約0.78m、深さ0.42mを測る。底面はわずかに船底状を呈し、壁ははぼ垂直に立ち上がる。甕は遺構のほぼ中央部にあり、底面から僅かに浮いた状況で検出した。甕の内部からは土師器皿細片・腐食した鉄類・銅銭塊などを検出した。墓壙内の埋土は淡茶褐色土を呈し掘り込みが非常に不鮮明であった。ＳＰ０６９は墓壙の形状は不明確であるが、南北幅約1.8m、深さ約0.4mを測る。埋土の状況がＳＪ０５８甕棺墓と全く同じであったため、墓と判断した。

**ＳＪ０５８甕棺墓出土遺物**　（Fig. 150）

101は陶器の甕。残存器高36.9cm、底径16.4cm。底部は平底。肩部に６条の沈線がめぐる。色調は茶褐色。外面全体にゆう薬がかかる。

**ＳＪ０５９甕棺墓**　（Fig. 151）

Ｋ－17グリッドの東にある。上面の平面形は不定型を呈するが、元来楕円形を基調としたものか。南北長1.15m、東西長0.75m、深さ0.57mを測る。底面は甕が所在する方に向って僅かな起伏を持ちながら傾斜している。壁はほぼ垂直に近い角度で立ち上がる。埋土は淡茶褐色土。甕の内部からは摺り鉢・土鈴・骨片を検出した。

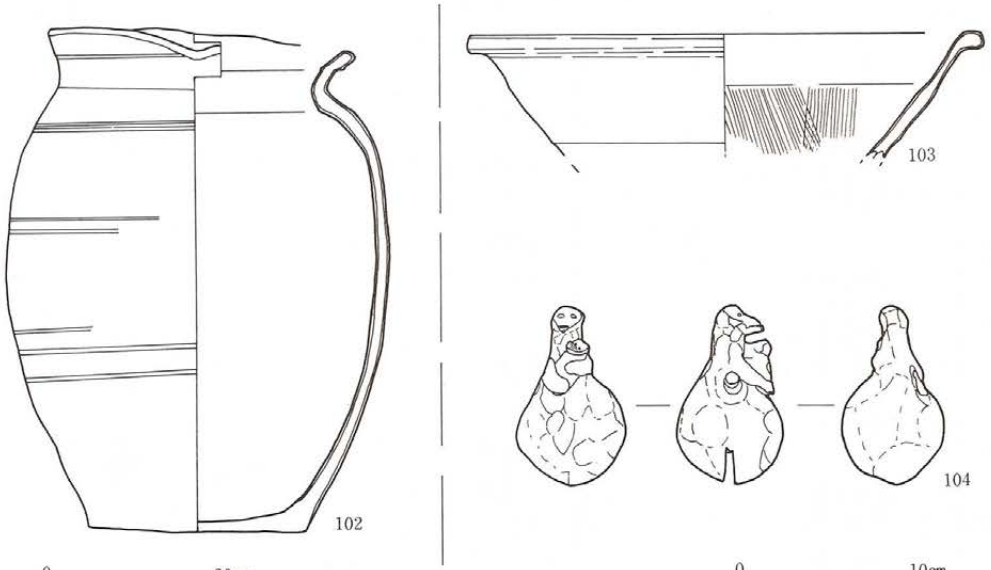



Fig. 152　SJ059火葬墓出土遺物実測図
（S＝1／4)・(S＝1／8)

**ＳＪ０５９甕棺墓出土遺物**　(Fig. 152)

102は陶器甕。口径30.8cm、器高53cm、底径22.8cm。口縁部の一部を欠く。底部は平底、口縁部は大きく外反し、口縁外面にはロクロ形成時に僅かな突帯を造り出している。胴部外面には沈線がめぐるが一巡しない線もある。外面全体に釉薬がかかる。色調は茶褐色。103は陶器摺り鉢。口径26.5cm、残存器高6.5cm。全面に釉薬がかかる。色調は茶褐色。104は土鈴。上部には母が子を抱いているモチーフがあるのでこの墓は小児墓もしくは母子合葬墓か。長さ9.4cm、幅5.6cm。モチーフ下部に穿孔を有する。内部には径1.5cm程度の土玉がある。色調は淡黄褐色。

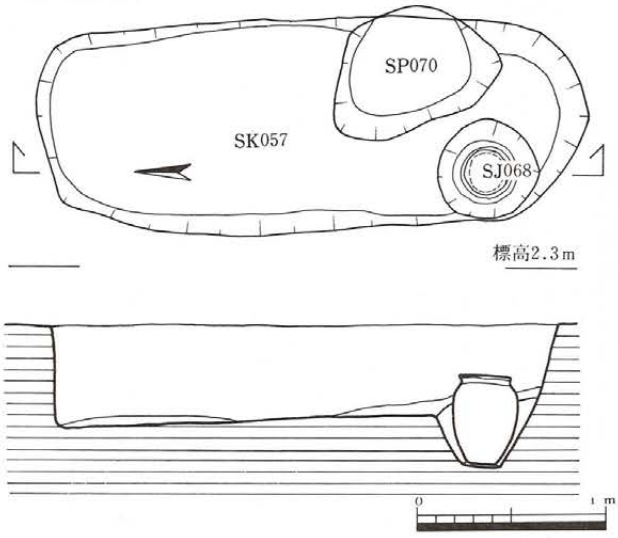



Fig. 153　SJ068火葬墓　SP070・SK057実測図(S＝1／40)

**ＳＪ０６８甕棺墓・ＳＰ０７０木棺墓・ＳＫ０５７土壙**

(Fig. 153)

Ｌ－７グリッドの中央部にある。ＳＫ０５７とＳＰ０７０が同一遺構であるとしたら３遺構の中ではＳＪ０６８が最も新しい。ＳＰ０７０はＳＫ０５７の東壁を抉り込むように掘られているので同一遺構の可能性が高い。しかしそうであってもＳＫ０５７の掘り方があまりにも長

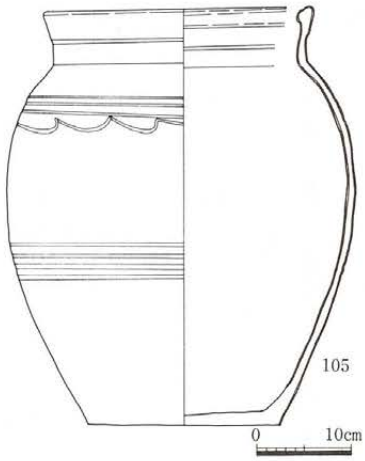



Fig. 154　SJ068火葬墓出土遺物実測図
（S=1／8）

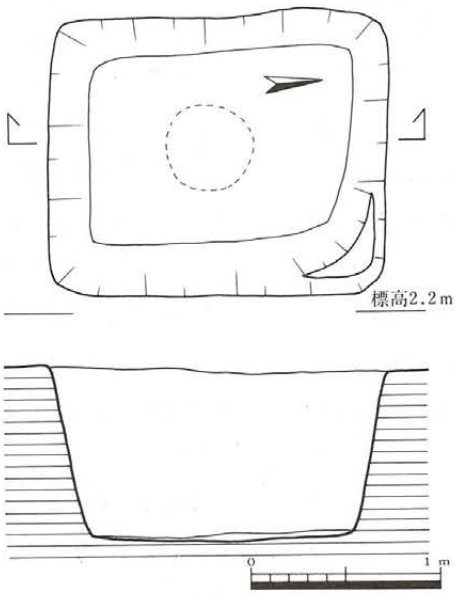



Fig. 155　SP062木棺墓実測図(S=1／40)

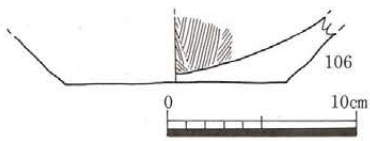



Fig. 156　SP062
木棺墓出土遺物実測図（S=1／4）

いのでこれも他遺構と切り合っている可能性がある。ＳＪ０６８の掘り込みは上面での確認はできなかった。検出墓壙東西長0.53m、南北幅0.54m、深さ9.77m。墓壙の中央部に甕が埋置されている。ＳＰ０７０は検出長0.91m、検出幅0.62m、深さはＳＫ０５７底面から約0.5mを測る。ＳＫ０５７は南北長2.93m、東西幅1.13m、深さ0.4～0.5m。埋土は淡茶褐色土を基調とする。出土遺物はＳＪ０６８から鉄鐸のみが出土している。

**ＳＪ０６８火葬墓出土遺物**　（Fig. 154）

105は陶器甕。口径27.2cm、器高44cm、底径20cm。胴部外面に７条の直線の沈線と波状の沈線を有する。口縁部内面中央部の強いロクロナデにより口縁部上部が突帯を取り付けたようになっている。完存する。器面全体に釉がかかる。色調は茶褐色。

**ＳＰ０６２木棺墓**　（Fig. 155）

Ｊ－７グリッドの南東部にある。上面の平面形は東西にやや長い隅丸長方形を呈す。中心部で東西長1.78m、南北長1.47m、深さ0.93mを測る。底面は僅かな起伏をもつが、概ね平坦である。壁は四方共比較的角度をもって立ち上がる。埋土は淡茶褐色土を基調とする。遺構内部には円形の棺桶が埋置されていた。棺桶の大半が腐食していたので、その方量、型体は不明であるが、墓壙中央底面に残存していた底板からいわゆる「棺桶」であったことがわかった。

**ＳＰ０６２木棺墓出土遺物**　（Fig. 156）

106は陶器甕。残存器高3.4cm、底径11.5cm、底部外面に糸切り痕あり。内面には粗いハケ目がある。色調は明褐色。

## 4．小　結

寺裏遺跡は東方に隣接する南北方向に延びるクリークによってそのさらに東にある阿高遺跡と分断される。両遺跡から検出した遺構・遺物から見れば、少なくともある時期にはこの２遺跡は同一の性格をもつ空間と捉えることができる。しかし、阿高遺跡が昭和63年度に周知外の地区から発見され、同遺跡の所在する地区の小字名を遺跡名としたので、平成元年度に発見した寺裏遺跡は別の遺跡名とした。

寺裏遺跡は古墳時代・中世・近世に営まれた複合遺跡である。遺跡の広がりは昭和６３年度・平成元年度の埋蔵文化財確認調査の調査結果から判断すると、現在の角町集落の範囲にほぼ重ね合わせることができる。位置関係からすると今次調査区はこの遺跡の広がりの北端部にあたる。狭隘な調査地区であったため遺跡の全容はわからなかったが、各時期の重要な遺物・遺構を検出した。各時期の特徴的な事柄を以下に記す。

### (1)　古墳時代

調査区の東半部に点在する。土壙・不明遺構がある。土壙については上面の平面形が楕円形・不定型を呈し遺物の出土状況も、阿高遺跡出土のものと似通っているものが主体であるが、ＳＫ０１８については高杯の埋納という形態を示しており、古墳時代の土壙の中では特異な存在である。不明遺構は溝とも、土壙ともつかない形態であり出土遺物は残存状況が良好なものも多い。阿高遺跡で検出した不明遺構と型体・遺物の出土状況など、似通ったところもあるが、同遺跡で検出した手捏土器の出土は全く見受けられなかった。出土遺物の年代については、その遺物の特徴から見て５世紀から６世紀にかけてのものを主体としている。

### (2)　中　世

検出遺構には溝・土壙がある。溝の全長は調査区狭隘なため不明。上面幅0.5ｍから３ｍを測る。これらの溝の中でＳＤ０３５については断面が楔形を呈し、上面幅の割りにはしの底面が狭く、深い。集落内の地割りのものではなかろうか。

土壙の特徴的なものとしてはＳＫ００７に代表される一群がある。中世の土壙は阿高遺跡の土壙を含めても、上面の平面形が楕円形・円形を基調とするものが主流であるが、それらの中では最も規格性がみとめられるものである。ＳＫ００７の遺物出土状況を見ると、土師器の皿・杯・鉢が大量に投棄された様相を呈していた。この遺構のことだけにかぎって考えると何らかの祭祀に使用した日常什器を隅丸長方形の土壙内に投棄したと推定できる。しかしこの種の遺物がＳＫ００７に比して極端に少ない土壙もある。このことを考えると、ある時の祭祀では数点の日常什器しか使わなかったが、投棄するための土壙の規模はある程度の制約があったのではなかろうかとの考えに行き着いてしまう。また、出土遺物がほとんど無い土壙については他の目的で造営された可能性を否定できる資料は今のところ無い。多少言葉の遊びのきらいがあるが、ともかくこの種の遺構の性格を断定するにはまだ、量的に少な

い。資料の増加をまって再検討したい。

### (3) 近　　世

6基の近世墓を検出した。墓地の範囲は不明であるが、検出した墓の並びを概観すると概ね南北の方向性をもっている。遺跡名のとおり寺に付随する墓地である。地元に寺名・宗派等聴取したが、なにも伝承されていない。エビスを祭神とする西の宮社が近接しているが、少なくとも江戸時代には何らかの関係があったものと考えられる。

# Ⅵ. 梅屋敷遺跡の記録

梅屋敷遺跡は中世から近世にかけて営まれた遺跡である。この遺跡は名前が示す通りの屋敷跡であった。この地区は屋敷跡の周囲をクリークがめぐっているので全面的調査であれば館の有り様がすべて把握できたものと考えられる。しかし、調査の都合上、計画されている水路予定地のみの調査であったため個々の遺構・遺物の説明に限らざるを得ない。ここでは、井戸、土壙、掘立柱建物、溝の順にその遺構の説明とそこからの出土遺物を後述する。

### (1) 井戸と出土遺物

2箇所に検出した。素掘の井戸である。建物跡と切り合い関係が無いことからして同時期に存在していた可能性が高い。上部構造物の痕跡はまったく見受けられなかった。この井戸があまり深くないのは、湧水点が高いためか。

**ＳＥ００９井戸**　(Fig. 157)

Ｂ－10・11グリッドの中心部にある。ＳＤ０１３溝を切っている。上面の平面形は円形を基調とするが東西にやや長い。東西径1.02ｍ、南北径0.99ｍ、深さ1.25ｍを測る。底面はほぼ平坦であり、壁は垂直に近い角度で立ち上がる。埋土は上層淡黒色、下層淡褐色に大別できる。出土遺物は埋土下層から磁器片が若干出土した。

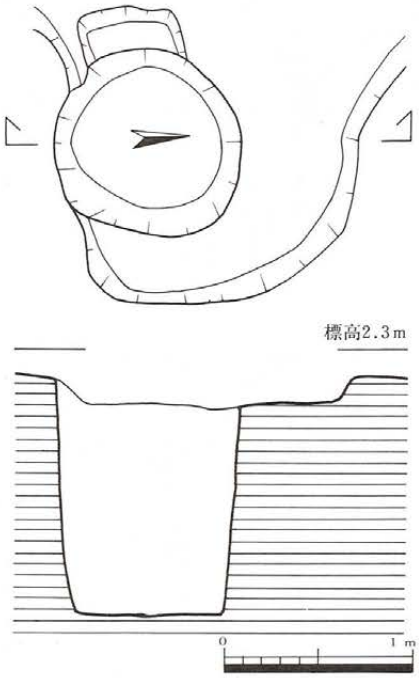



Fig. 157　SE009井戸実測図(S＝1／40)

**ＳＥ００９井戸出土遺物**　(Fig. 158)

1は土師器皿。口径8.4cm、器高4cm、底径3.3cm。外部底面には糸きり痕有り。色調は淡黄赤褐色。2は磁器皿。高台径6cm。全面に釉がかかる。色調は青白色。

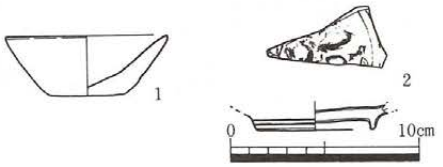



Fig. 158　SE009井戸出土遺物実測図(S＝1／4)

**ＳＥ０１４井戸**　(Fig. 159)

Ｂ－10グリッドの北部にある。上面の平面形は南北にやや長い楕円形を呈する。中心部で東西径1.56ｍ、南北径1.81ｍ、深さ1.05ｍを測る。壁面中央付近に稜を有するが、2段掘りではなく、崩落によるものと考える。底面は船底状を呈し、壁は比較的角度をもって立ち上がる。ＳＤ０１３と切り合い関係があるが、上面での識別はできなかった。埋土はＳＤ０１

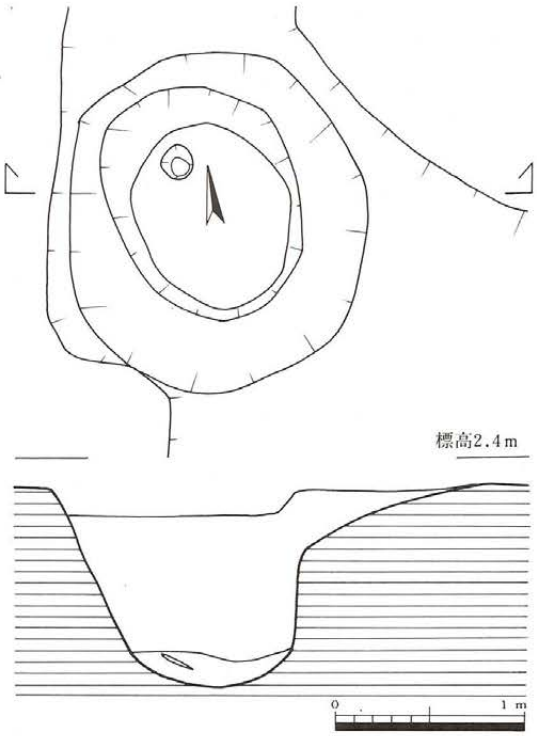



Fig. 159　SE014井戸実測図（S=1／40）

3のものと大差なく、淡黒褐色土を基調とするが、下層になるにつれて黄褐色がかる。出土遺物には土師器・瓦質土器・陶器がある。

**ＳＥ０１４井戸出土遺物**

（Fig. 160）

3～7は土師器皿。3・4で口径5.8・6.4cm、器高1.7cm、底径4cm。底面外部は糸切り痕がある。2個体共完存する。5・6・7で口径9.2・9.8・9.6cm、器高2.9・2.8・2.55cm、底径4.1・4.6・5.9cm。3個体とも外面底部には糸切り痕があり、6には板目もある。8は白磁小鉢。残存器高2.5cm、高台径5.3cm。全面に釉がかかる。色調は淡青色。9～12は陶器皿。9・10

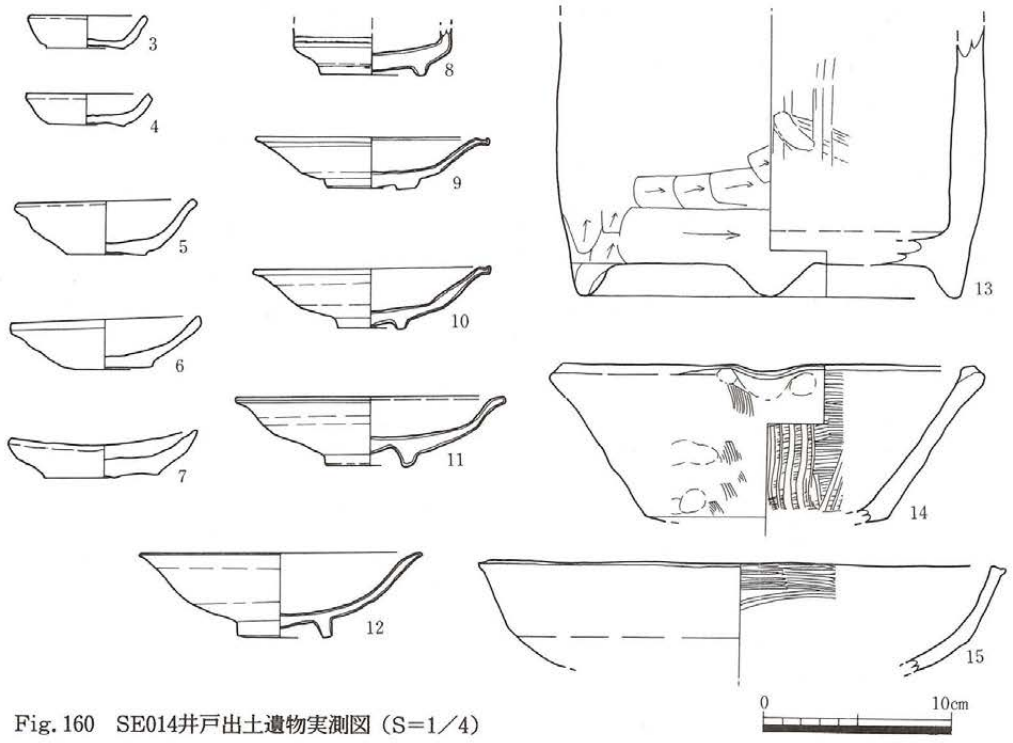



Fig. 160　SE014井戸出土遺物実測図（S=1／4）

で口径12・12.3cm、器高2.7・3.3cm、高台径4.3・3.5cm。この2個体は口唇部が摘み上げられている器種。外面下半部から高台部にかけて露胎。色調は淡黄白色を基調とする。10・11・12で口径12.3・13.9・14.4cm、器高3.3・3.6・4.5cm、高台径3.5・4.2・3.9cm。10・12が畳付き部のみ露胎。12は全面に釉がかかり貫入がある。13は土師質土器の火鉢か。残存器高14.4cm、底径19.6cm。脚部は4箇所にあるものと考える。調整は外面がナデ・ヘラケズリ、内面がハケ目の後ナデ。内面には煤が付着している。色調は橙褐色を基調とする。14は瓦質土器の摺り鉢。口径21.6cm、残存器高8.25cm。外面に黒斑部分有り。色調は灰白色。15は土師質土器の鉢。口径26.2cm、残存器高5.5cm。主たる調整はハケ目。

(2) 土壙と出土遺物

調査区全域に散在する。特別に規格性を有すると認められるものはない。埋土は淡茶褐色を基調とし出土遺物は非常に少ない。

**ＳＫ００１土壙**　(Fig. 161)

Ｃ－12・13グリッドにある。上面の平面形は南北にやや長い楕円形を基調とする。西壁から東壁にかけて掘り込み下0.7m付近に平坦部があり2段掘りの様相を呈する。中心部で東西1.48m、南北1.61m、深さ1.08mを測る。底面は船底状を呈し、壁は急角度で立ち上がる。出土遺物は非常に少なく、磁器細片が1点のみ。

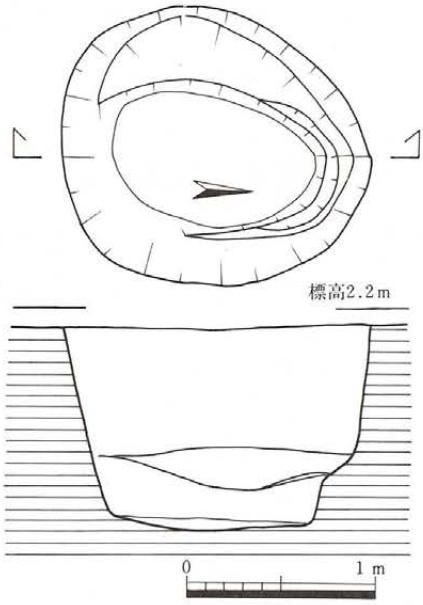


Fig. 161　SK001土壙実測図(S=1/4)

**ＳＫ００１土壙出土遺物**　(Fig. 162)

16は白磁碗。口径は復元値計測ができない。全面に釉がかかる。色調は白灰色。

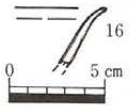


Fig. 162　SK001土壙出土遺物実測図(S=1/4)

**ＳＫ００３土壙**　(Fig. 163)

Ｃ－13・14グリッドににある。上面の平面形は東西に長い隅丸長方形を呈する。中心部で東西0.92m、南北0.62m、深さ0.42mを測る。底面には緩やかな起伏がある。壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋土は淡褐色土を主体としている。出土遺物は少なく、磁器片1点のみ。

**ＳＫ００３土壙出土遺物**　(Fig. 164)

17は染め付け青磁碗。残存器高2.5cm、高台径6.2cm。畳付き部のみ露胎。色調は青白色。

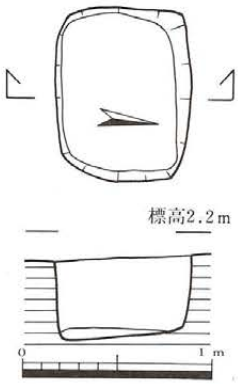



Fig. 163　SK003土壙
実測図(S=1／40)

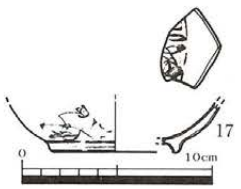



Fig. 164　SK003
土壙出土遺物(S=1／4)

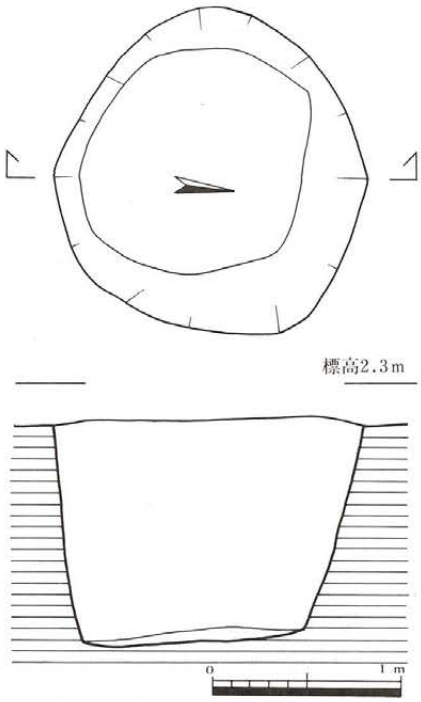



Fig. 165　SK006土壙実測図(S=1／40)

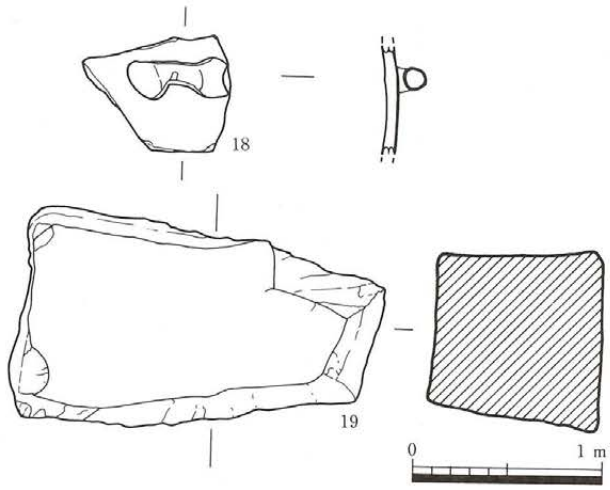



Fig. 166　SK006土壙出土遺物実測図(S=1／4)

**ＳＫ００６土壙**

(Fig. 165)

Ｂ－11グリッドの北東部にある。上面の平面形は東西にやや長い楕円形を呈する。中心部で東西1.73m、南北1.66m、深さ1.16mを測る。底面には緩やかな起伏があり、壁は比較的角度をもって立ち上がる。出土遺物には磁器・石製品などがあるが、いずれも細片。

**ＳＫ００６**

**土壙出土遺物**

(Fig. 166)

18は四耳壷か。色調は外面茶褐色、内面赤茶褐色。外面には釉がかかる。19は砥石。２面使用。長さ19.5cm、厚さ9.5cm、幅11.1cm。石質は砂岩系か。

**ＳＫ００７土壙**　(Fig. 167)

Ａ－11・Ｂ－11グリット付近に位置する。南側掘り込み付近で他遺構と切り合っているので不定型に見えるが元来隅丸長方形を基調としたものと考える。中心部で南北1.84m、東西1.23m、深さ0.53mを測る。底面はほぼ平坦。壁は角度をもって立ち上がる。出土遺物には

土師器・瓦質土器などの細片がある。

**ＳＫ００７土壙出土遺物**　(Fig. 168)

20・21は土師器皿。20で口径5.7cm、器高2.2cm、底径3.6cm。底面は糸きり。21は残存器高1.7cm、底径3.9cm。底面は糸きり。22は火鉢か。細片のため口径算出不能。口縁部外面に菊文のスタンプがある。調整はハケ目とナデによる。

**ＳＫ０２５土壙**　(Fig. 169)

Ｃ－５・６グリッドにあって、ＳＤ０２４を切っている。上面の平面形は円形を呈し、柱穴のように見えるが、柱痕跡等の土色差は見受けられなかった。また周囲にも関連があるような柱穴はない。径0.97m、深さは掘り込み面から１段目が0.36m、２段目が0.59m、３段目が0.73mを測る。出土遺物には土師器・磁器がある。

**ＳＫ０２５土壙出土遺物**　(Fig. 170)

23・24は土師器皿。口径6.2・7.2cm、器高1.7・1.9cm、底径3.4・4.2cm。底面は糸きり。23はやや上げ底状である。25は磁器碗。口径12.4cm、残存器高3.1cm。色調は淡灰色。全面に釉がかかる。26は磁器碗。残存器高3.9cm、高台径4.4cm。見込みには文字スタンプがある。全面に釉がかかる。色調は淡緑色。

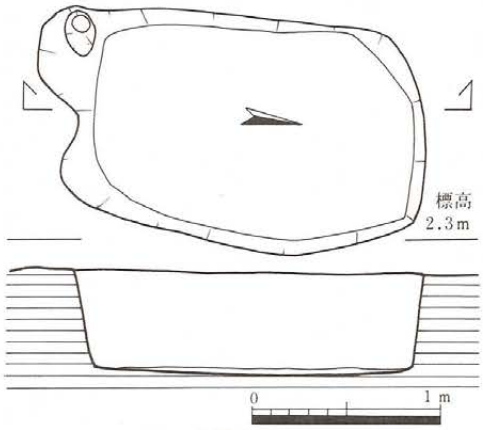


Fig. 167　SK007土壙実測図(S=1/40)

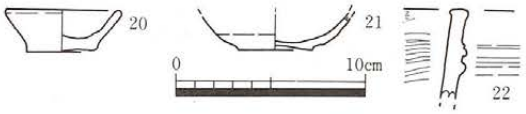


Fig. 168　SK007土壙出土遺物実測図(S=1/4)

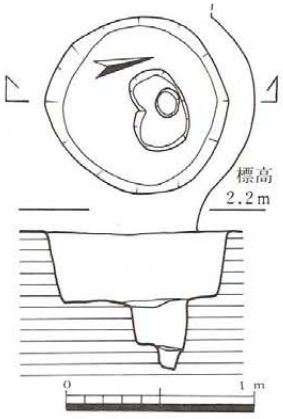


Fig. 169　SK025土壙実測図(S=1/40)

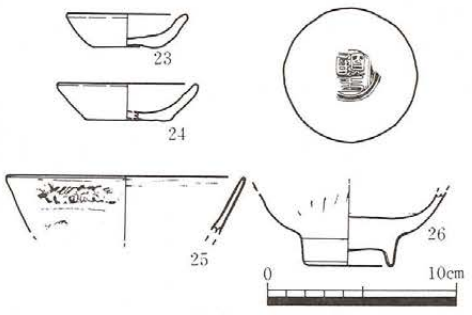


Fig. 170　SK025土壙出土遺物実測図(S=1/4)

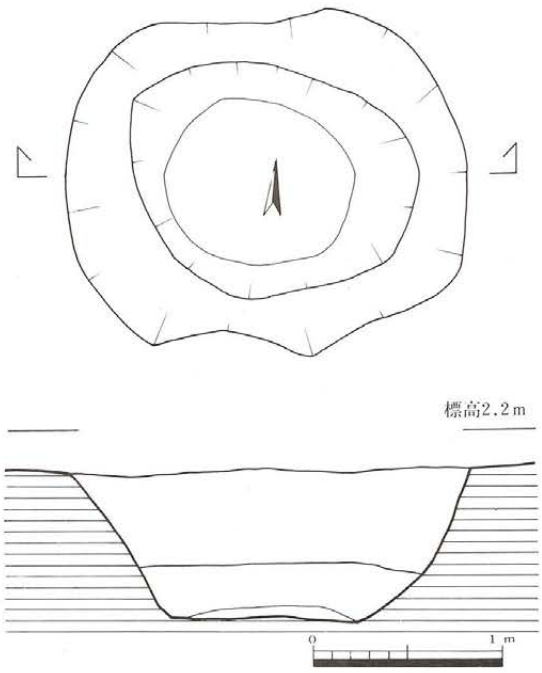



Fig. 171　SK029土壙実測図(S=1／40)

**ＳＫ０２９土壙**　(Fig. 171)

Ｃ－７グリッドの北部にある。上面の平面形は東西に長い楕円形を基調とする。中心部で東西2.13m、南北1.69m、深さ0.79mをはかる。底面には緩やかな起伏があり、壁はなだらかに立ち上がる。壁面下半部に稜を有する。出土遺物には土師器・磁器がある。

**ＳＫ０２９土壙出土遺物**　(Fig. 172)

27は土師器皿。口径9.8cm、器高3.3cm、底径４cm。底面は糸きり。色調は淡黄褐色。28も土師器皿。口径9.9cm、残存器高3.45cm。色調は淡橙褐色。29は青磁碗か。口径は細片であるため復元値が測定できない。全面に釉がかかる。色調は胎土が白色、釉が青白色。

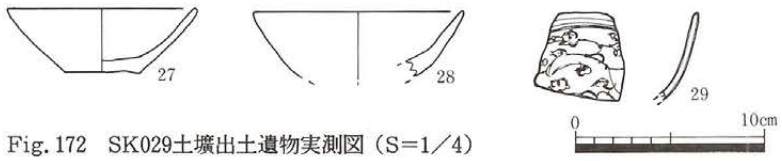



Fig. 172　SK029土壙出土遺物実測図（S=1／4）

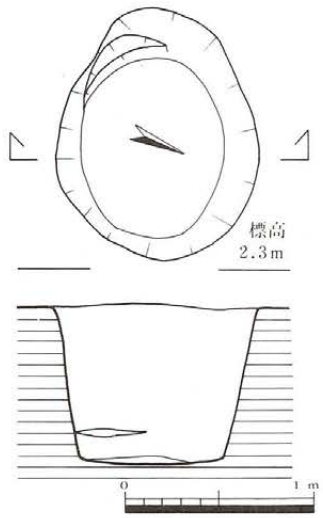



Fig. 173　SK035土壙実測図
(S=1／40)

**ＳＫ０３５土壙**　(Fig. 173)

Ｂ－13グリッドの南部にある。上面の平面形は東西に長い楕円形を呈する。中心部で東西径1.32m、南北径1.07m、深さ0.83mを測る。底面は概ね平坦。壁は比較的角度をもって立ち上がる。西壁寄りの掘り込み面から0.65mの深さに三ケ月状の平坦部がある。出土遺物は少なく土師器１点のみ。

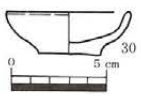



Fig. 174

**ＳＫ０３５土壙出土遺物**　(Fig. 174)

30は土師器皿。口径6.4cm、器高2.2cm、底径3.2cm。底面は糸きり色調は淡橙褐色。完存する。

**ＳＫ０３４土壙**　(Fig. 175)

Ｃ－14グリッド南部に位置する。上面の平面形は南北に長い楕円形を呈する。中心部で南北1.3m、東西0.94m、深さ0.86mを測る。底面は平坦で壁は角度をもって立ち上がる。出土遺物には土師器がある。

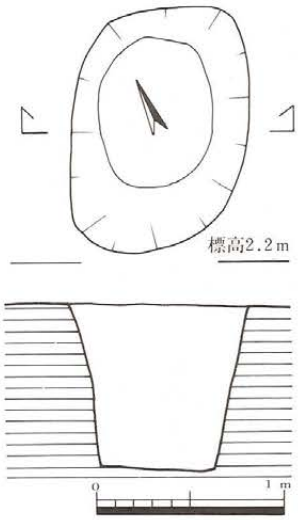


Fig. 175　SK034土壙実測図
(S=1／40)

**ＳＫ０３４土壙出土遺物**　(Fig. 176)

31は土師器皿。口径７cm、器高1.8cm、底径4.8cm。底部は糸きり。色調は淡黄褐色。

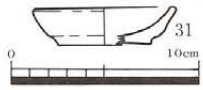


Fig. 176
SK034出土遺物
実測図(S=1／4)

**ＳＫ０４１・０４２土壙**　(Fig. 177)

Ａ－８グリッドの南東部にある。ＳＫ０４１がＳＫ０４２を切っている。ＳＫ０４１の上面の平面形は東西に長い楕円形を呈し、東西1.15m、南北0.7m、深さ0.5mを測る。ＳＫ０４２は上面の平面形が南北にやや長い楕円形を呈する。南北0.9m、東西0.8m、深さ0.42mを測る。２遺構とも底面は平坦、壁は角度をもって立ち上がる。出土遺物はＳＫ０４１からは磁器・陶器、ＳＫ０４２からは土師器が出土している。

**ＳＫ０４１・０４２土壙出土遺物**

(Fig. 178)

32はＳＫ０４２出土の土師器杯。口径10cm、器高2.4cm、底径6.7cm。底面は糸きり。

33はＳＫ０４１出土の染め付けの磁器皿。高台径6.1cm、残存器高2.4cm。全面に釉ガかかる。色調は白色。

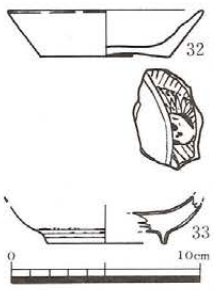


Fig. 178　SK041・042
土壙出土遺物実測図
(S=1／4)

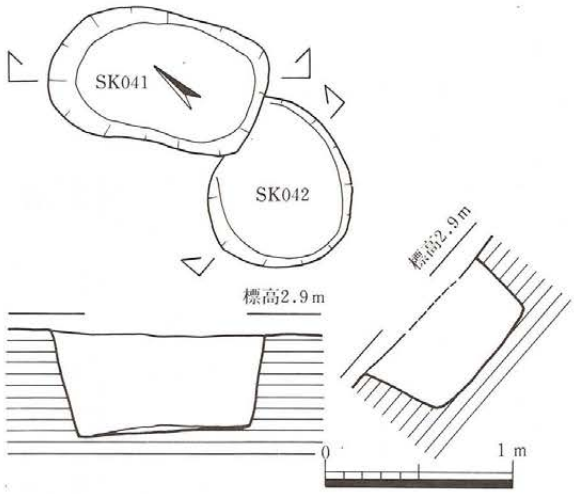


Fig. 177　SK041・042土壙実測図(S=1／40)

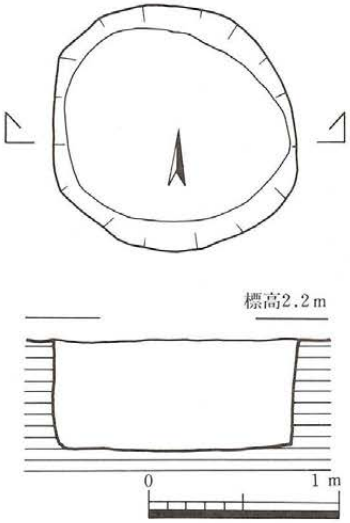



Fig. 179　SK045土壙実測図
（S＝1／40）

**ＳＫ０４５土壙**　（Fig. 179）

Ｃ－４グリッドの南東部にある。上面の平面形は円形を基調とする。径1.3m、深さ0.59ｍ。底面はほぼ平坦。壁は垂直に近い角度で立ち上がる。出土遺物は少なく磁器片１点のみ。

**ＳＫ０４５土壙出土遺物**　（Fig. 180）

34は磁器皿か。口径10cm、残存器高1.85cm。全面に釉がかかる。色調は胎土が灰色、釉が暗緑色。

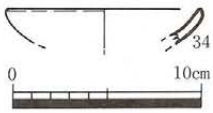



Fig. 180　SK045
土壙出土遺物実測図
（S＝1／4）

**(3)　掘立柱建物と出土遺物**

今次調査で確実なものとしては２棟検出した。この他に中央部の溝の西側付近にある程度の規則性をもつ小穴群を検出したが、小穴の埋土色調や小穴の深さなどから考えると建物跡とは認定しがたいものであったためその詳細の記述は削除した。

**ＳＢ０１８掘立柱建物**　（Fig. 181）

調査区の西半部にある。主軸をほぼ南北方向にとる。建物規模は梁行3.81～４ｍ、桁行6.9～7.08ｍを測る２間×３間のものである。柱間は挿図中に記している。柱穴規模は0.3～0.6ｍ程度。深さは0.4～0.7ｍを測る。柱痕跡は柱穴の断面で確認できたが、土層では識別できなかった。埋土は淡黒褐色土を基調とするものであった。出土遺物はほとんど無く、図化している土師器１点のみ。

**ＳＢ０１８掘立柱建物出土遺物**　（Fig. 182）

35は土師器皿。口径6.2cm、器高1.4cm、底径3.4cm。底面は糸きり。色調は淡黄褐色。

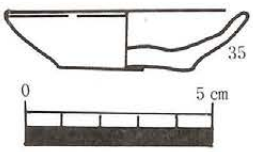



Fig. 182　SB018
掘立柱建物出土遺物
実測図（S＝1／4）

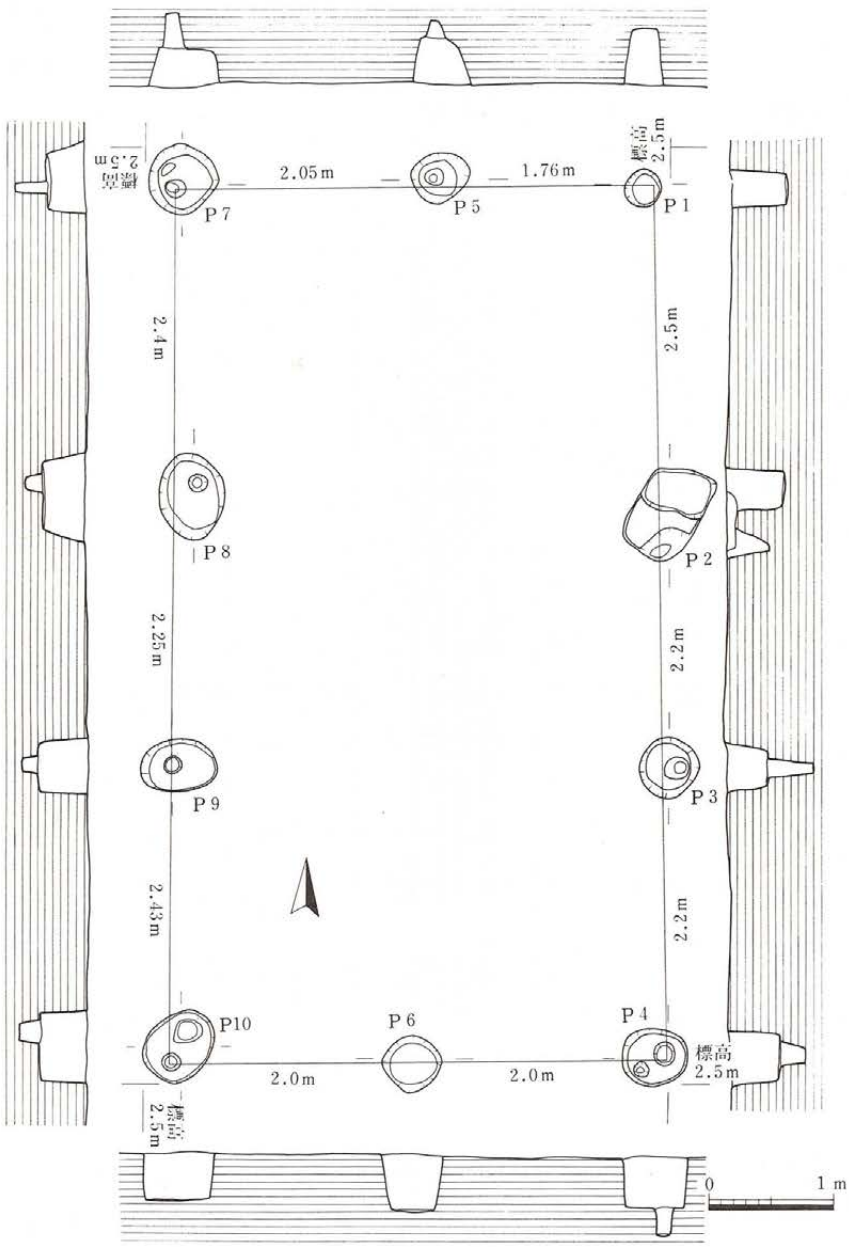



Fig. 181　SB018掘立柱建物実測図（S=1／60）

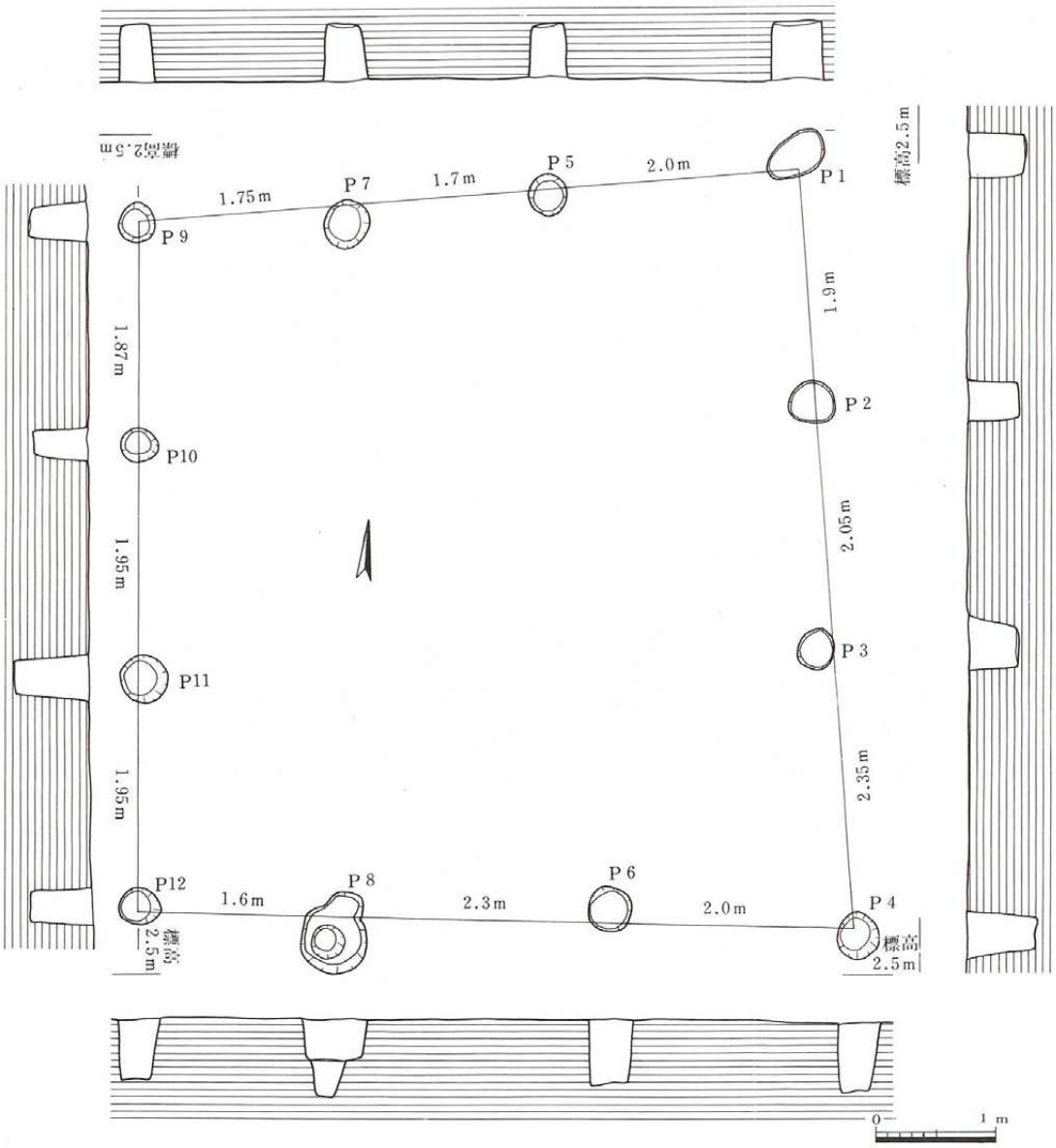



Fig. 183　SB028掘立柱建物実測図（S=1／60）

**ＳＢ０２８掘立柱建物**　（Fig. 183）

調査区の東半部にある。主軸をほぼ南北にとる。建物規模は梁行5.45～5.9m、桁行5.77～6.44mを測る３間×３間のものである。柱間は挿図中に記している。柱穴規模は0.35～0.55m、深さは0.42～0.65mを測る。全体的にいびつな柱穴の並びであるが、３基の柱穴で柱痕跡を確認できたので建物跡と認定した。この柱穴群が並ぶ範囲内には土壙・溝等が存在し時

間的には確実に新旧関係があるのだろうが、いわゆる遺構間の切り合い関係がなく、出土遺物もないので建物の時期が決定しがたい。しかし。ＳＢ０１８との主軸方向の同一性や埋土の状況から考えてほぼ同時期に存在したものと考える。

(4) 溝と出土遺物

大小合わせて14条検出した。中央のＳＤ０５０はクリークが埋め立てられたものである。埋め立てられた時期は昭和初期と地元から聴取した。この屋敷がＳＤ０５０によって２分割さらていたものか。最も古い溝はＳＤ１５・０２０・０２４である。これらの溝は別遺構として取り扱っているが、その位置関係から考えるとＳＤ０４５を含み一連の溝であった可能性もある。溝はどれも全体を検出したわけではないのでその性格・機能などは論証できない。しかし、ＳＤ０２４についてはこの時代によくある井戸の埋土（黒色の藁灰混じり土）とほぼ同じ埋土を検出した。溝中祭祀のようなものがあったのだろうか。

また、それ以外の溝は出土遺物から考えて近世に及ぶものと考えるが建物跡との関係は名言できる資料を得ていない。

溝の全長は検出していないことは前述のとおりであるが、深さは0.2～0.5m程度を測る。溝の埋土は中世のものが黒褐色土、近世に及ぶものが淡茶褐色土を基調としていた。

遺物の出土状況はＳＤ０２０に見るように、藁灰混じり土中に投棄された様相を呈するものと他の溝に見られるように流入したものとがある。

出土遺物は比較的多く、瓦器・陶器・磁器を検出した。

**ＳＤ０２５・０２３・０２４溝出土遺物**　(Fig. 184)

36はＳＤ０１５出土遺物、37～39・41はＳＤ０２０出土遺物、40・42・43はＳＤ０２４出土遺物、44はＳＤ０２３出土遺物。36は瓦器碗。口径16.4cm、器高5.9cm、底径5.6cm。調整は主としてヘラミガキとヨコナデ。色調は灰黒色。37も瓦器碗。口径16.4cm、残存器高5.5cm。調整・色調は37にほぼ同じ。38も瓦器碗。口径16.4cm、器高6.8cm、底径5.8cm。調整はヘラ状工具によるナデ。色調は灰色を基調とし一部が黒色。39は瓦器碗。口径16.9cm、器高6.6cm、底径７cm。主たる調整はヘラミガキとヨコナデ。器外面にヘラ記号有り。色調は灰黒色。40は瓦器碗。口径14.8cm、残存器高5.8cm。調整はヨコナデと工具によるナデ。色調は淡灰色を基調とし一部が黒色を呈する。41は青磁碗。口径17cm、残存器高6.4cm。同安窯系と考える。全面に釉がかかる。色調は胎土が灰白色、釉が淡緑色。42は青磁碗。口径15cm、残存器高5.4cm。龍泉窯系と考える。全面に釉がかかる。色調は暗緑色を基調とする。43は磁器碗。口径16.6cm。色調等は42に同じ。44は青磁皿。残存器高1.1cm、底径3.4cm。上げ底気味の底部は露胎。墨書有り。色調は灰緑色。

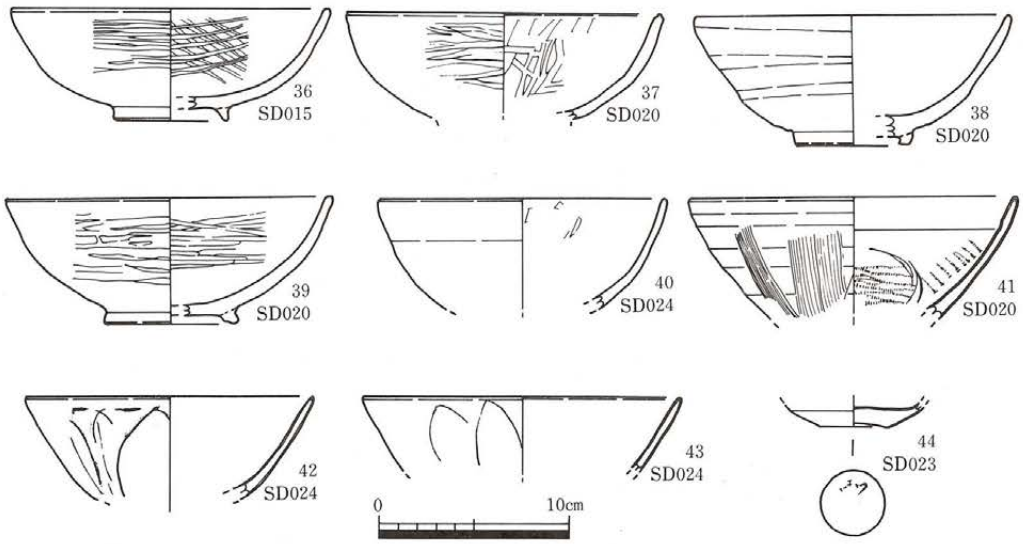



Fig. 184　SD015・020・023・024溝出土遺物実測図（S＝1／4）

## SD005・011溝出土遺物

（Fig. 185）

45はSD005出土遺物、46～50はSD011出土遺物。45は土師器皿。口径10.2cm、器高2.15cm、底径4.4cm。底面は糸きり。わずかに上げ底状を呈する。色調は暗黄褐色。46・47は土師器皿。口径6.8cm、器高1.9・2.0cm、底径4.2・3.6cm。底面は2個体とも糸きり。色調は淡黄褐色・褐色。48は陶器碗。残存器高3.3cm、高台径3.8cm。外部下半部から高台にかけて露胎。色調は釉が緑褐色、胎土が赤褐色。49は陶器碗。残存器高4.5cm、復元底径5.5cm。50は土師質土器鉢か。残存器高15.2cm、底径18.2cm。調整は全面に荒いハケ目がある。色調は淡橙褐色。

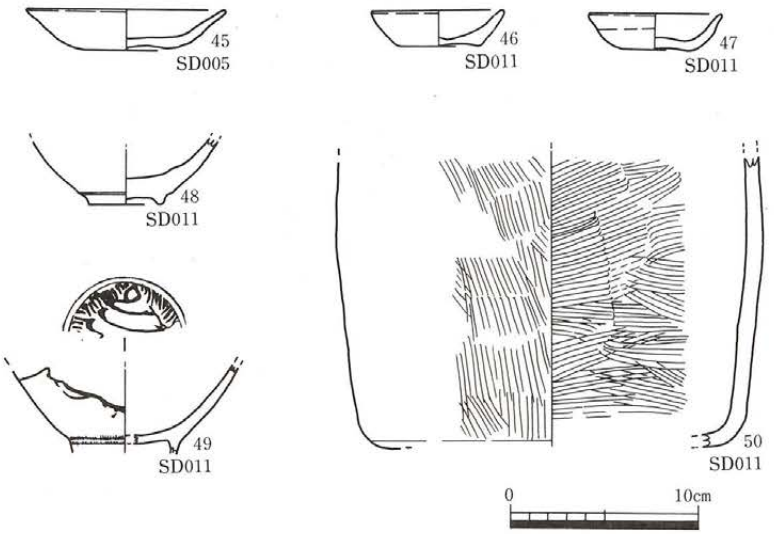



Fig. 185　SD005・011溝出土遺物実測図（S＝1／4）

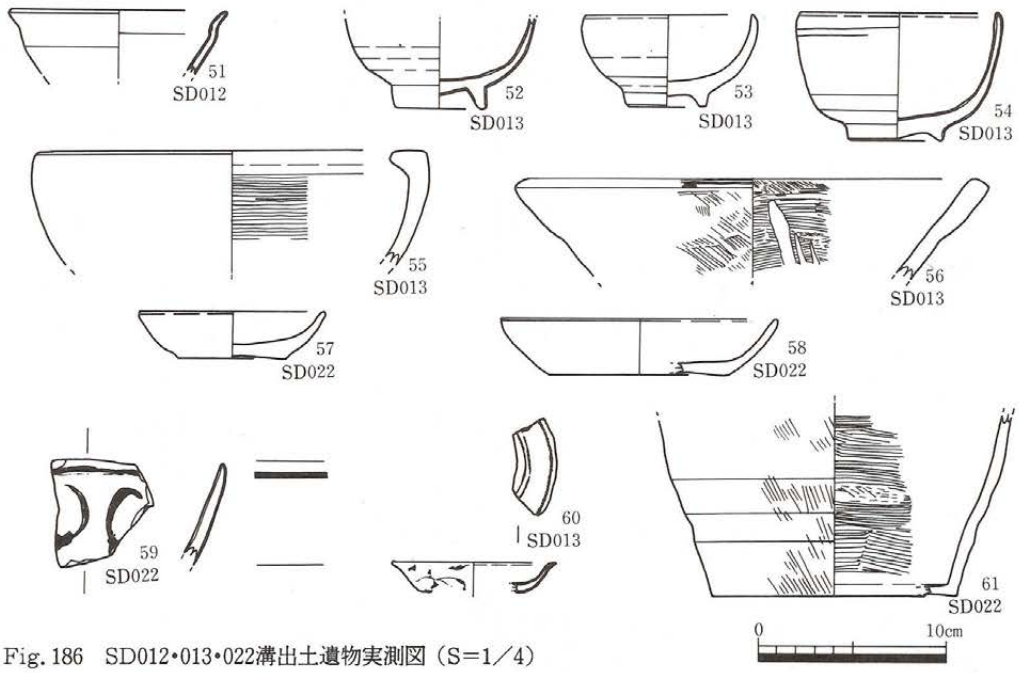



Fig. 186　SD012・013・022溝出土遺物実測図（S＝1／4）

**ＳＤ０１２・０１３・０２２溝出土遺物**　（Fig. 186）

51は陶器口径11.2cm、残存器高3.4cm。全面施釉で色調は黒色。52～54は陶器碗。口径は（欠損）・8.8・10.25cm、器高（欠損）・4.9・6.7cm、高台径5.7・4.9・6.7cm。全体的に釉がかかるが、露胎部分は52では畳付き部、53では高台部、54では高台内面。色調はそれぞれ淡灰色・淡茶褐色・緑色を呈する。55は瓦質土器の鉢。口径18.5cm、残存器高６cm。主たる調整は内面がハケ目、外面がナデによる。外面の一部に煤が付着している。色調は淡黄褐色。56は瓦質土器摺り鉢。口径23.2cm、残存器高5.3cm。57は土師器皿。口径9.6cm、器高2.4cm、底径5.6cm。色調は淡黄褐色。58は土師器杯。口径14.3cm、器高2.9cm、底径9.3cm。底面は糸きり。色調は淡黄褐色。59は染め付けの磁器碗か。細片のため口径の算出不能。色調は淡黄褐色。60は染め付けの磁器皿。口径8.4cm、残存器高1.15cm。色調は白色。61は瓦質土器の壷か。残存器高9.5cm、底径12.8cm。調整はロクロナデのあと外面が斜め方向のハケ目、内面が横方向のハケ目。色調は灰色。

**(5)　その他の遺構と出土遺物**

**ＳＸ０３６不明遺構と出土遺物**

Ａ－13～14グリッドにある。上面の平面形は不定形を呈する。遺構配置図には平面図を掲載しているが、検出にあたっては非常に掘り込みラインが不明確であったが、後述する遺物が出土したので人為的なものであろうと判断した。しかし、わずかな窪みへの遺物の投棄であったかも知れない。深さは0.1m～0.2mである。

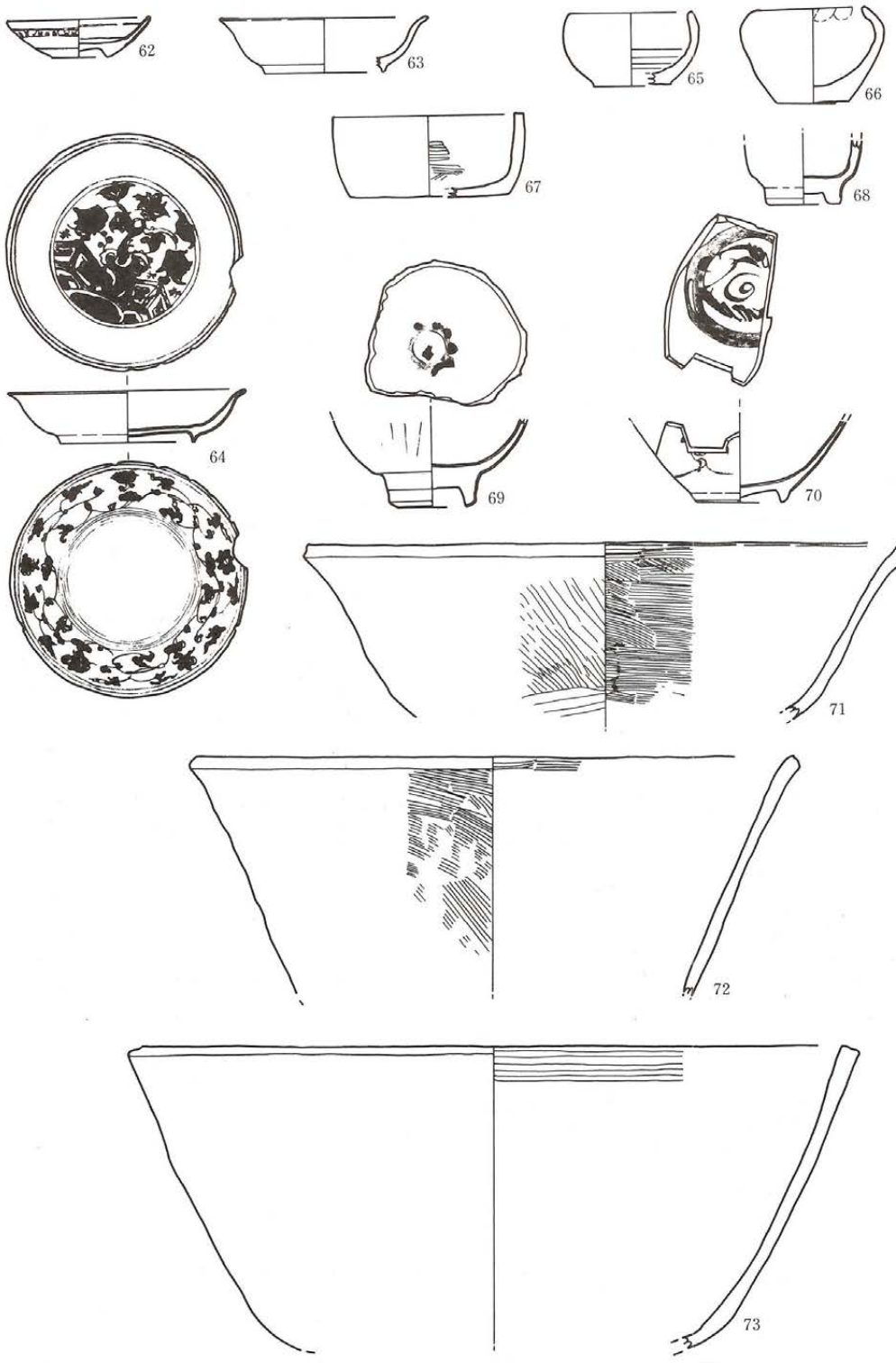



Fig. 187　SX036不明遺構出土遺物実測図(1)（S＝1／4）

### ＳＸ０３６不明遺構出土遺物　（Fig. 187）

62は陶器皿。口径８cm、器高2.3cm、底径３cm。ケズリキにより高台を造り出している。色調は暗灰色。63・64は白磁皿。63で口径11.8cm、器高3.2cm、底径6.8cm。全面施釉。64で口径13.6cm、器高３cm、高台径7.75cm。ほぼ完存する。内面見込みと外面体部に染め付けがある。畳付き部のみ露胎。65～67は瓦質土器。65は鉢。口径７cm、器高4.4cm、底径4.2cm。調整はロクロナデ。底面外部は糸きり。色調は灰色。66も瓦質土器の壷。口径6.1cm、器高5.65cm、底径4.1cm。主たる調整はナデと指頭によるおさえ。色調は灰色。67は鉢。口径10cm、器高9.25cm、底径4.75cm。主たる調整はナデとハケ目。外面底部に板目が観察できる。色調は暗灰色。68は青磁鉢。残存器高3.7cm、高台径4.2cm。高台部を除いて釉がかかり貫入がある。色調は暗緑色。69は青磁碗。残存器高５cm、高台径3.9cm。内面から高台の畳付き部まで釉がかかり貫入がある。色調は暗緑色。70は磁器碗。残存器高4.6cm、高台径５cm。高台部を除いて釉がかかる。施紋の色調は暗青色。71は瓦質土器の鉢。口径34.2cm、残存器高10.1cm。主たる調整はハケ目。外面のものが荒い。外面には煤が付着している。色調は内面が灰色、外面が暗褐色。72・73は土師質土器の鉢。口径34.5cm、残存器高14cm。調整はハケ目と指頭による押さえ。外面には煤が付着してる。色調は暗褐色。73は土鍋か。口径40.6cm、残存器高17.5cm。調整はナデとハケ目を主体としてる。内面は摩耗が進んでいる。外面には煤と炭化物が付着しており調整は明確ではない。色調は黒褐色を基調とする。

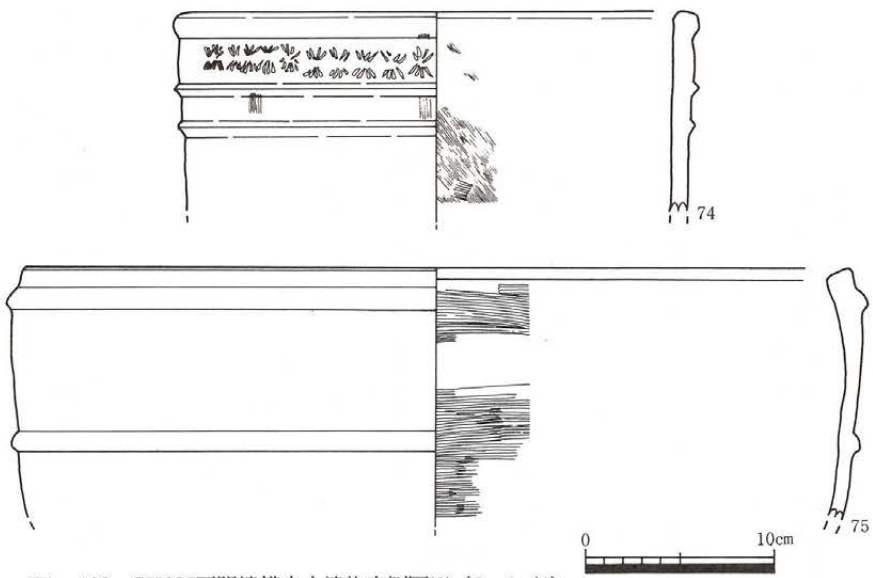



Fig. 188　SX036不明遺構出土遺物実測図(2)（S＝1／4）

**ＳＸ０３６不明遺構出土遺物**　（Fig. 188）

74は土師質土器の火鉢か。口径25.8cm、残存器高10.4cm。体部は垂直に立ち上がる。外面口縁下部に断面三角形の突帯２条を有する。口縁下部にはスタンプで花紋が配されている。主たる調整はハケ目とナデ。色調は淡黄褐色。75は瓦質土器の鉢か。口径33cm、残存器高13.2cm。口縁下部には断面三角形の突帯が２条造り出されている。主な調整はハケ目とナデ。内外面共に煤が付着している。色調は淡黄褐色。

(6) 小　結

梅屋敷遺跡は阿高遺跡・寺裏遺跡同様、周知の埋蔵文化財包蔵地以外の地に発見した新遺跡である。平成元年度にこの地区の埋蔵文化財確認調査を実施するにあたって、地元に土地に残る伝承等を聴取した。その時はこの梅屋敷遺跡が所在するこの地区には「増田城」の呼称があるとのことであった。しかし、中世の館が「城」という呼称で残るにしても、あまりに狭隘すぎる感があった。そこで、地権者に聴取したところ「ウメヤシキ」という回答があった。文献資料で確認できない呼称に「梅屋敷」の漢字をあてるのは好ましくないのかも知れないが、「ウ－ヤシキ（大屋敷）」からの転訛とは考えにくいのでこの文字を用いた。

前述の増田城については、この調査区の北側に隣接する現増田集落と関係があるものか。

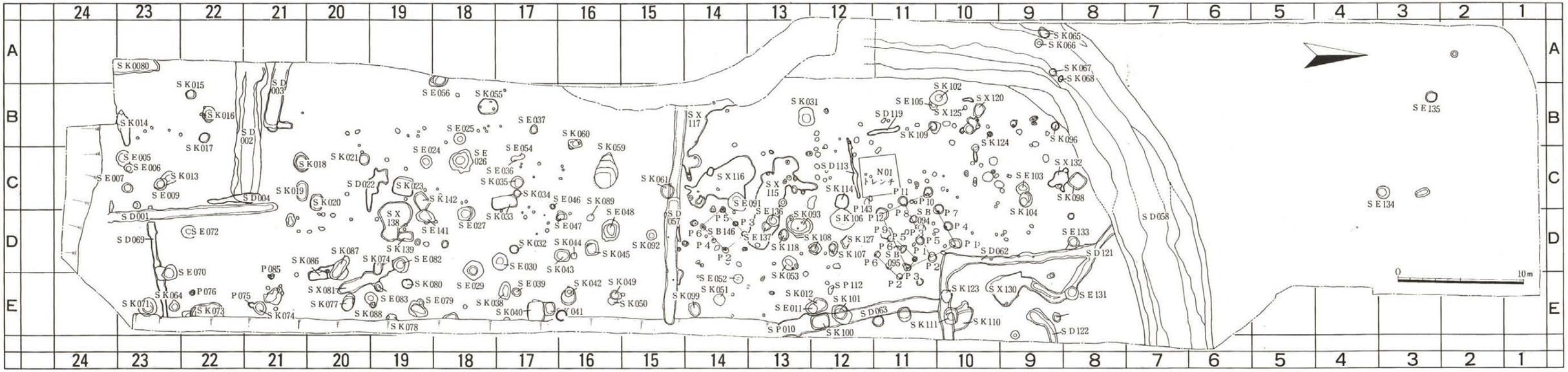
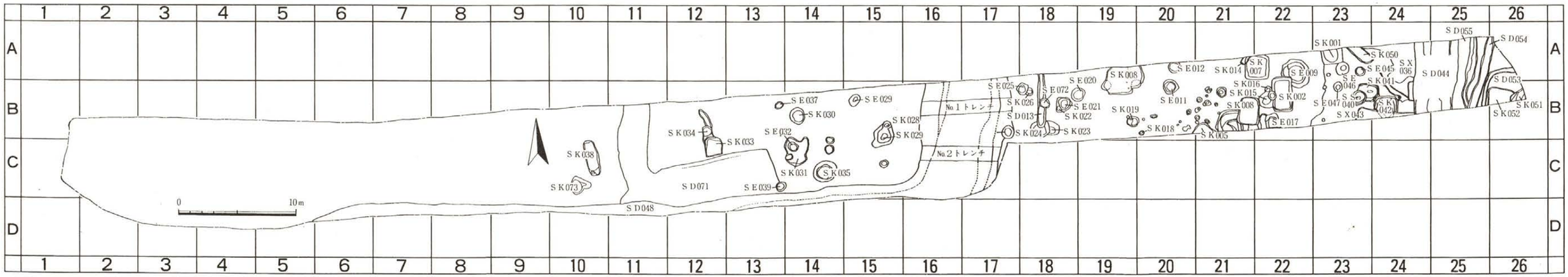
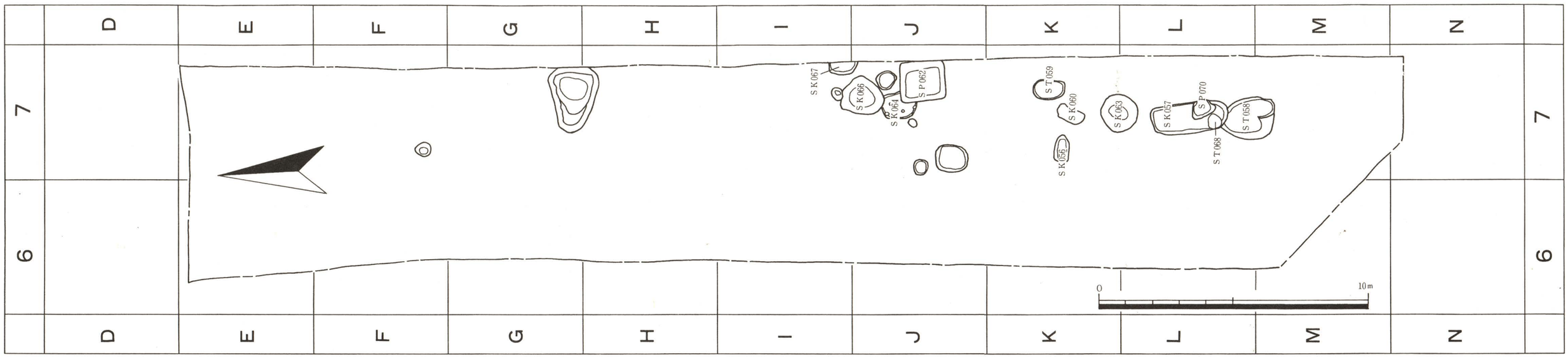



Fig189　阿高遺跡(C地区)遺構配置図

Fig190　寺裏遺跡遺構配置図



# 寺裏遺跡


D
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
7
6
S K 067
S K 066
S K 064
S P 062
S T 059
S K 060
S K 063
S K 057
S P 070
S T 058
S T 068
S K 056
0
10m

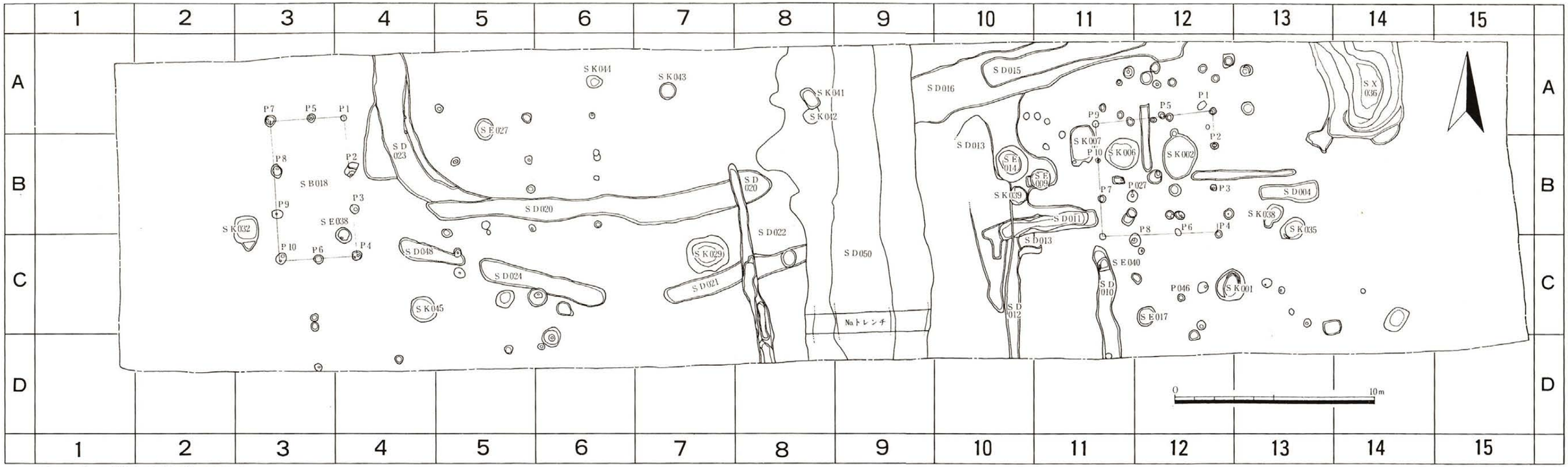



Fig191　梅屋敷遺跡遺構配置図

# P　　L

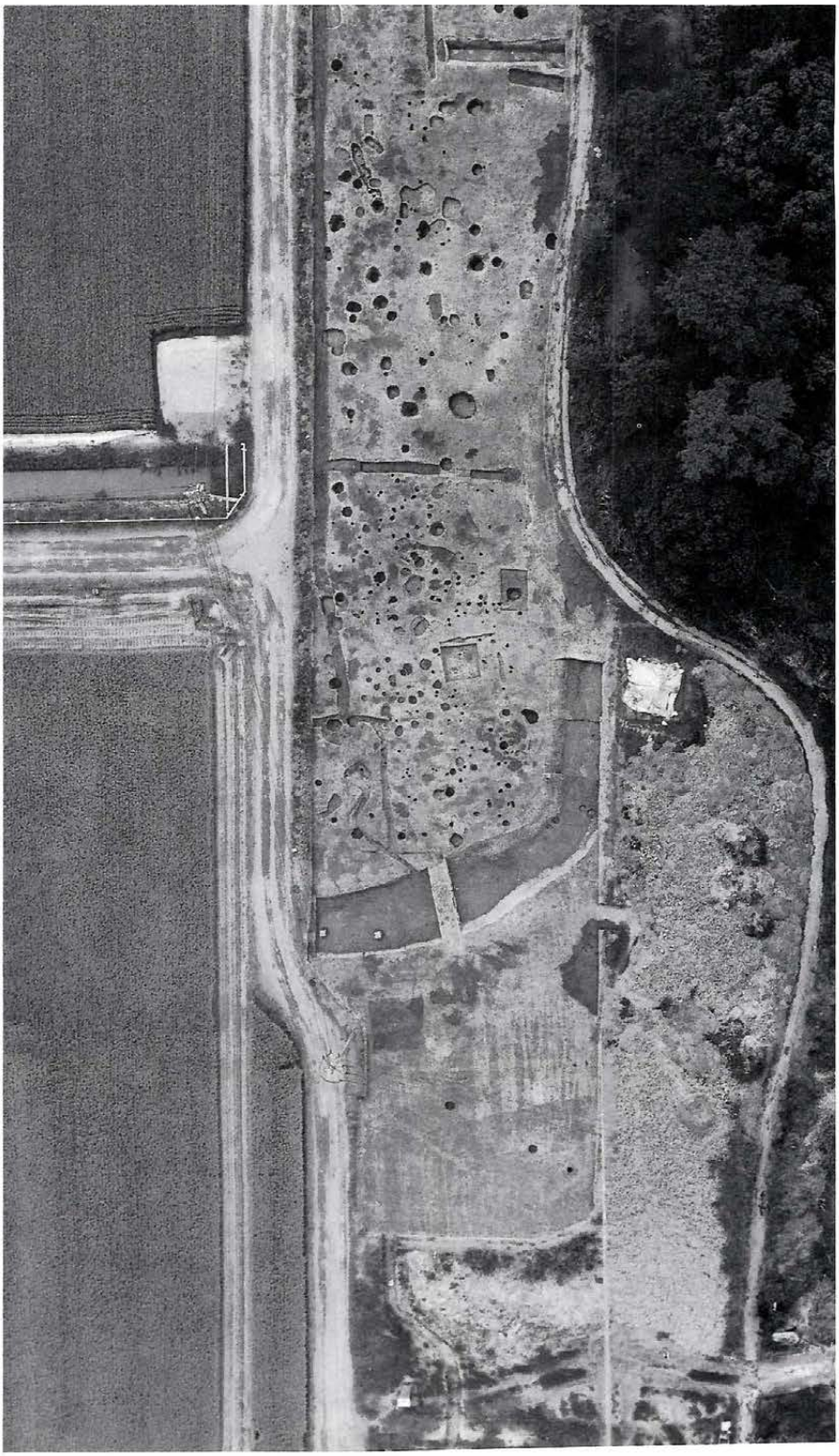
遺物写真は挿図と対照できるように、
挿図番号を表記した。
例：ＳＥ016　（4　－　4）
遺構番号　挿図番号 挿図内遺物番号

# ＰＬ目次


ＰＬ．１－１　阿高遺跡（Ｃ地区）全景
ＰＬ．２－１　ＳＥ016井戸
ＰＬ．２－２　ＳＥ102土壙・ＳＥ105井戸
ＰＬ．２－３　ＳＫ021土壙
ＰＬ．２－４　ＳＫ023土壙
ＰＬ．２－５　ＳＫ043土壙
ＰＬ．２－６　ＳＫ055土壙
ＰＬ．２－７　ＳＫ059土壙
ＰＬ．２－８　ＳＫ060土壙
ＰＬ．３－１　ＳＫ061土壙
ＰＬ．３－２　ＳＫ019土壙
ＰＬ．３－３　ＳＫ084土壙
ＰＬ．３－４　ＳＫ086土壙
ＰＬ．３－５　ＳＫ088土壙下層
ＰＬ．３－６　ＳＫ088土壙下層
ＰＬ．３－７　ＳＫ096土壙
ＰＬ．３－８　ＳＫ097土壙
ＰＬ．４－１　ＳＫ098土壙
ＰＬ．４－２　ＳＫ098土壙
ＰＬ．４－３　ＳＫ098土壙
ＰＬ．４－４　ＳＫ090土壙
ＰＬ．４－５　ＳＫ099土壙
ＰＬ．４－６　ＳＸ081周辺（北から）
ＰＬ．４－７　ＳＫ081(北から)
ＰＬ．４－８　ＳＸ081
ＰＬ．５－１　ＳＸ081
ＰＬ．５－２　ＳＢ094・095掘立柱建物
ＰＬ．５－３　ＳＢ094掘立柱建物（Ｐ－12)
ＰＬ．５－４　ＳＢ094掘立柱建物（Ｐ－６）
ＰＬ．５－５　ＳＢ094掘立柱建物（Ｐ－９）

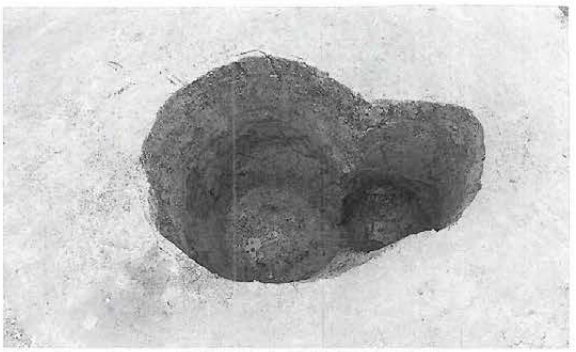
ＰＬ．５－６　ＳＢ094掘立柱建物（Ｐ－３）
ＰＬ．５－７　ＳＢ094掘立柱建物（Ｐ－２）
ＰＬ．５－８　ＳＢ095掘立柱建物（Ｐ－４）
ＰＬ．６－１　ＳＢ095掘立柱建物（Ｐ－５）
ＰＬ．６－２　ＳＢ095掘立柱建物（Ｐ－１）
ＰＬ．６－３　ＳＢ095掘立柱建物（Ｐ－６）
ＰＬ．６－４　ＳＥ134井戸
ＰＬ．６－５　ＳＥ005井戸
ＰＬ．６－６　ＳＥ009井戸
ＰＬ．６－７　ＳＥ018井戸
ＰＬ．６－８　ＳＥ026井戸
ＰＬ．７－１　ＳＥ048井戸
ＰＬ．７－２　ＳＥ082井戸
ＰＬ．７－３　ＳＫ019土壙
ＰＬ．７－４　ＳＫ040・041土壙
ＰＬ．７－５　ＳＫ070土壙
ＰＬ．７－６　ＳＫ073土壙
ＰＬ．７－７　ＳＤ002溝
ＰＬ．７－８　ＳＤ058溝
ＰＬ．８－１　寺裏遺跡全景（東から）
ＰＬ．９－１　ＳＫ018土壙
ＰＬ．９－２　ＳＥ025井戸
ＰＬ．９－３　ＳＥ040井戸
ＰＬ．９－４　ＳＥ047井戸
ＰＬ．９－５　ＳＥ049井戸
ＰＬ．９－６　ＳＥ072井戸
ＰＬ．９－７　ＳＫ001土壙
ＰＬ．９－８　ＳＫ002土壙
ＰＬ．10－１　ＳＫ002土壙土層
ＰＬ．10－２　ＳＫ002土壙(北から)
ＰＬ．10－３　ＳＫ007土壙（北から）
ＰＬ．10－４　ＳＫ007土壙遺物出土状況
ＰＬ．10－５　ＳＫ007土壙遺物取り上げ後
ＰＬ．10－６　ＳＫ041・040土壙

ＰＬ．10－７　ＳＫ042土壙・ＳＸ043
ＰＬ．10－８　ＳＤ013溝
ＰＬ．11－１　ＳＤ048溝
ＰＬ．11－２　ＳＪ068・ＳＰ070・ＳＫ057
ＰＬ．11－３　ＳＰ062周辺
ＰＬ．11－４　ＳＪ059
ＰＬ．12－１　梅屋敷遺跡全景（北から）
ＰＬ．13－１　ＳＥ009井戸
ＰＬ．13－２　ＳＥ014井戸
ＰＬ．13－３　ＳＫ003土壙
ＰＬ．13－４　ＳＫ007土壙
ＰＬ．13－５　ＳＫ025土壙
ＰＬ．13－６　ＳＫ026土壙
ＰＬ．13－７　ＳＫ029土壙
ＰＬ．13－８　ＳＫ030土壙
ＰＬ．14－１　ＳＫ032土壙
ＰＬ．14－２　ＳＫ037土壙
ＰＬ．14－３　ＳＫ041・042土壙
ＰＬ．14－４　ＳＫ045土壙
ＰＬ．14－５　ＳＢ018掘立柱建物
ＰＬ．14－６　ＳＤ015・016溝
ＰＬ．14－７　ＳＤ020・023溝
ＰＬ．14－８　ＳＤ024・020・023溝

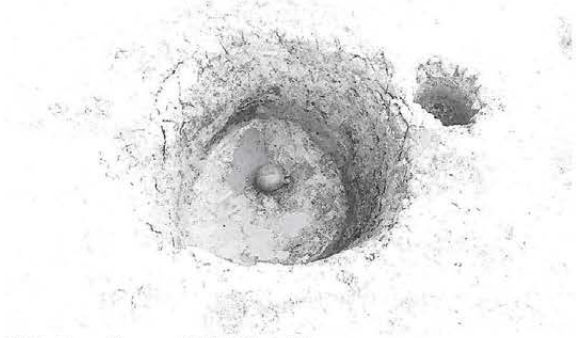


PL1－1　阿高遺跡（C地区）全景

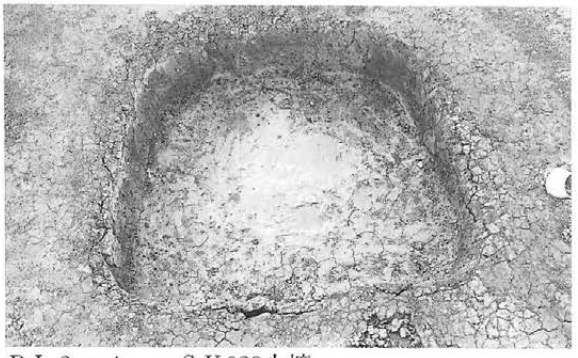
PL 2－1　　SE016井戸



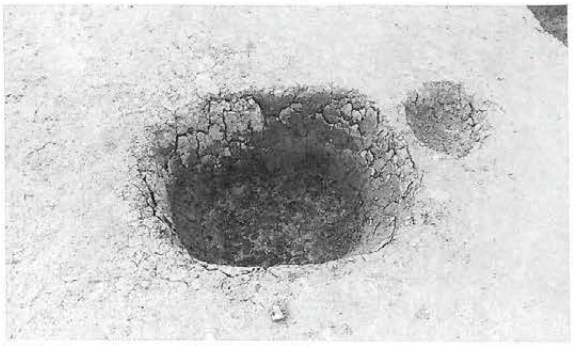
PL 2－2　　SK102土壙 SE105井戸



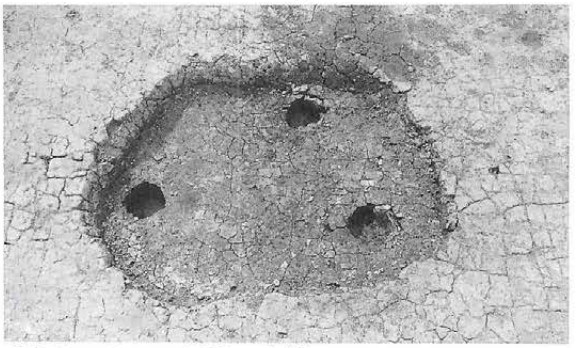
PL 2－3　　SK021土壙



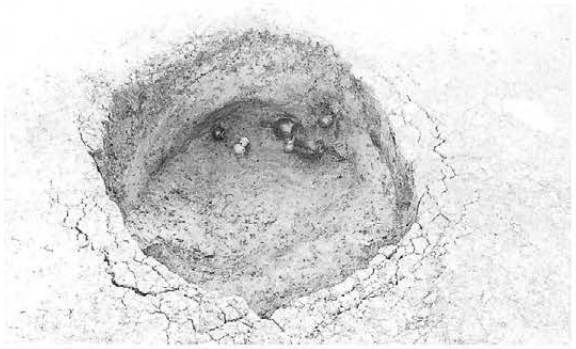
PL 2－4　　SK023土壙



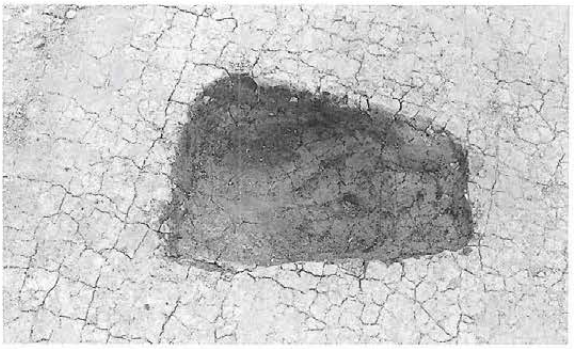
PL 2－5　　SK043土壙



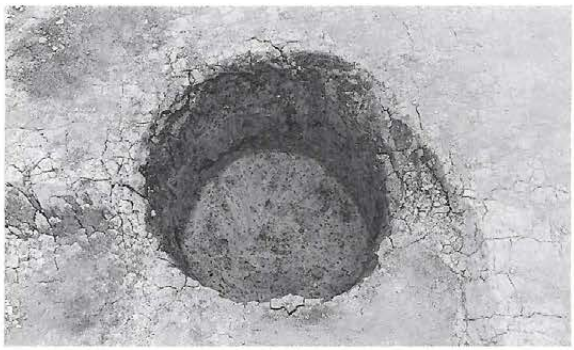
PL 2－6　　SK055土壙



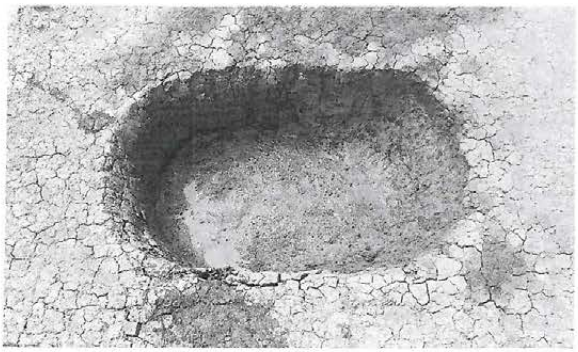
PL 2－7　　SK059土壙



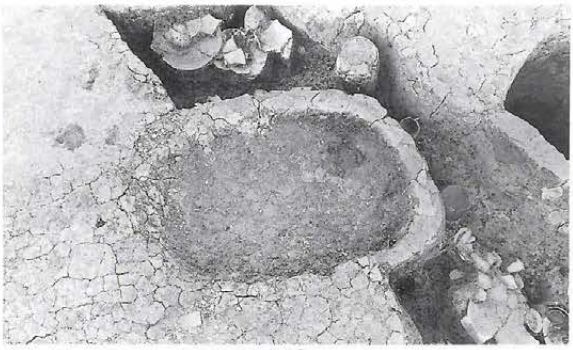
PL 2－8　　SK060土壙



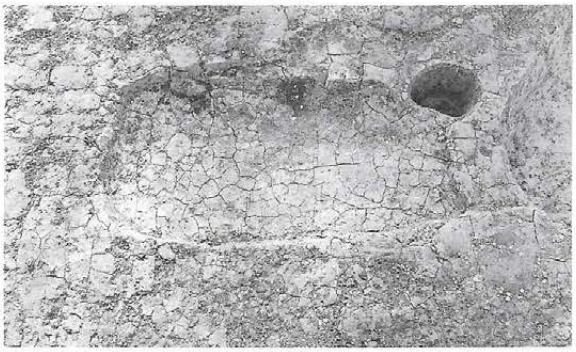
PL 3 － 1　　SK061土壙



PL 3 － 2　　SK019土壙

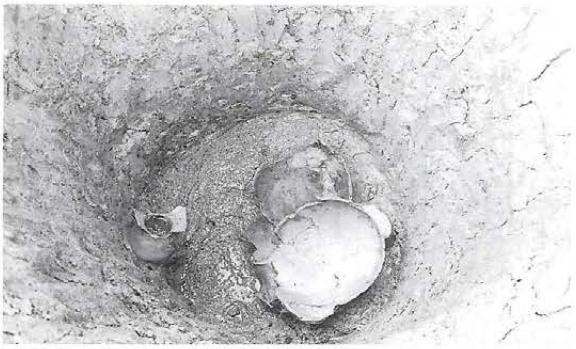


PL 3 － 3　　SK084土壙

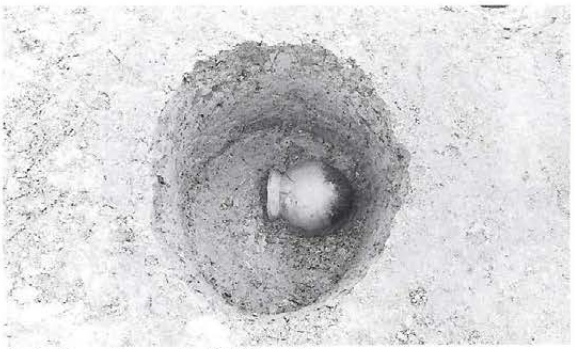


PL 3 － 4　　SK086土壙

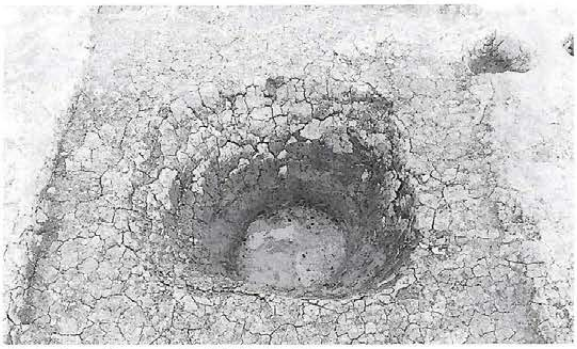
PL 3 － 5　　SK088土壙下層



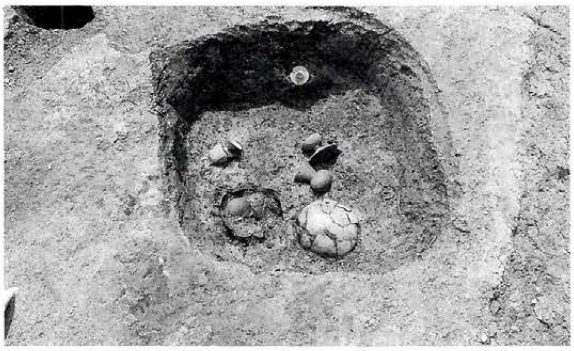
PL 3 － 6　　SK088土壙下層



PL 3 － 7　　SK096土壙

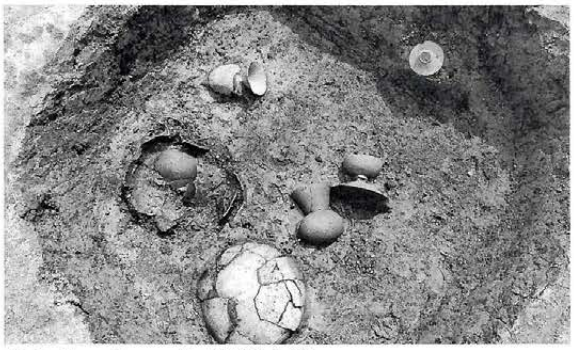


PL 3 － 8　　SK097土壙

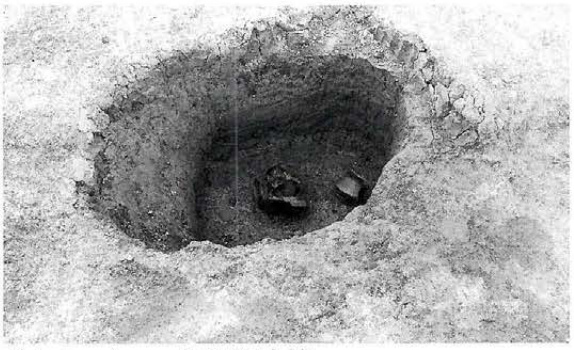


PL 4－1　SK098土壙

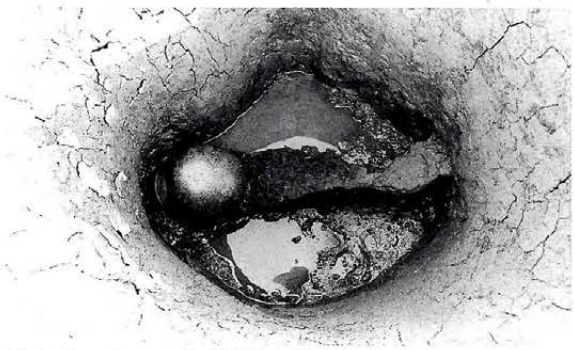
PL 4－2　SK098土壙



PL 4－3　SK098土壙



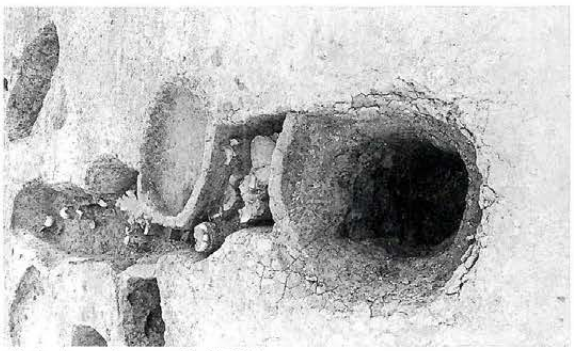
PL 4－4　SK090土壙



PL 4－5　SK099土壙

PL 4－6　SX081周辺（北から）

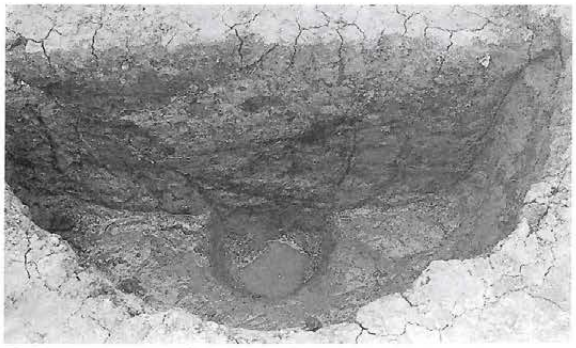
PL 4－7　SX081週辺（北から）



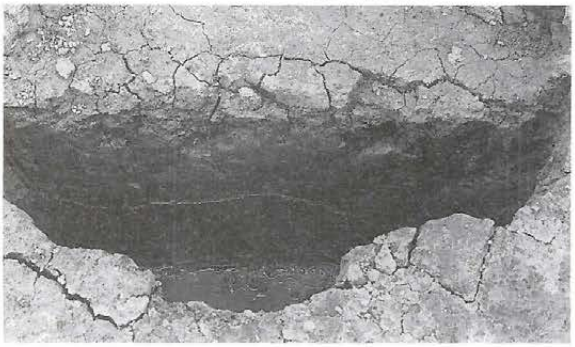
PL 4－8　SX081

PL 5－1　SX081

PL 5－2　SB094・95掘立柱建物

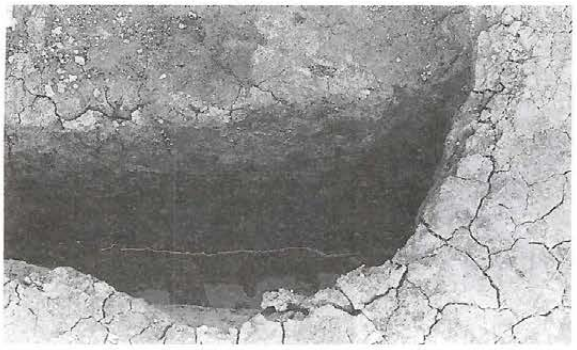


PL 5－3　SB094・P－12



PL 5－4　SB094・P－6

PL 5－5　SB094・P－9

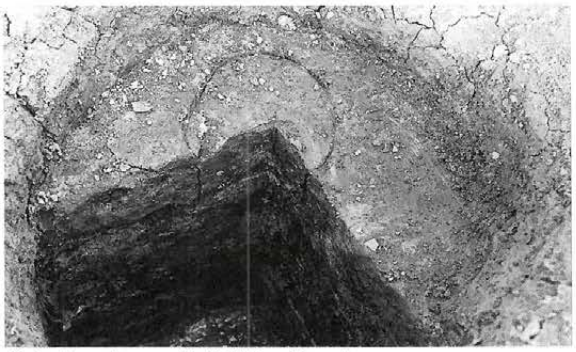


PL 5－6　SB094・P－3

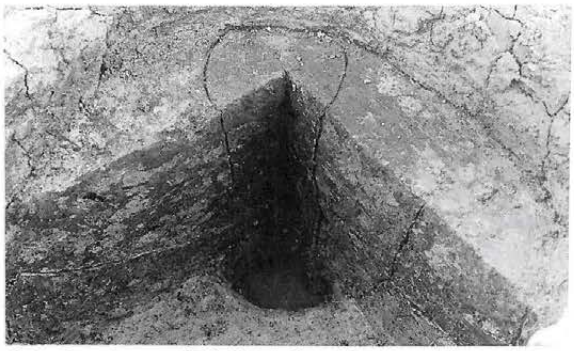
PL 5－7　SB094・P－2

PL 5－8　SB095・P－4

ＰＬ６－１　　ＳＢ095・Ｐ－５

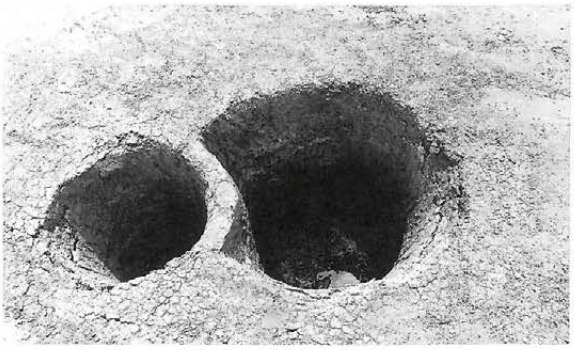


ＰＬ６－２　　ＳＢ095・Ｐ－１

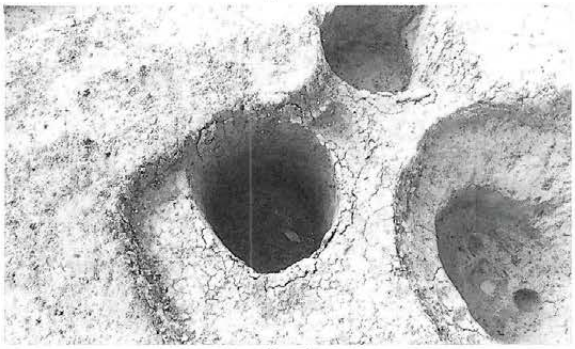


ＰＬ６－３　　ＳＢ095・Ｐ－６

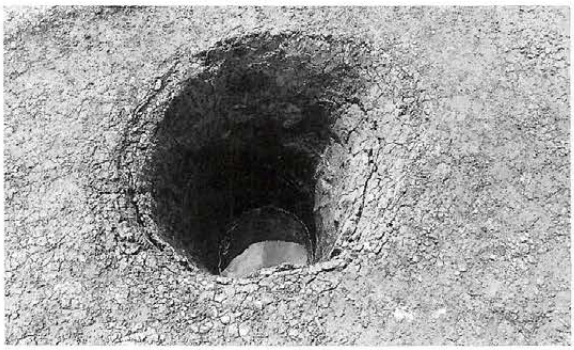
ＰＬ６－４　　ＳＥ134井戸



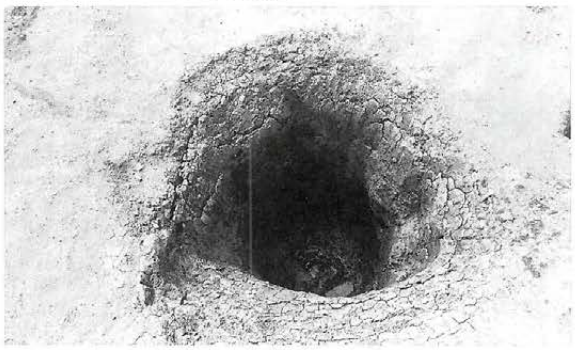
ＰＬ６－５　　ＳＥ005井戸



ＰＬ６－６　　ＳＥ009井戸

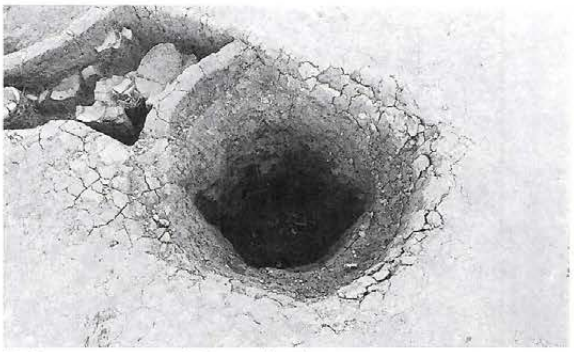


ＰＬ６－７　　ＳＥ018井戸

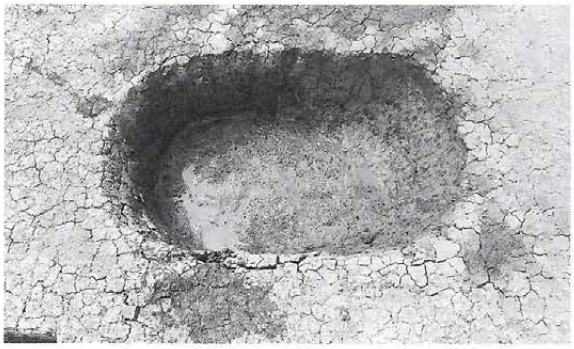


ＰＬ６－８　　ＳＥ026井戸

PL 7－1　SE048井戸



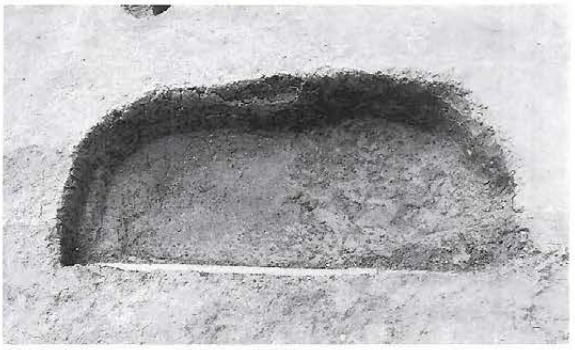
PL 7－2　SE082井戸



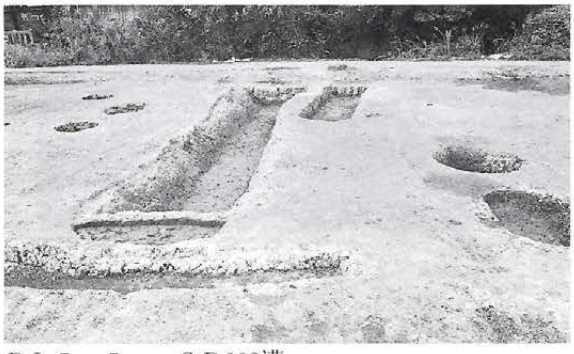
PL 7－3　SK019土壙

PL 7－4　SK040・041土壙

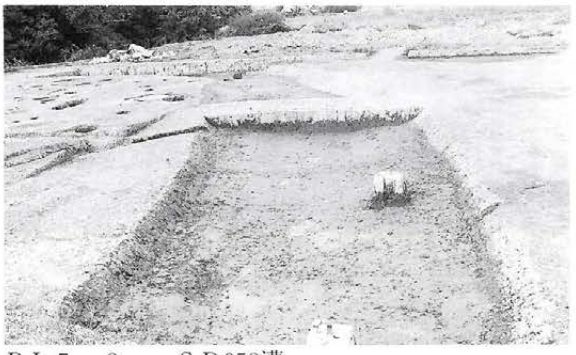
PL 7－5　SK070土壙



PL 7－6　SK73土壙

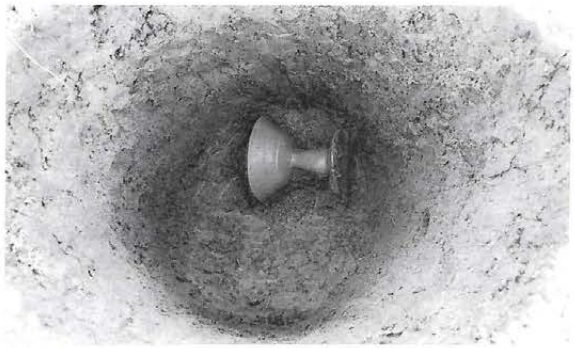


PL 7－7　SD002溝

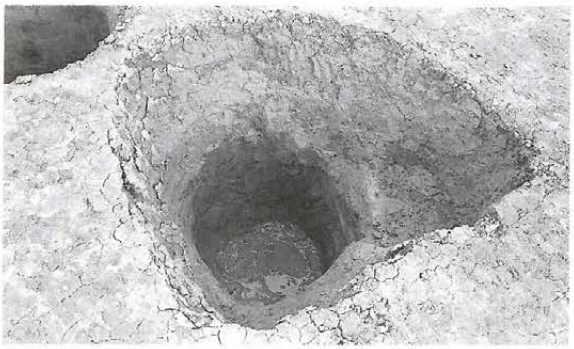


PL 7－8　SD058溝

ＰＬ12－１　　寺裏遺跡全景（東から）



PL 9－1　　SK018土壙

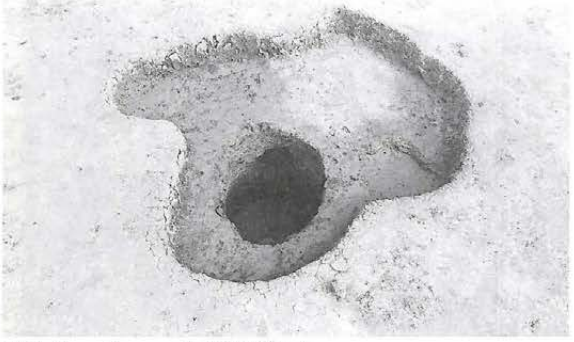


PL 9－2　　SE025井戸

PL 9－3　　SE040井戸

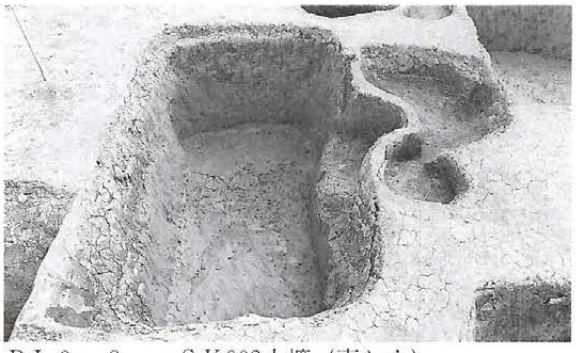
PL 9－4　　SE047井戸

PL 9－5　　SE049井戸

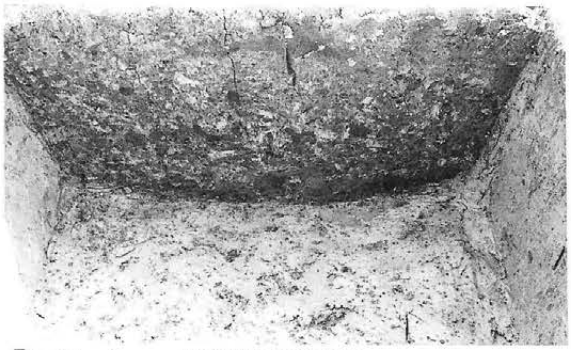


PL 9－6　　SE072井戸

PL 9－7　　SK001土壙



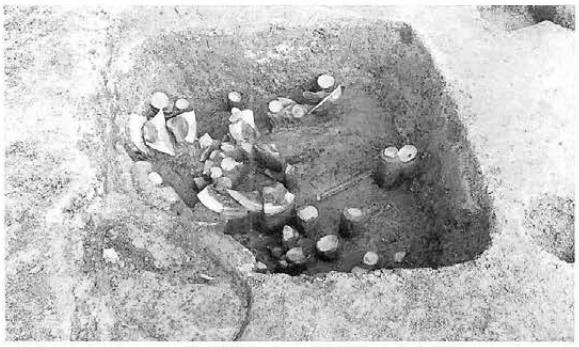
PL 9－8　　SK002土壙（東から）



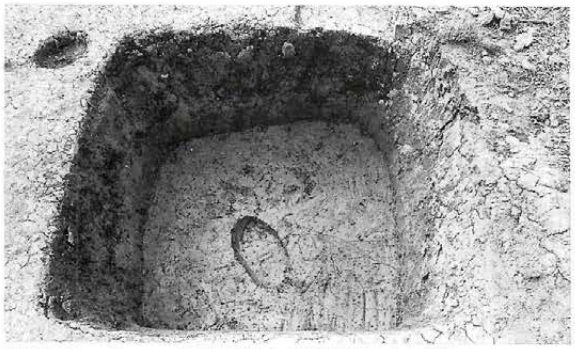
ＰＬ10－１　　ＳＫ002土壙土層

ＰＬ10－２　　ＳＫ002土壙（北から）

ＰＬ10－３　　ＳＫ007土壙



ＰＬ10－４　　ＳＫ007土壙遺物出土状況

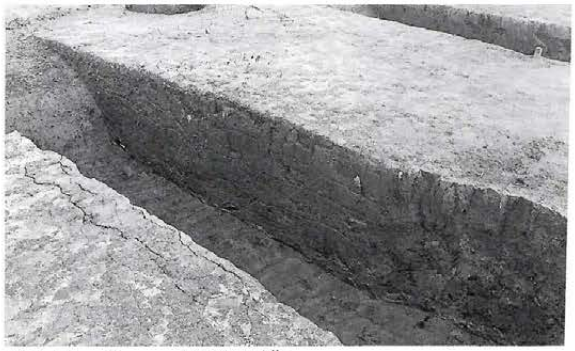


ＰＬ10－５　　ＳＫ007土壙遺物収上げ後

ＰＬ10－６　　ＳＫ041・40土壙

ＰＬ10－７　　ＳＫ042土壙・ＳＸ043

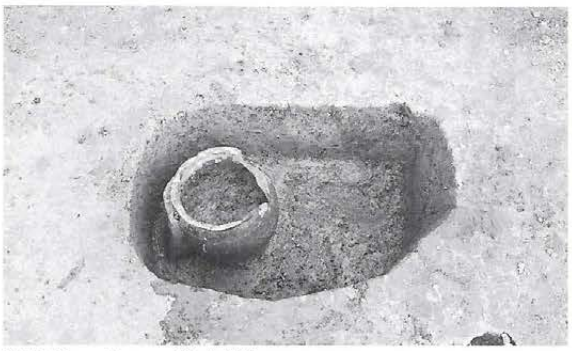
ＰＬ10－８　　ＳＤ013溝



PL11－1　SD048溝

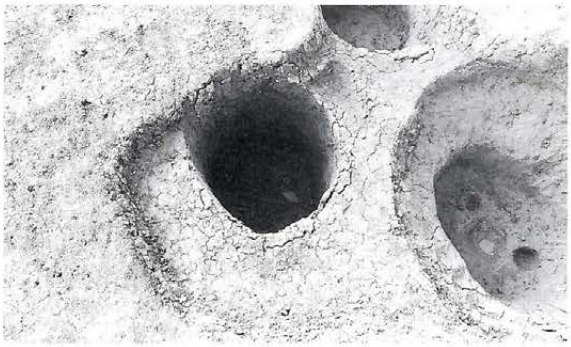
PL11－2　SJ068・SP070・SK057

PL11－3　SP062周辺

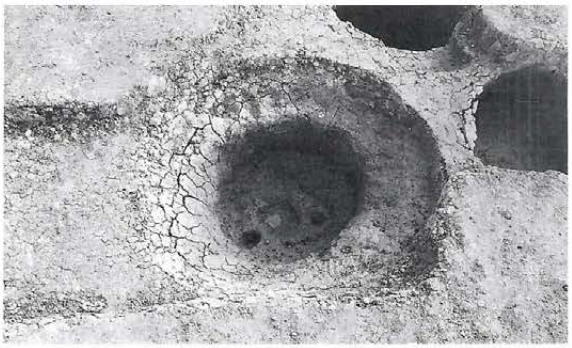


PL11－4　SJ059

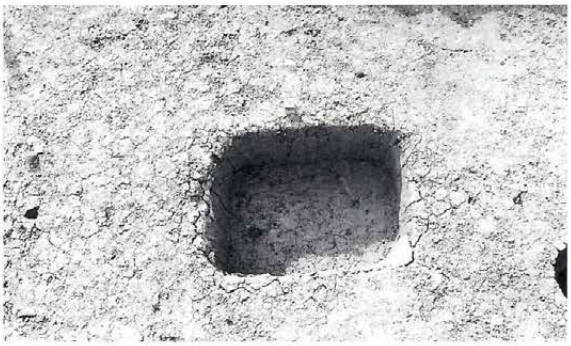
ＰＬ12－１　　梅屋敷遺跡全景（北から）



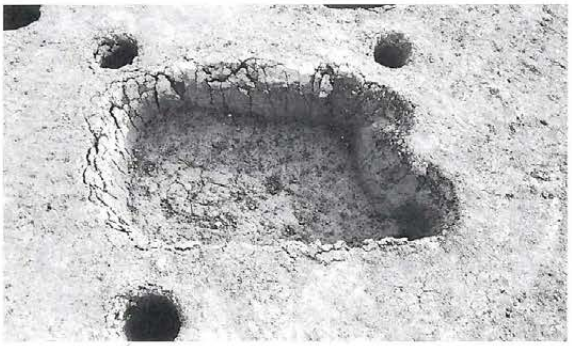
ＰＬ13－１　　ＳＥ009井戸



ＰＬ13－２　　ＳＥ014井戸

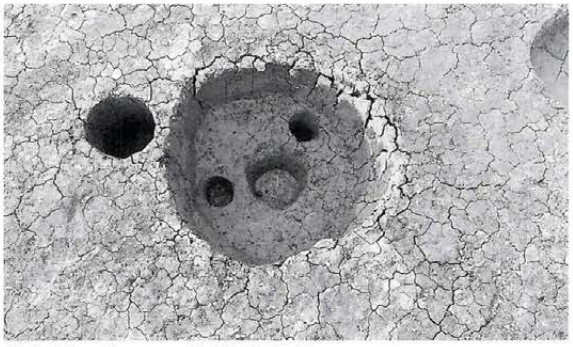


ＰＬ13－３　　ＳＫ003土壙

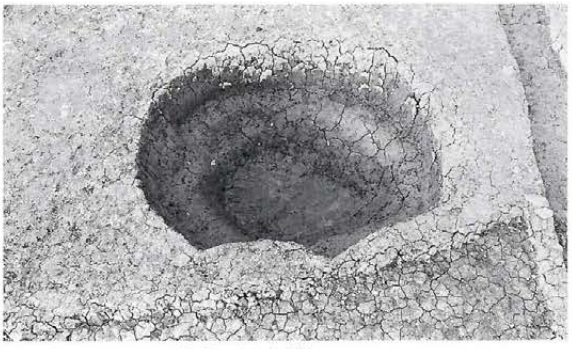


ＰＬ13－４　　ＳＫ007土壙

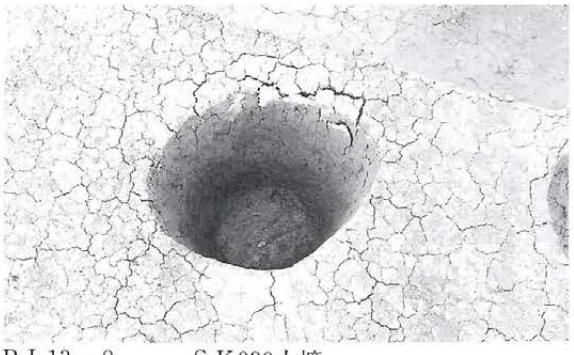
ＰＬ13－５　　ＳＫ025土壙



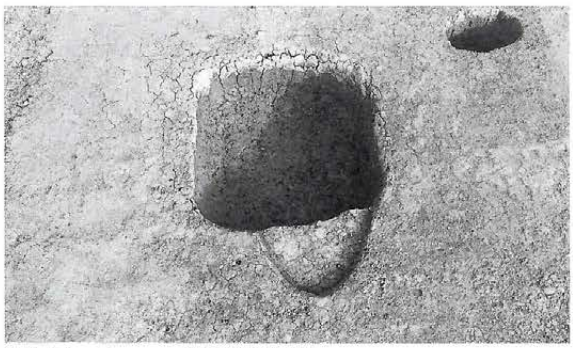
ＰＬ13－６　　ＳＫ026土壙



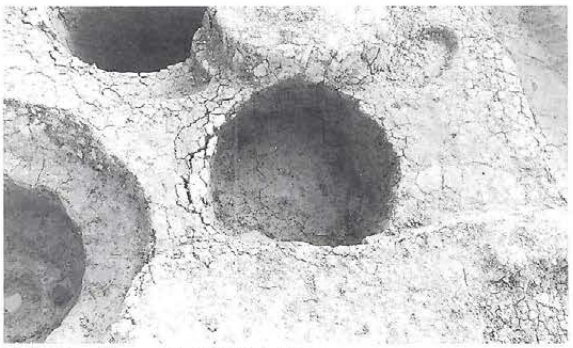
ＰＬ13－７　　ＳＫ029土壙



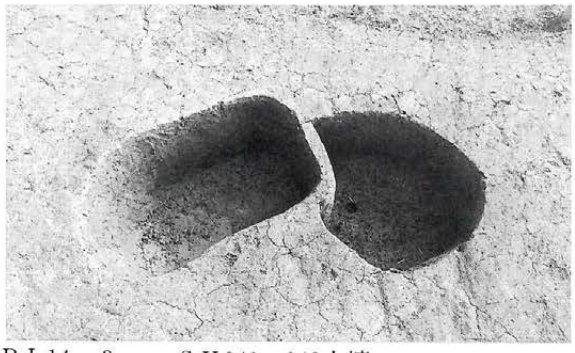
ＰＬ13－８　　ＳＫ030土壙



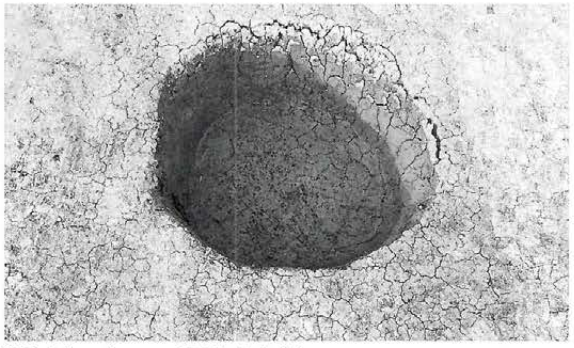
PL14－1　SK032土壙



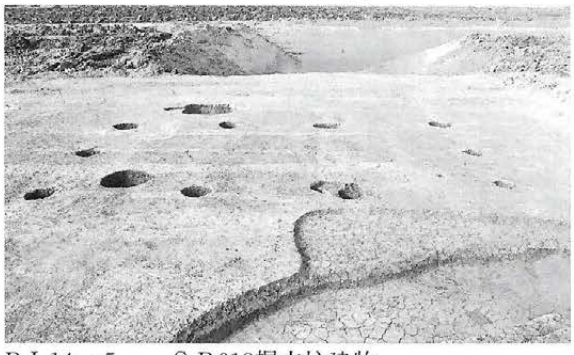
PL14－2　SK037土壙



PL14－3　SK041・042土壙



PL14－4　SK045土壙



PL14－5　SB018掘立柱建物

PL14－6　SD015・016溝

PL14－7　SD020・023溝

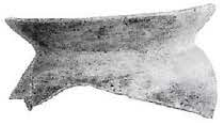
PL14－8　SD024・020・023溝

1

2

3

4



5

6

7

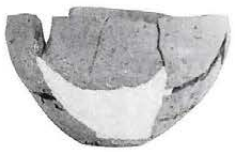
8

1. S E016 (4－4)
2. S E079 (10－26)
3. S E079 (10－28)
4. S K021 (20－51)
5. S K012 (18－44)
6. S K012 (18－46)
7. S K059 (27－76)
8. S K059 (26－73)

# 阿高遺跡出土遺物

9

10



11

12

13

14

15

16

17

9．SK106（48－138）
10．SK106（48－139）
11．SX081（55－160 ）
12．SX081（55－166）
13．SK034（96－257）
14．SK040（98－259）
15．SE070（目録番号－285）
16．SE070（目録番号－283）
17．SE070（目録番号－282）

18

19

18. SD002 (10P－275)
19. SD002 (10P－276)
20. SD002 (10P－285)

20

寺裏遺跡出土遺物

21

22

23

24

25

26

27

21. SK018 (13－1)
22. SE016 (目録75)
23. SE010 (目録66)
24. SE010 (目録67)
25. SK006 (140－46)
26. SK007 (142－63)
27. SK007 (142－65)

# 寺裏遺跡出土遺物

28

29

30

31

32

33

34

28. ＳＫ007 (142－66)
29. ＳＫ007 (142－74)
30. ＳＫ007 (143－82)
31. ＳＫ007 (143－83)
32. ＳＪ059 (152－102)
33. ＳＪ068 (154－105)
34. 表土下層 (目録番号87)

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

35. S K006 (166－18)　36. S K006 (166－19)
37. S E014 (160－ 3 )　38. S E014 (160－ 6 )
39. S E014 (160－ 7 )　40. S E014 (160－10)
41. S E014 (160－12)　42. S D013 (186－20)
43. S D020 (183－39)　44. S D013 (186－54)
45. S X036 (187－64)　46. S X036 (187－62)

# 梅屋敷遺跡出土遺物

47

47・SX036 (187－72

48

48・SX036 (188－74)

# 阿高遺跡(C地区)収蔵品目録

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存(%) | 法　量 (cm, g) | 構造名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A·B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ADK-C-001 | 小皿 | 土師器 | 鎌倉-室町 | 完形 | 口径 8.6　底径 6.7　器高 1.4 | SD001 | 1990.08 | 1-4 | 109-207 | 1 | A |
| ADK-C-002 | 鉢 | 須恵器 | 鎌倉-室町 | 不明 | 口径 28.8推　底径 -　器高 5.2残 | SD001 | 1990.08 | 1-1 | 109-287 | 1 | A |
| ADK-C-003 | 鉢 | 須恵器 | 鎌倉-室町 | 不明 | 口径 29.6推　底径 -　器高 6.4残 | SD001 | 1990.08 | 2-2 | 109-288 | 1 | A |
| ADK-C-004 | 土鍋 | 土師質土 | 鎌倉-室町 | 不明 | 口径 35.4推　底径 -　器高 14.2残 | SD001 | 1990.08 | 2-3 | 109-289 | 1 | A |
| ADK-C-005 | 小皿 | 土師器 | 鎌倉-室町 | 70形 | 口径 9.2　底径 7.1　器高 1.5 | SD002 | 1990.08 | 3-5 | 109-275 | 1 | A |
| ADK-C-006 | 小皿 | 土師器 | 鎌倉-室町 | 完形 | 口径 9.1　底径 6.0　器高 1.8 | SD002 | 1990.08 | 3-7 | 109-274 | 1 | A |
| ADK-C-007 | 小皿 | 土師器 | 鎌倉-室町 | 80 | 口径 9.0　底径 6.7　器高 1.1 | SD002 | 1990.09 | 3-12 | 109-273 | 1 | A |
| ADK-C-008 | 小皿 | 土師器 | 鎌倉-室町 | 70 | 口径 8.7　底径 7.1　器高 1.45 | SD002 | 1990.09 | 4-8 | 109-271 | 1 | A |
| ADK-C-009 | 小皿 | 土師器 | 鎌倉-室町 | 80 | 口径 8.9　底径 7.55　器高 1.4 | SD002 | 1990.08 | 4-13 | 109-272 | 1 | A |
| ADK-C-010 | 小皿 | 土師器 | 鎌倉-室町 | 60 | 口径 8.6推　底径 6.4　器高 1.45 | SD002 | 1990.08 | 5-18 | 109-276 | 1 | A |
| ADK-C-011 | 坏 | 土師器 | 鎌倉-室町 | 40 | 口径 14.5　底径 10.5　器高 2.7 | SD002 | 1990.08 | 5-19 | 109-281 | 1 | A |
| ADK-C-012 | 坏 | 土師器 | 鎌倉-室町 | 完形 | 口径 13.2　底径 9.45　器高 3.45 | SD002 | 1990.08 | 4-6 | 109-277 | 1 | A |
| ADK-C-013 | 坏 | 土師器 | 鎌倉-室町 | 完形 | 口径 12.8　底径 8.1　器高 3.2 | SD002 | 1990.09 | 4-15 | 109-278 | 1 | A |
| ADK-C-014 | 坏 | 土師器 | 鎌倉-室町 | 50 | 口径 13.0推　底径 9.6　器高 2.9 | SD002 | 1990.09 | 3-14 | 109-279 | 1 | A |
| ADK-C-015 | 坏 | 土師器 | 鎌倉-室町 | 完形 | 口径 14.0　底径 9.6　器高 3.3 | SD002 | 1990.09 | 3-16 | 109-280 | 1 | A |
| ADK-C-016 | 椀 | 土師器 | 鎌倉-室町 | 40 | 口径 16.2推　底径 7.3推　器高 5.0 | SD002 | 1990.08 | 3-9 | 109-283 | 1 | A |
| ADK-C-017 | 碗 | 白磁 | 鎌倉-室町 | 不明 | 口径 15.9推　底径 -　器高 5.5 | SD002 | 1990.08 | 3-11 | 109-286 | 1 | A |
| ADK-C-018 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉-室町 | 不明 | 口径 -　6.05　器高 - | SD002 | 1990.08 | 5-21 | 109-282 | 1 | A |
| ADK-C-019 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉-室町 | 不明 | 口径 -　7.6推　器高 3.5残 | SD002 | 1990.08 | 5-20 | 109-284 | 1 | A |
| ADK-C-020 | 碗 | 青器 | 鎌倉-室町 | 50 | 口径 15.9推　4.4　器高 6.2 | SD002 | 1990.08 | 5-22 | 109-285 | 1 | A |
| ADK-C-021 | 甕 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径 -　底径 -　器高 6.2残 | SD002 | 1990.08 | 4-10 |  | 1 | B |
| ADK-C-022 | 鉢 | 土師質土 | 鎌倉-室町 | 不明 | 口径 -　底径 -　器高 6.1残 | SD002 | 1990.09 | 3-17 |  | 1 | B |
| ADK-C-023 | 坏 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 16.8推　底径 -　器高 3.3残 | SD003 | 1990.08 | 6-24 | 62-185 | 1 | A |
| ADK-C-024 | 坏身 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径 16.4推　底径 -　器高 3.05残 | SD003 | 1990.09 | 6-23 | 62-183 | 1 | A |
| ADK-C-025 | 甕 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径 16.3推　底径 -　器高 5.7残 | SD003 | 1990.08 | 6-25 | 62-184 | 1 | A |
| ADK-C-026 | 小皿 | 土師器 | 鎌倉 | 20 | 口径 8.9推　底径 7.5推　器高 1.4残 | SE005 | 1990.08 | 7-26 | 68-205 | 1 | A |
| ADK-C-027 | 小皿 | 土師器 | 鎌倉 | 60 | 口径 8.15　底径 6.9推　器高 1.7 | SE005 | 1990.08 | 7-27 | 68-206 | 1 | A |
| ADK-C-028 | 坏 | 土師器 | 鎌倉 | 20 | 口径 14.2推　底径 9.6　器高 3.3 | SE005 | 1990.08 | 7-28 | 68-207 | 1 | A |
| ADK-C-029 | 坏 | 土師器 | 鎌倉 | 40 | 口径 13.2推　底径 9.5推　器高 3.4 | SE005 | 1990.08 | 7-29 | 68-208 | 1 | A |
| ADK-C-030 | 坏 | 土師器器 | 鎌倉 | 20 | 口径 13.7推　底径 11.2　器高 2.9 | SE005 | 1990.08 | 7-30 | 68-209 | 1 | A |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　　量（cm，g） | 構造名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | ｺﾝﾃﾅ | A･B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ADK-C-031 | 坏 | 土師器 | 鎌倉 | 20 | 口径 15.4推 底径 11.6推 器高 3.0 | SE005 | 1990.08 | 7-31 | 68-210 | 1 | A |
| ADK-C-032 | 碗 | 土師器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 － 高台径 5.2 器高 5.2残 | SE005 | 1990.08 | 7-32 | 68-211 | 1 | A |
| ADK-C-033 | 碗 | 青磁 | 鎌倉 | 不明 | 長さ 16.6推 底径 － 器高 5.5残 | SE005 | 1990.08 | 7-33 | 68-212 | 1 | A |
| ADK-C-034 | 土製鏡 | 青磁 | 古墳 | 50 | 口径 3.2 幅 3.0 器高 0.4 | SE006 | 1990.08 | 8-34 | | 1 | B |
| ADK-C-035 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 － 高台径 6.85 器高 1.5残 | SE007 | 1990.08 | 9-35 | 70-213 | 1 | A |
| ADK-C-036 | 坩 | 土師器 | 古墳 | 90 | 口径 4.9 底径 － 器高 6.1 | SE008 | 1990.08 | 10-3 | | 1 | A |
| ADK-C-037 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 12.2推 底径 － 器高 10.0残 | SE008 | 1990.08 | 10-3 | | 1 | B |
| ADK-C-038 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 17.2推 底径 － 器高 13.4残 | SE008 | 1990.08 | 10-3 | | 1 | B |
| ADK-C-039 | 手捏土器 | 土製品 | 古墳 | 不明 | 口径 － 底径 － 器高 2.1残 | SE008 | 1990.08 | 11-5 | | 1 | B |
| ADK-C-040 | 手捏土器 | 土製品 | 古墳 | 50 | 口径 3.1 底径 － 器高 2.15 | SE008 | 1990.08 | 11-5 | | 1 | B |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　　量（cm，g） | 構造名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | ｺﾝﾃﾅ | A･B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ADK-C-041 | 手捏 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 4.1推 底径 － 器高 2.45 | SK008 | 1990.08 | 11-54 | | 1 | B |
| ADK-C-042 | 支脚 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 口径 4.1推 幅 1.6 厚さ 1.5 | SK008 | 1990.08 | 11-40 | | 1 | B |
| ADK-C-043 | 支脚 | 土製品 | 古墳 | 不明 | 口径 3.65推 幅 1.6 厚さ 1.4 | SK008 | 1990.08 | 11-41 | | 1 | B |
| ADK-C-044 | 土玉 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 1.75 幅 2.2 器高 | SK008 | 1990.08 | 11-44 | | 1 | B |
| ADK-C-045 | 土玉 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 1.3 幅 1.65 器高 | SK008 | 1990.08 | 11-45 | | 1 | B |
| ADK-C-046 | 土玉 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 1.75 幅 1.75 器高 | SK008 | 1990.08 | 11-46 | | 1 | B |
| ADK-C-047 | 土玉 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 2.0 幅 1.9 器高 | SK008 | 1990.08 | 11-47 | | 1 | B |
| ADK-C-048 | 土玉 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 1.8 幅 2.5 器高 | SK008 | 1990.08 | 11-48 | | 1 | B |
| ADK-C-049 | 土玉 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 1.9 幅 1.8 器高 | SK008 | 1990.08 | 11-49 | | 1 | B |
| ADK-C-050 | 土玉 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 1.9 幅 1.7 器高 | SK008 | 1990.08 | 11-50 | | 1 | B |
| ADK-C-051 | 土玉 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 1.9 幅 1.85 器高 | SK008 | 1990.08 | 11-51 | | 1 | B |
| ADK-C-052 | 勾玉 | 土製品 | 古墳 | 90 | 長さ 3.95推 幅 2.1 器高 | SK008 | 1990.08 | 11-39 | | 1 | B |
| ADK-C-053 | 勾玉 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 6.45 幅 2.5 器高 | SK008 | 1990.08 | 11-42 | | 1 | B |
| ADK-C-054 | 土製鏡 | 土製品 | 古墳 | 50 | 長さ 4.8 幅 3.15推 厚さ 2.3 | SK008 | 1990.08 | 11-43 | | 1 | B |
| ADK-C-055 | 小皿 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 口径 8.8 底径 6.9 器高 1.8 | SE009 | 1990.08 | 12-55 | 72-217 | 1 | A |
| ADK-C-056 | 小皿 | 土製品 | 古墳 | 30 | 口径 8.2推 底径 6.2 器高 1.2 | SE009 | 1990.08 | 12-56 | 72-215 | 1 | A |
| ADK-C-057 | 小皿 | 土製品 | 古墳 | 40 | 口径 8.2推 底径 6.6 器高 1.2 | SE009 | 1990.08 | 12-57 | 72-214 | 1 | A |
| ADK-C-058 | 小皿 | 土製品 | 古墳 | 40 | 口径 8.4推 底径 5.8 器高 1.9 | SE009 | 1990.08 | 12-59 | 72-216 | 1 | A |
| ADK-C-059 | 杯 | 土製品 | 古墳 | 40 | 口径 14.3推 底径 10.0 器高 2.75 | SE009 | 1990.08 | 12-58 | 72-218 | 1 | A |
| ADK-C-060 | 皿 | 磁器 | 古墳 | 不明 | 口径 － 底径 4.6 器高 － | SE009 | 1990.08 | 12-60 | 72-219 | 1 | A |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　　量（cm，g） | 構造名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | ｺﾝﾃﾅ | A･B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ADK-C-061 | 土垂 | 滑石製 | 古墳 | 不明 | 長さ 3.4　幅 3.3　重さ 63 | SE009 | 1990.08 | 13-61 | 72-220 | 1 | A |
| ADK-C-062 | 小皿 | 土師器 | 古墳 | 完形 | 口径 8.6　底径 6.4　器高 1.7 | SD010 | 1990.09 | 14-62 | | 1 | A |
| ADK-C-063 | 椀 | 瓦器 | 古墳 | 不明 | 口径 16.4推　底径 －　器高 4.7 | SD010 | 1990.09 | 14-03 | | 1 | A |
| ADK-C-064 | 杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 －　底径 13.7推　器高 6.5残 | SD010 | 1990.09 | 14-64 | | 1 | A |
| ADK-C-065 | 椀 | 瓦器 | 古墳 | 60 | 口径 14.8推　底径 6.6推　器高 3.6 | SE011 | 1990.09 | 15-65 | | 1 | B |
| ADK-C-066 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 15.6推　底径 －　器高 8.4残 | SK012 | 1990.09 | 16-68 | 18-44 | 1 | A |
| ADK-C-067 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 15.5推　底径 －　器高 12.7推 | SK012 | 1990.08 | 16-67 | 18-45 | 1 | A |
| ADK-C-068 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 15.8　底径 －　器高 5.4残 | SK012 | 1990.09 | 16-69 | 18-43 | 1 | A |
| ADK-C-069 | 二重口縁壺 | 師質土器 | 古墳 | 不明 | 口径 18.8　器高 22.5残 | SK012 | 1990.09 | 17-66 | 18-46 | 1 | A |
| ADK-C-070 | 提瓶 | 黒色土器 | 古墳 | 不明 | 口径 －　丸底 －　器高 9.6残 | SE016 | 1990.08 | 18-71 | | 1 | B |
| ADK-C-071 | 杯身 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径 12.8推　底径 －　器高 3.1残 | SE016 | 1990.08 | 18-72 | 4-2 | 1 | A |
| ADK-C-072 | 杯身 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径 11.9推　底径 －　器高 2.4残 | SE016 | 1990.08 | 18-73 | 4-1 | 1 | A |
| ADK-C-073 | 長頸壺 | 土師器 | 古墳 | 90 | 口径 －　丸底 －　器高 14.2残 | SE016 | 1990.10 | 18-146 | 4-4 | 1 | A |
| ADK-C-074 | 手捏土器 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 口径 3.4　丸底 －　器高 2.0 | SE016 | 1990.08 | 18-70 | 4-3 | 1 | A |
| ADK-C-075 | 碗 | 青磁 | 古墳 | 不明 | 口径 －　高台径 5.8　器高 2.6残 | SK017 | 1990.08 | 19-74 | | 1 | B |
| ADK-C-076 | 小皿 | 土師器 | 古墳 | 50 | 口径 9.2推　底径 7.0推　器高 1.6 | SE018 | 1990.09 | 20-75 | 74-221 | 1 | A |
| ADK-C-077 | 台付皿 | 土師器 | 古墳 | 60 | 口径 10.0　底径 6.2　器高 2.45 | SE018 | 1990.09 | 20-76 | 74-222 | 1 | A |
| ADK-C-078 | 杯 | 土師器 | 古墳 | 90 | 口径 13.4　底径 8.65　器高 3.5 | SK019 | 1990.09 | 21-77 | 92-253 | 2 | A |
| ADK-C-079 | 杯 | 土師器 | 古墳 | 20 | 口径 13.6推　底径 9.4推　器高 3.2 | SK019 | 1990.09 | 21-78 | 92-251 | 2 | A |
| ADK-C-080 | 杯 | 土師器 | 古墳 | 40 | 口径 13.6推　底径 10.0推　器高 3.4 | SK019 | 1990.09 | 21-79 | 92-252 | 2 | A |
| ADK-C-081 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 －　7.0　器高 1.7残 | SK019 | 1990.09 | 21-80 | 92-254 | 2 | A |
| ADK-C-082 | 甕 | 須恵器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 －　底径 －　器高 4.1残 | SK019 | 1990.09 | 22-81 | | 2 | B |
| ADK-C-083 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 40 | 口径 8.8推　底径 6.8推　器高 1.2 | SK020 | 1990.09 | 23-82 | 94-255 | 2 | A |
| ADK-C-084 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 －　6.2　器高 3.3残 | SK020 | 1990.09 | 23-83 | 94-256 | 2 | A |
| ADK-C-085 | 杯 | 土師器 | 古墳 | 10 | 口径 11.9推　－　器高 3.2残 | SK021 | 1990.10 | 24-84 | 20-47 | 2 | A |
| ADK-C-086 | 杯 | 須恵器 | 古墳 | 60 | 口径 13.0推　底径 －　器高 4.2 | SK021 | 1990.10 | 24-85 | 20-48 | 2 | A |
| ADK-C-087 | 甕 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径 23.1推　底径 －　器高 4.5残 | SK021 | 1990.10 | 24-86 | 20-49 | 2 | A |
| ADK-C-088 | 甕 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径 22.8推　底径 －　器高 5.5残 | SK021 | 1990.10 | 24-87 | 20-50 | 2 | A |
| ADK-C-089 | 提瓶 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径 －　底径 －　器高 15.0 | SK021 | 1990.10 | 25-88 | 20-51 | 2 | A |
| ADK-C-090 | 小型丸底壺 | 土師器 | 古墳 | 25 | 口径 10.3推　底径 －　器高 6.0残 | SD022 | 1990.09 | 26-89 | 62-186 | 2 | A |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　　量（cm，g） | 遺構名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A-B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ADK-C-091 | 台付杯 | 土師器 | 古墳 | 40 | 口径 10.3推　8.8　器高 7.7 | SD022 | 1990.09 | 26-90 | 62-187 | 2 | A |
| ADK-C-092 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 13.8推 底径 －　器高 6.5残 | SK023 | 1990.08 | 27-93 | 22-52 | 2 | A |
| ADK-C-093 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 15.0推 底径 －　器高 11.9残 | SK023 | 1990.08 | 27-92 | 22-53 | 2 | A |
| ADK-C-094 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 17.6推 底径 －　器高 3.1 | SK023 | 1990.08 | 27-91 | 22-54 | 2 | A |
| ADK-C-095 | 高坏 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 －　－　器高 8.8 | SK023 | 1990.09 | 27-94 | 22-55 | 2 | A |
| ADK-C-096 | 土製鏡 | 土製品 | 古墳 | 80 | 長さ 3.8　幅 3.7推　厚さ 1.25 | SK023 | 1990.09 | 27-95 | 22-55 | 2 | A |
| ADK-C-097 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 20 | 口径 8.4推 底径 5.8推 器高 1.5 | SE024 | 1990.09 | 28-96 | 76-223 | 2 | A |
| ADK-C-098 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 10 | 口径 10.8推 底径 8.4推 器高 1.2 | SE024 | 1990.09 | 28-97 | 76-224 | 2 | A |
| ADK-C-099 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 60 | 口径 15.9 底径 10.9 器高 2.95 | SE024 | 1990.09 | 28-98 | 76-226 | 2 | A |
| ADK-C-100 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 50 | 口径 15.6 底径 11.3 器高 3.15 | SE024 | 1990.09 | 28-99 | 76-225 | 1 | A |
| ADK-C-101 | 小皿 | 土師器 |  | 25 | 口径 8.9推 底径 7.5推 器高 1.1 | SE026 | 1990.08 | 29-100 | 78-227 | 2 | A |
| ADK-C-102 | 小皿 | 土師器 |  | 25 | 口径 8.8推 底径 7.1推 器高 1.5 | SE026 | 1990.08 | 29-101 | 78-228 | 2 | A |
| ADK-C-103 | 杯 | 土師器 |  | 20 | 口径 14推 底径 10推 器高 2.5 | SE026 | 1990.08 | 29-102 | 78-229 | 2 | A |
| ADK-C-104 | 椀 | 瓦器 |  | 20 | 口径 －　高台径 7.2推 器高 2.5残 | SE026 | 1990.08 | 29-103 | 78-230 | 2 | A |
| ADK-C-105 | 碗 | 青磁 |  | 40 | 口径 15.6推 高台径 6.8 器高 7.3 | SE026 | 1990.08 | 29-104 | 78-231 | 2 | A |
| ADK-C-106 | 皿 | 土師器 |  | 不明 | 口径 －　底径 －　器高 1.05残 | SE027 | 1990.08 | 30-105 |  | 2 | A |
| ADK-C-107 | 杯 | 土師器 |  | 70 | 口径 15　底径 9.7　器高 3.65 | SE027 | 1990.08 | 30-106 | 80-232 | 2 | A |
| ADK-C-108 | 小皿 | 土師器 |  | 95 | 口径 9.4　底径 7.8　器高 1.35 | SE029 | 1990.09 | 31-107 | 82-233 | 2 | A |
| ADK-C-109 | 杯 | 土師器 |  | 20 | 口径 14.7推 底径 10.2推 器高 2.8 | SE029 | 1990.09 | 31-108 | 82-234 | 2 | A |
| ADK-C-110 | 杯 | 土師器 |  | 20 | 口径 15.7推 底径 11.8推 器高 3.2 | SE029 | 1990.08 | 31-109 | 82-236 | 2 | A |
| ADK-C-111 | 杯 | 土師器 |  | 60 | 口径 14.8　底径 9.1　器高 3.2 | SE029 | 1990.09 | 31-110 | 82-235 | 2 | A |
| ADK-C-112 | 椀 | 土師器 |  | 20 | 口径 15.4推 高台径 7.0 器高 5.5 | SE029 | 1990.08 | 31-111 | 82-238 | 2 | A |
| ADK-C-113 | 椀 | 土師器 |  | 不明 | 口径 16.8推 底径 －　器高 4.9残 | SE029 | 1990.09 | 32-112 | 82-237 | 2 | A |
| ADK-C-114 | 杯蓋 | 土師器 |  | 25 | 口径 14.0推 底径 －　器高 4.5残 | SE030 | 1990.09 | 33-113 | 6-8 | 2 | A |
| ADK-C-115 | 杯蓋 | 土師器 |  | 30 | 口径 14.1推 底径 －　器高 4.6残 | SE030 | 1990.09 | 33-114 | 6-7 | 2 | A |
| ADK-C-116 | 杯身 | 土師器 |  | 20 | 口径 14.5推 底径 －　器高 4.6残 | SE030 | 1990.09 | 33-115 | 6-6 | 2 | A |
| ADK-C-117 | 杯身 | 土師器 |  | 30 | 口径 11.1推 底径 7.8推 器高 3.6 | SE030 | 1990.09 | 33-116 | 6-5 | 2 | A |
| ADK-C-118 | 甕 | 土師器 |  | 不明 | 口径 12.8推 底径 －　器高 10.7残 | SE030 | 1990.10 | 34-117 | 6-10 | 2 | A |
| ADK-C-119 | 甕 | 土師器 |  | 不明 | 口径 17.6推 底径 －　器高 3.1残 | SE030 | 1990.10 | 34-119 |  | 2 | A |
| ADK-C-120 | 甕 | 悪質土器 |  | 不明 | 口径 19.0推 底径 －　器高 6.7残 | SE030 | 1990.08 | 34-118 | 6-9 | 2 | A |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　　量 (cm, g) | 遺構名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A·B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ADK-C-121 | 手捏 | 土師器 | 古墳 | 完形 | 口径 4.6　底径 2.8　器高 4.1 | SE030 | 1990.08 | 35-127 | 6-12 | 2 | A |
| ADK-C-122 | 手捏 | 土師器 | 古墳 | 完形 | 口径 4.6　底径 －　器高 4.2 | SE030 | 1990.08 | 35-182 | 6-11 | 2 | A |
| ADK-C-123 | 土玉 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 1.65　幅 1.4　器高 | SE030 | 1990.08 | 35-120 | 6-13 | 2 | A |
| ADK-C-124 | 土玉 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 1.45　幅 1.5　器高 | SE030 | 1990.08 | 35-121 | 6-14 | 2 | A |
| ADK-C-125 | 土玉 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 2.5　幅 2.6　器高 | SE030 | 1990.08 | 35-122 | 6-15 | 2 | A |
| ADK-C-126 | 勾玉 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 2.7　幅 1.25　厚さ 0.9 | SE030 | 1990.08 | 35-123 |  | 2 | A |
| ADK-C-127 | 勾玉 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 2.45　幅 0.8　厚さ 0.7 | SE030 | 1990.08 | 35-124 | 6-18 | 2 | A |
| ADK-C-128 | 子持勾玉 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 4.9　幅 1.5　厚さ 1.3 | SE030 | 1990.08 | 35-125 | 6-16 | 2 | A |
| ADK-C-129 | 子持勾玉 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 5.4　幅 2.45　厚さ 1.5 | SE030 | 1990.08 | 35-126 | 6-17 | 2 | A |
| ADK-C-130 | 土製鏡 | 土製品 | 古墳 | 1/2完形 | 長さ 3.1　幅 3.3　厚さ 1.3 | SE030 | 1990.08 | 35-129 | 6-21 | 2 | A |
| ADK-C-131 | 土製盤 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 4.4　幅 4.5　厚さ 1.35 | SE030 | 1990.08 | 35-131 | 6-20 | 2 | A |
| ADK-C-132 | 土製盤 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 5.05　幅 5.35　厚さ 1.2 | SE030 | 1990.08 | 35-130 | 6-19 | 2 | A |
| ADK-C-133 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | ９５ | 口径 16.4　高台径 6.8　器高 5.3 | SK034 | 1990.09 | 36-132 | 96-257 | 2 | A |
| ADK-C-134 | 杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径12.4推　底径 －　器高 3.85残 | SK038 | 1990.09 | 37-133 |  | 2 | B |
| ADK-C-135 | 手捏 | 土師器 | 古墳 | 1/2完形 | 口径 2.9　底径 －　器高 5.0 | SK038 | 1990.09 | 37-134 |  | 2 | B |
| ADK-C-136 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | 不明 | 口径15.5推　高台径 6.6　器高 5.45残 | SE039 | 1990.09 | 38-135 |  | 2 | B |
| ADK-C-137 | 碗 | 磁器 | 鎌倉 | ４０ | 口径15.6推　高台径 6.6　器高 7.2 | SK040 | 1990.09 | 39-136 | 98-125 | 2 | A |
| ADK-C-138 | 碗 | 磁器 | 鎌倉 | 不明 | 口径14.7推　高台径　器高 4.8残 | SK040 | 1990.09 | 39-137 | 98-257 | 2 | A |
| ADK-C-139 | 碗 | 磁器 | 鎌倉 | 不明 | 口径17.2推　高台径　器高 2.25残 | SK041 | 1990.09 | 40-138 |  | 2 | B |
| ADK-C-140 | 石鍋 | 滑石製品 | 鎌倉 | 不明 | 長さ 12.5　幅 6.1　厚さ 2.25 | SK041 | 1990.09 | 40-139 |  | 2 | B |
| ADK-C-141 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 1/2完形 | 口径 9.3　底径 7.6　器高 1.5 | SK042 | 1990.09 | 41-140 | 100-260 | 2 | A |
| ADK-C-142 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | ２０ | 口径12.7推　底径　器高 3.4 | SK044 | 1990.09 | 42-141 |  | 2 | B |
| ADK-C-143 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | ２０ | 口径 8.6推　底径 6.9推　器高 1.95 | SK045 | 1990.08 | 43-142 | 102-261 | 2 | A |
| ADK-C-144 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 －　高台径6.2推　器高 4.3残 | SK045 | 1990.08 | 43-143 | 102-262 | 2 | A |
| ADK-C-145 | 碗 | 磁器 | 鎌倉 | ４０ | 口径 －　高台径5.8推　器高 3.0残 | SK045 | 1990.09 | 43-144 | 102-263 | 2 | A |
| ADK-C-146 | 四耳壺 | 陶器 | 鎌倉 | 不明 | 口径10.0推　底径　器高 11.0残 | SK045 | 1990.08 | 43-145 | 102-264 | 2 | A |
| ADK-C-147 | 皿 | 磁器 | 鎌倉 | ５０ | 口径 9.5　底径 4.4　器高 2.15 | SE048 | 1990.09 | 44-151 | 84-240 | 2 | A |
| ADK-C-148 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 －　底径10.4推　器高 1.05残 | SE048 | 1990.09 | 44-149 |  | 2 | B |
| ADK-C-149 | 椀 | 器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 －　底径 5.7推　器高 3.15残 | SE048 | 1990.09 | 44-150 | 84-241 | 2 | A |
| ADK-C-150 | 碗 | 磁器 | 鎌倉 | 不明 | 口径17.8推　底径 －　器高 5.2残 | SE048 | 1990.09 | 44-152 | 84-242 | 1 | A |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　　量（cm, g） | 遺構名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A・B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ADK-C-151 | 坩 | 土師器 | | 40 | 口径11.7推 丸底 － 器高 10.7 | SE048 | 1990.08 | 44-147 | | 2 | B |
| ADK-C-152 | 土錘 | 土製品 | | 完形 | 長さ 5.1 幅 1.2 器高 1.15 | SE048 | 1990.09 | 44-148 | 84-239 | 2 | A |
| ADK-C-153 | 鉢 | 土師器 | | 25 | 口径12.1推 丸底 － 器高 5.4 | SK050 | 1990.10 | 45-153 | | 2 | B |
| ADK-C-154 | 壺 | 土師器 | | 50 | 口径13.6推 丸底 － 器高 17.5 | SK050 | 1990.09 | 45-154 | | 2 | B |
| ADK-C-155 | 二重口縁壺 | 土師器 | 古墳 | 80 | 口径29.3推 丸底 － 器高 39.0 | SK050 | 1990.09 | 46-155 | | 3 | B |
| ADK-C-156 | 椀 | 瓦器 | | 25 | 口径16.1推 高台径6.4推 器高 16.1 | SK051 | 1990.09 | 47-156 | | 2 | B |
| ADK-C-157 | 杯蓋 | 疑似須恵 | | 95 | 口径14.0推 底径 － 器高 4.3 | SK053 | 1990.09 | 48-162 | | 4 | B |
| ADK-C-158 | 杯身 | 疑似須恵 | | 50 | 口径12.3推 丸底 － 器高 4.8 | SK053 | 1990.09 | 48-161 | | 4 | B |
| ADK-C-159 | 杯身 | 黒色土器 | | ほぼ完形 | 口径 12.8 丸底 － 器高 4.85 | SK053 | 1990.09 | 48-160 | | 4 | B |
| ADK-C-160 | 鉢 | 土師器 | | 不明 | 口径14.0推 底径 － 器高 7.45残 | SK053 | 1990.09 | 48-159 | | 4 | B |
| ADK-C-161 | 手捏 | 土製品 | 古墳 | 90 | 口径 5.6推 器高 7.1 | SK053 | 1990.09 | 48-158 | | 4 | B |
| ADK-C-162 | 手捏 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 口径 8.3 器高 7.9 | SK053 | 1990.09 | 48-157 | | 4 | B |
| ADK-C-163 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径48.8推 器高12.6残 | SK055 | 1990.09 | 49-163 | 24-57 | 4 | A |
| ADK-C-164 | 土製鏡 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 3.6 幅 3.2 厚さ 1.7 | SK055 | 1990.08 | 49-164 | 24-58 | 4 | A |
| ADK-C-165 | 杯 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径10.0推 器高 3.4推 | SE056 | 1990.08 | 50-165 | | 4 | B |
| ADK-C-166 | 杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 15.9 底径 器高 5.2残 | SE056 | 1990.08 | 50-166 | | 4 | B |
| ADK-C-167 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径25.2推 底径 器高12.8残 | SE056 | 1990.08 | 50-167 | | 4 | B |
| ADK-C-168 | 支脚 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 4.4 幅 2.4 厚さ 1.35 | SE056 | 1990.08 | 50-168 | | 4 | B |
| ADK-C-169 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 90 | 口径 8.2 底径 6.4 器高 1.65 | SD057 | 1990.08 | 51-173 | | 4 | B |
| ADK-C-170 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 80 | 口径 13.5 底径 10.6 器高 3.05 | SD057 | 1990.08 | 51-174 | | 4 | B |
| ADK-C-171 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 30 | 口径14.1推 底径 9.0推 器高 3.3 | SD057 | 1990.08 | 52-175 | | 4 | B |
| ADK-C-172 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 50 | 口径13.6推 底径 9.0推 器高 2.9 | SD057 | 1990.08 | 52-176 | | 4 | B |
| ADK-C-173 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 完形 | 口径 13.4 底径 10.5 器高 3.25 | SD057 | 1990.08 | 52-233 | | 4 | B |
| ADK-C-174 | 碗 | 磁器 | 鎌倉 | 不明 | 口径16.0推 底径 器高 5.6残 | SD057 | 1990.08 | 51-171 | | 4 | B |
| ADK-C-175 | 碗 | 磁器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 5.8 器高 2.2残 | SD057 | 1990.08 | 51-172 | | 4 | B |
| ADK-C-176 | 甕 | 土師器 | 鎌倉 | 不明 | 口径15.8推 底径 器高 7.9残 | SD057 | 1990.08 | 51-177 | | 4 | B |
| ADK-C-177 | 石鍋 | 石製品 | 鎌倉 | 不明 | 口径 底径20.6推 器高 3.7残 | SD057 | 1990.08 | 51-169 | | 4 | B |
| ADK-C-178 | 土錘 | 土製品 | 鎌倉 | 完形 | 長さ 8.2 幅 1.8 厚さ 1.8 | SD057 | 1990.08 | 51-170 | | 4 | B |
| ADK-C-179 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 40 | 口径 8.3推 底径 7.2 器高 8.3 | SD058 | 1990.09 | 53-206 | 110-291 | 4 | A |
| ADK-C-180 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 45 | 口径 8.6推 底径 6.4推 器高 1.35 | SD058 | 1990.09 | 53-207 | 110-292 | 4 | A |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　　量（cm，g） | 遺構名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A・B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ADK-C-181 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 40 | 口径 8.9推 底径 7.9推 器高 1.5 | SD058 | 1990.09 | 53-208 | 110-293 | 4 | A |
| ADK-C-182 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 50 | 口径 9.1推 底径 6.3推 器高 1.7 | SD058 | 1990.09 | 54-223 | 110-290 | 4 | A |
| ADK-C-183 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 40 | 口径12.1推 底径 9.3推 器高 2.5 | SD058 | 1990.09 | 54-224 | 110-294 | 4 | A |
| ADK-C-184 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 60 | 口径　　底径 8.8推 器高 1.6残 | SD058 | 1990.09 | 53-213 |  | 4 | B |
| ADK C 185 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 50 | 口径13.6推 底径10.9推 器高 2.8 | SD058 | 1990.09 | 54-225 | 110-295 | 4 | A |
| ADK-C-186 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 90 | 口径 13.4 底径 10.4 器高 3.6 | SD058 | 1990.09 | 54-226 | 110-296 | 4 | A |
| ADK-C-187 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | 不明 | 口径　　6.0 器高 3.4残 | SD058 | 1990.09 | 54-183 | 110-297 | 4 | A |
| ADK-C-188 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | 不明 | 口径　　底径 7.2推 器高 3.4残 | SD058 | 1990.09 | 54-184 | 110-298 | 4 | A |
| ADK-C-189 | 皿 | 磁器 | 鎌倉 | 20 | 口径 9.9推 底径 4.3推 器高 2.3 | SD058 | 1990.09 | 55-197 | 110-299 | 4 | A |
| ADK-C-190 | 碗 | 磁器 | 鎌倉 | 不明 | 口径16.0推 底径　　器高4.25残 | SD058 | 1990.09 | 55-190 | 110-304 | 4 | A |
| ADK-C-191 | 碗 | 磁器 | 鎌倉 | 不明 | 口径　　6.2 器高 3.0残 | SD058 | 1990.09 | 55-191 | 110-305 | 4 | A |
| ADK-C-192 | 碗 | 磁器 | 鎌倉 | 不明 | 口径　　5.4 器高 2.8残 | SD058 | 1990.09 | 55-192 | 110-301 | 4 | A |
| ADK-C-193 | 碗 | 磁器 | 鎌倉 | 不明 | 口径　　6.0 器高 4.4 | SD058 | 1990.09 | 55-193 | 110-303 | 4 | A |
| ADK-C-194 | 碗 | 磁器 | 鎌倉 | 不明 | 口径　　5.3推 器高 3.9残 | SD058 | 1990.09 | 55-194 | 110-302 | 4 | A |
| ADK-C-195 | 碗 | 磁器 | 鎌倉 | 不明 | 口径14.6推 底径　　器高 3.4残 | SD058 | 1990.09 | 55-195 | 110-300 | 4 | A |
| ADK-C-196 | 碗 | 磁器 | 鎌倉 | 不明 | 口径　　底径 7.3 器高 2.9残 | SD058 | 1990.09 | 55-196 |  | 4 | B |
| ADK-C-197 | 鉢 | 土師器 | 鎌倉 | 25 | 口径12.3推 底径　　器高10.95 | SD058 | 1990.09 | 54-217 |  | 4 | B |
| ADK-C-198 | 杯 | 須恵器 | 鎌倉 | 20 | 口径12.2推 底径　　器高 3.8残 | SD058 | 1990.09 | 56-200 |  | 4 | B |
| ADK-C-199 | 杯 | 須恵器 | 鎌倉 | 90 | 口径 13.4 底径　　器高 5.15 | SD058 | 1990.09 | 56-201 |  | 4 | B |
| ADK-C-200 | 杯 | 須恵器 | 鎌倉 | 不明 | 口径11.4推 底径　　器高 3.8 | SD058 | 1990.09 | 57-119 |  | 4 | B |
| ADK-C-201 | 杯身 | 須恵器 | 古墳 | 20 | 口径11.5推 底径 －　　器高 3.7 | SD058 | 1990.09 | 57-205 |  | 4 | B |
| ADK-C-202 | 杯蓋 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 鈕径 3.3 底径 －　　器高 3.2残 | SD058 | 1990.09 | 58-198 |  | 4 | B |
| ADK-C-203 | 鉢 | 土師器 | 鎌倉 | 95 | 口径 8.9 底径 4.3 器高 6.3 | SD058 | 1990.09 | 59-214 |  | 4 | B |
| ADK-C-204 | 壺 | 土師器 | 鎌倉 | 50 | 口径11.8推 丸底　　器高 14.1 | SD058 | 1990.08 | 59-215 |  | 4 | B |
| ADK-C-205 | 壺 | 土師器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 －　　底径 －　　器高10.1推 | SD058 | 1990.08 | 59-216 |  | 4 | B |
| ADK-C-206 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径19.0推 底径 －　　器高 7.0残 | SD058 | 1990.08 | 59-218 |  | 4 | B |
| ADK-C-207 | 甕 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径16.7推 底径 －　　器高 6.4残 | SD058 | 1990.08 | 57-204 |  | 4 | B |
| ADK-C-208 | 甕 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径30.4推 底径 －　　器高 5.7残 | SD058 | 1990.08 | 56-203 |  | 4 | B |
| ADK-C-209 | 石鍋 | 滑石製 | 鎌倉 | 不明 | 口径 21推 底径 －　　器高4.35残 | SD058 | 1990.08 | 57-189 |  | 4 | B |
| ADK-C-210 | 石鍋 | 滑石製 | 鎌倉 | 不明 | 口径 24推 底径 －　　器高 5.1残 | SD058 | 1990.08 | 58-187 |  | 4 | B |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　　量（cm，g） | 遺構名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | ｺﾝﾃﾅ | A・B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ADK-C-211 | 壺 | 土師質土器 | 鎌倉 | 不明 | 口径36.2推　底径 －　器高14.15残 | SD058 | 1990.08 | 60-219 | | 4 | B |
| ADK-C-212 | 高杯 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径 －　底径 6.8推　器高 6.5 | SD058 | 1990.08 | 56-202 | | 4 | B |
| ADK-C-213 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 －　脚部径9.2推　器高 6.95 | SD058 | 1990.08 | 61-230 | | 4 | B |
| ADK-C-214 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 －　脚部径 －　器高 9.1残 | SD058 | 1990.08 | 61-231 | | 4 | B |
| ADK-C-215 | 台付坏 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 －　脚部径12.0推　器高 7.1残 | SD058 | 1990.08 | 61-229 | | 4 | B |
| ADK-C-216 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 －　脚部径15.0推　器高 7.4残 | SD058 | 1990.08 | 61-228 | | 4 | B |
| ADK-C-217 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 －　脚部径12.6推　器高 7.8残 | SD058 | 1990.08 | 61-232 | | 4 | B |
| ADK-C-218 | 石鍋 | 滑石製 | 鎌倉 | 不明 | 長さ 6.5　幅 8.1　厚さ 3.5 | SD058 | 1990.08 | 58-188 | | 4 | B |
| ADK-C-219 | 甑 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 長さ 6.5　幅 6.2 | SD058 | 1990.09 | 62-220 | | 4 | B |
| ADK-C-220 | 甑 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 長さ 7.5　幅 6.2 | SD058 | 1990.09 | 62-221 | | 4 | B |
| ADK-C-221 | 甑 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 長さ 6.5　幅 6.2 | SD058 | 1990.09 | 62-222 | | 4 | B |
| ADK-C-222 | 甑 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 長さ 7.0　幅 6.8 | SD058 | 1990.09 | 62-227 | | 4 | B |
| ADK-C-223 | 子持勾玉 | 土製品 | 古墳 | 不明 | 長さ 4.7　幅 2.1　厚さ 1.7 | SD058 | 1990.09 | 63-180 | | 4 | B |
| ADK-C-224 | 土製鏡 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 3.3　幅 3.9　厚さ 1.8 | SD058 | 1990.09 | 63-181 | | 4 | B |
| ADK-C-225 | 土製鏡 | 土製品 | 古墳 | 不明 | 長さ 4.2　幅 4.6　厚さ 1.4 | SD058 | 1990.09 | 63-182 | | 4 | B |
| ADK-C-226 | 紡錘車 | 石製品 | 古墳 | 不明 | 長さ 4.3　幅 2.4残　厚さ 0.9 | SD058 | 1990.09 | 63-179 | | 4 | B |
| ADK-C-227 | 砥石 | 石製品 | 古墳 | 不明 | 長さ 9.4　幅 6.2　厚さ 1.8 | SD058 | 1990.09 | 63-185 | | 4 | B |
| ADK-C-228 | 砥石 | 石製品 | 古墳 | 不明 | 長さ 7.5　幅 5.5　厚さ 1.4 | SD058 | 1990.09 | 63-186 | | 4 | B |
| ADK-C-229 | 宋銭 | 銅貨 | 古墳 | 完形 | 外径2.45推　穿幅 0.75 | SD058 | 1990.09 | 63-178 | | 4 | B |
| ADK-C-230 | 杯蓋 | 黒色土器 | 古墳 | 25 | 口径15.3推　器高 3.9 | SK059 | 1990.09 | 64-238 | 26-59 | 4 | B |
| ADK-C-231 | 杯身 | 土師器 | 古墳 | 25 | 口径11.7推　丸底　器高 4.0 | SK059 | 1990.09 | 64-239 | 26-63 | 4 | B |
| ADK-C-232 | 杯身 | 疑似須恵 | 古墳 | 不明 | 口径12.0推　底径 －　器高 4.8残 | SK059 | 1990.09 | 64-240 | 26-60 | 4 | B |
| ADK-C-233 | 杯身 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径12.0推　底径 －　器高 4.0残 | SK059 | 1990.09 | 64-237 | 26-64 | 4 | B |
| ADK-C-234 | 鉢 | 黒色土器 | 古墳 | 30 | 口径 12.0　丸底　器高 5.5 | SK059 | 1990.09 | 64-236 | 26-61 | 4 | B |
| ADK-C-235 | 壺 | 土師器 | 古墳 | 70 | 口径 12.7　丸底　器高 10.3 | SK059 | 1990.09 | 65-252 | 27-78 | 4 | B |
| ADK-C-236 | 長頸壺 | 土師器 | 古墳 | ほぼ完形 | 口径 9.2推　丸底　器高 17.4 | SK059 | 1990.09 | 65-249 | 27-76 | 4 | B |
| ADK-C-237 | 長頸壺 | 土師器 | 古墳 | 80 | 口径 9.6　丸底　器高 16.0 | SK059 | 1990.09 | 66-250 | 27-77 | 4 | B |
| ADK-C-238 | 高杯 | 黒色土器 | 古墳 | 不明 | 口径 －　脚部径 9.9　器高 4.1残 | SK059 | 1990.09 | 67-242 | 26-65 | 4 | B |
| ADK-C-239 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 40 | 口径 －　脚部径18.6推　器高13.2残 | SK059 | 1990.09 | 65-251 | 26-67 | 4 | B |
| ADK-C-240 | 甕形土器 | 黒色土器 | 古墳 | 不明 | 口径－　丸底　器高 4.4残 | SK059 | 1990.09 | 67-241 | 26-62 | 4 | B |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　　量（cm，g） | 遺構名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | ｺﾝﾃﾅ | A･B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ADK-C-241 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 完形 | 口径 15.8 丸底 器高 21.4 | SK059 | 1990.09 | 66-253 | 26-73 | 5 | A |
| ADK-C-242 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 18.0 底径 － 器高 5.9残 | SK059 | 1990.09 | 66-246 | 26-71 | 5 | A |
| ADK-C-243 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径18.8推 底径 － 器高25.8残 | SK059 | 1990.09 | 67-245 | 26-74 | 5 | A |
| ADK-C-244 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径17.3推 底径 － 器高 7.3残 | SK059 | 1990.08 | 68-247 | 26-72 | 5 | A |
| ADK-C-245 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 － 丸底 器高17.0残 | SK059 | 1990.08 | 68-244 | 26-75 | 5 | A |
| ADK-C-246 | 手捏土器 | 土製品 | 古墳 | 80 | 口径 5.6推 底径 4.0 器高 3.4 | SK059 | 1990.08 | 65-248 | 26-69 | 5 | A |
| ADK-C-247 | 器台 | 土製品 | 古墳 | 不明 | 受部径 3.2 底径 － 器高3.35残 | SK059 | 1990.08 | 65-234 | 26-68 | 5 | A |
| ADK-C-248 | 紡錘車 | 土製品 | 古墳 | 40 | 長さ 3.85 幅 1.95 重さ 15 | SK059 | 1990.08 | 68-235 | 26-70 | 5 | A |
| ADK-C-249 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 － 脚部径 12.9 器高 8.0残 | SK059 | 1990.08 | 64-243 | 26-66 | 5 | A |
| ADK-C-250 | 椀 | 土師器 | 古墳 | 40 | 口径 10.8 丸底 器高 4.3 | SK060 | 1990.08 | 69-254 | 29-79 | 6 | A |
| ADK-C-251 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 40 | 口径 － 底径 － 器高11.6残 | SK060 | 1990.08 | 69-255 | 29-80 | 6 | A |
| ADK-C-252 | 杯蓋 | 疑似須恵 | 古墳 | 不明 | 口径12.2推 器高 4.5 | SK061 | 1990.08 | 70-259 | 3-83 | 6 | A |
| ADK-C-253 | 杯蓋 | 黒色土器 | 古墳 | 不明 | 口径16.0推 器高 3.6残 | SK061 | 1990.08 | 70-258 | 31-81 | 6 | A |
| ADK-C-254 | 杯蓋 | 須恵器 | 古墳 | 30 | 口径13.7推 器高 3.9 | SK061 | 1990.08 | 71-257 | 31-82 | 6 | A |
| ADK-C-255 | 杯身 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径11.3推 器高 3.9残 | SK061 | 1990.08 | 71-256 | 3-85 | 6 | A |
| ADK-C-256 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 20 | 口径14.0推 底径 － 器高5.75残 | SK061 | 1990.08 | 70-260 | 31-84 | 6 | A |
| ADK-C-257 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 70 | 口径 － 丸底 器高13.4残 | SK061 | 1990.08 | 70-262 | 31-87 | 6 | A |
| ADK-C-258 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 － 脚部径 － 器高 6.8残 | SK061 | 1990.08 | 71-263 | 3-90 | 6 | A |
| ADK-C-259 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径34.0推 脚部径 － 器高 7.0残 | SK061 | 1990.09 | 71-264 | 31-89 | 6 | A |
| ADK-C-260 | 長頸壺 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 9.0 底径 － 器高 6.5残 | SK061 | 1990.09 | 70-265 | 31-88 | 6 | A |
| ADK-C-261 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径19.6推 幅 6.2 器高 5.0残 | SK061 | 1990.09 | 70-261 | 31-86 | 6 | A |
| ADK-C-262 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 60 | 口径15.0推 幅 6.8 器高 3.25 | SD062 | 1990.09 | 72-270 | 111-306 | 6 | A |
| ADK-C-263 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | 不明 | 口径16.6推 幅 2.1 器高 4.1残 | SD062 | 1990.09 | 72-268 | 111-307 | 6 | A |
| ADK-C-264 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | 不明 | 口径16.0推 幅 3.9 器高 6.3 | SD062 | 1990.09 | 72-269 | 111-308 | 6 | A |
| ADK-C-265 | 碗 | 白磁 | 鎌倉 | 不明 | 口径14.7推 幅 4.6 器高 4.7残 | SD062 | 1990.09 | 72-267 | 111-309 | 6 | A |
| ADK-C-266 | 土錘 | 土製品 | 鎌倉 | 完形 | 長さ 3.6 幅 2.4残 厚さ 1.3 | SD062 | 1990.09 | 72-266 | 111-310 | 6 | A |
| ADK-C-267 | 小皿 | 土師器 | 鎌倉 | 20 | 口径 8.4推 幅 6.2 器高 1.4 | SD063 | 1990.09 | 73-272 | | 6 | B |
| ADK-C-268 | 皿 | 陶器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 － 幅 5.5 器高 1.6残 | SD063 | 1990.09 | 73-271 | | 6 | B |
| ADK-C-269 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 － 穿幅 0.75 器高 2.9残 | SD063 | 1990.09 | 73-285 | | 6 | B |
| ADK-C-270 | 甕 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径 － 器高 4.4残 | SK063 | 1990.09 | 73-273 | | 6 | B |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　　量（cm，g） | 遺構名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A・B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ADK-C-271 | 小皿 | 土師器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 9.6推 丸底 器高 1.0 | SE064 | 1990.09 | 74-275 | 86-245 | 6 | A |
| ADK-C-272 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 不明 | 口径13.8推 底径 － 器高 3.0 | SE064 | 1990.09 | 74-276 | 86-244 | 6 | A |
| ADK-C-273 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 不明 | 口径13.7推 底径 － 器高 3.1 | SE064 | 1990.09 | 74-277 | 86-243 | 6 | A |
| ADK-C-274 | 砥石 | 石製品 | 鎌倉 | 不明 | 長さ 5.9 丸底 重さ 22g | SE064 | 1990.09 | 74-274 | 86-246 | 6 | A |
| ADK-C-275 | 小型丸底坩 | 土師器 | 古墳 | 完形 | 口径 7.95 丸底 器高 10.5 | SK068 | 1990.09 | 75-278 | | 6 | B |
| ADK-C-276 | 小型丸底坩 | 土師器 | 古墳 | 完形 | 口径 7.4 丸底 器高 7.7 | SK068 | 1990.09 | 75-209 | | 6 | B |
| ADK-C-277 | 小型丸底坩 | 土師器 | 古墳 | 完形 | 口径 8.0 丸底 器高 8.3 | SK068 | 1990.09 | 75-210 | | 6 | B |
| ADK-C-278 | 小型丸底坩 | 土師器 | 古墳 | 70 | 口径 8.0推 脚部径 9.9 器高 7.9 | SK068 | 1990.09 | 75-211 | | 6 | B |
| ADK-C-279 | 小型丸底坩 | 土師器 | 古墳 | 50 | 口径 9.0 脚部径18.6推 器高 7.4 | SK068 | 1990.09 | 75-212 | | 6 | B |
| ADK-C-280 | 鉢 | 土師質土 | 鎌倉 | 不明 | 口径 － 丸底 器高 5.6残 | SD069 | 1990.09 | 76-279 | | 6 | B |
| ADK-C-281 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 10 | 口径13.7推 底径 9.7 器高 2.7 | SE070 | 1990.09 | 77-283 | | 5 | B |
| ADK-C-282 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | 70 | 口径 15.7 高台径 5.8 器高 6.3 | SE070 | 1990.09 | 77-282 | | 5 | B |
| ADK-C-283 | 碗 | 青磁 | 鎌倉 | 40 | 口径17.0推 高台径 6.2推 器高 6.0 | SE070 | 1990.09 | 77-281 | | 5 | B |
| ADK-C-284 | 鉢 | 須恵質土 | 鎌倉 | 不明 | 口径34.8推 底径 － 器高 7.9残 | SE070 | 1990.08 | 77-280 | | 5 | B |
| ADK-C-285 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | 破片 | 口径 高台径 器高 | SE070 | 1990.08 | 78-284 | | 5 | B |
| ADK-C-286 | 杯身 | 黒色土器 | 古墳 | 不明 | 口径12.3推 底径 － 器高 3.2残 | SE071 | 1990.08 | 79-287 | 8-22 | 5 | A |
| ADK-C-287 | 杯身 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径13.35推底径 － 器高 3.3残 | SE071 | 1990.08 | 79-288 | 8-23 | 5 | A |
| ADK-C-288 | 杯身 | 須恵器 | 古墳 | 80 | 口径14.0推 丸底 器高 4.4 | SE071 | 1990.08 | 79-289 | 8-24 | 5 | A |
| ADK-C-289 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 90 | 口径 11.4 丸底 器高 13.0 | SE071 | 1990.08 | 79-286 | 8-25 | 5 | A |
| ADK-C-290 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 60 | 口径 8.8推 底径 7.3推 器高 1.45 | SE072 | 1990.08 | 80-291 | 88-247 | 6 | A |
| ADK-C-291 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 30 | 口径 13.3 底径 10.2推 器高 2.6 | SE072 | 1990.08 | 80-290 | 88-248 | 6 | A |
| ADK-C-292 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 90 | 口径 8.3 底径 6.6 器高 1.3 | SK703 | 1990.08 | 81-292 | 104-265 | 6 | A |
| ADK-C-293 | 碗 | 青磁 | 鎌倉 | 不明 | 口径 － 底径 － 器高 3.0残 | SK703 | 1990.08 | 81-293 | 104-266 | 6 | A |
| ADK-C-294 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 － 高台径 6.6 器高3.15残 | SE074 | 1990.08 | 82-294 | 90-249 | 6 | A |
| ADK-C-295 | 石鍋 | 石製品 | 鎌倉 | 不明 | 口径 － 底径 － 器高 3.7残 | SE074 | 1990.08 | 82-295 | 90-250 | 6 | A |
| ADK-C-296 | 椀 | 黒色土器 | 平安－鎌倉 | 40 | 口径14.0推 底径 － 器高 4.4残 | SK077 | 1990.08 | 83-296 | | 6 | B |
| ADK-C-297 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 25 | 口径 － 脚部径 22.6推器高 6.0残 | SK078 | 1990.08 | 84-297 | | 6 | B |
| ADK-C-298 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径16.45推底径 － 器高 3.4残 | SK078 | 1990.08 | 84-298 | | 6 | B |
| ADK-C-299 | 手捏土器 | 土製品 | 古墳 | 40 | 口径 5.1推 底径 3.3推 器高 3.95 | SK078 | 1990.09 | 84-299 | | 6 | B |
| ADK-C-300 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 20 | 口径16.9推 底径 － 器高19.4残 | SK078 | 1990.09 | 85-374 | | 6 | B |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　　量（cm，g） | 遺構名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A・B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ADK-C-301 | 杯蓋 | 須恵器 | 古墳 | 45 | 口径14.0推 底径 － 器高 3.2 | SE079 | 1990.09 | 86-304 | 10-27 | 6 | A |
| ADK-C-302 | 杯蓋 | 須恵器 | 古墳 | 60 | 口径12.8推 底径 － 器高 4.5 | SE079 | 1990.09 | 86-303 | 10-26 | 6 | A |
| ADK-C-303 | 杯身 | 須恵器 | 古墳 | 90 | 口径 12.6 丸底 器高 4.9 | SE079 | 1990.09 | 87-302 | 10-28 | 6 | A |
| ADK-C-304 | 高坏 | 須恵器 | 古墳 | 40 | 口径 － 底径 12.0推 器高 5.1残 | SE079 | 1990.09 | 87-305 | 10-30 | 6 | A |
| ADK-C-305 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 40 | 口径14.9推 底径 － 器高21.4残 | SE079 | 1990.09 | 86-300 | 10-29 | 6 | A |
| ADK-C-306 | 支脚 | 土製品 | 古墳 | 不明 | 長さ 10.3 幅 6.3 厚さ 5.2 | SE079 | 1990.09 | 87-301 | 10-31 | 6 | A |
| ADK-C-307 | 杯 | 土師器 | 古墳 | 完形 | 口径 10.9 丸底 器高 4.2 | SX081 | 1990.09 | 88-319 | 55-154 | 7 | A |
| ADK-C-308 | 杯 | 土師器 | 古墳 | 95 | 口径 11.9 丸底 器高 5.05 | SX081 | 1990.09 | 88-320 | 55-155 | 7 | A |
| ADK-C-309 | 台付杯 | 土師器 | 古墳 | 95 | 口径 13.2 底径 4.9 器高 6.15 | SX081 | 1990.09 | 88-328 | 55-163 | 7 | A |
| ADK-C-310 | 台付鉢 | 土師器 | 古墳 | 25 | 口径13.1推 底径 － 器高 5.5残 | SX081 | 1990.09 | 88-330 | 55-162 | 7 | A |
| ADK-C-311 | 台付杯 | 土師器 | 古墳 | 50 | 口径 10.6 底径 － 器高 4.5残 | SX081 | 1990.10 | 88-333 | | 7 | B |
| ADK-C-312 | 台付杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 － 脚部径 9.7 器高 4.9残 | SX081 | 1990.10 | 93-329 | | 7 | B |
| ADK-C-313 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 60 | 口径 － 脚部径 10.6 器高 7.3残 | SX081 | 1990.10 | 89-334 | | 7 | B |
| ADK-C-314 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 80 | 口径 9.7推 脚部径 12.8 重さ 8.9 | SX081 | 1990.10 | 89-335 | 55-161 | 7 | A |
| ADK-C-315 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 80 | 口径 － 脚部径 11.8 器高 6.5残 | SX081 | 1990.10 | 89-336 | | 7 | B |
| ADK-C-316 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 － 脚部径 12.4 器高10.9残 | SX081 | 1990.10 | 89-337 | 55-167 | 7 | A |
| ADK-C-317 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 － 脚部径 － 器高11.6残 | SX081 | 1990.10 | 89-339 | 55-166 | 7 | A |
| ADK-C-318 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 60 | 口径 － 脚部径 11.2 器高12.2残 | SX081 | 1990.10 | 90-338 | 55-167 | 7 | A |
| ADK-C-319 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 18.6 脚部径 － 器高 5.1残 | SX081 | 1990.10 | 91-331 | 55-164 | 7 | A |
| ADK-C-320 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 18.4 脚部径 － 器高 5.6残 | SX081 | 1990.10 | 91-332 | 55-165 | 7 | A |
| ADK-C-321 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 完形 | 口径 10.1 丸底 器高 5.6 | SX081 | 1990.10 | 90-321 | 55-157 | 7 | A |
| ADK-C-322 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 完形 | 口径 10.2 底径 4.0 器高 4.5 | SX081 | 1990.10 | 90-318 | 55-156 | 7 | A |
| ADK-C-323 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 25 | 口径11.8推 底径 － 器高 7.1残 | SX081 | 1990.09 | 88-322 | 55-158 | 7 | A |
| ADK-C-324 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 80 | 口径 16.0 丸底 器高 7.3残 | SX081 | 1990.09 | 91-323 | 55-159 | 7 | A |
| ADK-C-325 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 80 | 口径 17.0 丸底 器高 10.8 | SX081 | 1990.10 | 91-324 | 55-160 | 7 | A |
| ADK-C-326 | 壺 | 土師器 | 古墳 | 20 | 口径11.4推 丸底 器高 7.9残 | SX081 | 1990.10 | 93-325 | | 7 | A |
| ADK-C-327 | 長頸壺 | 土師器 | 古墳 | 80 | 口径 － 丸底 器高12.4残 | SX081 | 1990.10 | 90-327 | 56-176 | 7 | B |
| ADK-C-328 | 長頸壺 | 土師器 | 古墳 | 80 | 口径 － 丸底 器高12.9残 | SX081 | 1990.10 | 94-326 | 56-175 | 7 | A |
| ADK-C-329 | 長頸壺 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径17.0推 丸底 器高15.0残 | SX081 | 1990.10 | 93-317 | 56-174 | 8 | A |
| ADK-C-330 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径15.2推 底径 － 器高 6.5残 | SX081 | 1990.10 | 94-306 | 55-170 | 8 | A |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　量（cm，g） | 遺構名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | ｺﾝﾃﾅ | A-B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ADK-C-331 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径17.2推 底径 － 器高 6.3残 | SX081 | 1990.10 | 94-307 | 55-169 | 8 | A |
| ADK-C-332 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径16.4推 底径 － 器高26.2残 | SX081 | 1990.10 | 94-310 | 56-172 | 8 | A |
| ADK-C-333 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径17.3推 底径 － 器高16.9残 | SX081 | 1990.09 | 90-308 | 56-171 | 8 | A |
| ADK-C-334 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 60 | 口径15.6推 丸底 器高 26.4 | SX081 | 1990.10 | 95-340 | 56-173 | 8 | A |
| ADK-C-335 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 － 底径 5.1 器高17.9残 | SX081 | 1990.10 | 97-311 | 57-178 | 8 | A |
| ADK-C-336 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径31.6推 底径 － 器高23.6残 | SX081 | 1990.10 | 96-309 | 57-177 | 8 | A |
| ADK-C-337 | 手捏土器 | 土製品 | 古墳 | 80 | 口径 5.5 丸底 器高 3.2 | SX081 | 1990.10 | 93-315 | 55-151 | 8 | A |
| ADK-C-338 | 手捏土器 | 土製品 | 古墳 | 98 | 口径 6.4推 底径 4.4 器高 5.0 | SX081 | 1990.09 | 93-316 | 55-153 | 8 | A |
| ADK-C-339 | 手捏土器 | 土製品 | 古墳 | 50 | 口径 6.4推 底径 3.8推 器高 4.6 | SX081 | 1990.10 | 93-313 | 55-152 | 8 | A |
| ADK-C-340 | 手捏土器 | 土製品 | 古墳 | ほぼ完形 | 口径 6.7 丸底 器高 3.4 | SX081 | 1990.09 | 93-312 | 55-150 | 8 | A |
| ADK-C-341 | 手捏土器 | 土製品 | 古墳 | 98 | 口径 5.75 丸底 器高 2.45 | SX081 | 1990.10 | 93-314 | 55-149 | 8 | A |
| ADK-C-342 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径13.2推 底径 － 器高 4.4残 | SX084 | 1990.09 | 92-341 | 33-91 | 9 | A |
| ADK-C-343 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 50 | 口径12.0推 丸底 器高 4.8 | SK088 | 1990.09 | 99-342 | 35-92 | 9 | A |
| ADK-C-344 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 90 | 口径 15.7 丸底 器高 6.9 | SK088 | 1990.09 | 99-354 | 35-93 | 9 | A |
| ADK-C-345 | 長頸壺 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径11.6推 丸底 器高11.4残 | SK088 | 1990.09 | 100-353 | 35-94 | 9 | A |
| ADK-C-346 | 壺 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径14.6推 底径 － 器高14.4残 | SK088 | 1990.10 | 100-352 | 35-97 | 9 | A |
| ADK-C-347 | 壺 | 土師器 | 古墳 | 90 | 口径 － 丸底 器高30.6残 | SK088 | 1990.09 | 98-343 | 35-96 | 10 | A |
| ADK-C-348 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 16.8 底径 － 器高 8.3残 | SK088 | 1990.09 | 100-345 | 35-95 | 9 | A |
| ADK-C-349 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径16.0推 底径 － 器高18.5残 | SK088 | 1990.10 | 99-346 | 36-101 | 9 | A |
| ADK-C-350 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径16.0推 底径 － 器高16.8残 | SK088 | 1990.10 | 99-348 | 35-100 | 9 | A |
| ADK-C-351 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径15.9推 底径 － 器高10.7残 | SK088 | 1990.09 | 101-349 | 35-98 | 9 | A |
| ADK-C-352 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径15.8推 底径 － 器高13.9残 | SK088 | 1990.10 | 101-347 | 35-99 | 9 | A |
| ADK-C-353 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径16.1推 底径 － 器高23.2残 | SK088 | 1990.10 | 101-350 | 36-102 | 9 | A |
| ADK-C-354 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 － 丸底 器高 残 | SK088 | 1990.09 | 102-351 | 36-103 | 9 | A |
| ADK-C-355 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 30 | 口径 － 脚部径13.9推 器高 8.5残 | SK090 | 1990.09 | 103-360 | 38-104 | 11 | A |
| ADK-C-356 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径13.4推 底径 － 器高 9.2残 | SK090 | 1990.09 | 103-358 | 38-105 | 11 | A |
| ADK-C-357 | 壺 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径15.5推 底径 － 器高11.1残 | SK090 | 1990.09 | 104-361 | 38-106 | 11 | A |
| ADK-C-358 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 40 | 口径 － 丸底 器高25.15残 | SK090 | 1990.10 | 104-359 | 38-108 | 10 | A |
| ADK-C-359 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 50 | 口径 15.5 底径 － 器高16.9残 | SK090 | 1990.10 | 105-355 | 38-110 | 11 | A |
| ADK-C-360 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径15.5推 底径 － 器高 8.0残 | SK090 | 1990.09 | 105-357 | 38-109 | 11 | A |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　量（cm，g） | 遺構名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A-B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ADK-C-361 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径18.0推 底径 － 器高13.6残 | SX090 | 1990.09 | 105-356 | 38-107 | 11 | A |
| ADK-C-362 | 杯身 | 須恵器 | 古墳 | 50 | 口径12.6推 丸底 器高 4.0 | SE091 | 1990.09 | 106-370 | | 11 | B |
| ADK-C-363 | 杯身 | 須恵器 | 古墳 | 60 | 口径 10.6 丸底 器高 4.1 | SE091 | 1990.09 | 106-373 | | 11 | B |
| ADK-C-364 | 杯身 | 須恵器 | 古墳 | 70 | 口径10.8推 丸底 器高 4.3 | SE091 | 1990.09 | 106-372 | | 11 | B |
| ADK-C-365 | 杯蓋 | 須恵器 | 古墳 | 25 | 口径 － 底径 14.1推 器高 4.7 | SE091 | 1990.09 | 106-371 | | 11 | B |
| ADK-C-366 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 完形 | 口径 9.6 丸底 器高 8.0 | SE091 | 1990.09 | 107-369 | | 11 | B |
| ADK-C-367 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 40 | 口径18.6推 底径 － 器高 10.9 | SE091 | 1990.09 | 107-365 | | 11 | B |
| ADK-C-368 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径15.0推 底径 － 器高 5.6残 | SE091 | 1990.09 | 107-362 | | 11 | B |
| ADK-C-369 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径19.2推 底径 － 器高 6.3残 | SE091 | 1990.09 | 107-367 | | 11 | B |
| ADK-C-370 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 50 | 口径 － 脚部径 11.9 器高 8.8残 | SE091 | 1990.09 | 107-366 | | 11 | B |
| ADK-C-371 | 小型丸底坩 | 土師器 | 古墳 | 80 | 口径 7.5 丸底 器高 8.0 | SE091 | 1990.09 | 108-368 | | 11 | B |
| ADK-C-372 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径18.6推 底径 － 器高16.6残 | SE091 | 1990.09 | 109-363 | | 11 | B |
| ADK-C-373 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径22.8推 底径 － 器高14.4残 | SE091 | 1990.09 | 108-364 | | 11 | B |
| ADK-C-374 | 手捏土器 | 土製品 | 古墳 | 不明 | 口径 5.3推 丸底 器高 4.9 | SK092 | 1990.09 | 110-375 | | 11 | B |
| ADK-C-375 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | ほぼ完形 | 口径 9.6 底径 8.3 器高 1.3 | SK093 | 1990.09 | 111-344 | 106-267 | 11 | A |
| ADK-C-376 | 杯 | 須恵器 | 古墳 | ほぼ完形 | 口径 14.6 底径 6.2 器高 4.6 | SB094 | 1990.10 | 112-377 | 59-180 | 11 | A |
| ADK-C-377 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径13.6推 底径 － 器高11.65残 | SB094 | 1990.09 | 112-378 | 59-179 | 11 | A |
| ADK-C-378 | 土製鏡 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 3.1 幅 2.2 厚さ 1.35 | SB094 | 1990.10 | 112-376 | 59-181 | 11 | A |
| ADK-C-379 | 杯蓋 | 疑似須恵 | 古墳 | 不明 | 口径16.2推 底径 － 器高 4.0残 | SB095 | 1990.10 | 113-379 | 61-182 | 11 | A |
| ADK-C-380 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 95 | 口径16.65 丸底 器高 25.8 | SK096 | 1990.09 | 114-380 | 40-111 | 11 | A |
| ADK-C-381 | 杯蓋 | 土師器 | 古墳 | 90 | 口径 12.6 底径 － 器高 4.8 | SK097 | 1990.09 | 115-383 | 42-114 | 12 | A |
| ADK-C-382 | 杯蓋 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 12.2 底径 － 器高 3.5残 | SK097 | 1990.09 | 115-384 | 42-115 | 12 | A |
| ADK-C-383 | 杯 | 土師器 | 古墳 | 完形 | 口径 11.0 丸底 器高 4.9 | SK097 | 1990.09 | 115-386 | 42-113 | 12 | A |
| ADK-C-384 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径10.9推 底径 － 器高 4.4 | SK097 | 1990.09 | 115-382 | 42-112 | 12 | A |
| ADK-C-385 | 鉢 | 土製品 | 古墳 | 50 | 口径 10.8 底径 6.5推 器高 6.9 | SK097 | 1990.09 | 115-381 | 44-116 | 12 | A |
| ADK-C-386 | 提瓶 | 須恵器 | 古墳 | 80 | 口径 7.4 丸底 器高 22.7 | SK097 | 1990.09 | 116-387 | 42-119 | 12 | A |
| ADK-C-387 | 壺 | 土師器 | 古墳 | 50 | 口径24.4推 底径 － 器高 25.1 | SK097 | 1990.09 | 117-385 | 42-118 | 12 | A |
| ADK-C-388 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 － 脚部径 10.5 器高 6.9残 | SK098 | 1990.09 | 118-393 | 44-121 | 12 | A |
| ADK-C-389 | 台付椀 | 土師器 | 古墳 | 70 | 口径 12.1 脚部径 11.8 器高 10.4 | SK098 | 1990.09 | 118-390 | 44-123 | 12 | A |
| ADK-C-390 | 台付椀 | 土師器 | 古墳 | 30 | 口径 13.4 脚部径 － 器高 8.6残 | SK098 | 1990.09 | 118-392 | 44-122 | 12 | A |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　　量（cm，g） | 遺構名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A・B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ADK-C-391 | 台付椀 | 土師器 | 古墳 | 80 | 口径 12.1 脚部径 17.4 器高 9.25 | SK098 | 1990.09 | 118-388 | 44-124 | 12 | A |
| ADK-C-392 | 台付椀 | 土師器 | 古墳 | 70 | 口径 14.1 底径 8.9 器高 7.25 | SK098 | 1990.09 | 119-391 | 44-125 | 12 | A |
| ADK-C-393 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 70 | 口径 15.4 丸底 器高 7.1 | SK098 | 1990.09 | 119-394 | 44-120 | 12 | A |
| ADK-C-394 | 長頸壺 | 土師器 | 古墳 | ほぼ完形 | 口径 12.0 丸底 器高 16.9 | SK098 | 1990.09 | 119-389 | 44-127 | 12 | A |
| ADK-C-395 | 壺 | 土師器 | 古墳 | 40 | 口径 － 丸底 器高11.1残 | SK098 | 1990.09 | 119-395 | | 13 | B |
| ADK-C-396 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径15.9推 底径 － 器高14.6残 | SK098 | 1990.09 | 120-400 | 44-129 | 12 | A |
| ADK-C-397 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径15.0推 底径 － 器高15.4残 | SK098 | 1990.09 | 120-399 | 44-130 | 12 | A |
| ADK-C-398 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 19.2 底径 － 器高14.8残 | SK098 | 1990.09 | 121-397 | | 12 | B |
| ADK-C-399 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 70 | 口径 18.0 丸底 器高 26.3 | SK098 | 1990.09 | 122-398 | 44-128 | 13 | A |
| ADK-C-400 | 壺 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 － 丸底 器高24.2残 | SK098 | 1990.09 | 123-396 | 44-126 | 12 | A |
| ADK-C-401 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 完形 | 口径 17.0 丸底 器高 27.4 | SK009 | 1990.09 | 124-40 | 46-131 | 14 | A |
| ADK-C-402 | 皿 | | 鎌倉 | 40 | 口径 9.2推 底径 7.4 器高 1.9 | SK100 | 1990.09 | 125-402 | 108-268 | 14 | A |
| ADK-C-403 | 擂鉢 | | 鎌倉 | 不明 | 口径29.6推 底径 － 器高 7.3残 | SK100 | 1990.09 | 125-403 | 108-269 | 14 | A |
| ADK-C-404 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 完形 | 口径 15.6 底径 11.1 器高 3.4 | SK101 | 1990.09 | 126-404 | | 14 | B |
| ADK-C-405 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 － 高台径 8.4 器高 2.5 | SK101 | 1990.09 | 126-405 | | 14 | B |
| ADK-C-406 | 土錘 | 土製品 | 鎌倉 | 不明 | 長さ 3.4 幅 1.45 厚さ 1.4 | SK101 | 1990.09 | 126-406 | | 14 | B |
| ADK-C-407 | 手捏土器 | 土製品 | 古墳 | ほぼ完形 | 口径 8.0 底径 3.3 器高 4.4 | SE103 | 1990.09 | 127-409 | 12-35 | 14 | B |
| ADK-C-408 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 40 | 口径 － 脚部径 11.9 器高 6.0残 | SE103 | 1990.09 | 127-411 | 12-37 | 14 | B |
| ADK-C-409 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 － 脚部径12.4推 器高 7.5 | SE103 | 1990.09 | 127-412 | 12-38 | 14 | B |
| ADK-C-410 | 小型丸底坩 | 土師器 | 古墳 | 完形 | 口径 9.2 丸底 器高 10.0 | SE103 | 1990.09 | 127-408 | 12-33 | 14 | B |
| ADK-C-411 | 小型丸底坩 | 土師器 | 古墳 | 完形 | 口径 8.35 丸底 器高 9.4 | SE103 | 1990.09 | 128-407 | 12-32 | 14 | B |
| ADK-C-412 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径20.5推 底径 － 器高11.5残 | SE103 | 1990.09 | 127-410 | 12-34 | 14 | B |
| ADK-C-413 | 土製鏡 | 土製品 | 古墳 | 不明 | 長さ 3.2残 幅 2.6 厚さ 1.3 | SE103 | 1990.09 | 128-413 | 12-36 | 14 | B |
| ADK-C-414 | 甕 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径17.4推 底径 － 器高 4.2残 | SK104 | 1990.09 | 129-416 | | 14 | B |
| ADK-C-415 | 手捏土器 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 口径 3.2 丸底 器高 2.9 | SK104 | 1990.09 | 129-415 | | 14 | B |
| ADK-C-416 | 土製鏡 | 土製品 | 古墳 | ほぼ完形 | 長さ 3.6 幅 2.8 厚さ 1.4 | SK104 | 1990.09 | 129-414 | | 14 | B |
| ADK-C-417 | 杯身 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径 － 底径 － 器高 2.6残 | SE105 | 1990.10 | 130-419 | | 14 | B |
| ADK-C-418 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径20.1推 底径 － 器高 9.4残 | SE105 | 1990.10 | 130-417 | | 14 | B |
| ADK-C-419 | 器台 | 土製品 | 古墳 | 不明 | 長さ 4.5 幅 2.45 器高 1.1推 | SE105 | 1990.10 | 130-418 | | 14 | B |
| ADK-C-420 | 坩 | 土師器 | 古墳 | 50 | 口径 8.2推 丸底 器高 8.0 | SK106 | 1990.09 | 131-426 | 48-134 | 15 | A |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　　量（cm，g） | 遺構名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | ｺﾝﾃﾅ | A･B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ADK-C-421 | 台付椀 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 11.8 底径 － 器高 4.7残 | SK106 | 1990.09 | 131-427 | 48-133 | 15 | A |
| ADK-C-422 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 40 | 口径 － 脚部径 10.6 器高 6.7残 | SK106 | 1990.09 | 131-428 | 48-132 | 15 | A |
| ADK-C-423 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 70 | 口径 15.7 丸底 器高 24.7 | SK106 | 1990.09 | 131-420 | 48-139 | 15 | A |
| ADK-C-424 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 25 | 口径16.7推 底径 － 器高20.6残 | SK106 | 1990.09 | 132-421 | 48-135 | 15 | A |
| ADK-C-425 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 70 | 口径 17.8 丸底 器高 24.8 | SK106 | 1990.09 | 132-423 | 48-138 | 15 | A |
| ADK-C-426 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 70 | 口径 17.1 丸底 器高 25.5 | SK106 | 1990.09 | 133-422 | 48-137 | 16 | A |
| ADK-C-427 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 60 | 口径 18.4 丸底 器高 26.5 | SK106 | 1990.09 | 133-424 | 48-136 | 15 | A |
| ADK-C-428 | 壺 | 土師器 | 古墳 | 50 | 口径16.4推 丸底 器高 37.2 | SK106 | 1990.09 | 134-425 | 49-140 | 16 | A |
| ADK-C-429 | 杯蓋 | 須恵器 | 古墳 | 50 | 口径13.9推 底径 － 器高 4.1 | SK107 | 1990.09 | 135-429 |  | 14 | B |
| ADK-C-430 | 杯蓋 | 須恵器 | 古墳 | 30 | 口径12.5推 底径 － 器高 3.6 | SK108 | 1990.09 | 136-432 | 51-141 | 14 | A |
| ADK-C-431 | 杯身 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径11.6推 底径 － 器高 2.4残 | SK108 | 1990.09 | 136-431 | 51-142 | 14 | A |
| ADK-C-432 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径11.2推 底径 － 器高 9.6残 | SK108 | 1990.09 | 136-430 | 51-143 | 14 | A |
| ADK-C-433 | 手捏土器 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 口径 6.8 底径 － 器高 5.2 | SK109 | 1990.09 | 137-435 |  | 17 | B |
| ADK-C-434 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 － 脚部径 11.0 器高 8.7残 | SK109 | 1990.09 | 137-434 |  | 14 | B |
| ADK-C-435 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 70 | 口径 18.4 丸底 器高 30.0 | SK109 | 1990.09 | 137-433 |  | 17 | B |
| ADK-C-436 | 坩 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 9.1推 底径 － 器高 6.5残 | SK110 | 1990.09 | 138-438 | 53-144 | 14 | A |
| ADK-C-437 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 19.6 底径 － 器高 4.8残 | SK110 | 1990.09 | 138-437 | 53-145 | 14 | A |
| ADK-C-438 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径17.3推 底径 － 器高24.2残 | SK110 | 1990.09 | 138-436 | 53-146 | 14 | A |
| ADK-C-439 | 高杯 | 須恵器 | 古墳 | 70 | 口径12.0推 脚部径 10.8 器高14.5残 | SK111 | 1990.09 | 139-440 | 53-147 | 16 | A |
| ADK-C-440 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 60 | 口径17.2推 丸底 器高 27.7 | SK111 | 1990.09 | 139-439 | 53-148 | 16 | A |
| ADK-C-441 | 壺 | 土師器 | 古墳 | 40 | 口径16.65推底径 － 器高24.4残 | P 112 | 1990.10 | 140-441 |  | 16 | B |
| ADK-C-442 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径17.85 底径 － 器高 6.9残 | SK114 | 1990.10 | 141-442 |  | 14 | B |
| ADK-C-443 | 壺 | 土師器 | 古墳 | 60 | 口径 8.3 底径 － 器高 6.9残 | SX115 | 1990.09 | 142-444 |  | 14 | B |
| ADK-C-444 | 杯身 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径13.4推 丸底 器高 2.8残 | SX115 | 1990.09 | 142-445 |  | 14 | B |
| ADK-C-445 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径15.4推 底径 － 器高10.3残 | SX115 | 1990.09 | 142-446 |  | 14 | B |
| ADK-C-446 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径30.7推 底径 － 器高 6.6残 | SX115 | 1990.09 | 143-443 |  | 14 | B |
| ADK-C-447 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 40 | 口径 8.8 底径 7.0 器高 1.5 | SX116 | 1990.09 | 144-447 |  | 14 | B |
| ADK-C-448 | 杯身 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 13.5 底径 － 器高 3.8残 | SX117 | 1990.10 | 145-448 |  | 14 | B |
| ADK-C-449 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径19.8推 底径 － 器高10.9残 | SD121 | 1990.09 | 146-459 | 63-191 | 17 | A |
| ADK-C-450 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 40 | 口径13.1推 底径 － 器高 8.9残 | SD121 | 1990.09 | 146-460 | 64-196 | 17 | A |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　　量（cm，g） | 遺構名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A・B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ADK-C-451 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 70 | 口径 17.5 底径 9.4 器高 5.7 | SD121 | 1990.09 | 147-451 | 64-195 | 17 | A |
| ADK-C-452 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 30 | 口径18.9推 底径 2.3推 器高 10.5 | SD121 | 1990.09 | 148-452 | 64-197 | 17 | A |
| ADK-C-453 | 壺 | 土師器 | 古墳 | 50 | 口径 － 残 丸底 器高11.3残 | SD121 | 1990.09 | 148-457 | 63-189 | 17 | A |
| ADK-C-454 | 壺 | 土師器 | 古墳 | 20 | 口径10.7推 底径 － 器高 8.9残 | SD121 | 1990.09 | 148-454 | | 18 | B |
| ADK-C-455 | 壺 | 土師器 | 古墳 | 40 | 口径 － 底径 － 器高11.0残 | SD121 | 1990.09 | 147-456 | 63-190 | 18 | A |
| ADK-C-456 | 壺 | 土師器 | 古墳 | 50 | 口径 － 丸底 器高10.2残 | SD121 | 1990.09 | 147-450 | 63-188 | 18 | A |
| ADK-C-457 | 二重口縁壺 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径20.0推 底径 － 器高11.9残 | SD121 | 1990.09 | 146-449 | 63-192 | 18 | A |
| ADK-C-458 | 二重口縁壺 | 土師器 | 古墳 | 60 | 口径27.4推 底径 － 器高44.5残 | SD121 | 1990.09 | 151-465 | 63-193 | 17 | A |
| ADK-C-459 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 25 | 口径 14.4 底径 － 器高 8.0 | SD121 | 1990.09 | 149-461 | 64-198 | 18 | A |
| ADK-C-460 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 25 | 口径15.0推 底径 － 器高18.2残 | SD121 | 1990.09 | 148-458 | 64-201 | 18 | A |
| ADK-C-461 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 50 | 口径 16.3 底径 － 器高17.0残 | SD121 | 1990.09 | 149-463 | 64-200 | 18 | A |
| ADK-C-462 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 30 | 口径 17.5 底径 － 器高10.5残 | SD121 | 1990.09 | 149-462 | 64-199 | 18 | A |
| ADK-C-463 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径17.6推 底径 － 器高16.8残 | SD121 | 1990.09 | 147-453 | 64-202 | 18 | A |
| ADK-C-464 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 － 底径 8.6 器高59.4残 | SD121 | 1990.09 | 150-464 | 64-203 | 19 | A |
| ADK-C-465 | 支脚 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 3.5 幅 1.9 厚さ 1.9 | SD121 | 1990.09 | 146-455 | 64-194 | 18 | A |
| ADK-C-466 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 90 | 口径 12.4 丸底 器高 4.1 | SD122 | 1990.10 | 152-471 | | 20 | B |
| ADK-C-467 | 坩 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径10.5推 丸底 器高 8.2残 | SD122 | 1990.10 | 152-470 | | 20 | B |
| ADK-C-468 | 台付椀 | 土師器 | 古墳 | 70 | 口径 16.2 脚部径 10.4 器高 9.85 | SD122 | 1990.10 | 152-469 | | 20 | B |
| ADK-C-469 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 90 | 口径 15.7 丸底 器高 22.6 | SD122 | 1990.10 | 152-468 | | 20 | B |
| ADK-C-470 | 杯身 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径14.6推 底径 － 器高 4.1残 | SK123 | 1990.10 | 153-466 | | 20 | B |
| ADK-C-471 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径16.0推 底径 － 器高 6.0残 | SK123 | 1990.10 | 153-476 | | 20 | B |
| ADK-C-472 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 80 | 口径15.7推 丸底 器高 23.8 | SK124 | 1990.09 | 154-472 | | 20 | B |
| ADK-C-473 | 台付皿 | 土師器 | 古墳 | 90 | 口径 9.8 脚部径 8.7 器高 8.85 | SK126 | 1990.09 | 155-476 | | 20 | B |
| ADK-C-474 | 台付椀 | 土師器 | 古墳 | 90 | 口径 11.3 脚部径 9.5 器高 9.0 | SK126 | 1990.09 | 155-475 | | 20 | B |
| ADK-C-475 | 短頸壺 | 土師器 | 古墳 | 40 | 口径12.1推 丸底 器高 10.1 | SK126 | 1990.09 | 155-474 | | 20 | B |
| ADK-C-476 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径16.9推 底径 － 器高 7.0残 | SK126 | 1990.09 | 155-473 | | 20 | B |
| ADK-C-477 | 二重口縁壺 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径20.9推 底径 － 器高 4.7残 | SK127 | 1990.09 | 156-477 | | 20 | B |
| ADK-C-478 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径15.2推 底径 － 器高11.2残 | SK127 | 1990.09 | 156-479 | | 20 | B |
| ADK-C-479 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径16.6推 底径 － 器高21.6残 | SK127 | 1990.09 | 156-478 | | 20 | B |
| ADK-C-480 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 98 | 口径 9.4 底径 7.3 器高 1.15 | SK128 | 1990.09 | 159-480 | | 20 | B |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　　量（cm，g） | 遺構名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A-B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ADK-C-481 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | ほぼ完形 | 口径 9.3　底径 6.7　器高 1.2 | SK128 | 1990.09 | 157-481 | | 20 | B |
| ADK-C-482 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 50 | 口径 9.3　底径 6.9　器高 1.3 | SK128 | 1990.09 | 157-482 | | 20 | B |
| ADK-C-483 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 15 | 口径16.0推　底径 10.7　器高 2.6残 | SX128 | 1990.09 | 157-483 | | 20 | B |
| ADK-C-484 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 不明 | 口径15.8推　底径 －　器高 5.5残 | SX128 | 1990.09 | 157-484 | | 20 | B |
| ADK-C-485 | 壺 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 －　丸底　器高 5.1残 | SX128 | 1990.09 | 158-485 | | 20 | B |
| ADK-C-486 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 完形 | 口径 13.3　丸底　器高 7.2 | P 129 | 1990.10 | 159-494 | | 21 | B |
| ADK-C-487 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 90 | 口径 13.8　丸底　器高 6.8 | SX130 | 1990.10 | 159-493 | | 21 | B |
| ADK-C-488 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 60 | 口径13.4推　脚部径 9.3　器高 7.9 | SX130 | 1990.10 | 160-488 | | 21 | B |
| ADK-C-489 | 小型丸底壺 | 土師器 | 古墳 | 70 | 口径 12.5　丸底　器高 12.2 | SX130 | 1990.10 | 159-495 | | 21 | B |
| ADK-C-490 | 小型丸底壺 | 土師器 | 古墳 | 70 | 口径 12.0　丸底　器高10.9残 | SX130 | 1990.10 | 159-496 | | 21 | B |
| ADK-C-491 | 壺 | 土師器 | 古墳 | 40 | 口径 13.8　丸底　器高12.0残 | SX130 | 1990.10 | 160-490 | | 21 | B |
| ADK-C-492 | 甑 | 土師器 | 古墳 | 95 | 口径 16.9　丸底　器高 11.6 | SX130 | 1990.10 | 159-492 | | 21 | B |
| ADK-C-493 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 70 | 口径 15.9　丸底　器高22.0 | SX130 | 1990.10 | 160-521 | | 21 | B |
| ADK-C-494 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 70 | 口径 16.7　丸底　器高23.6残 | SX130 | 1990.10 | 161-487 | | 21 | B |
| ADK-C-495 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 40 | 口径17.7推　丸底　器高21.1残 | SX130 | 1990.10 | 161-486 | | 21 | B |
| ADK-C-496 | 壺 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径16.8推　底径 －　器高20.0残 | SX130 | 1990.10 | 162-489 | | 21 | B |
| ADK-C-497 | 二重口縁壺 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 －　底径 －　器高10.8残 | SX130 | 1990.10 | 162-491 | | 21 | B |
| ADK-C-498 | 杯蓋 | 須恵器 | 古墳 | 60 | 口径12.0推　底径 －　器高 4.0 | SE131 | 1990.09 | 163-497 | 14-39 | 22 | A |
| ADK-C-499 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径15.6推　脚部径 11.0　器高 13.2 | SE131 | 1990.09 | 163-499 | 14-40 | 22 | A |
| ADK-C-500 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 70 | 口径14.3推　底径 －　器高 15.0 | SE131 | 1990.09 | 163-498 | 14-41 | 22 | A |
| ADK-C-501 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 8.2　底径 6.7　器高 1.65 | SE133 | 1990.09 | 164-501 | | 22 | B |
| ADK-C-502 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | 不明 | 口径15.9推　底径 －　器高 4.8残 | SE133 | 1990.09 | 164-500 | | 22 | B |
| ADK-C-503 | 壺 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径 －　高台径10.05　器高 21.6 | SE134 | 1990.09 | 165-502 | 66-204 | 22 | A |
| ADK-C-504 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 －　脚部径17.5推　器高 7.5残 | SE136 | 1990.09 | 166-503 | | 22 | B |
| ADK-C-505 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径14.4推　底径 －　器高 5.0残 | SE136 | 1990.09 | 166-504 | | 22 | B |
| ADK-C-506 | 坩 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 －　丸底　器高 8.2残 | SE137 | 1990.09 | 167-506 | | 22 | B |
| ADK-C-507 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径16.4推　底径 －　器高 6.7残 | SE137 | 1990.09 | 166-505 | | 22 | B |
| ADK-C-508 | 坩 | 土師器 | 古墳 | 完形 | 口径 11.0　丸底　器高 9.9 | SX138 | 1990.09 | 168-507 | | 23 | B |
| ADK-C-509 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径22.8推　底径 －　器高 7.0残 | SX138 | 1990.09 | 169-513 | | 23 | B |
| ADK-C-510 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 完形 | 口径 10.5　丸底　器高 11.1 | SX138 | 1990.09 | 168-508 | | 23 | B |
| ADK-C-511 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 90 | 口径 15.4　底径 －　器高23.9残 | SX138 | 1990.09 | 170-512 | | 23 | B |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　量（cm，g） | 遺構名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A・B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ADK-C-511 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 90 | 口径 15.4 底径 － 器高23.9残 | SX138 | 1990.09 | 170-512 | | 23 | B |
| ADK-C-512 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 80 | 口径 15.6 丸底 器高 20.5 | SX138 | 1990.09 | 170-520 | | 23 | B |
| ADK-C-513 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 30 | 口径 16.0 底径 － 器高14.5残 | SX138 | 1990.09 | 171-511 | | 23 | B |
| ADK-C-514 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 40 | 口径 16.4 底径 － 器高18.5残 | SX138 | 1990.09 | 171-510 | | 23 | B |
| ADK-C-515 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 25 | 口径17.8推 底径 － 器高17.6残 | SX138 | 1990.09 | 168-509 | | 23 | B |
| ADK-C-516 | ミニチュア器 | 手捏土器 | 古墳 | 90 | 受部径 3.6 脚部径 3.4 器高 3.7 | P 140 | 1990.10 | 172-514 | | 22 | B |
| ADK-C-517 | 長頸壺 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 － 丸底 器高 9.4残 | SE141 | 1990.09 | 173-515 | 16-42 | 22 | A |
| ADK-C-518 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 － 底径 16.4 器高11.2残 | SK142 | 1990.10 | 174-518 | | 22 | B |
| ADK-C-519 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径14.4推 底径 － 器高 6.6残 | SK142 | 1990.10 | 174-516 | | 22 | B |
| ADK-C-520 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径20.9推 底径 － 器高 7.3 | SK142 | 1990.10 | 174-517 | | 22 | B |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　量（cm，g） | 遺　構　名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A・B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ADK-C-521 | 壺 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径15.8 底径 － 器高6.8残 | P143 | 1990.10 | | | 22 | B |
| ADK-C-522 | 杯身 | 須恵器 | 古墳 | 70 | | B-16グリット | 1990.08 | | | 24 | B |
| ADK-C-523 | 壺 | 土師器 | 古墳 | 60 | | B-16グリット | 1990.08 | | | 24 | B |
| ADK-C-524 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 90 | | B-17グリット | 1990.10 | | | 24 | B |
| ADK-C-525 | 碗 | 磁器 | 古墳 | 30 | | B-23グリット | 1990.08 | | | 24 | B |
| ADK-C-526 | 器台 | 土製品 | 古墳 | 90 | | B-23グリット | 1990.08 | | | 24 | B |
| ADK-C-527 | 土製鏡 | 土製品 | 古墳 | 完形 | | B-23グリット | 1990.08 | | | 24 | B |
| ADK-C-528 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 完形 | | B・C21～22グリット | 1990.08 | | | 24 | B |
| ADK-C-529 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 70 | | B・C21～22グリット | 1990.08 | | | 24 | B |
| ADK-C-530 | 坩 | 土師器 | 古墳 | 80 | | C-11G NO1 トレンチ | 1990.09 | | | 24 | B |
| ADK-C-531 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 40 | | C-11G NO1 トレンチ | 1990.09 | | | 24 | B |
| ADK-C-532 | 瓦 | 土師器 | 古墳 | 40 | | C-11G NO1 トレンチ | 1990.09 | | | 24 | B |
| ADK-C-533 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 90 | | C-12グリット NO1トレンチ | 1990.09 | | | 24 | B |
| ADK-C-534 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 40 | | C-12グリット NO1トレンチ | 1990.09 | | | 24 | B |
| ADK-C-535 | 台付壺 | 土師器 | 古墳 | 70 | | C-12グリット NO1トレンチ | 1990.09 | | | 24 | B |
| ADK-C-536 | 杯身 | 須恵器 | 古墳 | 磁完形 | | C-15グリット | 1990.08 | | | 24 | B |
| ADK-C-537 | 杯蓋 | 須恵器 | 古墳 | 40 | | C-15グリット | 1990.08 | | | 24 | B |
| ADK-C-538 | 勾玉 | 土製品 | 古墳 | 完形 | | C-15グリット | 1990.08 | | 14-39 | 24 | B |
| ADK-C-539 | ★ | 須恵器 | 古墳 | 50 | | C-17グリット | 1990.08 | | 14-40 | 24 | B |
| ADK-C-540 | 碗 | 瓦器 | 鎌倉 | 60 | | C-21グリット | 1990.08 | | 14-41 | 24 | B |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　量（cm，g） | 遺　構　名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A-B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ADK-C-541 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 70 | | D-15グリット | 1990.10 | | | 24 | B |
| ADK-C-542 | 台付碗 | 土師器 | 古墳 | 60 | | D-15グリット | 1990.10 | | | 24 | B |
| ADK-C-543 | 壺 | 土師器 | 古墳 | 80 | | D-15グリット | 1990.10 | | | 24 | B |
| ADK-C-544 | 台付坏 | 土師器 | 古墳 | 80 | | D-16グリット | 1990.08 | | | 24 | B |
| ADK-C-545 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 40 | | D-16グリット | 1990.08 | | | 24 | B |
| ADK-C-546 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 40 | | D-19グリット | 1990.09 | | | 24 | B |
| ADK-C-547 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 完形 | | D-21グリット | 1990.08 | | | 24 | B |
| ADK-C-548 | 坏 | 土師器 | 古墳 | 70 | | D-21グリット | 1990.08 | | | 24 | B |
| ADK-C-549 | 器台 | 土製品 | 古墳 | 完形 | | D-21グリット | 1990.08 | | | 24 | B |
| ADK-C-550 | 勾玉 | 土製品 | 古墳 | 60 | | D-21グリット | 1990.08 | | | 24 | B |
| ADK-C-551 | 坩 | 土師器 | 古墳 | 90 | | D-21グリット | 1990.08 | | | 24 | B |

阿高遺跡Ⅰ種

| 目録番号 | 種　別 | 遺　構　名 | 出土年月 | コンテナ | 袋数 |
|---|---|---|---|---|---|
| ADK-C | 土師器片、瓦器、須恵器、破片 | SD001、SD002、SD003 | 1990.08 | 25 | 22袋 |
| ADK-C | 手捏土器、土製品、動物骨 | SE005、SE006、SE007、SK008、SE009、SD010 | | | |
| ADK-C | 土師器片、須恵器片、瓦器、青磁片 | SE011、SK012、SK015、SE016、SK017、SE018、SK019、SE020、SE021、SD022、SK023 | 1990.08 | 26 | 21袋 |
| ADK-C | 土師器片、瓦器片、須恵器片、滑石製、青磁、白磁片、土錘 | SE024、SE025、SE026、SE027、SE029、SE030、SK032、SK033、SK034、SK035、SE037 | 1990.08 09 | 27 | 20袋 |
| ADK-C | 土師器片、瓦器片、須恵器片、青白磁、滑石製 | SE041、SE042、SE043、SE044、SK045、SE047、SE048、SE049、SK050、SK051、SK052、SK053、SE055、SE056 | 1990.08 09 | 28 | 20袋 |
| ADK-C | 土師器片、瓦器片、須恵器片、滑石製、青磁片、白磁片、手捏土器 | SD057、SD058 | 1990.09 | 29 | 9袋 |
| ADK-C | 土師器片、瓦器片、須恵器片、滑石製青・白磁片、手捏土器 | SD058 | 1990.09 | 30 | 8袋 |
| ADK-C | 土師器片、瓦器片、須恵器片、滑石製 | SD058 | 1990.09 | 31 | 9袋 |
| ADK-C | 土師器片、瓦器片、須恵器片 | SD058、SK059 | 1990.09 | 32 | 8袋 |
| ADK-C | 土師器片、須恵器片、瓦器片 | SK059、SK060、SK061 | 1990.09 | 33 | 5袋 |
| ADK-C | 土師器片、須恵器片、瓦器片、白磁片 | SD062、SD063、SE064、SD069、SE070、SE071、SE072 | 1990.09 | 34 | 12袋 |
| ADK-C | 土師器片、須恵器片、瓦器片、青磁片、土製品 | SK073、SE074、P075、SK077、SK078、SE079、SE080 | 1990.09 10 | 35 | 8袋 |
| ADK-C | 土師器片、瓦器片、須恵器片 | SX081 | 1990.09 10 | 36 | 6袋 |
| ADK-C | 土師器片、瓦器片、須恵器片、青磁片、白磁片 | SE082、SE083、SK084、P085、SK086、SK087、SK088、SK089、SK090 | 1990.10 | 37 | 11袋 |
| ADK-C | 土師器片、瓦器片、須恵器片、青磁 | SK091、SB094、SK092、SK093、SB095 | 1990.10 | 38 | 17袋 |
| ADK-C | 土師器片、瓦器片、須恵器片、土製品、白磁 | SK096、SK097、SK098、SK099、SK100、SK101、SE103 | 1990.10 | 39 | 8袋 |
| ADK-C | 土師器片、瓦器片、須恵器片 | SK104、SE105、SK106、SK107、SK108、SK109、SK110、SK111 | 1990.10 | 40 | 9袋 |
| ADK-C | 土師器片、瓦器片、須恵器片 | P112、SD113、SK114、SX115、SX116、SX117、SD121 | 1990.10 | 41 | 9袋 |
| ADK-C | 土師器片、瓦器片、須恵器片、土製品 | SD121、SD122、SK123、SK124、SK126、SK127、SK128、P129 | 1990.10 | 42 | 10袋 |
| ADK-C | 土師器片、瓦器片、須恵器片、滑石製 | SX130、SE131、SE133、SE135、SE136、SE137 | 1990.10 | 43 | 8袋 |

阿高遺跡Ⅱ種

| 目録番号 | 種別 | 遺構名 | 出土年月 | コンテナ | 袋数 |
|---|---|---|---|---|---|
| ADK-C | 土師器片、瓦器片、須恵器片、滑石製 | SX138、SK139、P140、SE141、SX142、P143、P144、P145、SK147 | 1990.10 | 44 | 10袋 |
| ADK-C | 土師器片、須恵器片、青磁、陶器片 | B-12 B-15 B-16 B-17 グリット | 1990.09 | 45 | 6袋 |
| ADK-C | 土師器片、須恵器片、瓦器片、青磁 | B-18 B-20 B-19 B-21 グリット | 1990.08 | 46 | 7袋 |
| ADK-C | 土師器片、瓦器片、須恵器片、 | B-20 B-21・22 B-23 B・C-21・22 B-22 グリット | 1990.08 | 47 | 9袋 |
| ADK-C | 土師器片、須恵器片、瓦器片、滑石製、陶器片、磁器片、土製品 | B-23G | 1990.08 | 48 | 5袋 |
| ADK-C | 土師器片、須恵器片、滑石製 | B-23 C-11 C-10 グリット | 1990.08 | 49 | 8袋 |
| ADK-C | 土師器片、須恵器片 | C-12 C-14 C-13 グリット | 1990.08 | 50 | 7袋 |
| ADK-C | 土師器片、須恵器片、土製品 | C-14 C-15 グリット | 1990.08 | 51 | 6袋 |
| ADK-C | 土師器片、須恵器片、滑石製 | C-15 C-17 グリット | 1990.08 | 52 | 6袋 |
| ADK-C | 土師器片、瓦器片、土製品、須恵器片 | C-17 C-22 D-8 D-14 グリット C-19 C-23～24 D-12 C-21 B・C-21～22 D-13 | 1990.08 09 | 53 | 11袋 |
| ADK-C | 土師器片、滑石製、青磁、須恵器片 | D-15 D-16 グリット | 1990.08 09 | 54 | 5袋 |
| ADK-C | 土師器片、須恵器片 | D-16 D-18 D-19 グリット | 1990.09 | 55 | 6袋 |
| ADK-C | 土師器片、須恵器片、土製品 | D-19 D-20 D-21 グリット | 1990.08 09 | 56 | 6袋 |
| ADK-C | 土師器片、石製品、青磁、須恵器片 | D-21G | 1990.09 | 57 | 6袋 |
| ADK-C | 土師器片、須恵器片 | D-21G | 1990.08 | 58 | 6袋 |
| ADK-C | 土師器片、須恵器片 | D-21 D-22 グリット | 1990.08 09 | 59 | 7袋 |
| ADK-C | 土師器片、陶器、須恵器、滑石製 | D-22 E-13 E-17 E-12 E-15 E-18 グリット | 1990.08 10 | 60 | 9袋 |
| ADK-C | 土師器、須恵器 | E-20G E-23 E-21 グリット | 1990.09 10 | 61 | 7袋 |

# 寺裏遺跡収蔵品目録

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　　量（cm，g） | 構造名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A・B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| TER-001 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 10.0推 底径 8.6推 器高 1.9 | SK001 | 1990.09 | 1-2 | 138-40 | 1 | A |
| TER-002 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 25 | 口径 14.4推 底径 10.2 器高 3.5 | SK001 | 1990.09 | 1-1 | 138-41 | 1 | A |
| TER-003 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 9.8推 底径 7.2推 器高 1.1 | SK002 | 1990.09 | 2-7 | | 1 | B |
| TER-004 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 30 | 口径 10.6 底径 8.1 器高 1.4 | SK002 | 1990.09 | 2-5 | | 1 | B |
| TER-005 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 13.4推 底径 11.2推 器高 1.65 | SK002 | 1990.09 | 2-6 | | 1 | B |
| TER-006 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 50 | 口径 14.2推 底径 10.0 器高 2.9 | SK002 | 1990.09 | 3-8 | | 1 | B |
| TER-007 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 30 | 口径 15.4推 底径 9.8推 器高 3.3 | SK002 | 1990.09 | 2-3 | | 1 | B |
| TER-008 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 25 | 口径 15.8推 底径 11.2推 器高 3.6 | SK002 | 1990.09 | 2-4 | | 1 | B |
| TER-009 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 60 | 口径 5.4推 底径 2.9 器高 2.1 | SK003 | 1990.09 | 4-9 | | 1 | B |
| TER-010 | 坩 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 11.2推 底径 - 器高 7.0残 | SK005 | 1990.10 | 5-11 | | 1 | B |
| TER-011 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 16.0推 底径 - 器高 5.25残 | SK005 | 1990.10 | 5-10 | | 1 | B |
| TER-012 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 50 | 口径 8.0推 底径 7.2推 器高 1.6 | SK006 | 1990.09 | 6-16 | 140-44 | 1 | A |
| TER-013 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 60 | 口径 8.5 底径 7.8 器高 1.7 | SK006 | 1990.09 | 6-17 | 140-43 | 1 | A |
| TER-014 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 50 | 口径 7.0推 底径 4.0推 器高 2.2 | SK006 | 1990.09 | 6-15 | 140-42 | 1 | A |
| TER-015 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 40 | 口径 12.1推 底径 10.4推 器高 2.8 | SK006 | 1990.09 | 6-13 | 140-45 | 1 | A |
| TER-016 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | ほぼ完形 | 口径 12.2 底径 11.1 器高 2.7 | SK006 | 1990.09 | 7-12 | 140-46 | 1 | A |
| TER-017 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 12.6推 底径 11.2推 器高 2.6 | SK006 | 1990.09 | 6-14 | 140-47 | 1 | A |
| TER-018 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 90 | 口径 8.6推 底径 6.7 器高 1.9 | SK007 | 1990.09 | 8-36 | 142-62 | 2 | A |
| TER-019 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 95 | 口径 8.85 底径 7.3 器高 1.7 | SK007 | 1990.09 | 8-37 | 142-58 | 2 | A |
| TER-020 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 95 | 口径 8.45 底径 7.1 器高 1.7 | SK007 | 1990.09 | 8-38 | 142-53 | 2 | A |
| TER-021 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 95 | 口径 9.7 底径 7.9 器高 1.8 | SK007 | 1990.09 | 8-40 | 142-61 | 2 | A |
| TER-022 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 90 | 口径 9.25 底径 8.0 器高 2.0 | SK007 | 1990.09 | 8-41 | 142-52 | 2 | A |
| TER-023 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | ほぼ完形 | 口径 9.25 底径 8.0 器高 1.9 | SK007 | 1990.09 | 8-42 | 142-49 | 2 | A |
| TER-024 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 完形 | 口径 9.3 底径 7.5 器高 2.0 | SK007 | 1990.09 | 8-43 | 142-55 | 2 | A |
| TER-025 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 95 | 口径 9.45 底径 7.5 器高 1.95 | SK007 | 1990.09 | 8-44 | 142-56 | 2 | A |
| TER-026 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 90 | 口径 9.2 底径 7.75 器高 2.0 | SK007 | 1990.09 | 8-45 | 142-57 | 2 | A |
| TER-027 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 完形 | 口径 9.1 底径 7.6 器高 2.1 | SK007 | 1990.09 | 8-46 | 142-65 | 2 | A |
| TER-028 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 完形 | 口径 8.85 底径 7.6 器高 2.0 | SK007 | 1990.09 | 8-47 | 142-63 | 2 | A |
| TER-029 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 完形 | 口径 8.75 底径 7.6 器高 1.9 | SK007 | 1990.09 | 8-48 | 142-54 | 2 | A |
| TER-030 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 完形 | 口径 9.0 底径 7.8 器高 2.0 | SK007 | 1990.09 | 8-49 | 142-50 | 2 | A |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　　量（cm，g） | 構造名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A·B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| TER-030 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 完形 | 口径 9.0　底径 7.8　器高 2.0 | SK007 | 1990.09 | 8-49 | 142-50 | 2 | A |
| TER-031 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | ほぼ完形 | 口径 8.7　底径 8.0　器高 2.0 | SK007 | 1990.09 | 8-50 | 142-59 | 2 | A |
| TER-032 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 完形 | 口径 8.9　底径 7.6　器高 1.65 | SK007 | 1990.09 | 9-33 | 142-48 | 2 | A |
| TER-033 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 完形 | 口径 9.0　底径 8.0　器高 1.85 | SK007 | 1990.09 | 9-34 | 142-64 | 2 | A |
| TER-034 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 完形 | 口径 9.2　底径 8.3　器高 2.0 | SK007 | 1990.09 | 9-35 | 142-51 | 2 | A |
| TER-035 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | ほぼ完形 | 口径 9.1　底径 7.4　器高 1.7 | SK007 | 1990.09 | 10-39 | 142-60 | 2 | A |
| TER-036 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | ほぼ完形 | 口径 13.0　底径 11.2　器高 2.9 | SK007 | 1990.09 | 9-24 | 142-76 | 2 | A |
| TER-037 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | ほぼ完形 | 口径 12.8推　底径 10.8　器高 2.8 | SK007 | 1990.09 | 9-25 | 142-70 | 2 | A |
| TER-038 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | ほぼ完形 | 口径 13.4　底径 10.8　器高 2.8 | SK007 | 1990.09 | 9-26 | 142-67 | 2 | A |
| TER-039 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | ほぼ完形 | 口径 14.0　底径 11.0　器高 3.0 | SK007 | 1990.09 | 9-27 | 142-66 | 2 | A |
| TER-040 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | ほぼ完形 | 口径 13.4　底径 10.9　器高 3.3 | SK007 | 1990.09 | 9-28 | 142-79 | 2 | A |
| TER-041 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 完形 | 口径 13.3　底径 11.0　器高 3.0 | SK007 | 1990.09 | 9-29 | 142-78 | 2 | A |
| TER-042 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | ほぼ完形 | 口径 12.8　底径 10.4　器高 3.0 | SK007 | 1990.09 | 9-30 | 142-72 | 2 | A |
| TER-043 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 40 | 口径 15.1推　底径 12.0推　器高 3.3 | SK007 | 1990.09 | 9-31 | 142-80 | 2 | A |
| TER-044 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 40 | 口径 12.4　底径 9.6　器高 3.1 | SK007 | 1990.09 | 9-32 | 142-69 | 2 | A |
| TER-045 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | ほぼ完形 | 口径 13.05　底径 10.9　器高 3.2 | SK007 | 1990.09 | 10-18 | 142-74 | 2 | A |
| TER-046 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | ほぼ完形 | 口径 12.65　底径 10.85　器高 3.1 | SK007 | 1990.09 | 10-19 | 142-68 | 2 | A |
| TER-047 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | ほぼ完形 | 口径 13.2　底径 10.3　器高 3.1 | SK007 | 1990.09 | 10-20 | 142-75 | 2 | A |
| TER-048 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | ほぼ完形 | 口径 12.9　底径 10.2　器高 3.3 | SK007 | 1990.09 | 10-21 | 142-71 | 2 | A |
| TER-049 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 90 | 口径 13.1　底径 11.05　器高 3.1 | SK007 | 1990.09 | 10-22 | 142-73 | 2 | A |
| TER-050 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 95 | 口径 13.05　底径 10.45　器高 2.75 | SK007 | 1990.10 | 10-23 | 142-77 | 2 | A |
| TER-051 | 碗 | 青磁 | 鎌倉 | 25 | 口径 －　底径 3.2　器高 5.5残 | SK007 | 1990.10 | 10-51 | 142-81 | 2 | A |
| TER-052 | 鍋 | 土師質土 | 鎌倉 | 60 | 口径 32.8　底径 －　器高 14.6 | SK007 | 1990.09 | 11-54 | 143-82 | 2 | A |
| TER-053 | 鍋 | 土師質土 | 鎌倉 | 80 | 口径 33.3　底径 －　器高 15.2 | SK007 | 1990.09 | 12-78 | 143-83 | 3 | A |
| TER-054 | 鍋 | 土師質土 | 鎌倉 | 85 | 口径 37.8　底径 －　器高 19.2 | SK007 | 1990.09 | 13-76 | 143-84 | 4 | A |
| TER-055 | 鍋 | 土師質土 | 鎌倉 | 95 | 口径 39.2　底径 －　器高 18.8 | SK007 | 1990.09 | 14-53 | 144-85 | 5 | A |
| TER-056 | 鍋 | 土師質土 | 鎌倉 | 60 | 口径 41.0　底径 －　器高 17.6残 | SK007 | 1990.09 | 15-52 | 144-86 | 6 | A |
| TER-057 | 鍋 | 土師質土 | 鎌倉 | 85 | 口径 41.5　底径 7.6　器高 18.0残 | SK007 | 1990.09 | 16-77 | 144-87 | 7 | A |
| TER-058 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 70 | 口径 9.4推　底径 7.6　器高 2.4 | SE009 | 1990.09 | 17-55 |  | 1 | B |
| TER-059 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 70 | 口径 9.7推　底径 7.6　器高 2.15 | SE009 | 1990.10 | 18-60 |  | 1 | B |
| TER-060 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 50 | 口径 10.0推　底径 8.4推　器高 2.4 | SE009 | 1990.09 | 17-56 |  | 1 | B |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　　量（cm，g） | 構造名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A・B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| TER-061 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 90 | 口径 10.3　底径 7.9　器高 1.6 | SE009 | 1990.09 | 17-57 | | 1 | B |
| TER-062 | 碗 | 青磁 | 鎌倉 | 不明 | 口径 －　高台径 6.2推　器高 2.7残 | SE009 | 1990.10 | 17-59 | | 1 | B |
| TER-063 | 鉢 | 須恵器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 28.8推　底径 －　器高 9.8残 | SE009 | 1990.10 | 18-61 | | 1 | B |
| TER-064 | 石鍋 | 滑石製品 | 鎌倉 | 不明 | 口径 －　底径 －　器高 8.0残 | SE009 | 1990.10 | 17-58 | | 1 | B |
| TER-065 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 13.9推　高台径 6.7推　器高 4.4 | SE010 | 1990.09 | 19-65 | | 1 | B |
| TER-066 | 椀 | 黒色土器 | 鎌倉 | 70 | 口径 14.8推　高台径 6.05　器高 6.05 | SE010 | 1990.09 | 19-63 | | 1 | B |
| TER-067 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | 60 | 口径 14.8推　高台径 6.1推　器高 5.2 | SE010 | 1990.09 | 19-64 | | 1 | B |
| TER-068 | 椀 | 黒色土器 | 鎌倉 | 30 | 口径 15.6推　高台径 5.8推　器高 5.4 | SE010 | 1990.09 | 19-62 | | 1 | B |
| TER-069 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 40 | 口径 14.8推　底径 10.8推　器高 2.7 | SE011 | 1990.09 | 20-66 | | 1 | B |
| TER-070 | 碗 | 青磁 | 鎌倉 | 不明 | 口径 15.6推　底径 －　器高 4.1残 | SE011 | 1990.09 | 20-67 | | 1 | B |
| TER-071 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 完形 | 口径 8.4　底径 6.4　器高 1.15 | SE012 | 1990.09 | 21-69 | 120-18 | 1 | A |
| TER-072 | 碗 | 白磁 | 鎌倉 | 不明 | 口径 －　底径 6.2　器高 4.2残 | SE012 | 1990.09 | 22-68 | 120-19 | 1 | A |
| TER-073 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 25 | 口径 9.8推　底径 7.1推　器高 1.6 | SD013 | 1990.09 | 23-71 | 148-90 | 1 | A |
| TER-074 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 完形 | 口径 10.0　底径 5.05　器高 3.35 | SD013 | 1990.09 | 24-70 | 148-91 | 1 | A |
| TER-075 | 坩 | 土師器 | 鎌倉 | 50 | 口径 9.1推　底径 －　器高 9.0残 | SK016 | 1990.10 | 25-72 | | 1 | B |
| TER-076 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 完形 | 口径 8.85　底径 6.7　器高 1.6 | SE017 | 1990.10 | 26-75 | | 1 | B |
| TER-077 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 完形 | 口径 8.7　底径 7.3　器高 1.1 | SE017 | 1990.10 | 26-74 | | 1 | B |
| TER-078 | 石鍋 | 滑石製品 | 鎌倉 | 不明 | 口径 5.2　幅 4.4　器高 2.6 | SE017 | 1990.10 | 27-73 | | 1 | B |
| TER-079 | 高杯 | 土師器 | 古墳 | 90 | 口径 15.35　底径 10.5　器高 14.0 | SK018 | 1990.10 | 28-79 | 113-1 | 1 | A |
| TER-080 | 手捏 | 土製品 | 古墳 | 95 | 口径 6.2　底径 0.65　器高 3.1 | SK019 | 1990.09 | 29-80 | | 1 | B |
| TER-081 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 16.0推　高台径 6.0推　器高 5.7 | SE020 | 1990.09 | 30-81 | 122-20 | 1 | A |
| TER-082 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 磁完形 | 口径 11.4　底径 8.85　器高 2.8 | SE021 | 1990.09 | 31-83 | 124-21 | 1 | A |
| TER-083 | 碗 | 青磁 | 鎌倉 | 不明 | 口径 －　底径 5.2　器高 2.2残 | SE021 | 1990.09 | 31-82 | 124-22 | 1 | A |
| TER-084 | 鉢 | 土師器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 32.2推　底径 －　器高 10.8残 | SE021 | 1990.09 | 31-84 | 124-23 | 1 | A |
| TER-085 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 90 | 口径 9.0　底径 7.0　器高 1.4 | SK023 | 1990.09 | 32-85 | | 1 | B |
| TER-086 | 碗 | 青磁 | 鎌倉 | 不明 | 口径 －　高台径 4.6推　器高 3.8残 | SK024 | 1990.09 | 33-86 | | 1 | B |
| TER-087 | ふいご | 土製品 | 鎌倉 | 不明 | 長さ 6.0　幅 8.1推　器高 2.4残 | SK024 | 1990.09 | 33-87 | | 1 | B |
| TER-088 | 鉢 | 土師質土 | 鎌倉 | 不明 | 口径 42.5　底径 －　器高 9.3残 | SE025 | 1990.09 | 34-88 | 126-24 | 1 | A |
| TER-089 | 羽釜 | 瓦器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 13.2　底径 －　器高 11.2残 | SE025 | 1990.09 | 34-90 | 126-25 | 1 | A |
| TER-090 | 羽釜 | 土師器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 14.8推　底径 －　器高 8.7残 | SE025 | 1990.09 | 35-89 | 126-26 | 1 | A |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　量（cm，g） | 構造名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A·B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| TER-091 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 70 | 口径 8.3推　底径 6.4　器高 1.35 | SE027 | 1990.09 | 36-96 | | 1 | B |
| TER-092 | 皿 | 青磁 | 鎌倉 | 40 | 口径 10.6推　底径 4.9　器高 3.05 | SE027 | 1990.09 | 36-95 | | 1 | B |
| TER-093 | 碗 | 白磁 | 鎌倉 | 不明 | 口径 15.4推　底径 －　器高 4.0残 | SE027 | 1990.09 | 36-94 | | 1 | B |
| TER-094 | 碗 | 白磁 | 鎌倉 | 不明 | 口径 15.7推　底径 －　器高 4.2残 | SE027 | 1990.09 | 36-93 | | 1 | B |
| TER-095 | 碗 | 白磁 | 鎌倉 | 不明 | 口径 －　高台径 6.5　器高 3.1残 | SE027 | 1990.09 | 36-91 | | 1 | B |
| TER-096 | 碗 | 白磁 | 鎌倉 | 不明 | 口径 －　高台径 5.8　器高 2.6残 | SE027 | 1990.09 | 36-92 | | 1 | B |
| TER-097 | 石斧 | 石器 | 古墳 | 不明 | 最長 8.7　最幅 5.35　器高 1.6 | SE027 | 1990.09 | 36-97 | | 1 | B |
| TER-098 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | 80 | 口径 16.35　高台径 6.6　器高 5.9 | SE029 | 1990.09 | 37-98 | 128-27 | 1 | A |
| TER-099 | 杯蓋 | 須恵器 | 古墳 | 50 | 口径 14.3推　底径 －　器高 4.9 | SK030 | 1990.09 | 38-102 | 115-4 | 8 | A |
| TER-100 | 杯身 | 須恵器 | 古墳 | 20 | 口径 13.1推　底径 －　器高 3.7残 | SK030 | 1990.09 | 39-103 | 115-3 | 1 | A |
| TER-101 | 壺 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径 －　底径 －　器高 14.6残 | SK030 | 1990.09 | 39-132 | 115-2 | 1 | A |
| TER-102 | 壺 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 15.4　底径 －　器高 9.9残 | SK030 | 1990.09 | 39-101 | 115-5 | 1 | A |
| TER-103 | 壺 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 13.6推　底径 －　器高 9.6 | SK030 | 1990.09 | 39-100 | 115-6 | 1 | A |
| TER-104 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 60 | 口径 18.7　底径 －　器高 32.6残 | SK030 | 1990.09 | 40-99 | 115-7 | 1 | A |
| TER-105 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 －　高台径 7.8　器高 4.2残 | SK031 | 1990.09 | 41-104 | | 1 | B |
| TER-106 | 碗 | 白磁 | 鎌倉 | 不明 | 口径 －　高台径 5.7　器高 1.6残 | SK033 | 1990.10 | 42-105 | | 1 | B |
| TER-107 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 70 | 口径 6.2　底径 3.0　器高 2.2 | SX034 | 1990.10 | 43-106 | | 1 | B |
| TER-108 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 60 | 口径 6.4　底径 2.9　器高 2.3 | SX034 | 1990.10 | 43-107 | | 1 | B |
| TER-109 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 90 | 口径 6.1　底径 3.2　器高 2.3 | SX034 | 1990.10 | 43-108 | | 1 | B |
| TER-110 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 90 | 口径 8.9　底径 6.4　器高 1.7 | SE035 | 1990.09 | 44-114 | 130-29 | 1 | A |
| TER-111 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 完形 | 口径 9.2　底径 7.9　器高 1.3 | SE035 | 1990.09 | 44-113 | 130-28 | 1 | A |
| TER-112 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 完形 | 口径 9.0　底径 8.1　器高 1.6 | SE035 | 1990.09 | 44-111 | 130-31 | 1 | A |
| TER-113 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 磁器完形 | 口径 10.0　底径 8.2　器高 1.4 | SE035 | 1990.09 | 44-112 | 130-30 | 1 | A |
| TER-114 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 90 | 口径 13.0　底径 9.6　器高 3.2 | SE035 | 1990.09 | 44-115 | 130-33 | 1 | A |
| TER-115 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 70 | 口径 12.8　底径 8.7　器高 3.6 | SE035 | 1990.09 | 44-110 | 130-32 | 1 | A |
| TER-116 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 95 | 口径 13.0　底径 9.5　器高 13.0 | SE035 | 1990.09 | 44-109 | 130-34 | 1 | A |
| TER-117 | 碗 | 青磁 | 鎌倉 | 不明 | 口径 －　高台径 4.8　器高 3.3 | SE035 | 1990.09 | 44-116 | 130-36 | 1 | A |
| TER-118 | 擂り鉢 | 土師質土 | 鎌倉 | 不明 | 口径 26.2推　底径 －　器高 7.8残 | SE035 | 1990.07 | 45-117 | 130-35 | 1 | A |
| TER-119 | 坩 | 土師器 | 古墳 | 60 | 口径 8.1推　丸底　器高 9.5 | SX036 | 1990.10 | 46-119 | 118-10 | 8 | A |
| TER-120 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 50 | 口径 14.0推　底径 －　器高 5.2 | SX036 | 1990.10 | 46-118 | 118-9 | 8 | A |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　量（cm，g） | 構造名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A・B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| TER-121 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 14.0推 底径 － 器高 13.4残 | SX036 | 1990.10 | 46-120 | 118-11 | 8 | A |
| TER-122 | 甑 | 土師器 | 古墳 | 70 | 口径 27.6 底径 － 器高 24.4 | SX036 | 1990.10 | 47-126 | 118-13 | 8 | A |
| TER-123 | 手捏 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 口径 6.8 丸底 器高 3.8 | SX036 | 1990.10 | 46-121 | 118-12 | 8 | A |
| TER-124 | 土錘 | 土製品 | 古墳 | ほぼ完形 | 長さ 4.4 幅 1.2 厚さ 1.0 | SX036 | 1990.10 | 46-123 | 118-15 | 8 | A |
| TER-125 | 土錘 | 土製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 4.4 幅 1.0 厚さ 1.0 | SX036 | 1990.10 | 46-124 | 118-16 | 8 | A |
| TER-126 | 管玉 | 石製品 | 古墳 | 完形 | 長さ 1.8 幅 0.55 厚さ 0.6 | SX036 | 1990.10 | 46-125 | 118-17 | 8 | A |
| TER-127 | 土製鏡 | 土製品 | 古墳 | 90 | 長さ 4.9 幅 5.1 厚さ 1.0 | SX036 | 1990.10 | 46-122 | 118-14 | 8 | A |
| TER-128 | 坏身 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径 14.7推 底径 － 器高 4.1残 | SE037 | 1990.10 | 48-127 | | 8 | B |
| TER-129 | 皿 | 白磁 | 鎌倉-室町 | 不明 | 口径10.85推 底径 4.7 器高 2.85 | SE040 | 1990.10 | 49-128 | 132-37 | 8 | A |
| TER-130 | 杯蓋 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径 17.8推 底径 － 器高 3.3 | SE042 | 1990.10 | 50-129 | 117-8 | 8 | A |
| TER-131 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 完形 | 口径 8.9 底径 7.9 器高 1.75 | SE043 | 1990.10 | 51-130 | 148-88 | 8 | A |
| TER-132 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 75 | 口径 9.7 底径 8.3 器高 2.0 | SE044 | 1990.10 | 51-131 | 147-89 | 8 | A |
| TER-133 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 50 | 口径 － 底径 9.2 器高 3.1残 | SE045 | 1990.10 | 52-133 | | 1 | B |
| TER-134 | 杯蓋 | 須恵器 | 古墳 | 不明 | 口径 14.3推 底径 － 器高 1.7残 | SE046 | 1990.10 | 53-134 | | 1 | B |
| TER-135 | 皿 | 瓦器 | 鎌倉 | 40 | 口径 9.6推 底径 6.6推 器高 1.7 | SE048 | 1990.10 | 54-135 | 134-38 | 1 | A |
| TER-136 | 杯 | 土師器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 12.8推 底径 10.0推 器高 3.3 | SE048 | 1990.10 | 55-136 | 136-39 | 1 | A |
| TER-137 | 皿 | 土師器 | 鎌倉-室町 | 50 | 口径 5.5推 底径 3.4推 器高 1.4 | SE048 | 1990.10 | 56-139 | 148-98 | 1 | A |
| TER-138 | 皿 | 土師器 | 鎌倉-室町 | 80 | 口径 7.2 底径 4.5 器高 1.9 | SE048 | 1990.10 | 56-140 | 148-99 | 1 | A |
| TER-139 | 皿 | 土師器 | 鎌倉-室町 | 95 | 口径 8.5 底径 3.45 器高 1.7 | SD048 | 1990.10 | 56-138 | | 1 | B |
| TER-140 | 杯 | 白磁 | 鎌倉-室町 | 50 | 口径 10.9推 高台径 4.2 器高 3.4 | SD048 | 1990.10 | 56-148 | 148-93 | 1 | A |
| TER-141 | 碗 | 青磁 | 鎌倉 | 不明 | 口径 － 高台径 4.5 器高 3.15残 | SD048 | 1990.10 | 56-147 | 148-96 | 1 | A |
| TER-142 | 皿 | 陶器 | 鎌倉 | 70 | 口径 11.0 底径 5.3 器高 3.0 | SD048 | 1990.10 | 56-142 | 148-94 | 1 | A |
| TER-143 | 皿 | 陶器 | 鎌倉 | 50 | 口径 11.4推 底径 3.8推 器高 3.8 | SD048 | 1990.10 | 56-145 | 148-92 | 1 | A |
| TER-144 | 碗 | 陶器 | 鎌倉 | 30 | 口径 11.0推 底径 14.0推 器高 7.1 | SD048 | 1990.10 | 56-143 | 148-97 | 1 | A |
| TER-145 | 小鉢 | 陶器 | 鎌倉 | ほぼ完形 | 口径 11.4 底径 3.85 器高 4.4 | SD048 | 1990.10 | 56-144 | 148-95 | 1 | A |
| TER-146 | 皿 | 陶器 | 鎌倉 | ほぼ完形 | 口径 13.15 底径 4.1 器高 3.0 | SD048 | 1990.10 | 56-146 | | 1 | B |
| TER-147 | 土鍋 | 土師質土 | 鎌倉 | 不明 | 口径 40.8推 底径 － 器高 11.2残 | SD048 | 1990.10 | 57-141 | 148-100 | 1 | A |
| TER-148 | 銭 | 銅銭 | 鎌倉 | 完形 | 口径 2.5 穿幅 0.55 | SD048 | 1990.10 | 57-137 | | 1 | B |
| TER-149 | 土鍋 | 土師質土 | 鎌倉 | 不明 | 口径 － 底径 － 器高 4.3残 | SE049 | 1990.10 | 58-149 | | 1 | B |
| TER-150 | 鉢 | 土師器 | 古墳 | 20 | 口径 13.8推 底径 － 器高 5.1 | SK050 | 1990.10 | 59-153 | | 1 | B |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　量（cm，g） | 構造名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A・B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| TER-151 | 二重口縁壺 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 14.7推 底径 － 器高 9.9残 | SK050 | 1990.10 | 59-151 | | 1 | B |
| TER-152 | 二重口縁壺 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 15.2 底径 － 器高 7.7残 | SK050 | 1990.10 | 59-150 | | 1 | B |
| TER-153 | 甕 | 土師器 | 古墳 | 不明 | 口径 18.2推 底径 － 器高 7.1残 | SK050 | 1990.10 | 59-152 | | 1 | B |
| TER-154 | 椀 | 土師器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 － 高台径 6.4推 器高 2.8残 | SK052 | 1990.10 | 60-154 | | 1 | B |
| TER-155 | 高杯 | 土師器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 － 脚部径14.5推 器高 7.7残 | SK056 | 1990.10 | 61-155 | | 1 | B |
| TER-156 | 甕棺 | 陶器 | 江戸 | 完形 | 口径 27.2 底径 20.0 器高 44.0 | SK057 | 1990.10 | 62-156 | 154-105 | 11 | A |
| TER-157 | 甕棺 | 陶器 | 江戸 | 80 | 口径 － 底径 16.4 器高 36.9残 | SJ058 | 1990.10 | 63-162 | 150-101 | 10 | A |
| TER-158 | 擂り鉢 | 陶器 | 江戸 | 不明 | 口径 26.5推 底径 － 器高 6.5残 | SJ059 | 1990.10 | 64-157 | 152-103 | 1 | A |
| TER-159 | 甕棺 | 陶器 | 江戸 | 95 | 口径 15.4 底径 22.8 器高 53.0 | SJ059 | 1990.10 | 64-163 | 152-102 | 9 | A |
| TER-160 | 土鈴 | 土製品 | 江戸 | 完形 | 長さ 9.4 幅 5.6 | SJ059 | 1990.10 | 64-158 | 152-104 | 1 | A |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　量（cm，g） | 構造名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A・B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| TER-161 | 高杯 | 土師器 | | 不明 | 口径 23.1推 底径 － | SK060 | 1990.10 | 66-159 | | 12 | B |
| TER-162 | 銭 | 銅銭 | 江戸 | 70 | 外径 2.3 穿幅 0.6 | SK061 | 1990.10 | | | 12 | B |
| TER-163 | 銭 | 銅銭 | 江戸 | 完形 | 外径 2.3 穿幅 0.5 | SK061 | 1990.10 | | | 12 | B |
| TER-164 | 銭 | 銅銭 | 江戸 | ほぼ完形 | 外径 2.7 穿幅 0.65 | SK061 | 1990.10 | | | 12 | B |
| TER-165 | 銭 | 銅銭 | 江戸 | 完形 | 外径 2.7 穿幅 0.6 厚さ 0.25 | SK061 | 1990.10 | | | 12 | B |
| TER-166 | かんざし | 銅 | 江戸 | 完形 | 長さ 16.2 幅 8.5 厚さ 1.05 | SK061 | 1990.10 | 67-160 | | 12 | B |
| TER-167 | きせる | 銅・竹 | 江戸 | 90 | 長さ 22.9 幅 銅 1.3 竹 0.9 厚さ 1.05 | SK061 | 1990.10 | 67-161 | | 12 | B |
| TER-168 | 擂り鉢 | 陶器 | 江戸 | 不明 | 口径 － 底径 11.5推 器高 3.4残 | SP062 | 1990.10 | 68-164 | 156-106 | 12 | A |
| TER-169 | 椀 | 木製品 | 江戸 | 不明 | | SP062 | 1990.10 | | | 12 | B |
| TER-170 | 銭 | 銅銭 | 江戸 | 不明 | 外径 2.3 穿幅 0.5 | SP062 | 1990.10 | | | 12 | B |
| TER-171 | 銭 | 銅銭 | 江戸 | 完形 | 外径 2.5 穿幅 0.6 | SP062 | 1990.10 | | | 12 | B |
| TER-172 | 銭 | 銅銭 | 江戸 | 75 | 外径 2.5 穿幅 0.6 | SP062 | 1990.10 | | | 12 | B |
| TER-173 | 銭 | 銅銭 | 江戸 | 50 | 外径 2.5 穿幅 0.6 | SP062 | 1990.10 | | | 12 | B |
| TER-174 | 銭 | 銅銭 | 江戸 | 不明 | 外径 2.5 穿幅 0.6 | SP062 | 1990.10 | | | 12 | B |
| TER-175 | 土鍋 | 土師質土器 | 室町 | 40 | 口径 39.0推 底径 － 器高 12.0残 | SE066 | 1990.10 | 69-165 | | 12 | B |
| TER-176 | 皿 | 土師器 | 江戸 | 80 | | NO2 トレンチ | 1990.10 | -170 | | 12 | B |
| TER-177 | 皿 | 土師器 | 江戸 | 完形 | | NO2 トレンチ | 1990.10 | -169 | | 12 | B |
| TER-178 | 皿 | 土師器 | 江戸 | 50 | | NO2 トレンチ | 1990.10 | -168 | | 12 | B |
| TER-179 | 杯 | 土師器 | 江戸 | 70 | | NO2 トレンチ | 1990.10 | -171 | | 12 | B |
| TER-180 | 砥石 | 石製品 | 不明 | 不明 | | NO3 トレンチ | 1990.10 | -172 | | 12 | B |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　　量（cm，g） | 構造名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A-B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| TER-181 | 壺 | 土師器 | 古墳 | 不明 | | NO4 トレンチ | 1990.10 | -173 | | 12 | B |
| TER-182 | 皿 | 土師器 | 江戸 | 90 | | A-B 19-20 グリット | 1990.09 | -176 | | 12 | B |
| TER-183 | 杯 | 土師器 | 江戸 | 80 | | B-21グリット | 1990.09 | -178 | | 12 | B |
| TER-184 | 皿 | 陶器 | 江戸 | 40 | | B-21グリット | 1990.10 | -177 | | 12 | B |
| TER-185 | 杯 | 土師器 | 江戸 | 80 | | M-7 グリット | 1990.10 | -166 | | 12 | B |
| TER-186 | 杯 | 土師器 | 江戸 | 80 | | 東端 表土下層 | 1990.10 | -175 | | 12 | B |
| TER-187 | 碗 | 青磁 | 鎌倉 | 完形 | | 南端 表土下層 | 1990.10 | -174 | | 12 | B |

寺裏遺跡Ⅰ種

| 地区名 | 種　　別 | 遺　　構　　名 | 出土年月 | コンテナ | 袋数 |
|---|---|---|---|---|---|
| TUR | 土師器片、磁器片、青銅、土師質土器片、須恵器片、石製品 | SK001、SK002、SK003、SK005、SK006、SK007 | 1990.09<br>1990.10 | 13 | 11袋 |
| TUR | 土師器片、須恵器片、滑石製、瓦器片黒色土器、石製品、磁器 | SE009、SK008、SE010、SE011、SE012、SD013、SK017、SK019、SE020、SE021、SK023、SK024、SE025、SE027、SK028、SE029 | 1990.09 | 14 | 18袋 |
| TUR | 土師器片、須恵器片、陶器、磁器 | SK030、SK031、SK033、SX034、SK035、SX036 | 1990.09<br>1990.10 | 15 | 7袋 |
| TUR | 土師器片、陶器片、須恵器片、磁器 | SX036、SE037、SK038、SE039、SE040、SK041、SK042 | 1990.10 | 16 | 8袋 |
| TUR | 土師器片、滑石、鉄製品、瓦器片、陶器片、磁器、須恵器片 | SD044、SE045、SE046、SD048、SE049、SK050、SK051 | 1990.10 | 17 | 10袋 |
| TUR | 土師器片、銅貨、石製品、須恵器、種子 | SK052、SK056、SK060、SP062、SK066、ST068、SD071、NO1トレンチ NO2トレンチ NO3トレンチ NO4トレンチ | 1990.10 | 18 | 12袋 |
| TUR | 土師器片、鉄製品、石製品、須恵器片 | 東端表土下層 A-B19、20、B21 グリット B-13 C-15 | 1990.10 | 19 | 6袋 |

寺裏遺跡Ⅱ種

# 梅屋敷遺跡収蔵品目録

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　　量（cm，g） | | | 構造名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A・B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| UYS-001 | 碗 | 白磁 | 室町 | 不明 | 口径 － | 底径 － | 器高 3.0残 | SK001 | 1990.10 | 1-1 | 162-16 | 1 | A |
| UYS-002 | 碗 | 磁器 | 室町 | 不明 | 口径 | 高台径 6.2 | 器高 2.5残 | SK003 | 1990.10 | 2-2 | 164-17 | 1 | A |
| UYS-003 | 皿 | 土師器 | 室町 | 40 | 口径 10.2推 | 底径 4.4 | 器高 2.15 | SD005 | 1990.10 | 3-3 | 185-45 | 1 | A |
| UYS-004 | 四耳壺 | 陶器 | 室町 | 不明 | 口径 － | 底径 － | 器高 6.0残 | SK006 | 1990.10 | 4-4 | 166-18 | 1 | A |
| UYS-005 | 砥石 | 石製品 | 室町 | 不明 | 長さ 19.5 | 幅 11.1 | 厚さ 9.5 | SK006 | 1990.10 | 4-5 | 166-19 | 1 | A |
| UYS-006 | 皿 | 土師器 | 室町 | 70 | 口径 5.7推 | 底径 3.6 | 器高 2.2 | SK007 | 1990.10 | 5-7 | 168-20 | 1 | A |
| UYS-007 | 皿 | 土師器 | 室町 | 不明 | 口径 － | 底径 3.9 | 器高 1.7残 | SK007 | 1990.10 | 5-6 | 168-21 | 1 | A |
| UYS-008 | 火鉢 | 瓦質土器 | 室町 | 不明 | 口径 － | 底径 － | 器高 4.7残 | SK007 | 1990.10 | 5-8 | 168-22 | 1 | A |
| UYS-009 | 皿 | 磁器 | 室町 | 不明 | 口径 － | 高台径 6.0推 | 器高 0.9残 | SE009 | 1990.10 | 6-10 | 158-2 | 1 | A |
| UYS-010 | 杯 | 土師器 | 室町 | 不明 | 口径 8.4推 | 底径 4.0推 | 器高 3.2 | SE009 | 1990.10 | 6-9 | 158-1 | 1 | A |
| UYS-011 | 皿 | 土師器 | 室町-江戸 | 60 | 口径 6.8 | 底径 3.6 | 器高 2.0 | SD011 | 1990.10 | 8-11 | 185-47 | 1 | A |
| UYS-012 | 皿 | 土師器 | 室町-江戸 | 90 | 口径 6.8 | 底径 4.2 | 器高 1.9 | SD011 | 1990.10 | 8-12 | 185-46 | 1 | A |
| UYS-013 | 碗 | 陶器 | 室町-江戸 | 不明 | 口径 － | 高台径 3.8推 | 器高 3.3残 | SD011 | 1990.10 | 7-15 | 185-48 | 1 | A |
| UYS-014 | 碗 | 陶器 | 室町-江戸 | 不明 | 口径 － | 底径 | 器高 4.5残 | SD011 | 1990.10 | 7-16 | 185-49 | 1 | A |
| UYS-015 | 碗 | 土師質土 | 室町-江戸 | 不明 | 口径 － | 底径 － | 器高 6.5残 | SD011 | 1990.10 | 8-13 | | 1 | B |
| UYS-016 | 鉢 | 土師器 | 室町-江戸 | 不明 | 口径 － | 底径 18.2推 | 器高 15.2残 | SD011 | 1990.10 | 8-14 | 185-50 | 1 | A |
| UYS-017 | 鉢 | 陶器 | 室町-江戸 | 不明 | 口径 11.2 | 底径 － | 器高 3.4残 | SD012 | 1990.10 | 9-17 | 186-51 | 1 | A |
| UYS-018 | 皿 | 磁器 | 江戸 | 不明 | 口径 8.4推 | 底径 － | 器高 1.55残 | SD013 | 1990.10 | 10-24 | 186-60 | 1 | A |
| UYS-019 | 碗 | 陶器 | 江戸 | 不明 | 口径 － | 高台径 4.5 | 器高 5.7残 | SD013 | 1990.10 | 10-23 | 186-52 | 1 | A |
| UYS-020 | 碗 | 陶器 | 江戸 | 不明 | 口径 8.8 | 高台径 4.0 | 器高 4.9 | SD013 | 1990.10 | 10-21 | 186-53 | 1 | A |
| UYS-021 | 碗 | 陶器 | 江戸 | 80 | 口径 10.25 | 高台径 4.6 | 器高 6.7 | SD013 | 1990.10 | 10-22 | 186-54 | 1 | A |
| UYS-022 | 盤 | 土師質土 | 江戸 | 不明 | 口径 26.0推 | 底径 23.3推 | 器高 4.6残 | SD013 | 1990.10 | 11-18 | | 1 | A |
| UYS-023 | 鉢 | 瓦質土器 | 江戸 | 不明 | 口径 18.5推 | 底径 － | 器高 6.0残 | SD013 | 1990.10 | 10-20 | 186-55 | 1 | A |
| UYS-024 | 擂鉢 | 瓦質土器 | 江戸 | 不明 | 口径 23.2推 | 底径 － | 器高 5.3残 | SD013 | 1990.10 | 10-19 | 186-56 | 1 | A |
| UYS-025 | 皿 | 土師器 | 江戸 | 完形 | 口径 5.8 | 底径 4.0 | 器高 1.7 | SE014 | 1990.10 | 12-26 | 160-3 | 1 | A |
| UYS-026 | 皿 | 土師器 | 江戸 | 完形 | 口径 6.4 | 底径 4.0 | 器高 1.7 | SE014 | 1990.10 | 12-25 | 160-4 | 1 | A |
| UYS-027 | 皿 | 土師器 | 江戸 | 95 | 口径 4.35 | 底径 5.0 | 器高 2.3 | SE014 | 1990.10 | 12-29 | | 1 | B |
| UYS-028 | 皿 | 土師器 | 江戸 | 完形 | 口径 9.6 | 底径 4.5 | 器高 2.5 | SE014 | 1990.10 | 12-31 | | 1 | B |
| UYS-029 | 皿 | 土師器 | 江戸 | 完形 | 口径 9.6 | 底径 5.9 | 器高 2.55 | SE014 | 1990.10 | 12-27 | 160-7 | 1 | A |
| UYS-030 | 杯 | 土師器 | 江戸 | 70 | 口径 9.8 | 底径 4.6 | 器高 2.8 | SE014 | 1990.10 | 12-30 | 160-6 | 1 | A |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　　量（cm，g） | 構造名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A-B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| UYS-031 | 杯 | 土師器 | 江戸 | 60 | 口径 9.2　底径 4.1　器高 2.9 | SE014 | 1990.10 | 12-28 | 160-5 | 1 | A |
| UYS-032 | 小鉢 | 白磁 | 江戸 | 不明 | 口径 －　高台径 5.3　器高 2.5残 | SE014 | 1990.10 | 12-39 | 160-8 | 1 | A |
| UYS-033 | 皿 | 陶器 | 江戸 | 70 | 口径 12.0　高台径 4.3　器高 2.7 | SE014 | 1990.10 | 12-37 | 160-9 | 1 | A |
| UYS-034 | 皿 | 陶器 | 江戸 | 90 | 口径 12.3　高台径 3.5　器高 3.3 | SE014 | 1990.10 | 12-38 | 160-10 | 1 | A |
| UYS-035 | 皿 | 陶器 | 江戸 | 60 | 口径 13.9　高台径 4.2　器高 3.6 | SE014 | 1990.10 | 12-35 | 160-11 | 1 | A |
| UYS-036 | 皿 | 陶器 | 江戸 | 60 | 口径 14.4推　高台径 3.9　器高 4.5 | SE014 | 1990.10 | 12-36 | 160-12 | 1 | A |
| UYS-037 | 盤 | 土師質土 | 江戸 | 不明 | 口径 26.2推　底径 23.7推　器高 5.5残 | SE014 | 1990.10 | 13-34 | 160-15 | 1 | A |
| UYS-038 | 擂鉢 | 瓦質土器 | 江戸 | 不明 | 口径 21.6　底径 12.8　器高 8.25残 | SE014 | 1990.10 | 13-33 | 160-14 | 1 | A |
| UYS-039 | 火鉢 | 土師質土 | 江戸 | 不明 | 口径 －　高台径 19.6　器高 14.4残 | SE014 | 1990.10 | 13-32 | 160-13 | 1 | A |
| UYS-040 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | 40 | 口径 16.4推　高台径 5.6推　器高 5.9 | SD015 | 1990.10 | 14-40 | 184-36 | 1 | A |
| UYS-041 | 皿 | 土師器 | 鎌倉 | 50 | 口径 6.2推　底径 3.4推　器高 1.4 | SB018 | 1990.11 | 15-41 | 182-35 | 1 | A |
| UYS-042 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | 30 | 口径 16.4推　高台径 5.8推　器高 6.8 | SD020 | 1990.10 | 16-42 | 184-38 | 1 | A |
| UYS-043 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 16.4推　高台径 －　器高 5.5残 | SD020 | 1990.10 | 16-43 | 184-37 | 1 | A |
| UYS-044 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | 50 | 口径 16.9推　高台径 7.0推　器高 6.6 | SD020 | 1990.10 | 16-44 | 184-39 | 1 | A |
| UYS-045 | 碗 | 青磁 | 鎌倉 | 不明 | 口径 17.0推　高台径 －　器高 6.4残 | SD020 | 1990.10 | 16-45 | 184-41 | 1 | A |
| UYS-046 | 杯 | 土師器 | 室町 | 45 | 口径 9.6推　底径 5.6推　器高 2.4 | SD022 | 1990.10 | 17-47 | 186-57 | 1 | A |
| UYS-047 | 杯 | 土師器 | 室町 | 20 | 口径 14.3推　底径 9.3推　器高 2.9 | SD022 | 1990.10 | 17-46 | 186-58 | 1 | A |
| UYS-048 | 碗 | 磁器 | 室町 | 不明 | 口径 －　底径 －　器高 5.65残 | SD022 | 1990.10 | 17-49 | 186-59 | 1 | A |
| UYS-049 | 鉢 | 瓦質土器 | 室町 | 不明 | 口径 －　底径 12.8推　器高 9.5残 | SD022 | 1990.10 | 17-48 | 186-61 | 1 | A |
| UYS-050 | 皿 | 青磁 | 鎌倉 | 不明 | 口径 －　底径 3.4　器高 1.1残 | SD023 | 1990.11 | 18-50 | 184-44 | 1 | A |
| UYS-051 | 椀 | 瓦器 | 鎌倉 | 不明 | 口径 14.8推　高台径 －　器高 5.8残 | SD024 | 1990.10 | 19-52 | 184-40 | 1 | A |
| UYS-052 | 碗 | 青磁 | 鎌倉 | 不明 | 口径 15.0推　高台径 －　器高 5.4残 | SD024 | 1990.10 | 19-53 | 184-42 | 1 | A |
| UYS-053 | 碗 | 青磁 | 鎌倉 | 不明 | 口径 16.6推　高台径 －　器高 3.9残 | SD024 | 1990.10 | 19-54 | 184-43 | 1 | A |
| UYS-054 | 鉢 | 土師質土 | 鎌倉 | 不明 | 口径 －　底径 －　器高 5.1残 | SD024 | 1990.10 | 19-51 |  | 1 | B |
| UYS-055 | 皿 | 土師器 | 室町 | 45 | 口径 6.2推　底径 3.4推　器高 1.7 | SK025 | 1990.10 | 20-56 | 170-23 | 1 | A |
| UYS-056 | 皿 | 土師器 | 室町 | 30 | 口径 7.2推　底径 4.2　器高 1.9 | SK025 | 1990.10 | 20-55 | 170-24 | 1 | A |
| UYS-057 | 碗 | 磁器 | 室町 | 不明 | 口径 12.4推　高台径　器高 3.1残 | SK025 | 1990.10 | 20-57 | 170-25 | 1 | A |
| UYS-058 | 碗 | 磁器 | 室町 | 不明 | 口径 －　高台径 4.4　器高 3.9残 | SK025 | 1990.10 | 20-58 | 170-26 | 1 | A |
| UYS-059 | 杯 | 土師器 | 室町-江戸 | 30 | 口径 9.8推　底径 4.0推　器高 3.3 | SK029 | 1990.10 | 21-59 | 172-27 | 1 | A |
| UYS-060 | 杯 | 土師器 | 室町-江戸 | 不明 | 口径 9.9推　底径 －　器高 3.45 | SK029 | 1990.10 | 21-60 | 172-28 | 1 | A |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　　量（cm，g） | 構造名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A-B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| UYS-061 | 碗 | 磁器 | 室町-江戸 | 不明 | 口径 － 底径 － 器高 4.7残 | SK029 | 1990.10 | 21-61 | 172-29 | 1 | A |
| UYS-062 | 杯 | 土師器 | 室町 | 25 | 口径 7.0推 底径 4.8推 器高 1.8 | SK034 | 1990.11 | 22-62 | 176-31 | 1 | A |
| UYS-063 | 杯 | 土師器 | 室町 | 完形 | 口径 6.4 底径 3.2 器高 2.2 | SK035 | 1990.11 | 22-63 | 174-30 | 1 | A |
| UYS-064 | 皿 | 陶器 | 室町-江戸 | 70 | 口径 8.0 底径 3.0 器高 2.3 | SX036 | 1990.11 | 23-75 | 187-62 | 1 | A |
| UYS-065 | 皿 | 白磁 | 室町-江戸 | 不明 | 口径 11.8推 高台径 6.8推 器高 3.2 | SX036 | 1990.11 | 23-81 | 187-63 | 1 | A |
| UYS-066 | 碗 | 青磁 | 室町-江戸 | 不明 | 口径 － 高台径 3.9 器高 5.0 | SX036 | 1990.11 | 23-72 | 187-69 | 1 | A |
| UYS-067 | 碗 | 磁器 | 室町-江戸 | 不明 | 口径 － 高台径 5.0推 器高 4.6 | SX036 | 1990.11 | 23-73 | 187-70 | 1 | A |
| UYS-068 | 小鉢 | 青磁 | 室町-江戸 | 不明 | 口径 － 高台径 5.0推 器高 3.7残 | SX036 | 1990.11 | 23-74 | 187-68 | 1 | A |
| UYS-069 | 小鉢 | 瓦質土器 | 室町-江戸 | 不明 | 口径 7.0推 底径 4.2推 器高 4.2 | SX036 | 1990.11 | 23-66 | 187-65 | 1 | A |
| UYS-070 | 小鉢 | 瓦質土器 | 室町-江戸 | 不明 | 口径 10.0推 底径 4.4推 器高 4.75 | SX036 | 1990.11 | 23-65 | 187-67 | 1 | A |
| UYS-071 | 壺 | 瓦質土器 | 室町-江戸 | 85 | 口径 6.1 底径 9.25推 器高 5.65 | SX036 | 1990.11 | 23-64 | 187-66 | 1 | A |
| UYS-072 | 皿 | 磁器 | 室町-江戸 | ほぼ完形 | 口径 13.6 底径 4.1 器高 3.0 | SX036 | 1990.11 | 24-80 | 187-64 | 1 | A |
| UYS-073 | 鉢 | 瓦質土器 | 室町-江戸 | 不明 | 口径 34.2推 高台径 7.75 器高 10.1残 | SX036 | 1990.11 | 25-69 | 187-71 | 1 | A |
| UYS-074 | 鉢 | 土師質土 | 室町-江戸 | 不明 | 口径 34.5推 底径 － 器高 14.0残 | SX036 | 1990.11 | 26-68 | 187-72 | 1 | A |
| UYS-075 | 火鉢 | 土師質土 | 室町-江戸 | 不明 | 口径 25.8推 底径 － 器高 10.4残 | SX036 | 1990.11 | 26-67 | 188-74 | 1 | A |
| UYS-076 | 不明 | 瓦質土器 | 室町-江戸 | 不明 | 口径 3.3推 底径 － 器高 13.2残 | SX036 | 1990.11 | 25-71 | 188-75 | 1 | A |
| UYS-077 | 土鍋 | 土師質土 | 室町-江戸 | 不明 | 口径 40.6推 底径 － 器高 17.5残 | SX036 | 1990.11 | 27-70 | 187-73 | 1 | A |
| UYS-078 | 皿 | 磁器 | 江戸 | 不明 | 口径 － 高台径 6.1推 器高 2.4残 | SK041 | 1990.11 | 28-76 | 178-33 | 1 | A |
| UYS-079 | 杯 | 土師器 | 江戸 | 不明 | 口径 10.0推 底径 6.7推 器高 2.4 | SK042 | 1990.11 | 29-77 | 178-32 | 1 | A |
| UYS-080 | 皿 | 青磁 | 江戸 | 不明 | 口径 10.0推 底径 － 器高 1.85残 | SK045 | 1990.11 | 29-78 | 180-34 | 1 | A |

| 目録番号 | 名　称 | 種別 | 時代 | 残存率(%) | 法　　量（cm，g） | 構　造　名 | 出土年月 | 実測番号 | Fig.番号 | コンテナ | A-B |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| UYS-081 | 皿 | 土師器 | 室町-江戸 | ほぼ完形 | 口径 6.5 底径 3.7 器高 1.9 | P046 | 1990.11 | 30-79 | | 1 | B |
| UYS-082 | 碗 | 不明 | 室町-江戸 | 不明 | | SD50 NO1トレンチ | 1990.11 | -84 | | 1 | B |
| UYS-083 | 鉢 | 土師質土 | 室町-江戸 | 不明 | | SD50 NO1トレンチ | 1990.11 | -83 | | 1 | B |
| UYS-084 | 土錘 | 土製品 | 室町-江戸 | 90 | | SD50 NO1トレンチ | 1990.11 | -82 | | 1 | B |
| UYS-085 | 杯 | 土師器 | 室町-江戸 | 90 | | 表採 A-14G | 1990.10 | -87 | | 1 | B |
| UYS-086 | 皿 | 青磁染付 | 室町-江戸 | 不明 | | C-11G | 1990.10 | -85 | | 1 | B |
| UYS-087 | 杯 | 土師器 | 室町-江戸 | 60 | | C-12G | 1990.10 | -86 | | 1 | B |

梅屋敷遺跡Ⅰ種

| 地区名 | 種　　別 | 遺　構　名 | コンテナ | 袋数 |
|---|---|---|---|---|
| UYS | 土師器片、白磁片、青磁片、陶器片、石製品、瓦器片、滑石製、須恵器片、鉄製品、土質、瓦質 | SK001、SK002、SK003、SK006、SK007、SD008、SE009、SD011、SD012、SD013、SE014、SE017、SX019、SD020、SD021、SD022、SD023、SD024、SK035、SK030、SK031、SK032、SX036、SK034、SK035 | 2 | 26 |
| UYS | 土師器片、軽石、瓦器片、意識、須恵器片、青磁、白磁片 | SE040、SK041、SK042、SK045、P046、P047、SD048、P049、SK044、SD050、C-12G | 3 | 13 |

梅屋敷遺跡Ⅱ種

佐賀市文化財調査報告書第40集
阿高遺跡
寺裏遺跡
梅屋敷遺跡
平成4年3月31日
発行　佐賀市教育委員会
佐賀市栄町1番1号
印刷　誠文堂印刷㈱
佐賀市兵庫町藤木396－1